

広陵町住民アンケート調査報告書

令和 7 年 10 月
広 陵 町

目 次

I 調査の実施方法等 1

1	調査の目的	1
2	調査の実施方法・期間	1
	(1) 調査の対象者	1
	(2) 調査の実施方法	1
	(3) 調査の実施期間	1
	(4) 回収状況	1
3	設問の構成	1
4	報告書を読む際の留意点	1
	(1) 集計方法	1
	(2) 集計結果の端数処理	1
	(3) その他	1

II 調査結果の概要 2

(1)	まちへの愛着度	2
(2)	まちの魅力	2
(3)	今後の定住意向	2
(4)	施策に対する現在の満足度、今後の注力度	2
	1) 自然と人が調和したまち	2
	2) 生活基盤が充実したまち	2
	3) 次世代を担う子どもが輝けるまち	3
	4) 誰もが安全・安心して暮らせる充実したまち	3
	5) 地域のきずなを深め、表現力豊かな力強いまち	3
	6) 地域が活性化するまち	3
	7) 健全で効果的・効率的な行財政運営の推進	3

III 調査の結果 5

1	回答者の属性等	5
2	まちへの愛着度と今後の定住意向	15
	(1) まちへの愛着度	15
	(2) まちの魅力	17
	(3) 今後の定住意向	17
	(4) 住みたくない理由	19
3	相対的にみた施策に対する現在の満足度と今後の重要度	20
	(1) 相対的に見た現在の満足度	20

(2) 相対的に見た今後の重要度-----	27
(3) 現在の満足度と今後の重要度の2軸分析-----	33
4 施策ごとの現在の満足度及び不満の理由、今後の重要度・注力度-----	36
(1) 自然と人が調和したまち-----	36
①公園の保全と緑化の推進-----	36
②環境保全の推進-----	40
③環境衛生の充実-----	44
(2) 生活基盤が充実したまち-----	48
④地域特性を活かしたまちづくりの推進-----	48
⑤良好な住環境の保全・形成-----	52
⑥将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進-----	56
⑦道路・公共交通の充実-----	60
(3) 次世代を担う子どもが輝けるまち-----	64
⑧子育て支援の充実-----	64
⑨青少年の健全育成-----	68
⑩学校教育の充実-----	72
(4) 誰もが安全・安心して暮らせる充実したまち-----	76
⑪防災・減災体制の強化-----	76
⑫防犯・交通安全の充実-----	80
⑬保健・医療の充実-----	84
⑭高齢者福祉の充実-----	88
⑮障がい者福祉の充実-----	92
⑯地域福祉の充実-----	96
⑰社会保障の適正運用-----	100
(5) 地域のきずなを深め、表現力豊かな力強いまち-----	104
⑱生涯学習の推進-----	104
⑲地域コミュニティの育成-----	108
⑳スポーツの振興-----	112
㉑文化芸術の振興と文化財の保存・活用-----	116
㉒人権尊重、非核平和、男女共同参画、多文化共生の推進-----	120
(6) 地域が活性化するまち-----	124
㉓農業の振興-----	124
㉔地域経済の振興-----	128
㉕観光・交流の振興-----	132
(7) 健全で効果的・効率的な行財政運営の推進-----	136
㉖効果的・効率的な行政運営の推進-----	136
㉗健全な財政運営の推進-----	140
㉘公共施設マネジメントの推進-----	144
㉙協働・連携によるまちづくりの推進-----	148

1	アンケート調査票-----	152
2	自由記入欄のテキストマイニング-----	174

I 調査の実施方法等

1 調査の目的

本調査は、住民に対し、広陵町がこれまで取り組んできた施策に対する現在の満足度や今後の重要度、注力度などについて質問し、令和 8（2026）年度を初年度とする中期基本計画の検討過程における重要な基礎資料を得ることを目的に実施したものです。

2 調査の実施方法・期間

（1）調査の対象者

住民基本台帳から無作為抽出した、広陵町在住の満 18 歳以上の男女 2,000 人

（2）調査の実施方法

アンケート調査票の配布・回収ともに郵送と LoGo フォーム（web 調査・回答システム）を併用

（3）調査の実施期間

令和 7（2025）年 8 月 19 日～9 月 5 日

（4）回収状況

配布数 2,000 票、有効回収数 823 件、有効回収率 41.2%

3 設問の構成

【問 1～11】回答者の属性等

【問 12～14】まちへの愛着度と定住意向

【問 15～41】本町がこれまで取り組んできた施策に対する満足度及び不満な理由、今後の重要度・注力度

【その他】まちづくり全般に対する自由意見

4 報告書を読む際の留意点設問の構成

（1）集計方法

○回答全体をまとめて集計した「単純集計」と、性別や年代等の属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。

（2）集計結果の端数処理

○回答率（回答した人の割合）は、小数点第 2 位以下を四捨五入して端数処理を行っているため、数値の合計が 100%にならない場合があります。

○図表中にある「n」は、設問の回答数を示しています。

（3）その他

○本文及び図表において、回答選択肢の表記が長いものに関しては、適宜、表記を一部簡略化しています。

Ⅱ 調査結果の概要

(1) まちへの愛着度【P15・16】

- 全体では「愛着を感じている（「とても愛着を感じている（25.4%）」＋「どちらかという愛着を感じている（48.8%）」が74.2%で、「愛着を感じていない（「あまり愛着を感じていない（5.2%）」＋「愛着を感じていない（0.5%）」の5.7%を大きく上回っています。
- 年代別にみると、「愛着を感じている」と回答した人の割合は、30代以上の多くは70%以上となっており、その中では「65～69歳」が80.0%で最も高くなっています。

(2) まちの魅力【P17】

- 「自然環境が豊かである」が63.2%で最も多く、以下、「生活基盤施設が整っている」の45.7%、「買い物が便利でよい」の45.6%の順となっています。

(3) 今後の定住意向【P17・18】

- 全体では「住みたい（「住みたい（41.3%）」＋「どちらかといえば住みたい（38.9%）」が80.2%で、住みたくない（「どちらかといえば住みたくない（2.7%）」＋「住みたくない（0.5%）」の3.2%を大きく上回っています。
- 年代別にみると、「住みたい」と回答した人の割合は、30代以上はいずれも70%以上となっており、「65～69歳」が86.7%で最も高くなっています。
- 「どちらかといえば住みたくない」又は「住みたくない」と回答した人（3.2%）に対し、その理由を質問したところ、「買い物が不便」が46.2%で最も多く、以下、「道路・交通施策が不十分」の42.3%、「働く場が不十分」の38.5%の順となっています。

(4) 施策に対する現在の満足度、今後の重要度・注力度

1) 自然と人が調和したまち【P36～47】

- 満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が最も高かったのは、「③環境衛生の充実」の72.4%であり、以下、「②環境保全の推進」の67.3%、「①公園の保全と緑化の推進」の66.6%となっています。
- 不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）が最も高かったのは、「①公園の保全と緑化の推進」の18.2%であり、以下、「③環境衛生の充実」の15.5%などとなっています。
- 今後の注力度について、いずれも「現状程度がよい」が6割前後で高くなっています。

2) 生活基盤が充実したまち【P48～63】

- 満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が最も高かったのは、「⑥将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」の60.3%であり、以下、「④地域特性を活かしたまちづくりの推進」の54.2%となっています。
- 不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）が最も高かったのは、「⑦道路・公共交通の充実」の35.1%であり、以下、「⑥将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」の21.1%となっています。
- 今後の注力度について、「より強化すべき」が最も高かったのは「⑦道路・公共交通の充実」の48.1%であり、以下、「⑥将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」の48.0%となっています。

3) 次世代を担う子どもが輝けるまち【P64～75】

- 満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が最も高かったのは、「⑧子育て支援の充実」の47.9%であり、以下、「⑩学校教育の充実」の43.1%となっています。
- 不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）が最も高かったのは、「⑩学校教育の充実」の15.3%となっています。
- 今後の注力度について、「より強化すべき」が最も高かったのは「⑩学校教育の充実」の47.1%であり、以下、「⑧子育て支援の充実」の44.8%となっています。

4) 誰もが安全・安心して暮らせる充実したまち【P76～103】

- 満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が最も高かったのは、「⑬保健・医療の充実」の65.5%であり、以下、「⑪防災・減災体制の強化」の57.7%、「⑫防犯・交通安全の充実」の54.3%となっています。
- 不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）が最も高かったのは、「⑫防犯・交通安全の充実」の25.1%であり、以下、「⑪防災・減災体制の強化」の17.5%、「⑬保健・医療の充実」の15.6%となっています。
- 今後の注力度について、「より強化すべき」が最も高かったのは、「⑫防犯・交通安全の充実」の51.8%であり、以下、「⑪防災・減災体制の強化」の43.4%、「④高齢者福祉の充実」の40.8%となっています。

5) 地域のきずなを深め、表現力豊かな力強いまち【P104～123】

- 満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が最も高かったのは、「⑱生涯学習の推進」の50.9%であり、以下、「⑲地域コミュニティの育成」の46.1%、「②文化芸術の振興と文化財の保存・活用」の42.4%となっています。
- 不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）が最も高かったのは、「⑲地域コミュニティの育成」の19.3%であり、以下、「⑳スポーツの振興」の14.1%、「⑱生涯学習の推進」の12.9%となっています。
- 今後の注力度について、いずれも「現状程度がよい」が60%以上を占めています。

6) 地域が活性化するまち【P124～135】

- 満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が最も高かったのは、「㉕観光・交流の振興」の47.9%であり、以下、「㉔地域経済の振興」の40.6%、「㉓農業の振興」の38.7%となっています。
- 不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）が最も高かったのは、「㉕観光・交流の振興」の20.3%であり、以下、「㉔地域経済の振興」の18.7%、「㉓農業の振興」の17.4%となっています。
- 今後の注力度について、「より強化すべき」が最も高かったのは、「㉓農業の振興」の38.5%であり、以下、「㉔地域経済の振興」の34.0%、「㉕観光・交流の振興」の26.7%となっています。

7) 健全で効果的・効率的な行財政運営の推進【P136～151】

- 満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が最も高かったのは、「㉖効果的・効率的な行政運営の推進」の49.2%であり、以下、「㉙協働・連携によるまちづくりの推進」の45.7%、「㉗健全な財政運営の推進」の42.2%となっています。

- 不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）が最も高かったのは、「㉔効果的・効率的な行政運営の推進」の15.8%であり、以下、「㉕健全な財政運営の推進」の12.7%となっています。
- 今後の注力度について、「より強化すべき」が最も高かったのは、「㉕健全な財政運営の推進」の40.8%であり、以下、「㉔効果的・効率的な行政運営の推進」の33.0%、「㉖公共施設マネジメントの推進」の28.1%となっています。

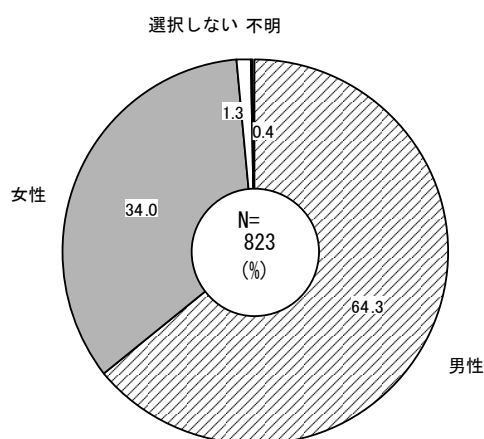
Ⅲ 調査の結果

1 回答者の属性等

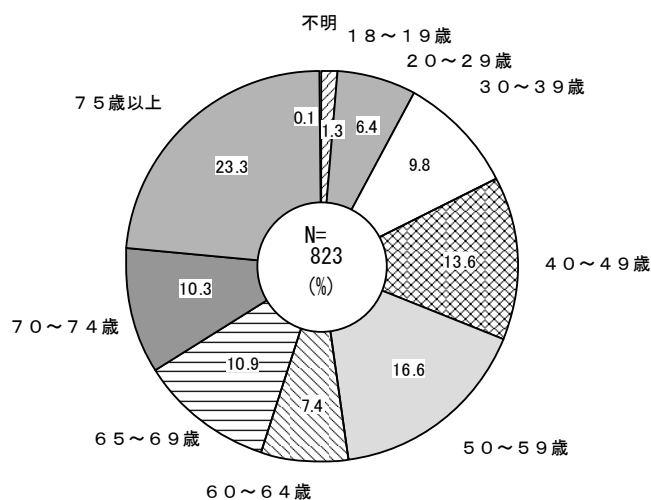
○性別では「男性」が64.3%で、「女性」の34.0%より約30ポイント高くなっています。

○年代別では「75歳以上」が23.3%で最も高く、以下、「50～59歳」の16.6%、「40～49歳」の13.6%の順であり、「75歳以上」の割合がやや大きくなっています。

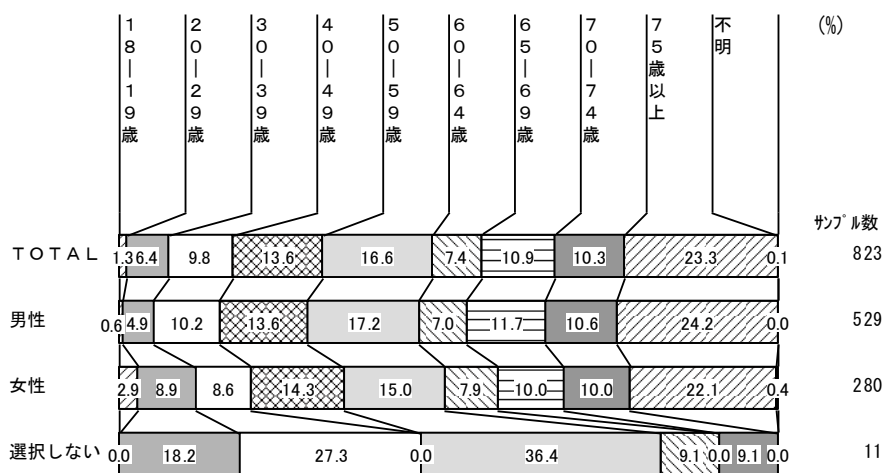
図表Ⅲ－１－１ 性別



図表Ⅲ－１－２ 年齢



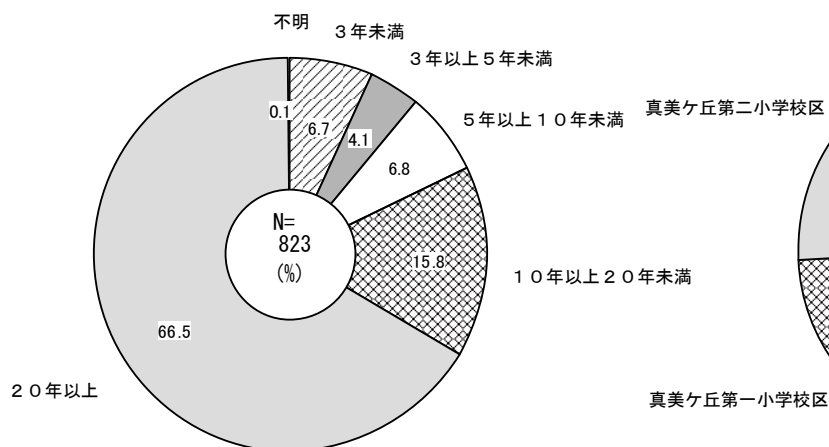
補図表Ⅲ－１－２ 年齢（性別）



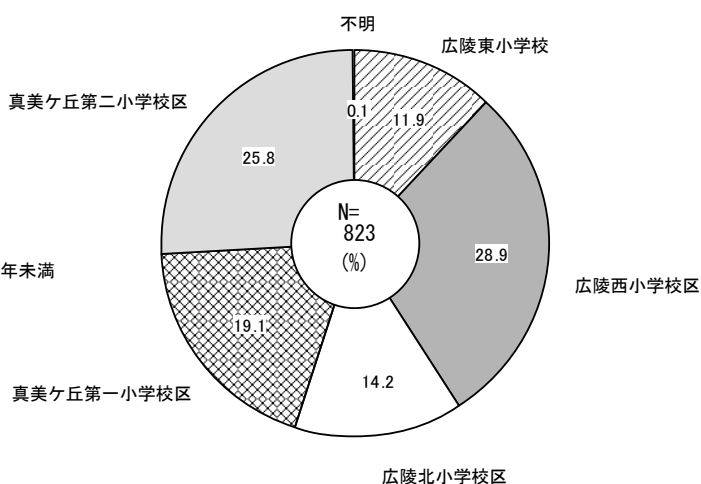
○居住年数では「20 年以上」が 66.5%で最も高く、次いで「10 年以上 20 年未満」の 15.8%となっています。

○居住地区では「広陵西小学校区」が 28.9%で最も高く、次いで「真美ヶ丘第二小学校区」の 25.8%となっています。

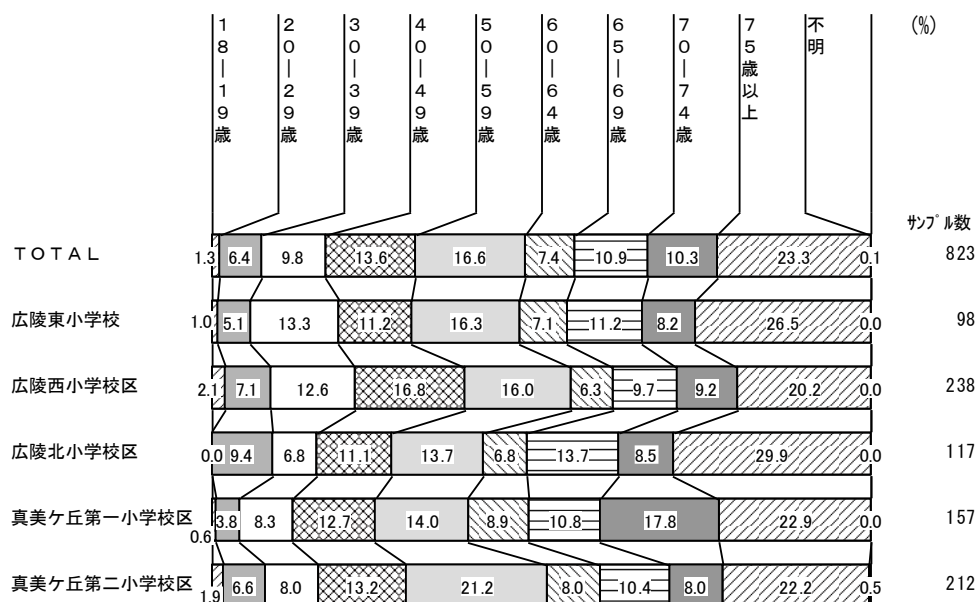
図表Ⅲ－１－３ 居住年数



図表Ⅲ－１－４ 居住地区



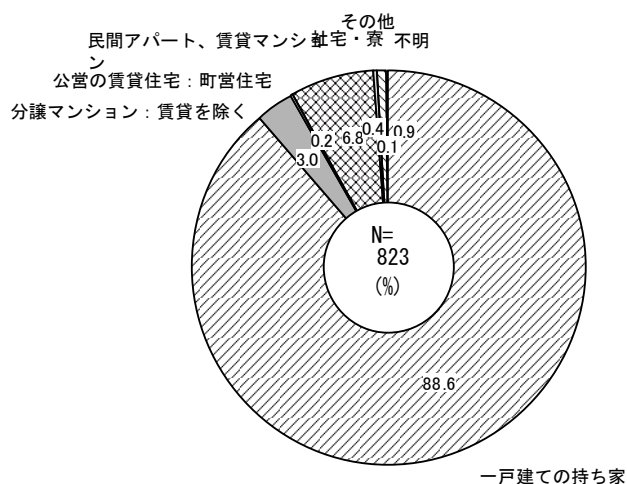
補図表Ⅲ－１－４ 年齢（居住地区別）



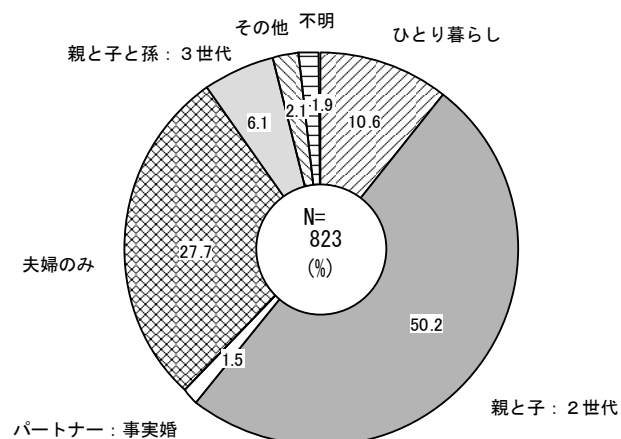
○住宅の種類では「一戸建ての持ち家」が88.6%で最も高く、次いで「民間アパート、賃貸マンション」の6.8%となっています。

○家族構成（世帯）では「親と子（2世代）」が50.2%で最も高く、次いで「夫婦のみ」の27.7%となっています。

図表Ⅲ－１－５ 居住形態

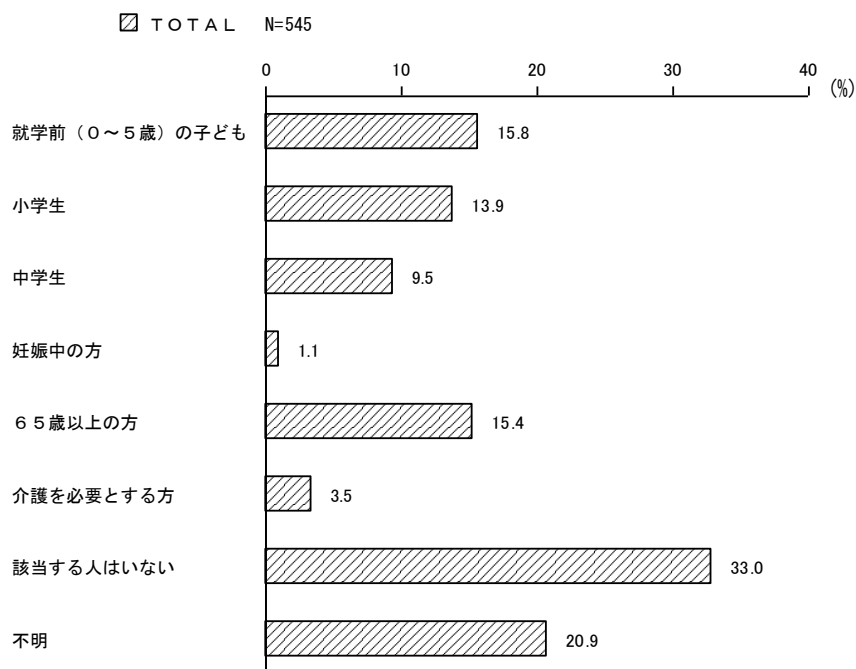


図表Ⅲ－１－６ 家族構成



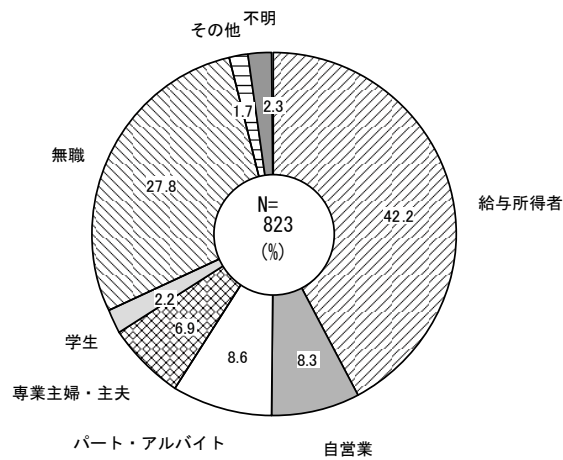
○同居する家族の状況では「該当する人はいない」が33.0%で最も高く、次いで「65歳以上の方」の15.4%となっています。

図表Ⅲ－１－６補 同居家族

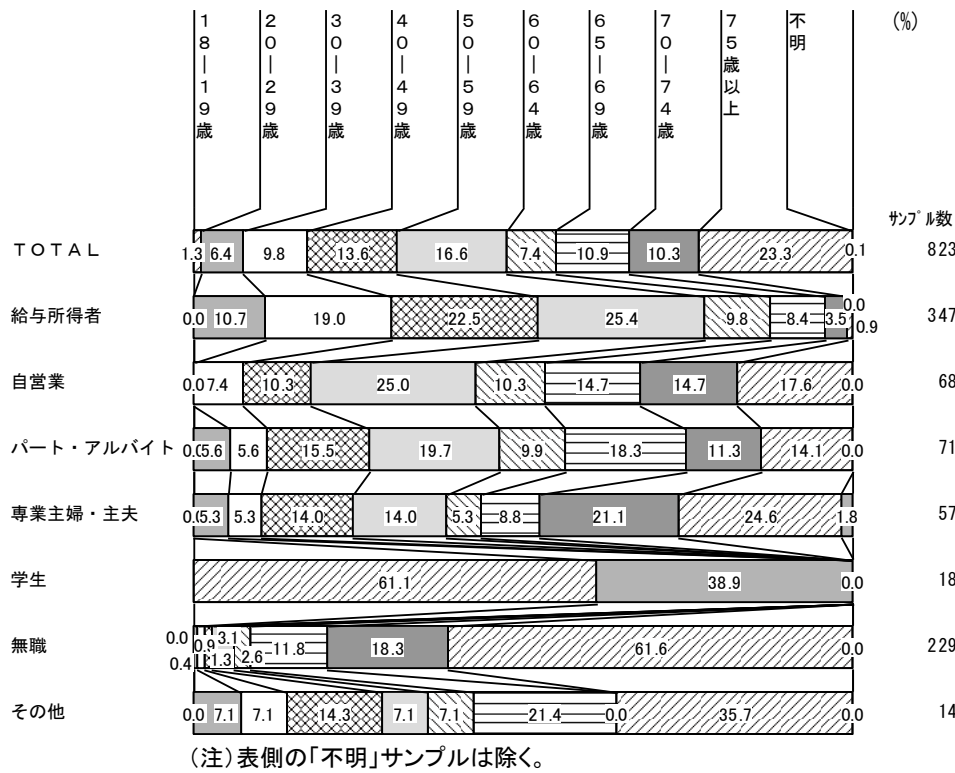


○職業では「給与所得者（会社員・公務員・団体職員など）」が 42.2%で最も高く、次いで「無職」の 27.8%となっています。

図表Ⅲ－１－７ 職業

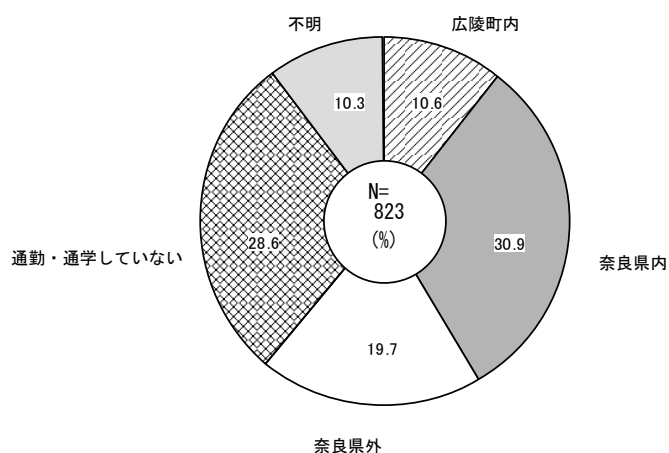


補図表Ⅲ－１－７ 年齢（職業別）



○通勤・通学先では「奈良県内」が 30.9%で最も高く、次いで「奈良県内」の 28.6%となっています。

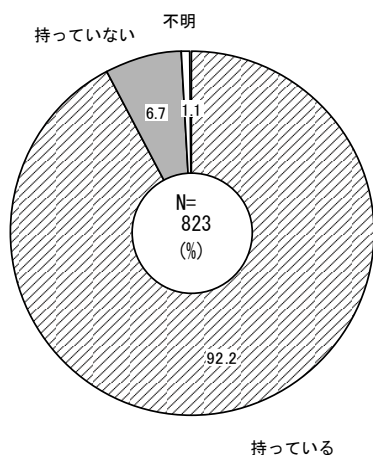
図表Ⅲ－１－８ 通勤・通学先



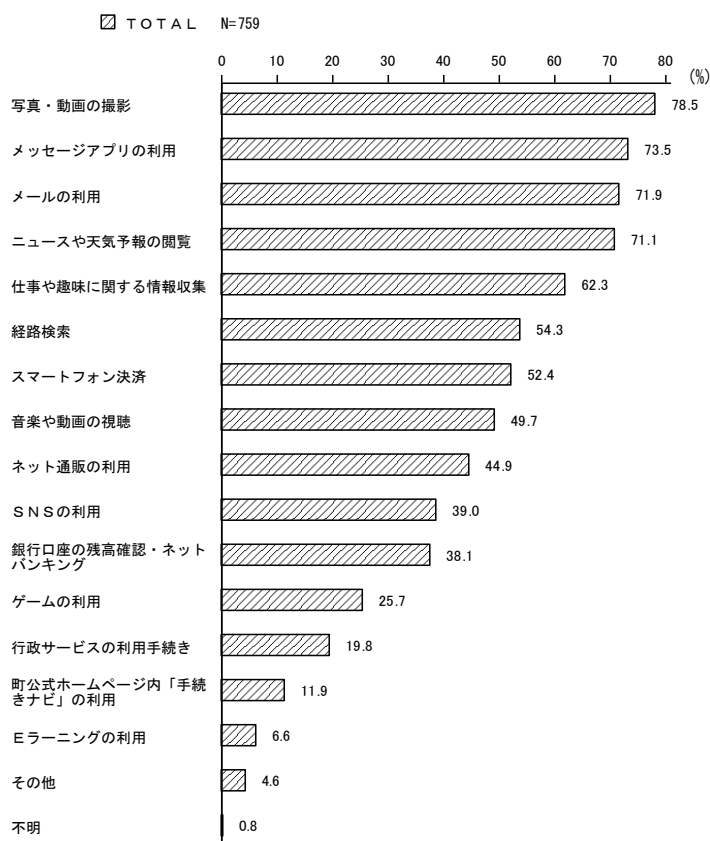
○スマートフォン所有の有無では「持っている」が 92.2%、「持っていない」が 6.7%となっています。

○スマートフォンの主な利用目的では「写真・動画の撮影」が 78.5%で最も高く、次いで「メッセージアプリの利用」の 73.5%などとなっています。

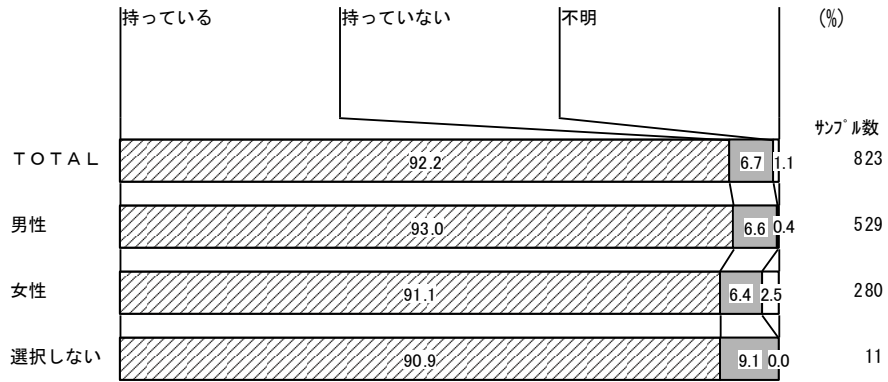
図表Ⅲ－１－９ スマートフォンの所有



図表Ⅲ－１－９ 枝間 主な利用方法

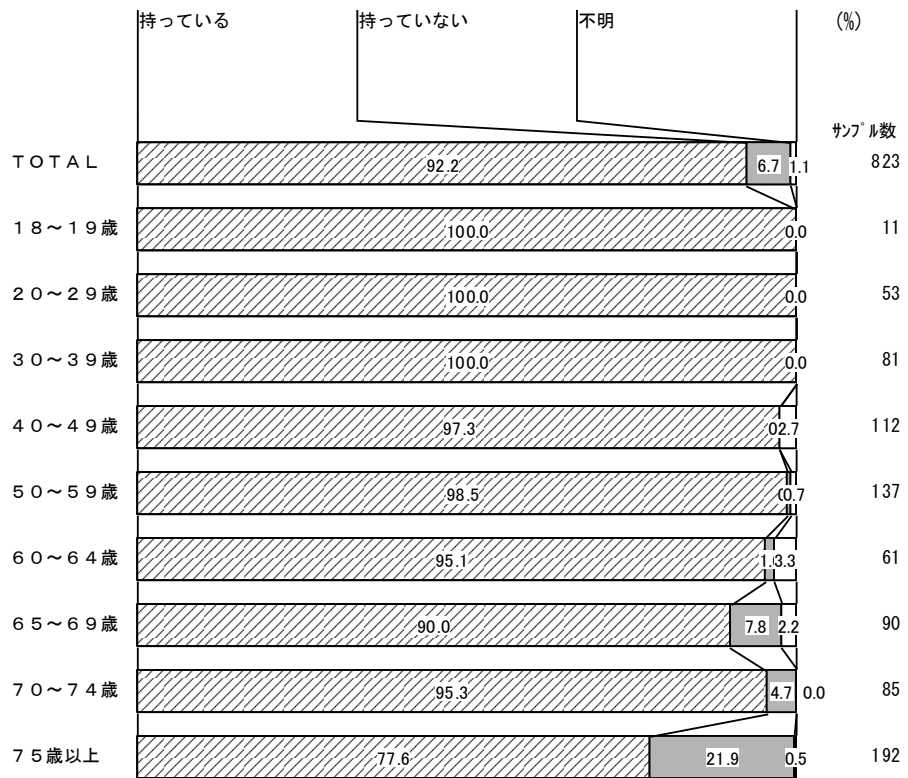


補図表Ⅲ－１－９ スマートフォンの所有（性別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

補図表Ⅲ－１－９ スマートフォンの所有（年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

補図表Ⅲ－１－９ 枝間 主な利用方法（性別）

																		(%)
	TOTAL	写真・動画の撮影	用メッ セー ジア プ リ の 利	メ ー ル の 利 用	関 覧 ニ ュ ー ス や 天 気 予 報 の	報 収 集 仕 事 や 趣 味 に 関 する 情	経 路 検 索	ス マ ー ト フ ォ ン 決 済	音 楽 や 動 画 の 視 聴	ネ ッ ト 通 販 の 利 用	S N S の 利 用	銀 行 口 座 の 残 高 確 認 ・ ネ ッ ト バ ン キ ン グ	ゲ ー ム の 利 用	続 き 行 政 サ ー ビ ス の 利 用 手	町 公 式 ホ ー ム ペ ー ジ 内 「 手 続 き ナ ビ 」 の 利 用	E ラ ー ニ ン グ の 利 用	そ の 他	不 明
TOTAL	823	78.5	73.5	71.9	71.1	62.3	54.3	52.4	49.7	44.9	39.0	38.1	25.7	19.8	11.9	6.6	4.6	0.8
男性	529	76.2	71.1	72.6	72.0	65.0	54.9	52.6	49.4	44.1	37.4	40.7	28.5	22.6	10.8	6.5	4.3	0.8
女性	280	82.7	78.0	70.6	69.4	57.3	53.7	52.2	50.6	46.7	42.4	33.7	20.8	14.5	14.1	6.3	5.5	0.8
選択しない	11	90.0	80.0	70.0	70.0	60.0	30.0	60.0	50.0	40.0	30.0	30.0	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0

(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

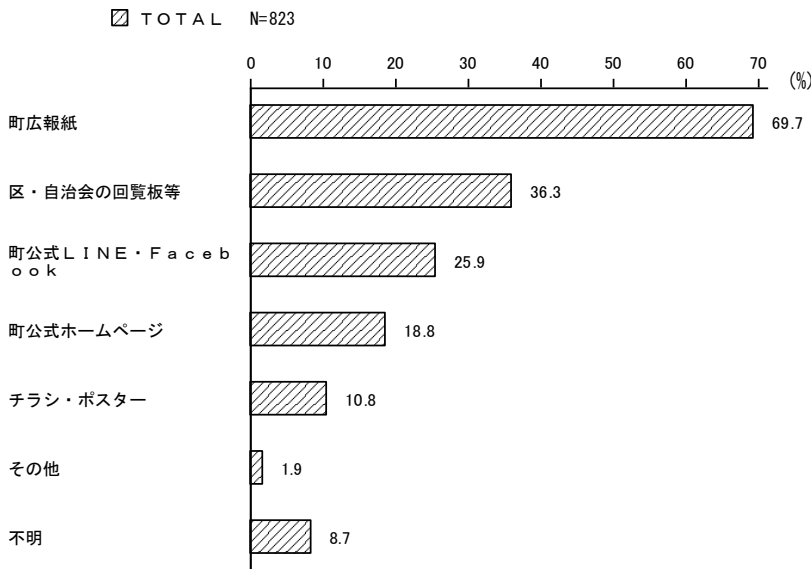
補図表Ⅲ－１－９ 枝間 主な利用方法（年齢別）

																		(%)
	TOTAL	写真・動画の撮影	用メッ セー ジア プ リ の 利	メ ー ル の 利 用	関 覧 ニ ュ ー ス や 天 気 予 報 の	報 収 集 仕 事 や 趣 味 に 関 する 情	経 路 検 索	ス マ ー ト フ ォ ン 決 済	音 楽 や 動 画 の 視 聴	ネ ッ ト 通 販 の 利 用	S N S の 利 用	銀 行 口 座 の 残 高 確 認 ・ ネ ッ ト バ ン キ ン グ	ゲ ー ム の 利 用	続 き 行 政 サ ー ビ ス の 利 用 手	町 公 式 ホ ー ム ペ ー ジ 内 「 手 続 き ナ ビ 」 の 利 用	E ラ ー ニ ン グ の 利 用	そ の 他	不 明
TOTAL	759	78.5	73.5	71.9	71.1	62.3	54.3	52.4	49.7	44.9	39.0	38.1	25.7	19.8	11.9	6.6	4.6	0.8
18～19歳	11	81.8	54.5	45.5	36.4	18.2	27.3	63.6	63.6	27.3	81.8	45.5	45.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	53	88.7	96.2	69.8	77.4	81.1	77.4	88.7	92.5	69.8	84.9	75.5	49.1	34.0	7.5	11.3	1.9	0.0
30～39歳	81	84.0	85.2	70.4	72.8	79.0	65.4	63.0	70.4	67.9	56.8	58.0	42.0	37.0	9.9	12.3	1.2	1.2
40～49歳	109	87.2	85.3	65.1	75.2	79.8	70.6	66.1	76.1	63.3	58.7	49.5	38.5	28.4	6.4	11.0	2.8	1.8
50～59歳	135	80.7	83.0	69.6	76.3	71.9	63.0	60.7	60.7	52.6	46.7	40.7	29.6	18.5	9.6	9.6	3.7	0.7
60～64歳	58	77.6	84.5	67.2	72.4	74.1	62.1	55.2	41.4	53.4	44.8	44.8	27.6	20.7	10.3	6.9	1.7	0.0
65～69歳	81	80.2	75.3	75.3	71.6	54.3	44.4	48.1	39.5	33.3	25.9	29.6	18.5	17.3	21.0	6.2	7.4	0.0
70～74歳	81	70.4	61.7	80.2	69.1	50.6	44.4	44.4	25.9	32.1	9.9	24.7	11.1	13.6	23.5	0.0	6.2	0.0
75歳以上	149	67.1	44.3	78.5	63.8	34.9	29.5	21.5	14.8	14.8	8.7	12.1	5.4	6.0	10.7	0.0	8.7	1.3

(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

○町政やまちづくりの情報入手先は「町広報紙」が69.7%で最も高く、次いで「区・自治会の回覧板等」の36.3%などとなっています。

図表Ⅲ－１－１０ 町政やまちづくりの情報入手先



補図表Ⅲ－１－１０ 町政やまちづくりの情報入手先（性別）

(%)

	TOTAL	町広報紙	区・自治会の回覧板等	町公式LINE・Facebook	町公式ホームページ	チラシ・ポスター	その他	不明
TOTAL	823	69.7	36.3	25.9	18.8	10.8	1.9	8.7
男性	529	68.4	37.2	24.6	19.7	10.0	1.9	8.5
女性	280	72.9	35.4	28.2	17.9	11.4	2.1	8.6
選択しない	11	54.5	18.2	27.3	9.1	36.4	0.0	18.2

(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

補図表Ⅲ－１－１０ 町政やまちづくりの情報入手先（年齢別）

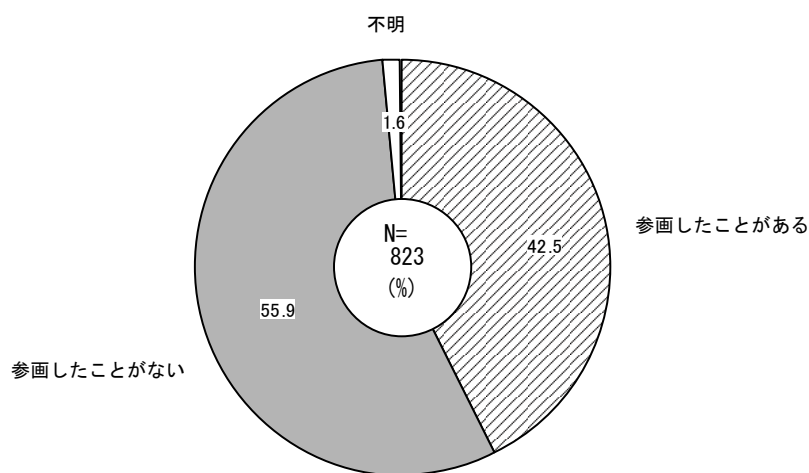
(%)

	TOTAL	町広報紙	区・自治会の回覧板等	町公式LINE・Facebook	町公式ホームページ	チラシ・ポスター	その他	不明
TOTAL	823	69.7	36.3	25.9	18.8	10.8	1.9	8.7
18～19歳	11	27.3	36.4	9.1	0.0	18.2	9.1	9.1
20～29歳	53	45.3	9.4	22.6	17.0	17.0	5.7	18.9
30～39歳	81	48.1	23.5	33.3	19.8	14.8	0.0	14.8
40～49歳	112	57.1	22.3	28.6	16.1	8.9	0.0	13.4
50～59歳	137	67.2	27.7	32.1	21.9	8.8	2.9	10.2
60～64歳	61	67.2	34.4	29.5	23.0	9.8	0.0	11.5
65～69歳	90	77.8	43.3	28.9	21.1	5.6	2.2	5.6
70～74歳	85	81.2	49.4	23.5	25.9	9.4	1.2	4.7
75歳以上	192	89.6	55.2	16.7	14.1	13.0	2.6	2.1

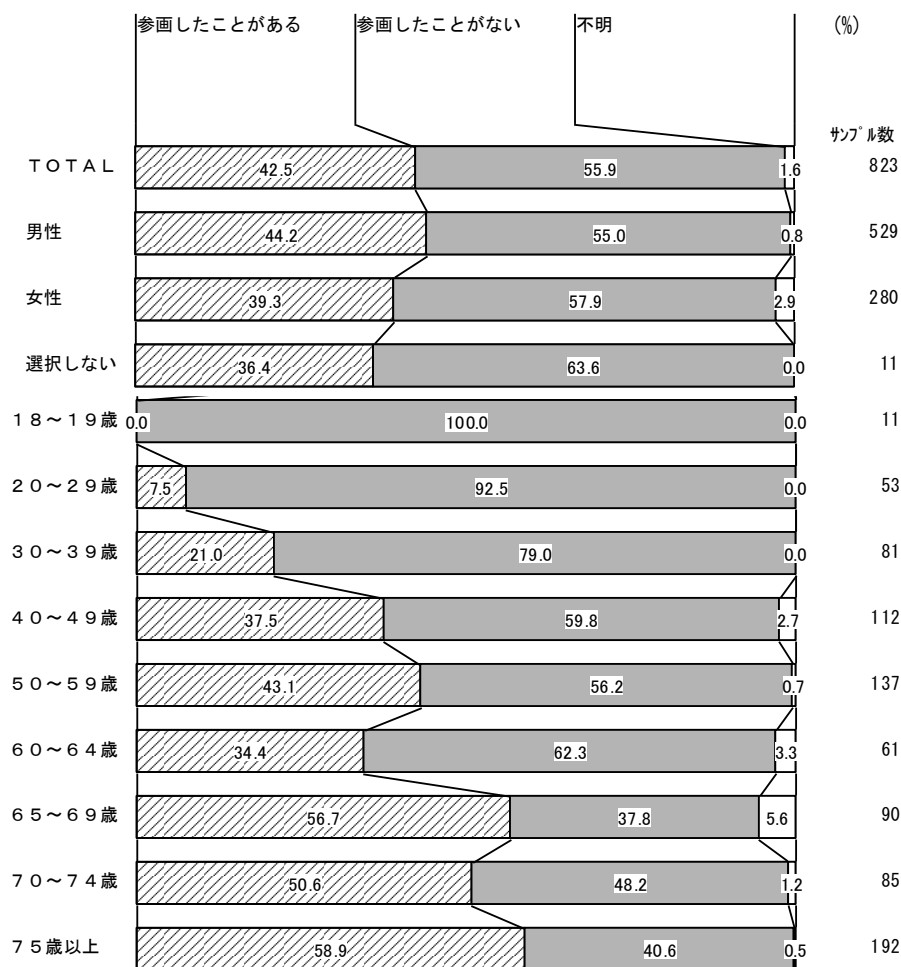
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

○まちづくりへの参画経験は、「参画したことがある」が42.5%、「参画したことがない」が55.9%とやや参画したことがない住民が上回っています。

図表Ⅲ－１－１１ まちづくりへの参画経験



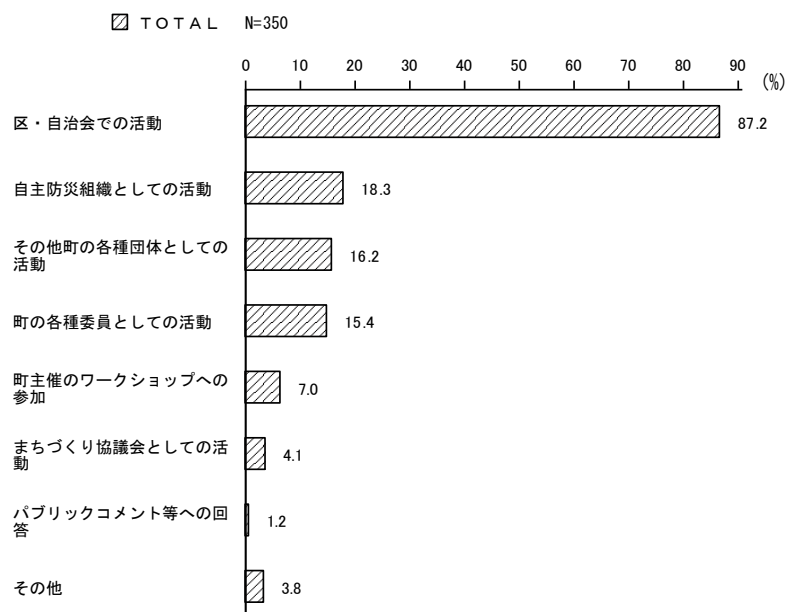
補図表Ⅲ－１－１１ まちづくりへの参画経験（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。

○まちづくりへの参画形式は「区・自治会での活動」が87.2%で最も高く、次いで「自主防災組織としての活動」の18.3%などとなっています。

図表Ⅲ－１－11 枝間 まちづくりへの参画方式



補図表Ⅲ－１－11 枝間 まちづくりへの参画方式 (性別)

	TOTAL	区・自治会での活動	自主防災組織としての活動	その他町の各種団体としての活動	町の各種委員としての活動	町主催のワークショップへの参加	まちづくり協議会としての活動	パブリックコメント等への回答	その他	不明
TOTAL	350	86.0	18.0	16.0	15.1	6.9	4.0	1.1	3.7	1.4
男性	234	88.9	22.2	14.5	12.8	5.1	4.3	1.3	4.7	0.9
女性	110	80.0	8.2	20.0	19.1	10.0	3.6	0.9	1.8	2.7
選択しない	4	75.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

補図表Ⅲ－１－11 枝間 まちづくりへの参画方式 (年齢別)

	TOTAL	区・自治会での活動	自主防災組織としての活動	その他町の各種団体としての活動	町の各種委員としての活動	町主催のワークショップへの参加	まちづくり協議会としての活動	パブリックコメント等への回答	その他	不明
TOTAL	350	86.0	18.0	16.0	15.1	6.9	4.0	1.1	3.7	1.4
20～29歳	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	17	82.4	17.6	0.0	0.0	29.4	0.0	0.0	5.9	0.0
40～49歳	42	81.0	19.0	7.1	4.8	4.8	4.8	2.4	4.8	7.1
50～59歳	59	88.1	16.9	11.9	8.5	11.9	0.0	0.0	3.4	1.7
60～64歳	21	90.5	19.0	14.3	23.8	4.8	4.8	0.0	0.0	0.0
65～69歳	51	82.4	11.8	17.6	19.6	5.9	3.9	2.0	2.0	2.0
70～74歳	43	88.4	20.9	11.6	14.0	2.3	2.3	2.3	2.3	0.0
75歳以上	113	86.7	20.4	25.7	22.1	4.4	7.1	0.9	5.3	0.0

(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

(1) まちへの愛着度

－「愛着を感じている」が74.2%で、「愛着を感じていない」の5.7%を大きく上回っている－

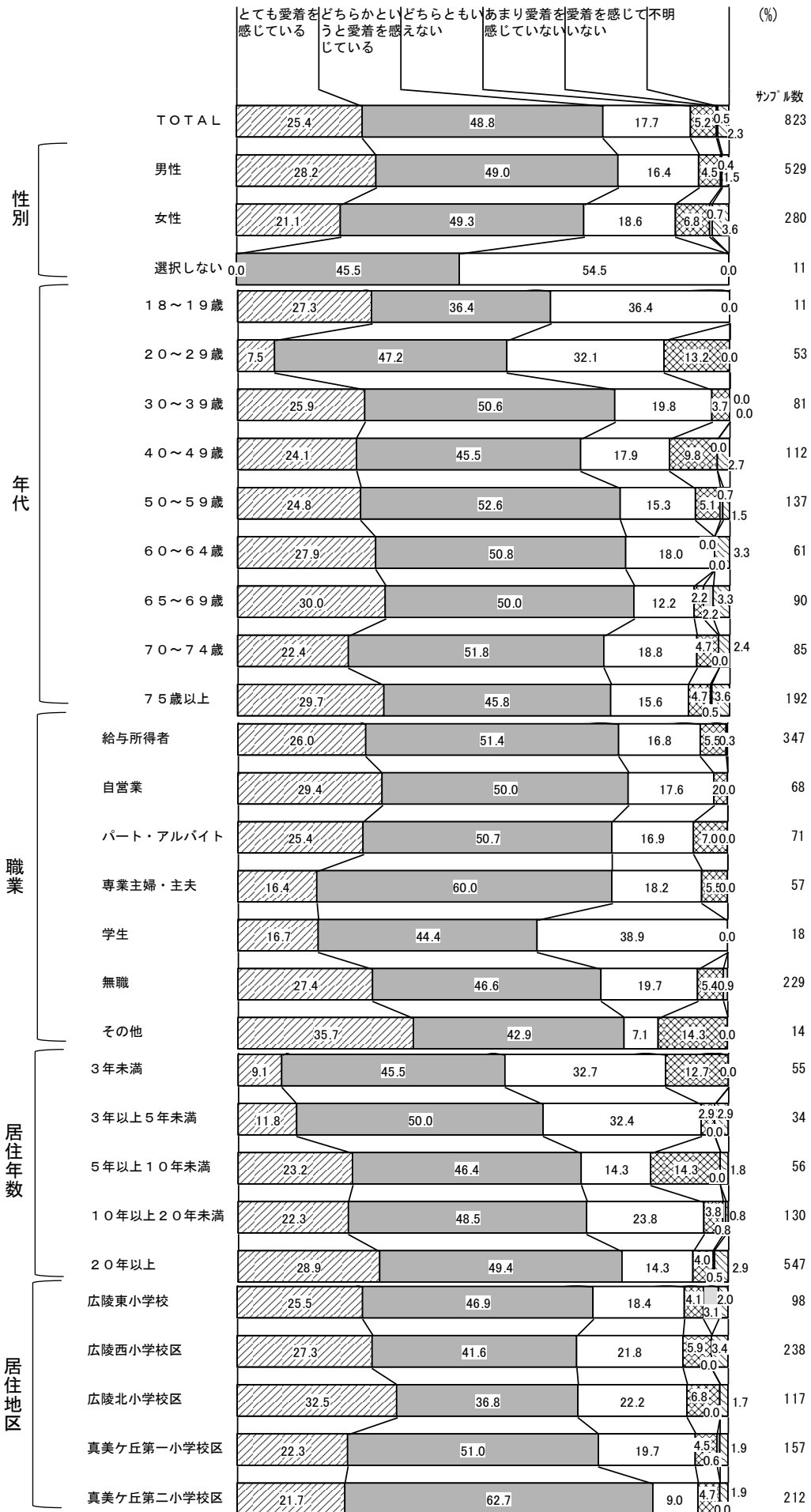
○住民のまちに対する愛着度について、全体では「愛着を感じている（「とても愛着を感じている（25.4%）」＋「どちらかというと愛着を感じている（48.8%）」が74.2%で、「愛着を感じていない（「あまり愛着を感じていない（5.2%）」＋「愛着を感じていない（0.5%）」）の5.7%を大きく上回っています。

○年代別にみると、「愛着を感じている」と回答した人の割合は、30代以上の多くは70%以上となっており、その中では「65～69歳」が80.0%で最も高くなっています。

○居住年数別にみると、居住年数に比例して「愛着を感じている」と回答した人の割合は大きくなっています。

○居住地区別にみると、「愛着を感じている」と回答した人の割合は、いずれも65%以上となっており、その中でも「真美ヶ丘第二小学校区」では84.4%となっています。

図表Ⅲ－２－１ まちへの愛着度

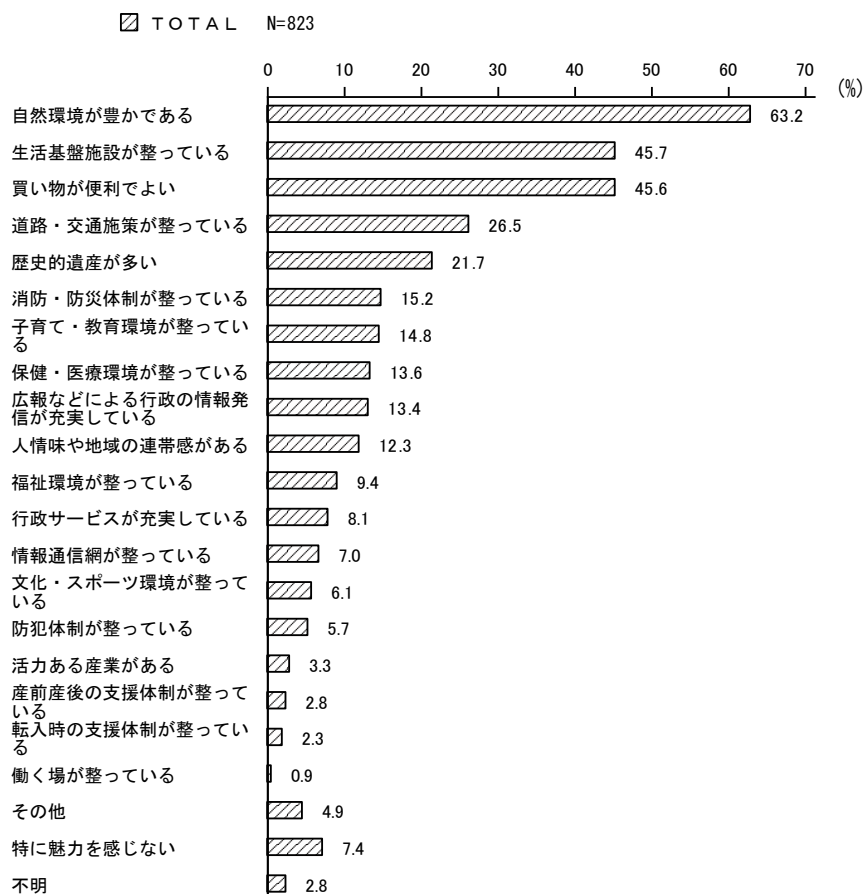


(2) まちの魅力

－「自然環境が豊かである」が 63.2%で突出している－

○まちの魅力では「自然環境が豊かである」が 63.2%で最も多く、以下、「生活基盤施設が整っている」の 45.7%、「買い物が便利でよい」の 45.6%の順となっています。

図表Ⅲ－２－２ まちの魅力



(3) 今後の定住意向

－「住みたい」が 80.2%で、「住みたくない」の 3.2%を大きく上回っている－

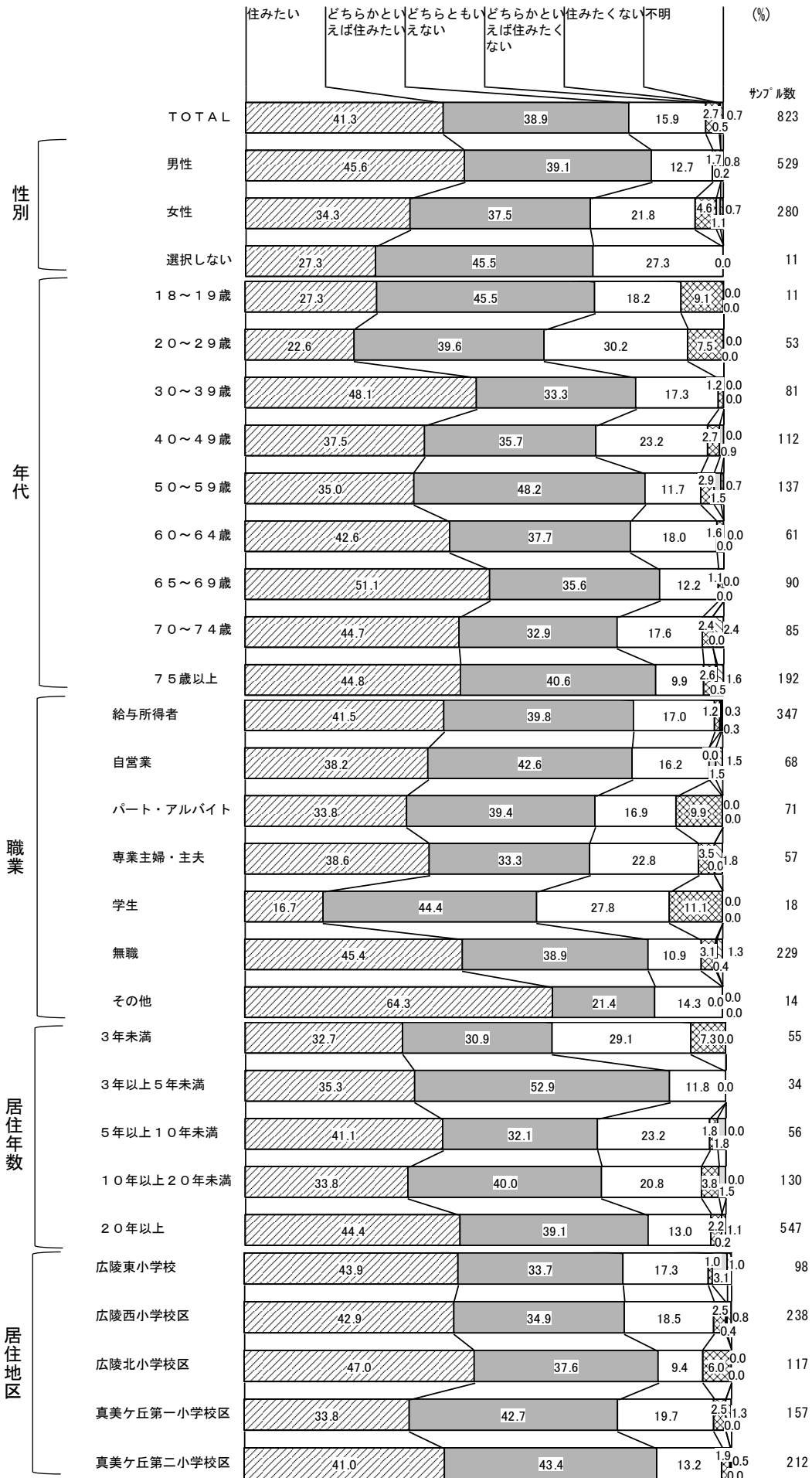
○今後の定住意向について、全体では「住みたい（「住みたい（41.3%）」＋「どちらかといえば住みたい（38.9%）」）が 80.2%で、住みたくない（「どちらかといえば住みたくない（2.7%）」＋「住みたくない（0.5%）」）の 3.2%を大きく上回っています。

○年代別にみると、「住みたい」と回答した人の割合は、30代以上はいずれも 70%以上となっており、「65～69 歳」が 86.7%で最も高くなっています。

○居住年数別にみると、「住みたい」と回答した人の割合は、「3 年未満（63.6%）」を除きいずれも 70%以上となっており、その中では「3 年以上 5 年未満」が 88.2%で最も高くなっています。

○居住地区別にみると、「住みたい」と回答した人の割合は、いずれも 70%以上となっており、その中では「真美ヶ丘第二小学校区」が 84.4%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－２－３ 今後の定住意向

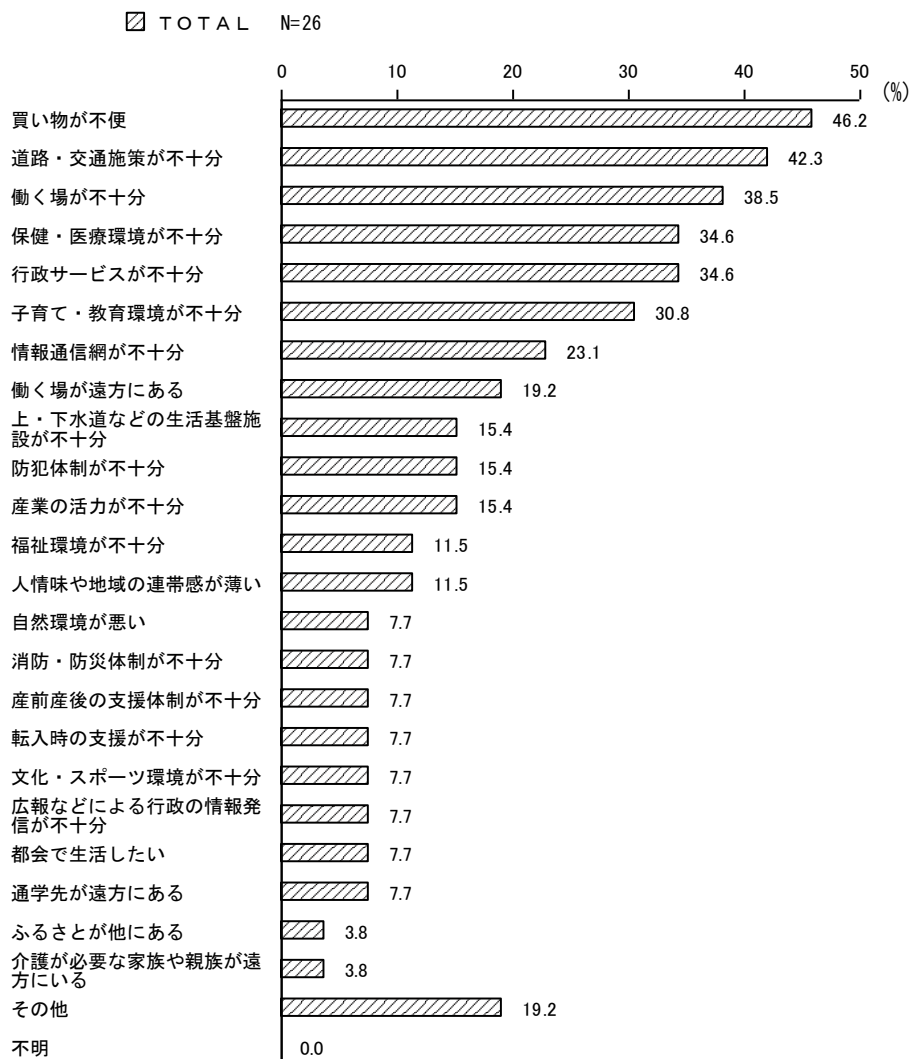


(4) 住みたくない理由

－「買い物が不便」が46.2%で最も多い－

○前項で「どちらかといえば住みたくない」又は「住みたくない」と回答した人(3.2%)に対し、その理由を質問したところ、「買い物が不便」が46.2%で最も多く、以下、「道路・交通施策が不十分」の42.3%、「働く場が不十分」の38.5%の順となっています。

図表Ⅲ－２－４ 住みたくない理由



3 相対的にみた施策に対する現在の満足度と今後の重要度

○本項では、現行の第5次広陵町総合計画前期基本計画に掲げられた29施策を対象に、満足度・重要度の各々の段階に一定の重み（得点）を設定した上、その重みを考慮した平均値（加重平均値）を算出することで、満足度と重要度の水準を相対的に可視化しています。

○具体的には、現在の満足度・今後の重要度の選択肢に3点、2点、1点、0点（現在の満足度）、－1点、－2、－3点という得点を設定します。例えば、今後の重要度の選択肢に回答した人数が w_1 、 w_2 、 w_3 、 w_4 、 w_5 であった場合、加重平均値は以下の式で算出できます。

$$\text{加重平均値} = \frac{3 \text{点} \times w_1 + 2 \text{点} \times w_2 + 1 \text{点} \times w_3 + (-1 \text{点}) \times w_4 + (-2 \text{点}) \times w_5 + (-3 \text{点}) \times w_6}{w_1 + w_2 + w_3 + w_4 + w_5 + w_6}$$

図表Ⅲ－3－1 現在の満足度・今後の重要度に対する加重平均の得点

現在の満足度		今後の重要度	
回答の選択肢	加重平均の得点	回答の選択肢	加重平均の得点
非常に満足	3点	非常に重要	3点
満足	2点	重要である	2点
やや満足	1点	少し重要	1点
わからない	0点	あまり重要ではない	－1点
やや不満	－1点	重要ではない	－2点
不満	－2点	全く重要ではない	－3点
非常に不満	－3点		

（１）相対的にみた現在の満足度

－満足度では「環境衛生の充実」、「環境保全の推進」など、
自然との調和や安全・安全に関わる施策の点数が高い傾向にある－

①町全体

○満足度の上位3項目は、第1位が「環境衛生の充実」の1.08、第2位が「環境保全の推進」の0.96、第3位が「保健・医療の充実」の0.87となっています。

○一方、満足度の下位3項目は、第1位が「道路・公共交通の充実」の0.11、第2位が「農業の振興」と「地域経済の振興」の0.34となっています。

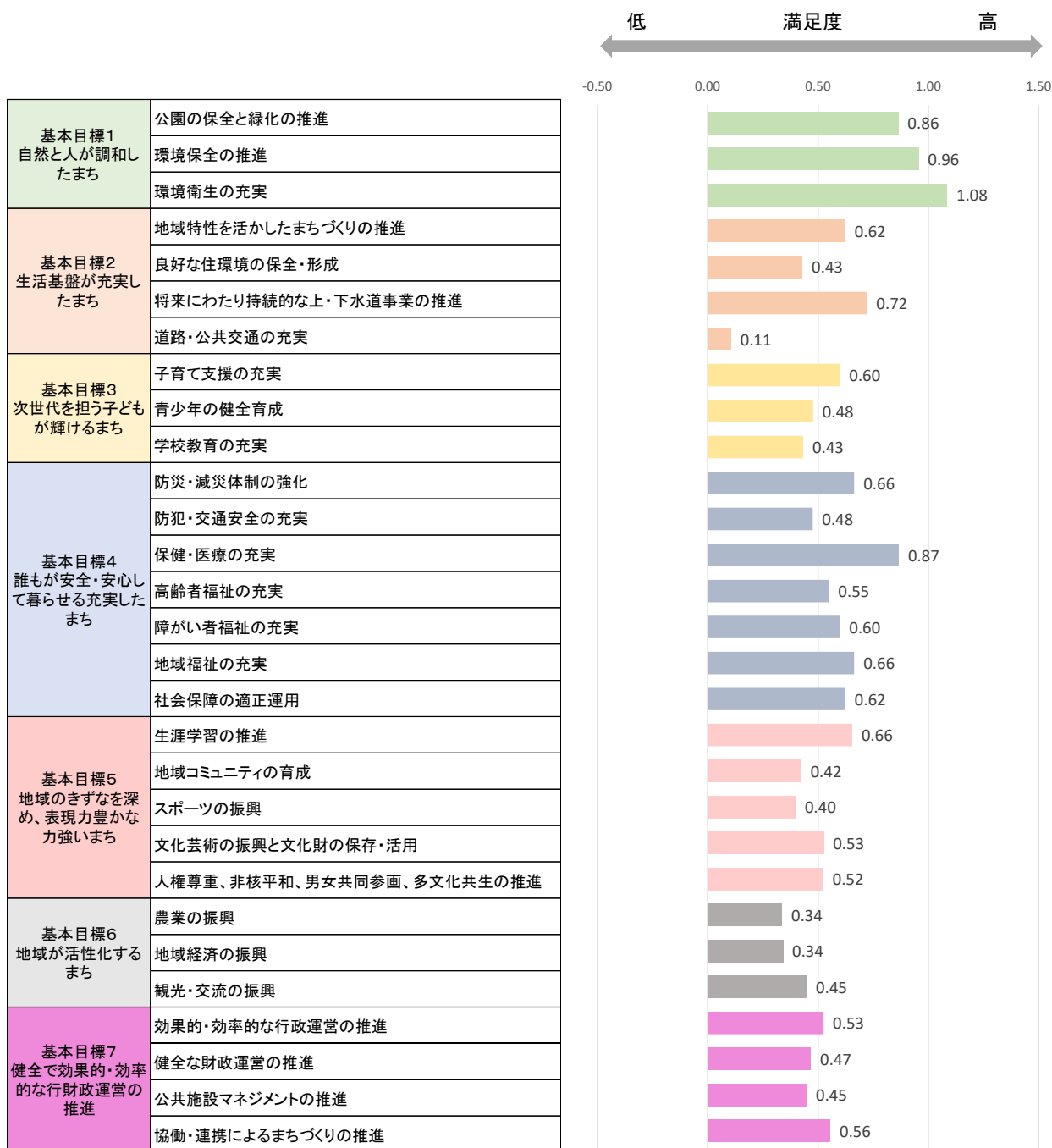
②町全体と各小学校区における満足度の比較

○満足度の上位3項目や下位3項目は、各小学校区においても町全体と概ね同様の傾向となっていますが、加重平均値は住宅地としての成り立ちの違いなど、各小学校区の特性によって若干差があります。

○「広陵北小学校区」と「真美ヶ丘第一小学校区」では、「環境衛生の充実」がそれぞれ1.03、0.88であり、町全体よりもやや低い評価となっています。

○「広陵北小学校区」と「広陵東小学校区」では、「道路・公共交通の充実」がそれぞれ－0.10、－0.03点でマイナスの評価となっています。

図表Ⅲ－３－２ 町の施策に対する現在の満足度（町全体）

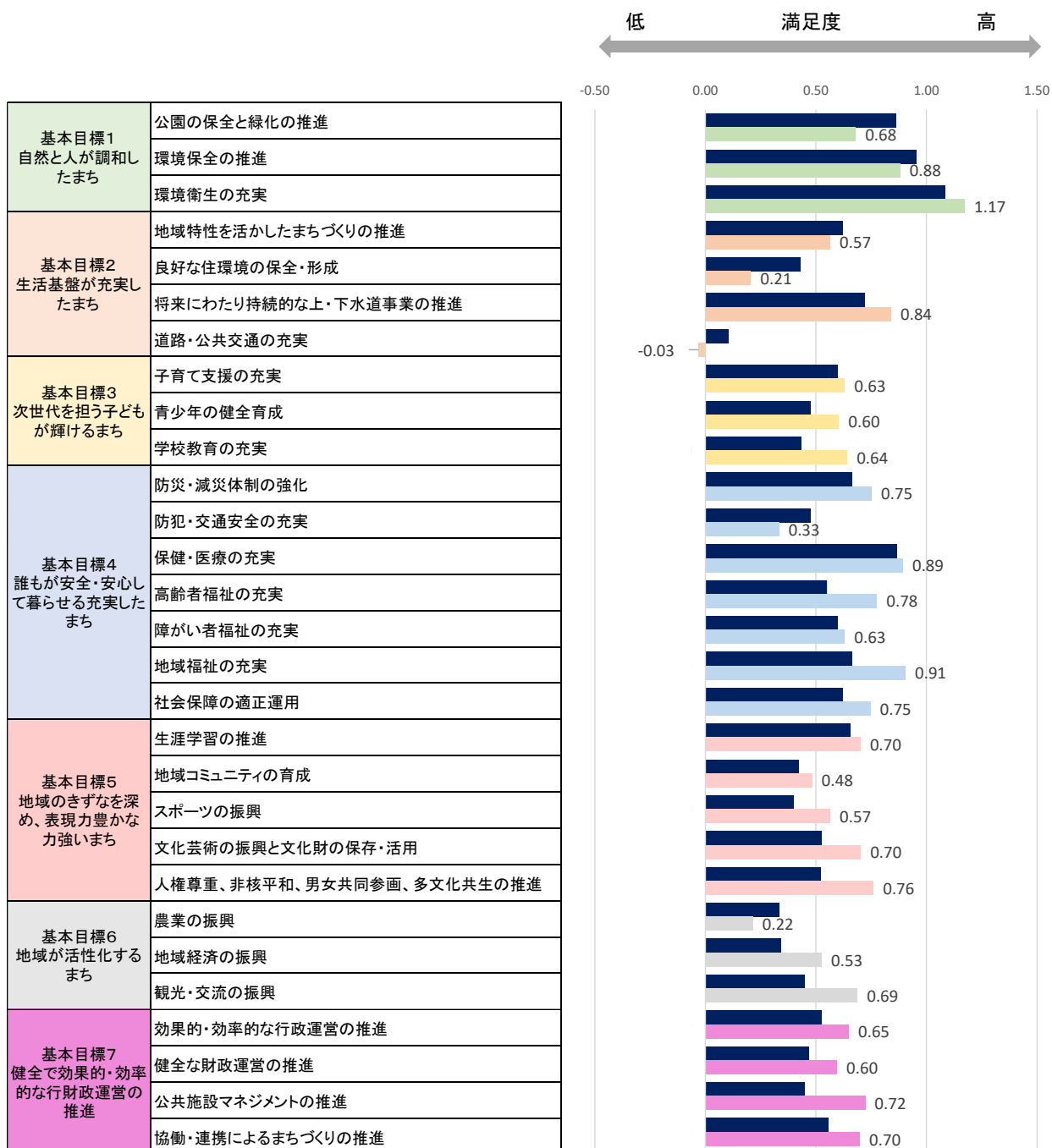


③広陵東小学校区

○満足度の上位3項目は、第1位が「環境衛生の充実」の1.17、第2位が「地域福祉の充実」の0.91、第3位が「保健・医療の充実」の0.89となっています。

○満足度の下位3項目は、第1位が「道路・公共交通の充実」の-0.03、第2位が「良好な住環境の保全・形成」の0.21、第3位が「農業の振興」の0.22となっています。

図表Ⅲ－３－３ 町の施策に対する現在の満足度（広陵東小学校区）



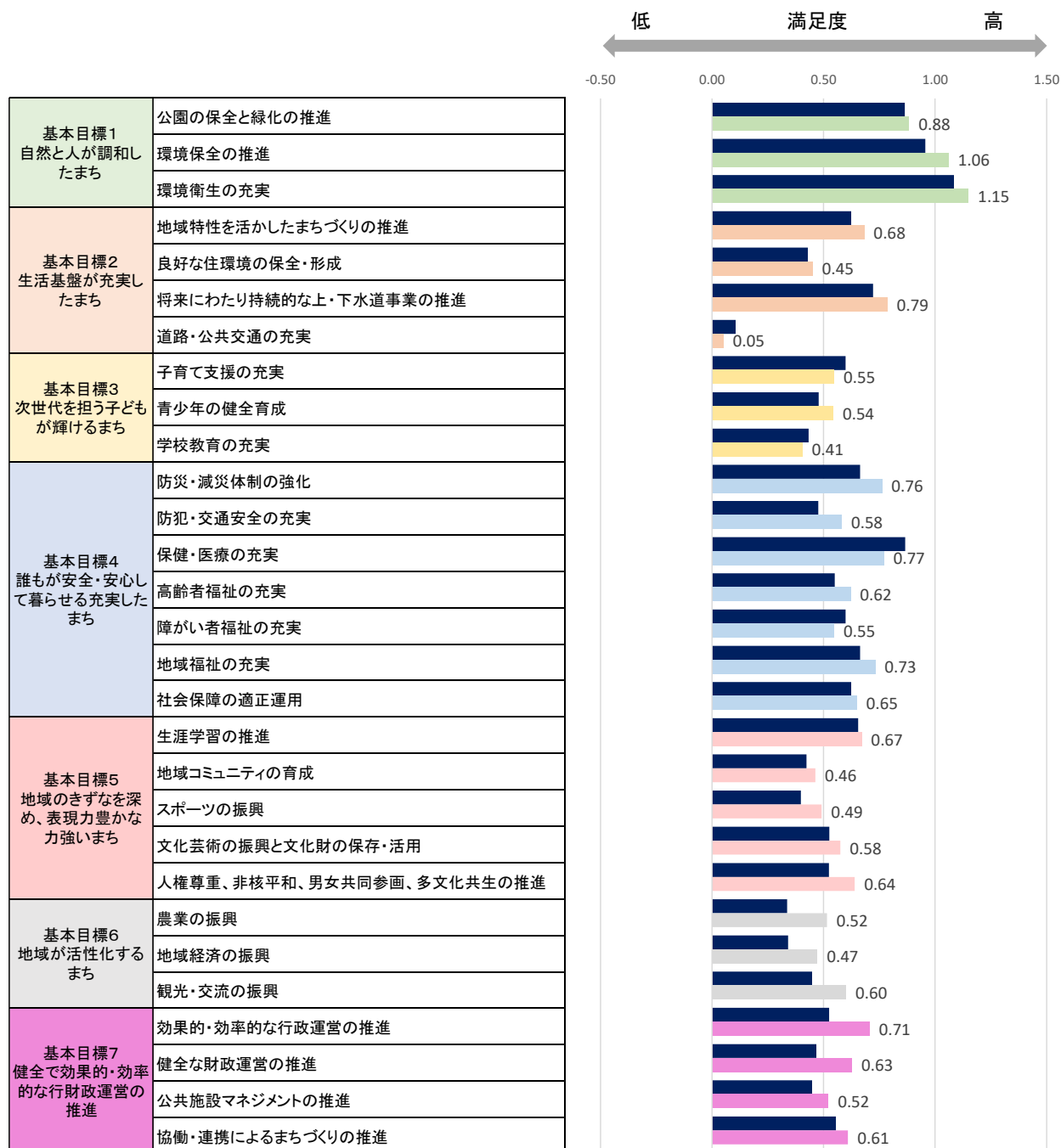
※ 全体平均

④広陵西小学校区

○満足度の上位3項目は、第1位が「環境衛生の充実」の1.15、第2位が「環境保全の充実」の1.06、第3位が「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」の0.79となっています。

○満足度の下位3項目は、第1位が「道路・公共交通の充実」の0.05、第2位が「学校教育の充実」の0.41、第3位が「良好な住環境の保全・形成」の0.45となっています。

図表Ⅲ－３－４ 町の施策に対する現在の満足度（広陵西小学校区）



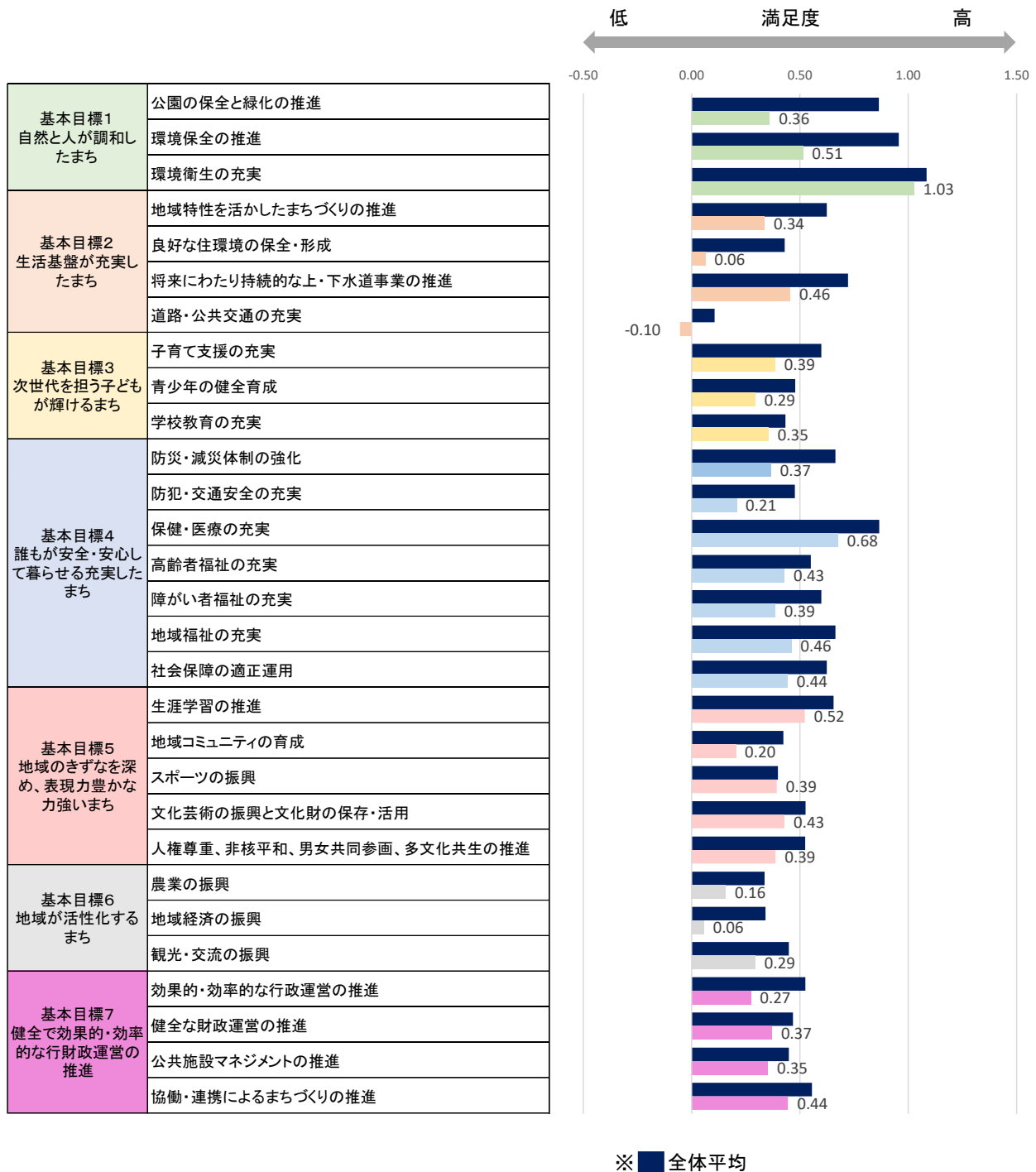
※ ■ 全体平均

⑤広陵北小学校区

○満足度の上位3項目は、第1位が「環境衛生の充実」の1.03、第2位が「保健・医療の充実」の0.68、第3位が「生涯学習の推進」の0.52となっています。

○満足度の下位3項目は、第1位が「道路・公共交通の充実」の-0.10、第2位が「良好な住環境の保全・形成」及び「地域経済の振興」が0.06となっています。

図表Ⅲ－３－５ 町の施策に対する現在の満足度（広陵北小学校区）

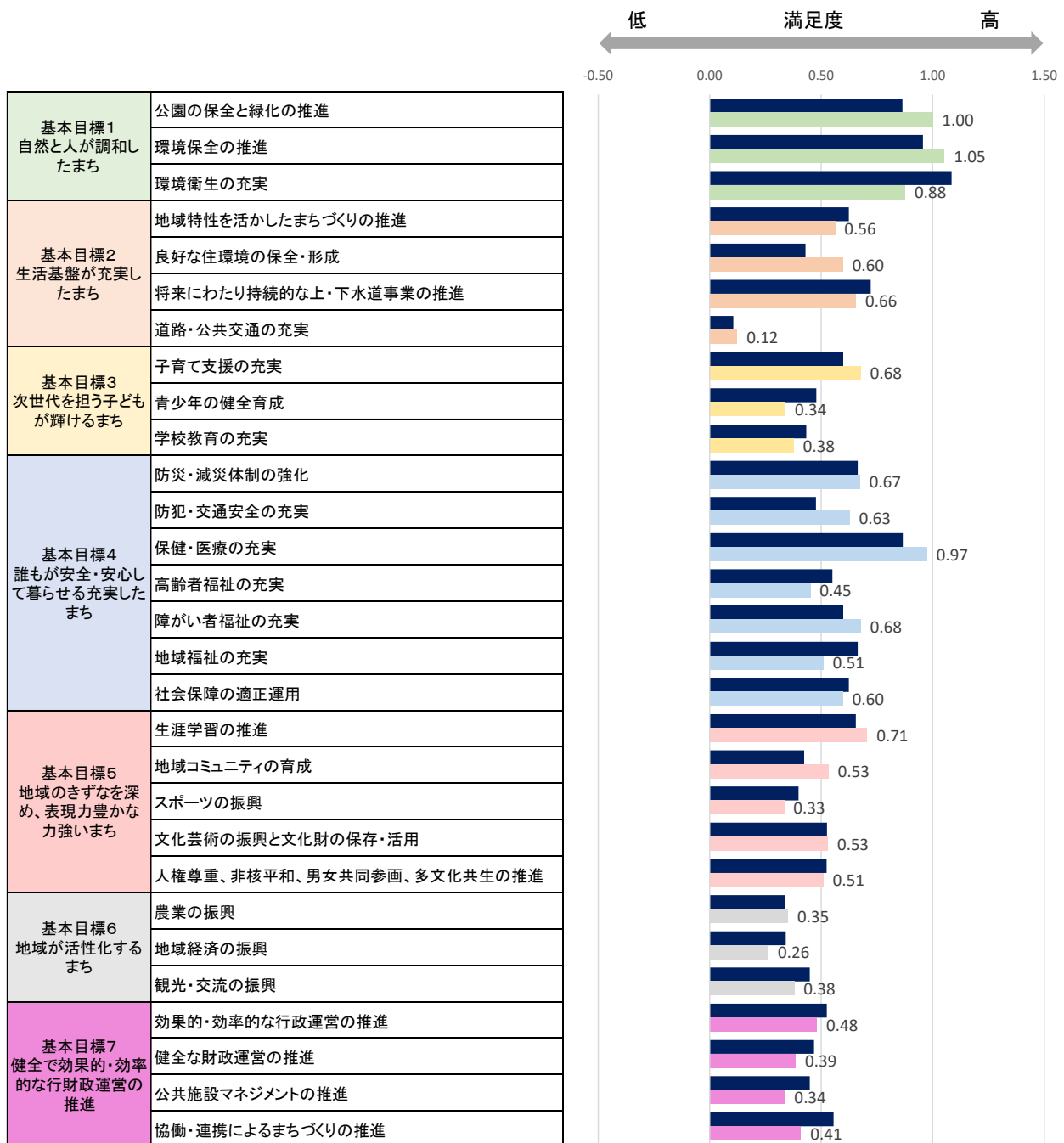


⑥真美ヶ丘第一小学校区

○満足度の上位3項目は、第1位が「環境保全の充実」の1.05点、第2位が「公園・緑地の保全」の1.00点、第3位が「保健・医療の充実」の0.97点となっています。

○満足度の下位3項目は、第1位が「道路・公共交通の充実」の0.12点、第2位が「地域経済の振興」の0.26点、第3位が「スポーツの振興」の0.33点となっています。

図表Ⅲ－３－６ 町の施策に対する現在の満足度（真美ヶ丘第一小学校区）



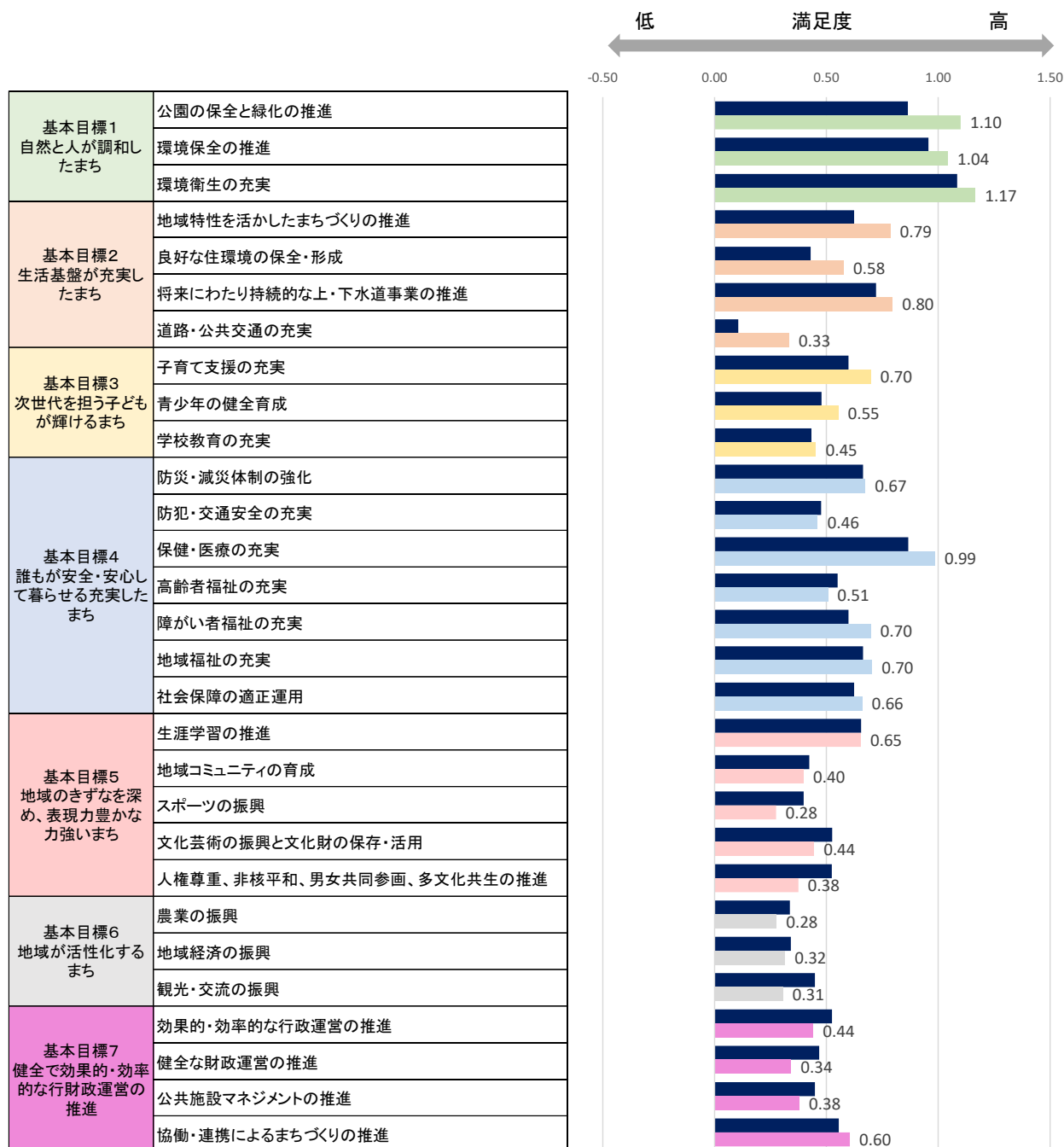
※ ■ 全体平均

⑦真美ヶ丘第二小学校区

○満足度の上位3項目は、第1位が「環境衛生の充実」の1.17点、第2位が「公園・緑地の保全」の1.10点、第3位が「環境保全の推進」の1.04点となっています。

○満足度の下位3項目は、第1位が「スポーツの振興」及び「農業の振興」の0.28点、第3位が「観光・交流の振興」の0.31点となっています。

図表Ⅲ－３－７ 町の施策に対する現在の満足度（真美ヶ丘第二小学校区）



※ 全体平均

（２）相対的にみた今後の重要度

－重要度では「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」、「防犯・交通安全の充実」など生活基盤、暮らしの安全・安心などに対する点数が高い傾向にある－

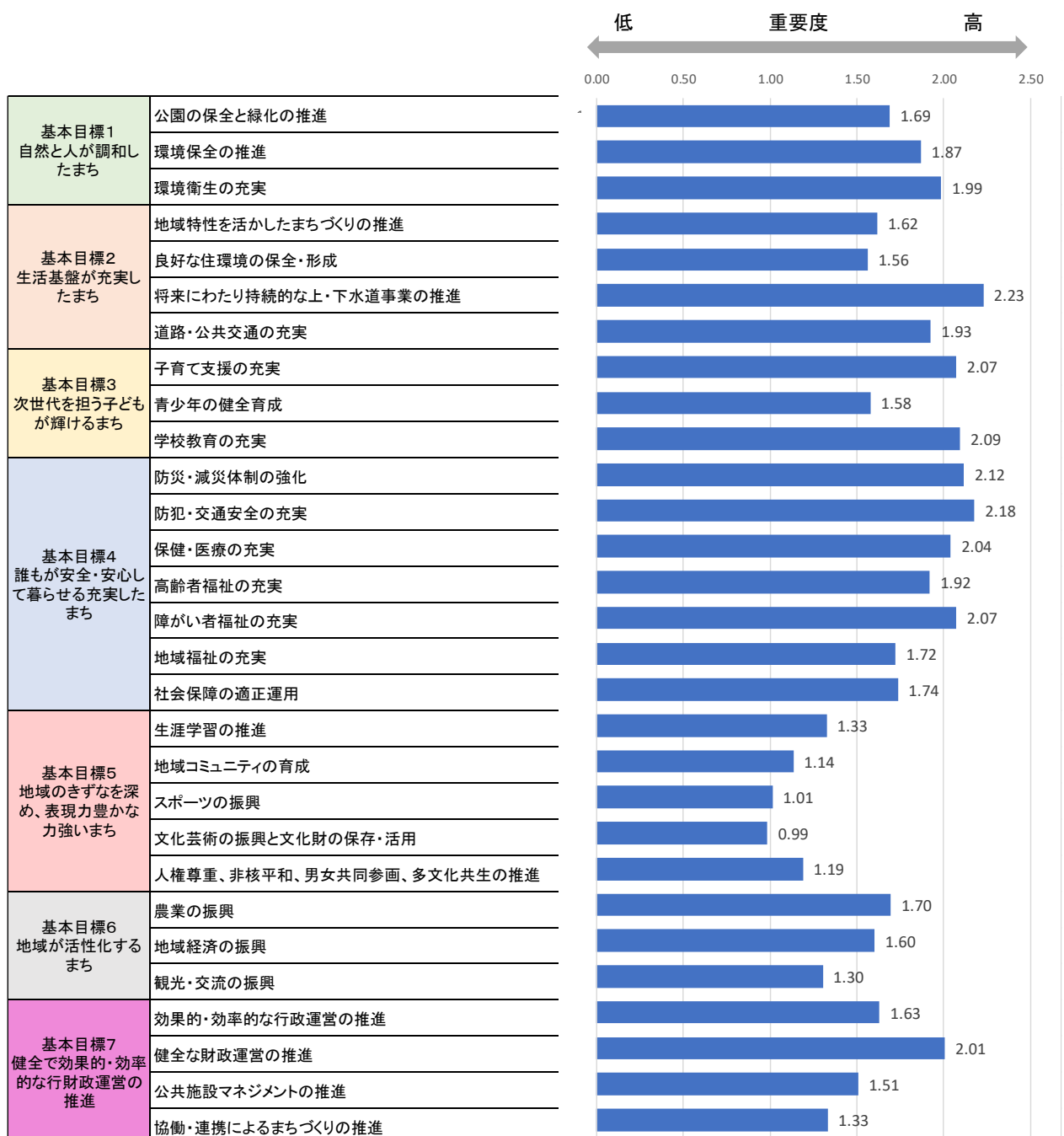
①町全体

○重要度の上位３項目は、第１位が「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」の２.２３、第２位が「防犯・交通安全の充実」の２.１８、第３位が「防災・減災体制の強化」の２.１２となっています。

②町全体と各小学校区における満足度の比較

○重要度の上位３項目は、満足度と同様に各小学校区においても町全体と概ね同様の傾向となっていますが、やはり加重平均値は住宅地としての成り立ちの違いなど、各小学校区の特性によって若干差があります。

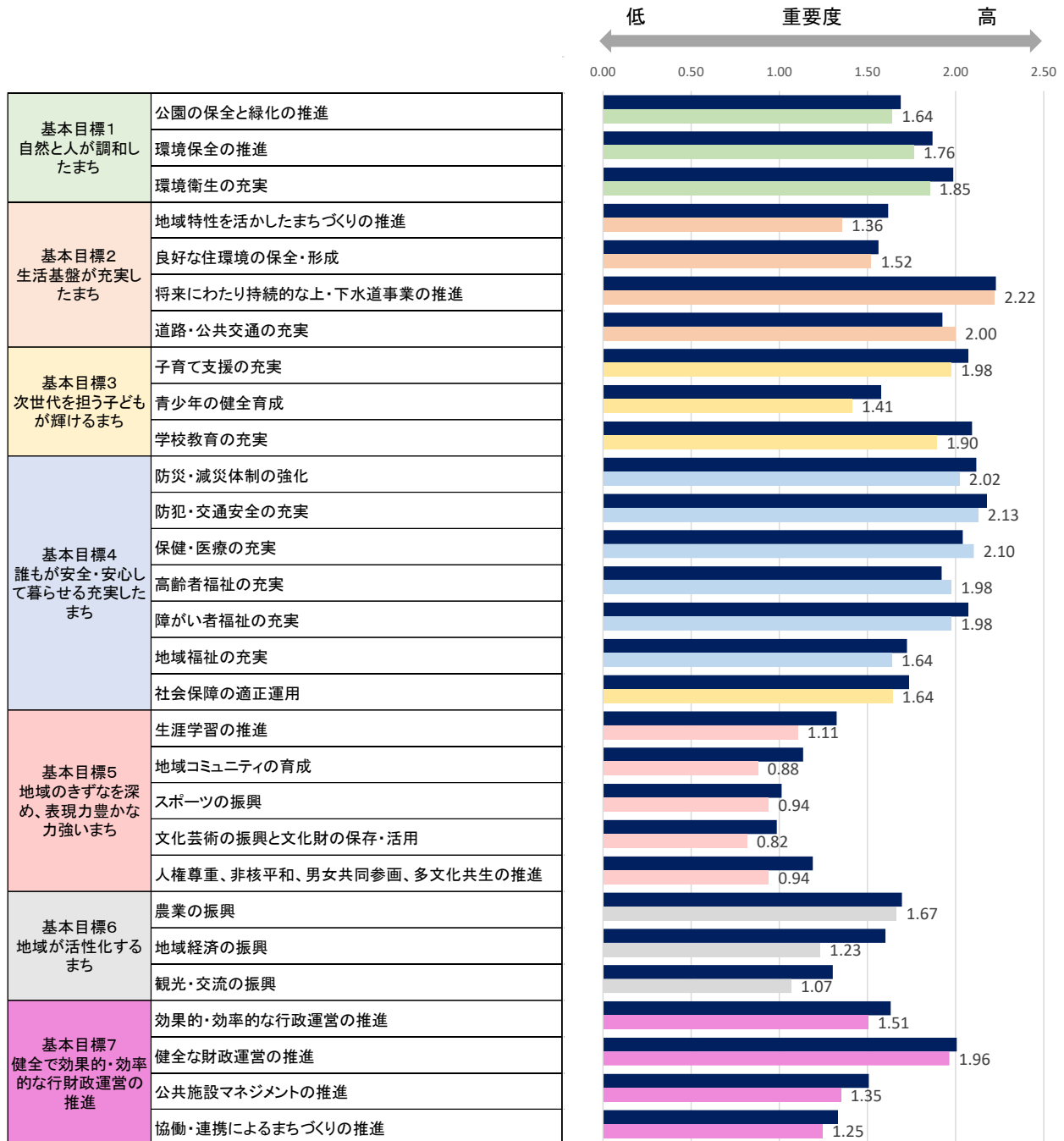
図表Ⅲ－３－８ 町の施策に対する今後の重要度（町全体）



③広陵東小学校区

○重要度の上位3項目は、第1位が「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」の2.22、第2位が「防犯・交通安全の充実」の2.13、第3位が「保健・医療の充実」の2.10となっています。

図表Ⅲ－３－９ 町の施策に対する今後の重要度（広陵東小学校区）

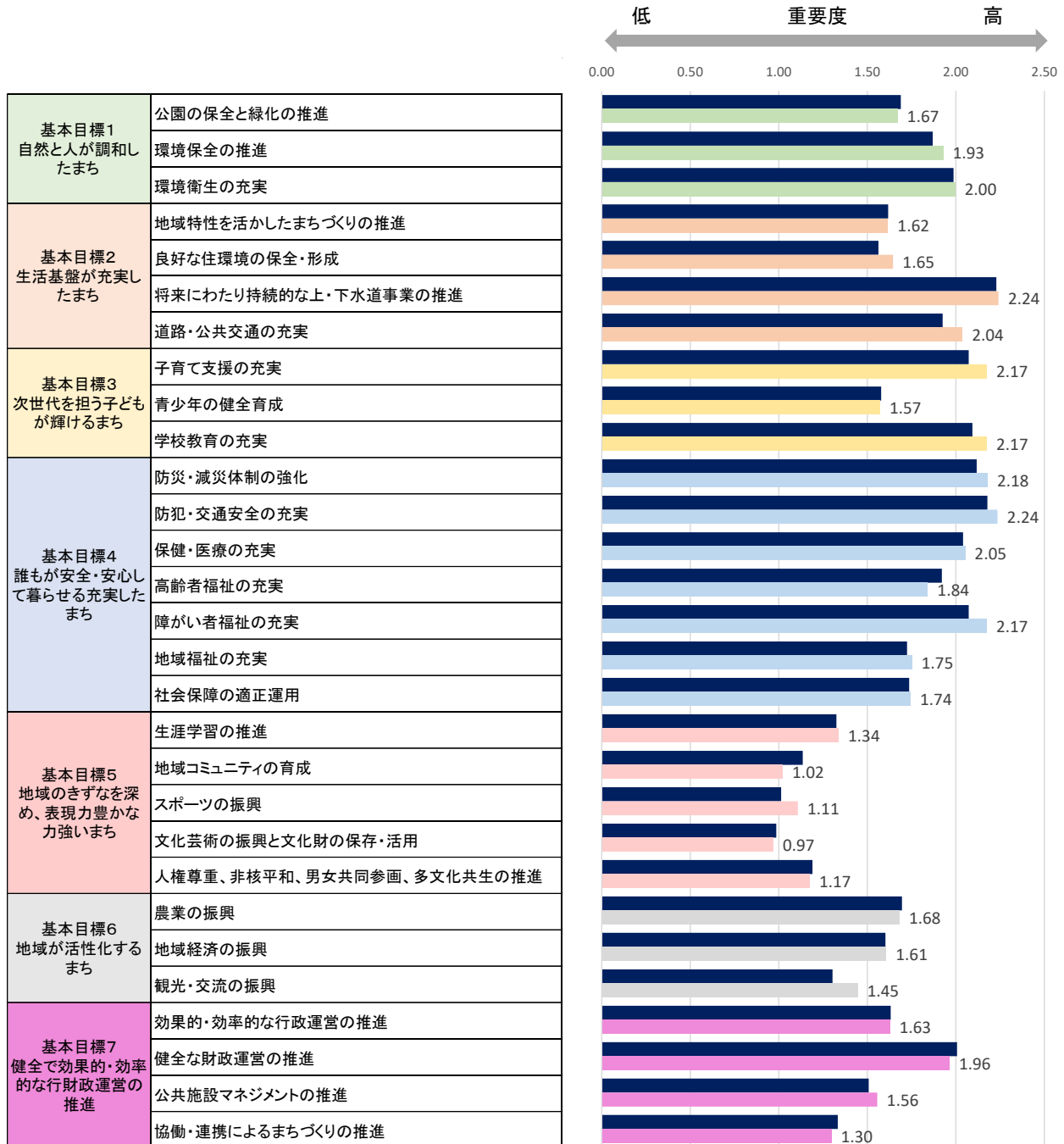


※ 全体平均

④広陵西小学校区

○重要度の上位3項目は、第1位が「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」及び「防犯・交通安全の充実」の2.24、第3位が「防災・減災体制の強化」の2.18となっています。

図表Ⅲ－3－10 町の施策に対する今後の重要度（広陵西小学校区）

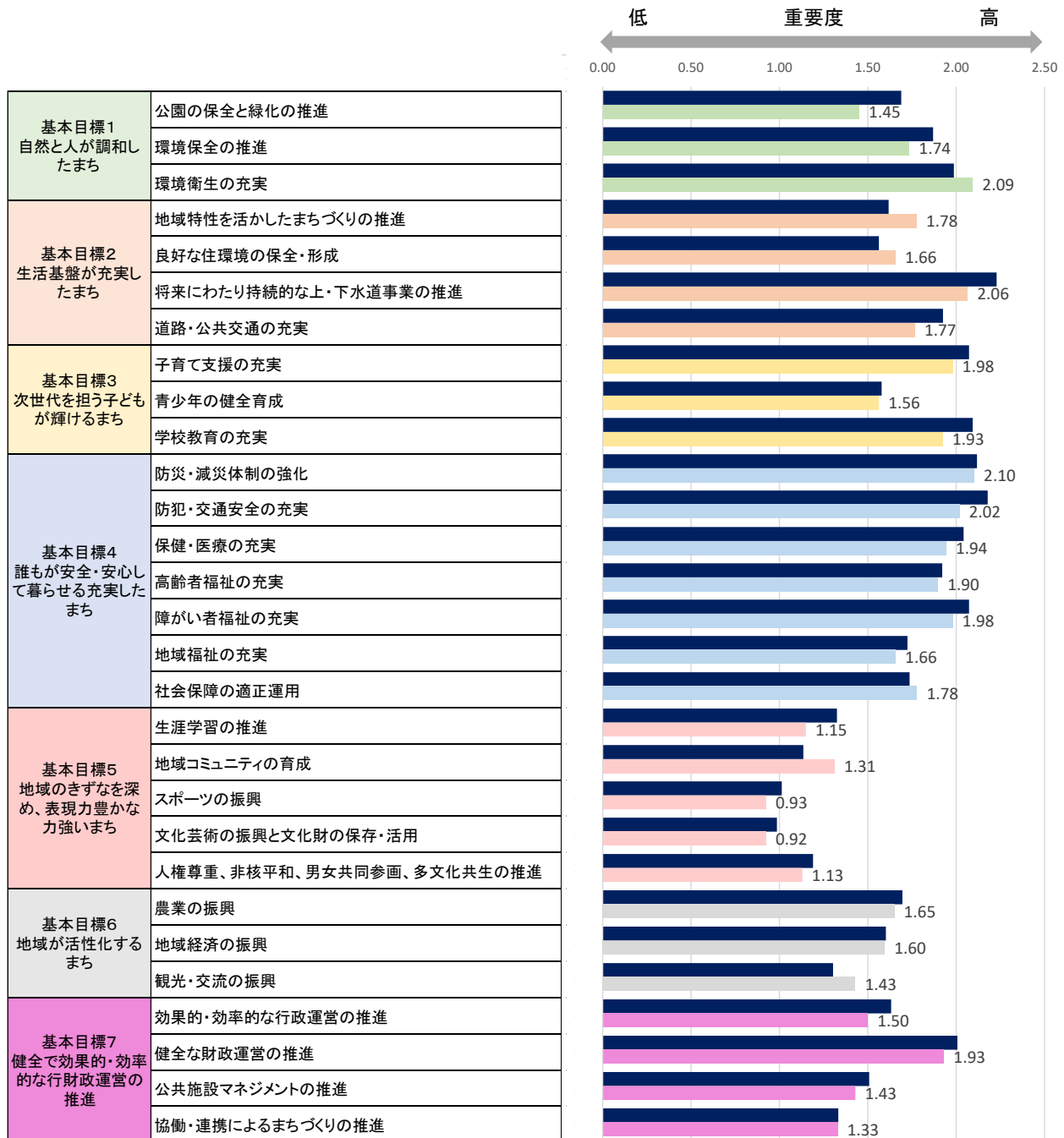


※ ■ 全体平均

⑤広陵北小学校区

○重要度の上位3項目は、第1位が「防災・減災体制の強化」の2.10、第2位が「環境衛生の充実」の2.09、第3位が「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」の2.06となっています。

図表Ⅲ－3－11 町の施策に対する今後の重要度（広陵北小学校区）

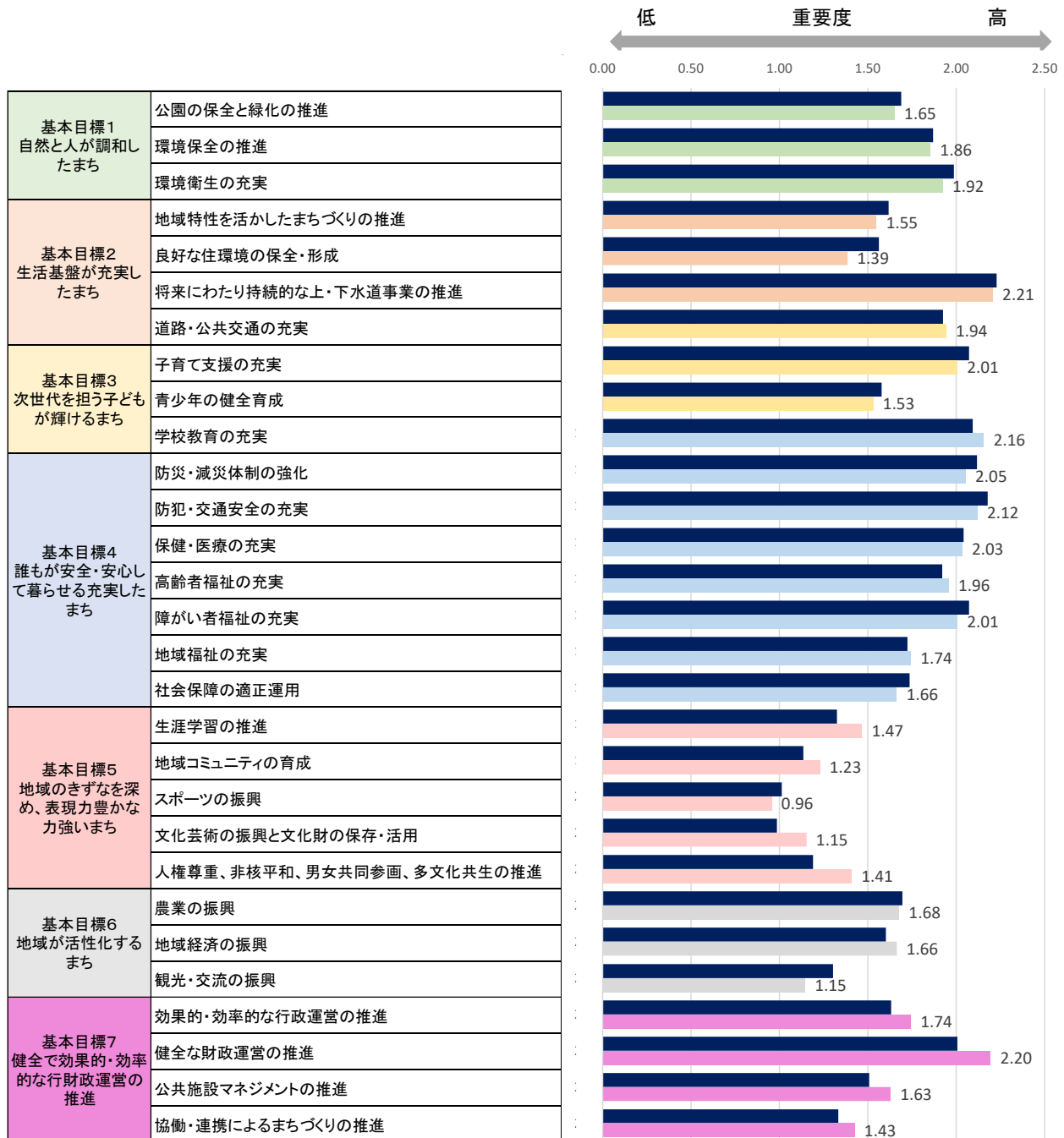


※ 全体平均

⑥真美ヶ丘第一小学校区

○重要度の上位3項目は、第1位が「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」の2.21、第2位が「健全な財政運営の推進」の2.20、第3位が「学校教育の充実」の2.16となっています。

図表Ⅲ－3－12 町の施策に対する今後の重要度（真美ヶ丘第一小学校区）

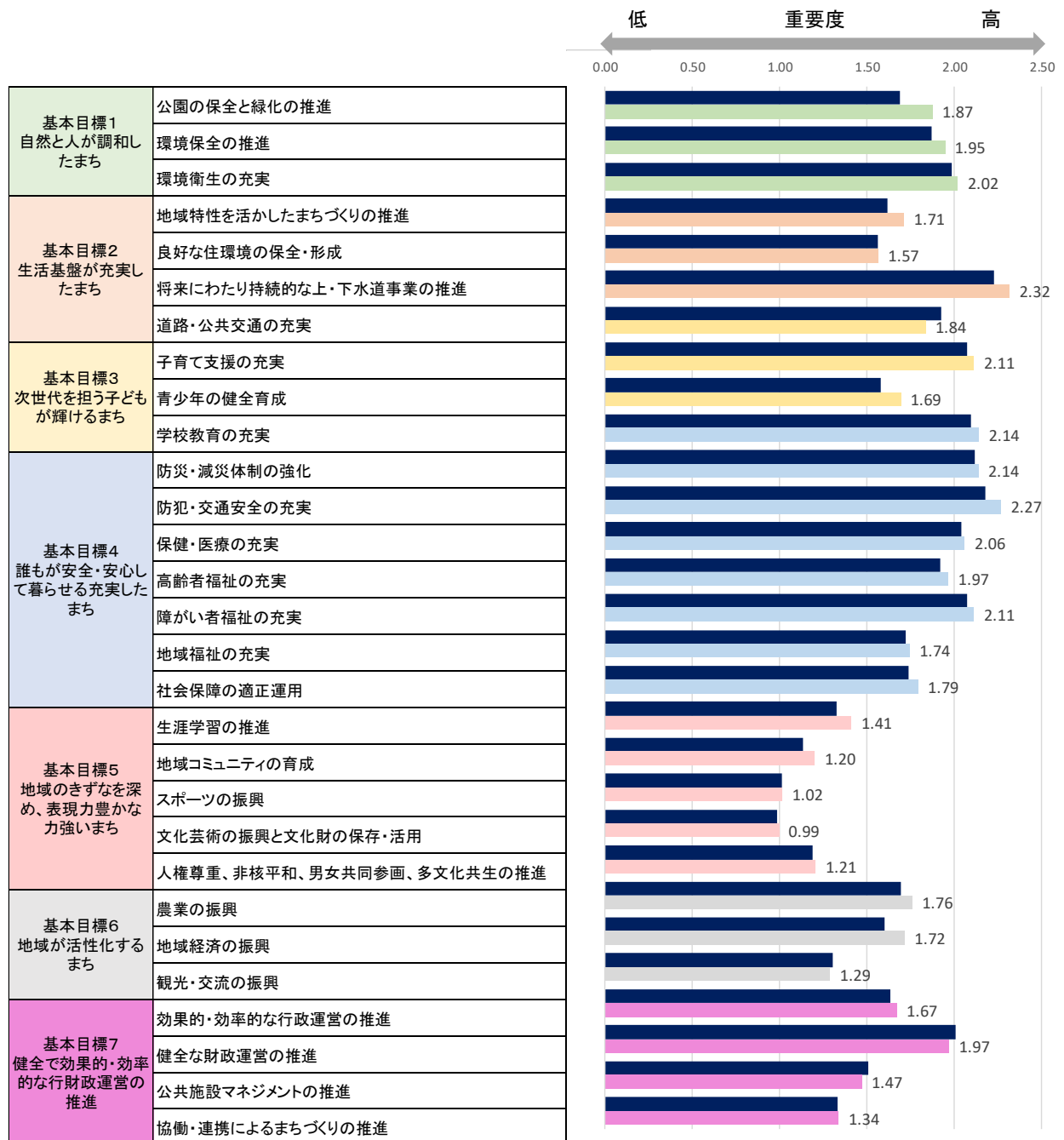


※ 全体平均

⑦真美ヶ丘第二小学校区

○重要度の上位3項目は、第1位が「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」の2.32、第2位が「保健・医療の充実」の2.27、第3位が「防災・減災体制の強化」及び「防犯・交通安全の充実」の2.14となっています。

図表Ⅲ－3－13 町の施策に対する今後の重要度（真美ヶ丘第二小学校区）



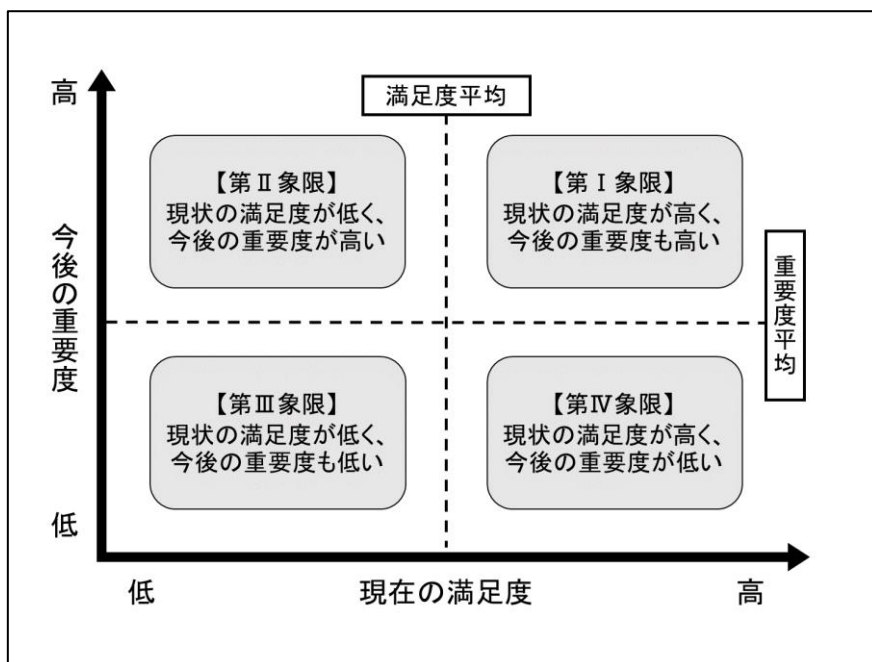
※ 全体平均

（３）現在の満足度と今後の重要度の２軸分析

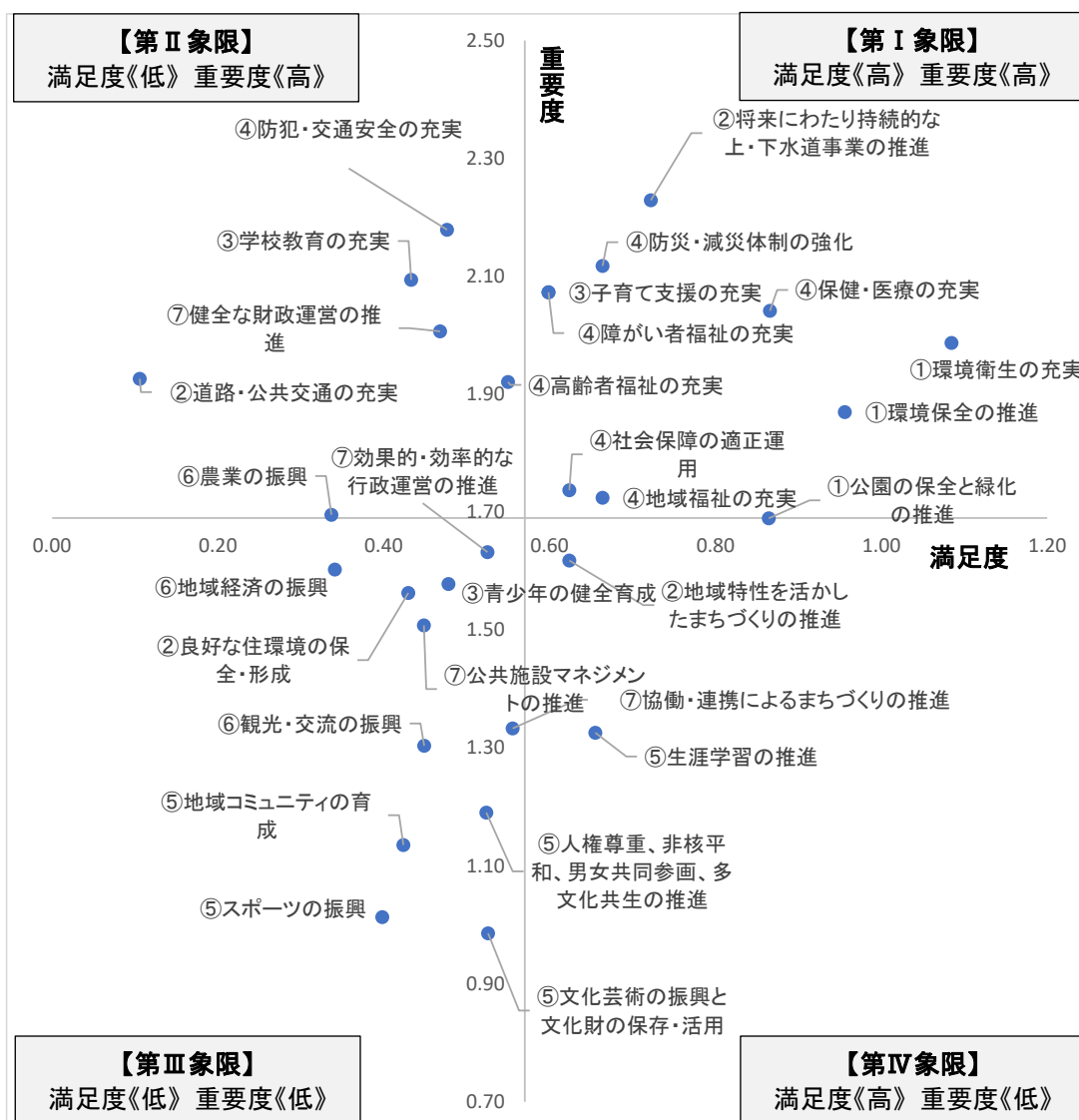
ー現在の満足度が低く、今後の重要度が高い施策は、 防犯・交通安全の充実、学校教育の充実、健全な財政運営の推進などー

○図表Ⅲ－３－１４、Ⅲ－３－１５では、横軸に「現在の満足度」の加重平均値、縦軸に「今後の重要度」の加重平均値を配置した２軸分析により、町の施策に対する住民の意識を相対的に可視化しています。

図表Ⅲ－３－１４ 「現在の満足度」と「今後の重要度」の２軸分析のイメージ



図表Ⅲ－３－１５ 「現在の満足度」と「今後の重要度」の２軸分析のまとめ



【第Ⅱ象限】満足度《低》 重要度《高》	【第Ⅰ象限】満足度《高》 重要度《高》
④防犯・交通安全の充実 ③学校教育の充実 ⑦健全な財政運営の推進 ②道路・公共交通の充実 ④高齢者福祉の充実 ⑥農業の振興	②将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進 ④防災・減災体制の強化 ③子育て支援の充実 ④障がい者福祉の充実 ④保健・医療の充実 ①環境衛生の充実 ①環境保全の推進 ④社会保障の適正運用 ④地域福祉の充実 ①公園の保全と緑化の推進
【第Ⅲ象限】満足度《低》 重要度《低》	【第Ⅳ象限】満足度《高》 重要度《低》
⑦効果的・効率的な行政運営の推進 ⑥地域経済の振興 ③青少年の健全育成 ②良好な住環境の保全・形成 ⑦公共施設マネジメントの推進 ⑦協働・連携によるまちづくりの推進 ⑥観光・交流の振興 ⑤人権尊重、非核平和、男女共同参画、多文化共生の推進 ⑤地域コミュニティの育成 ⑤スポーツの振興 ⑤文化芸術の振興と文化財の保存・活用	②地域特性を活かしたまちづくりの推進 ⑤生涯学習の推進

①: 基本目標1 自然と人が調和したまち
 ②: 基本目標2 生活基盤が充実したまち
 ③: 基本目標3 次世代を担う子どもが輝けるまち
 ④: 基本目標4 誰もが安全・安心して暮らせる充実したまち
 ⑤: 基本目標5 地域のきずなを深め、表現力豊かな力強いまち
 ⑥: 基本目標6 地域が活性化するまち
 ⑦: 基本目標7 健全で効果的・効率的な行財政運営の推進

＜第Ⅰ象限：現在の満足度が高く、今後の重要度も高い施策＞

- 「防災・減災体制の強化」や「保健・医療の充実」といった安全・安心に関する施策のほか、「環境衛生の充実」、「公園の保全と緑化の推進」など自然との調和に関する施策が分布しています。
- 前回調査時と比較すると、ほとんどの施策は引き続き第Ⅰ象限に分布していますが、前回第Ⅱ象限だった「障がい者福祉の充実」が今回第Ⅰ象限に分布しています。

＜第Ⅱ象限：現在の満足度が低く、今後の重要度が高い施策＞

- 「防犯・交通安全の充実」、「高齢者支援の充実」といった安全・安心に関する施策のほか、「学校教育の充実」、「健全な財政運営の推進」が分布しています。
- 前回調査時と比較すると、引き続き第Ⅱ象限に分布している施策もありますが、前回第Ⅰ象限だった「防犯・交通安全の充実」、前回第Ⅲ象限だった「農業の振興」が今回第Ⅱ象限に分布しています。

＜第Ⅲ象限：現在の満足度が低く、今後の重要度も低い施策＞

- 「効果的・効率的な行政運営の推進」や「協働・連携によるまちづくりの推進」のような行財政運営に関する施策や、「スポーツの振興」、「人権尊重、非核平和、男女共同参画、多文化共生の推進」などの施策が分布しています。
- 前回調査時と比較すると、ほとんどの施策は引き続き第Ⅲ象限に分布していますが、前回第Ⅳ象限だった「効果的・効率的な行政運営の推進」が今回第Ⅲ象限に分布しています。

＜第Ⅳ象限：現在の満足度が高く、今後の重要度が低い施策＞

- 「生涯学習の推進」、「地域特性を活かしたまちづくりの推進」が分布しています。
- 前回調査時と比較すると、「生涯学習の推進」は引き続き分布していますが、前回第Ⅲ象限だった「地域特性を活かしたまちづくりの推進」が今回第Ⅳ象限に分布しています。

参考：前回調査時との比較

【第Ⅱ象限】満足度《低》重要度《高》	【第Ⅰ象限】満足度《高》重要度《高》
④防犯・交通安全の充実（←前回：第Ⅰ象限） ③学校教育の充実（←前回：第Ⅱ象限） ⑦健全な財政運営の推進（←前回：なし） ②道路・公共交通の充実（←前回：第Ⅱ象限） ④高齢者福祉の充実（←前回：第Ⅱ象限） ⑥農業の振興（←前回：第Ⅲ象限）	②持続的な上・下水道事業の推進（←前回：第Ⅰ象限） ④防災・減災体制の強化（←前回：第Ⅰ象限） ③子育て支援の充実（←前回：第Ⅰ象限） ④障がい者福祉の充実（←前回：第Ⅱ象限） ④保健・医療の充実（←前回：第Ⅰ象限） ①環境衛生の充実（←前回：第Ⅰ象限） ①環境保全の推進（←前回：第Ⅰ象限） ④社会保障の適正運用（←前回：なし） ④地域福祉の充実（←前回：第Ⅰ象限） ①公園の保全と緑化の推進（←前回：第Ⅰ象限）
【第Ⅲ象限】満足度《低》重要度《低》	【第Ⅳ象限】満足度《高》重要度《低》
⑦効果的・効率的な行政運営の推進（←前回：第Ⅳ象限） ⑥地域経済の振興（←前回：第Ⅲ象限） ③青少年の健全育成（←前回：第Ⅲ象限） ②良好な住環境の保全・形成（←前回：第Ⅲ象限） ⑦公共施設マネジメントの推進（←前回：なし） ⑦協働・連携によるまちづくりの推進（←前回：なし） ⑥観光・交流の振興（←前回：第Ⅲ象限） ⑤人権尊重、非核平和、男女共同参画、多文化共生の推進（←前回：第Ⅲ象限） ⑤地域コミュニティの育成（←前回：第Ⅲ象限） ⑤スポーツの振興（←前回：第Ⅲ象限） ⑤文化芸術の振興と文化財の保存・活用（←前回：第Ⅲ象限）	②地域特性を活かしたまちづくりの推進（←前回：第Ⅲ象限） ⑤生涯学習の推進（←前回：第Ⅳ象限）

4 施策ごとの現在の満足度及び不満の理由、今後の重要度・注力度

(1) 自然と人が調和したまち

①公園の保全と緑化の推進

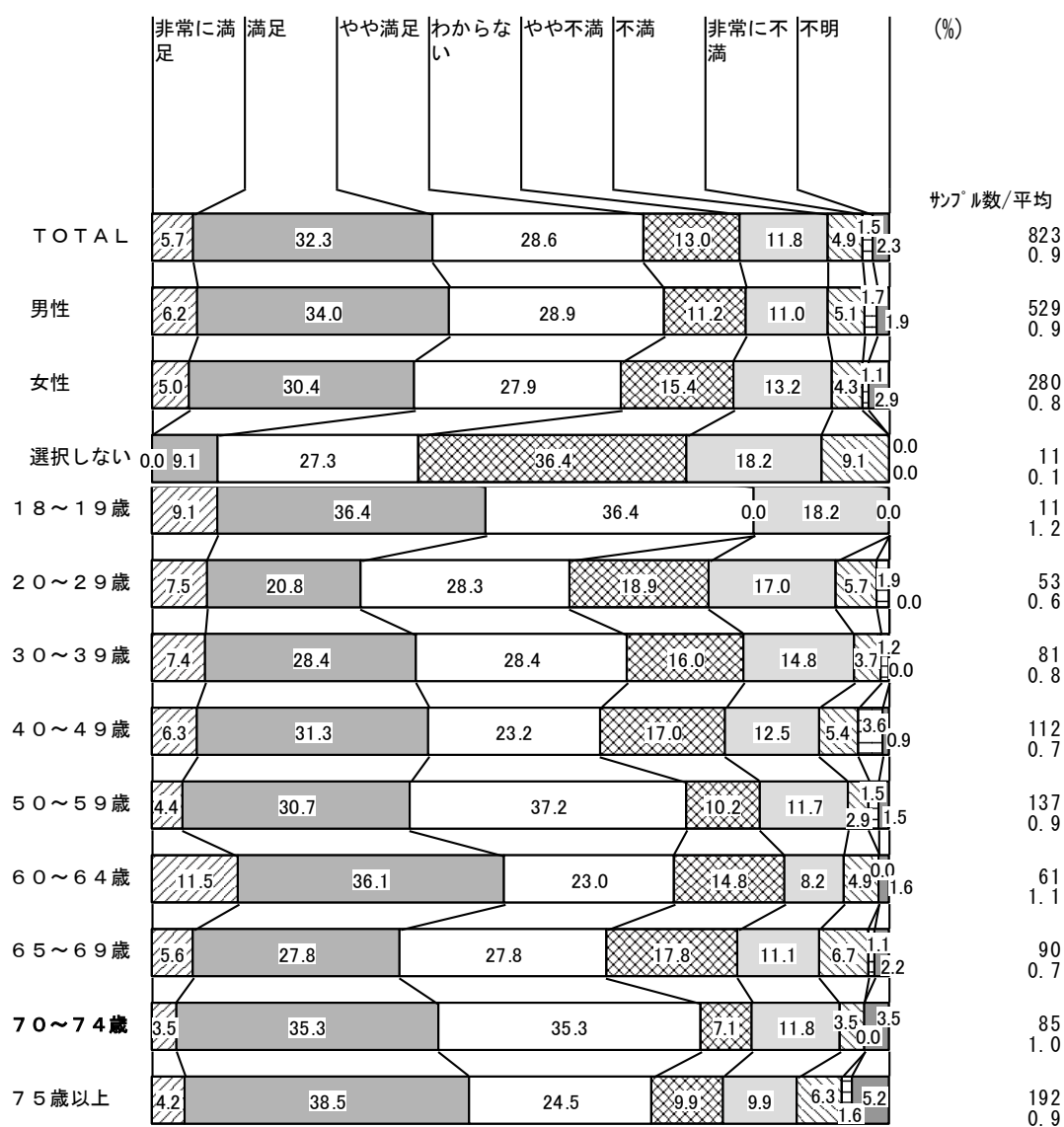
－不満の理由は、「公園・緑地の管理が不十分」が最も高い－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が 66.6%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の 18.2%を 48.4 ポイント上回っており、「わからない」が 28.6%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19 歳」が 81.9%で最も高く、「70 代」が 74.1%でこれに次いでいます。また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「20 代」が 24.9%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－４－１ 「公園の保全と緑化の推進」に対する現在の満足度（性別、年齢別）

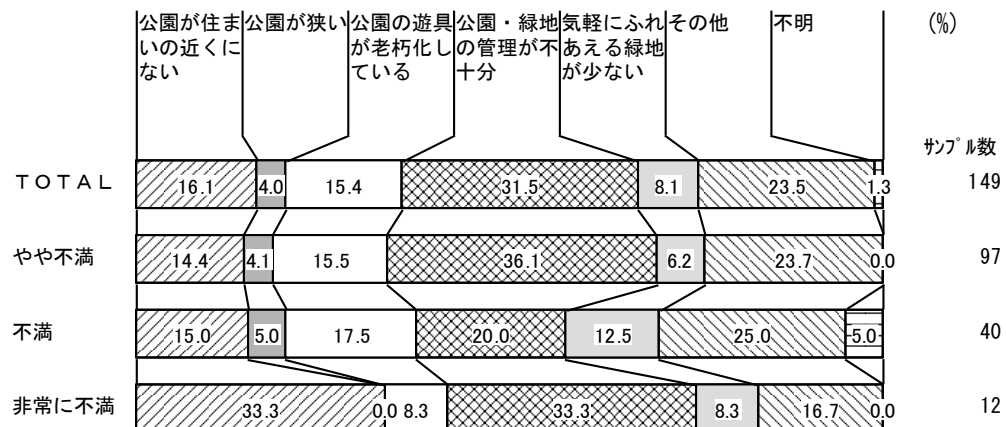


(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

- 当該施策に「やや不満」、「不満」、「非常に不満」と回答した人に対し、不満の理由を質問した結果（以下同様）、全体では、「公園・緑地の管理が不十分」が31.5%で最も割合が大きくなっています。
- 不満度別にみても、「やや不満」では、「公園・緑地の管理が不十分」が最も大きくなっていますが、「非常に不満」では、「公園が近くにない」も同じく大きくなっています。

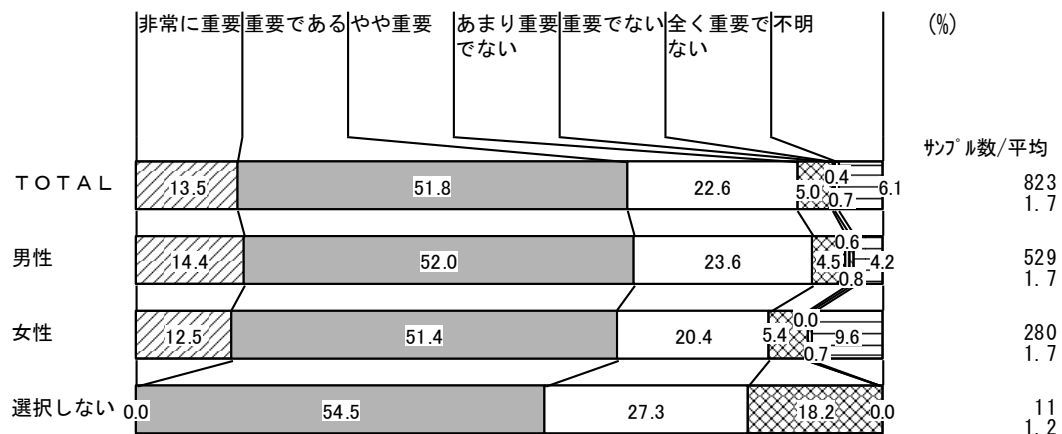
図表Ⅲ－４－２ 「公園の保全と緑化の推進」に対する不満の理由（不満度別）



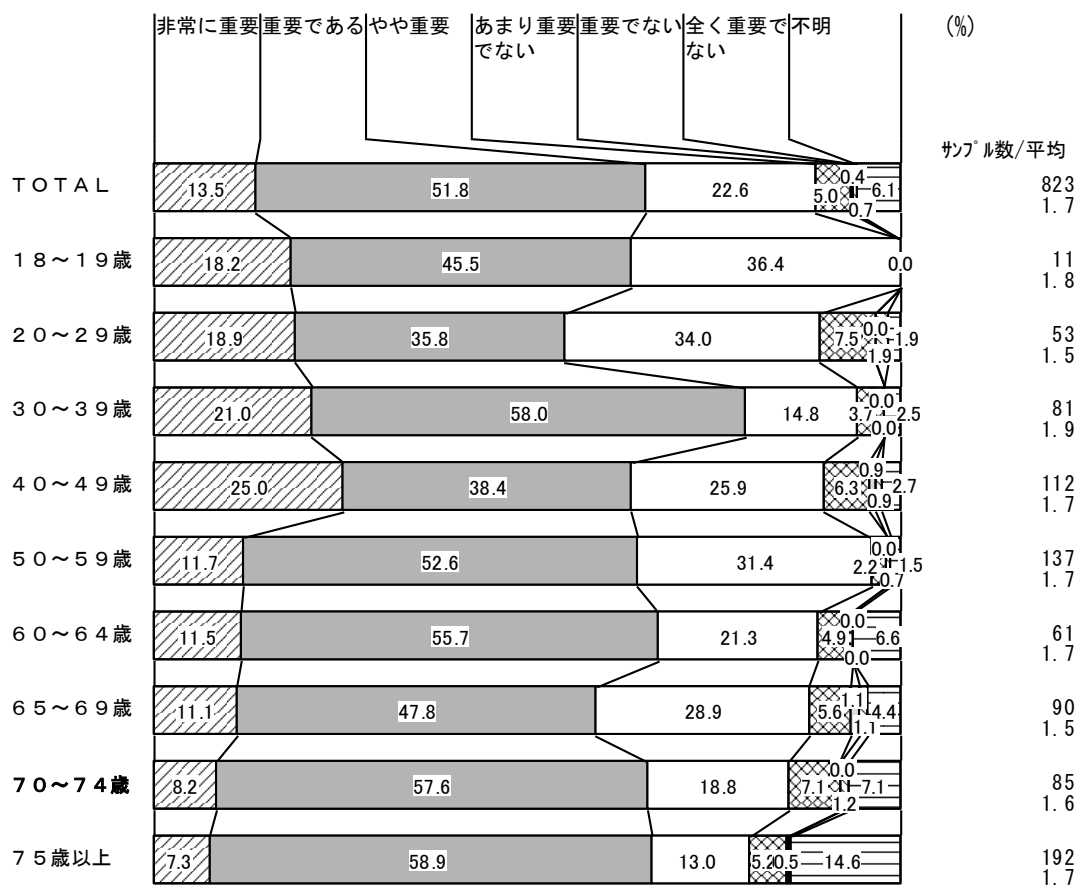
＜今後の重要度＞

- 全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が87.9%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要でない」＋「全く重要でない」）が6.1%となっています。
- 年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）はいずれの年代でも割合が大きくなっており、その中でも「18～19歳」は100%になっています。

図表Ⅲ－４－３ 「公園の保全と緑化の推進」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



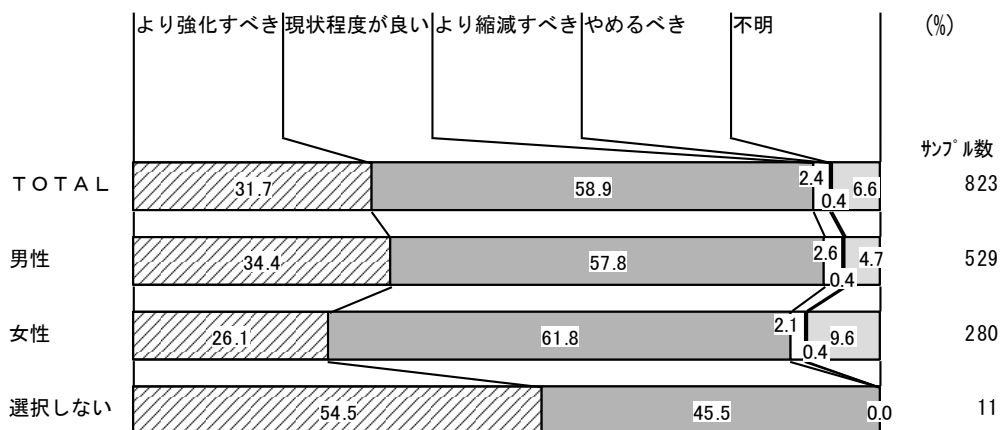
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

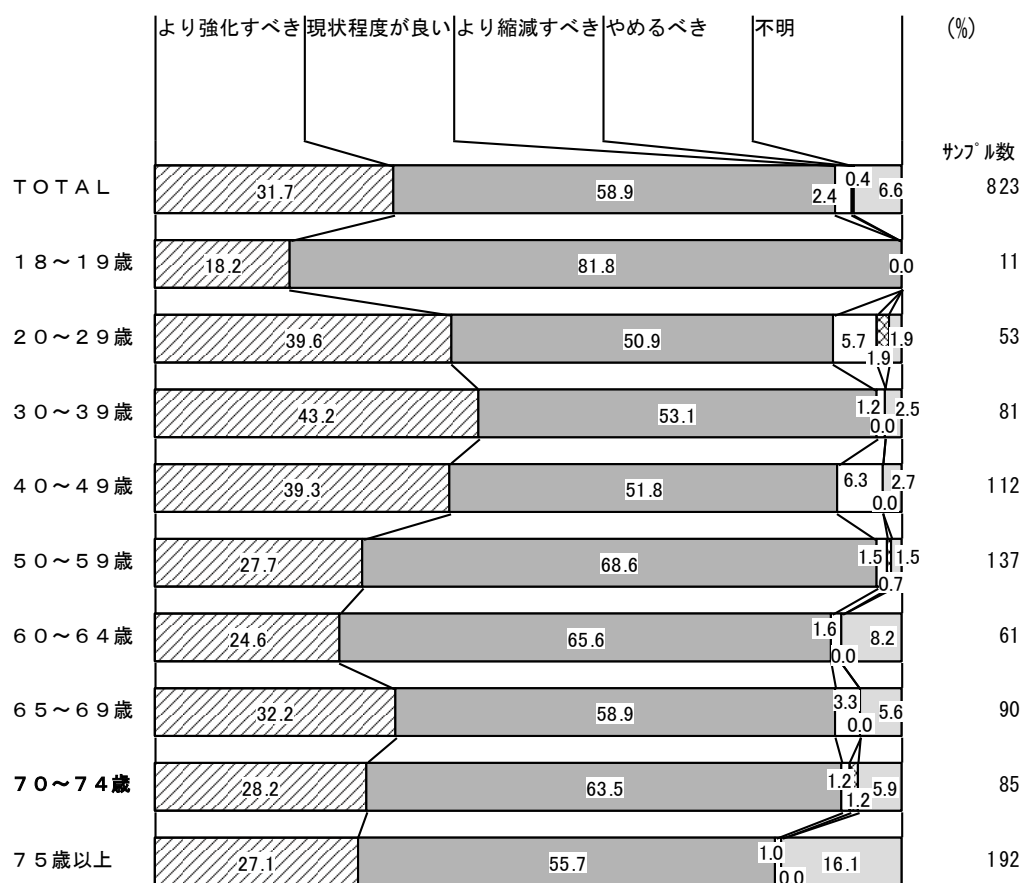
○全体では、「より強化すべき」が 31.7%、「現状程度がよい」が 58.9%となっています。

○年代別にみると、「より強化すべき」は「20代」、「30代」及び「40代」が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－４ 「公園の保全と緑化の推進」に対する今後の注力度（性別、年齢別）（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

②環境保全の推進

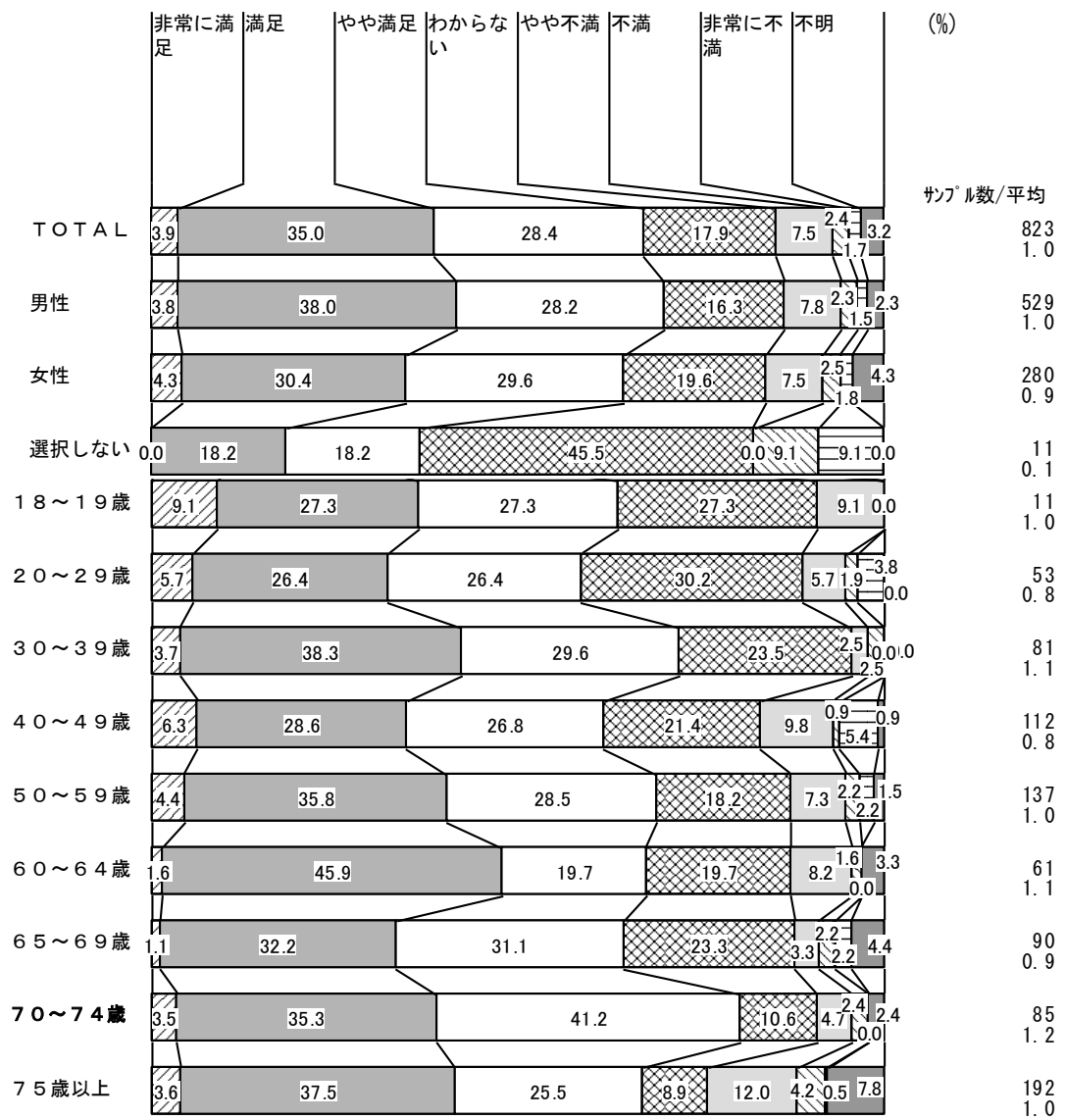
－不満の理由は、「住民主体の環境保全・美化活動への支援が不十分」が高い－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が67.3%で、「不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）」の11.6%を55.7ポイント上回っており、「わからない」が17.9%となっています。

○年代別にみると、「満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）」は、「70歳以上」が80.0%で最も大きくなっています。また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「75歳以上」が16.7%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－５ 「環境保全の推進」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



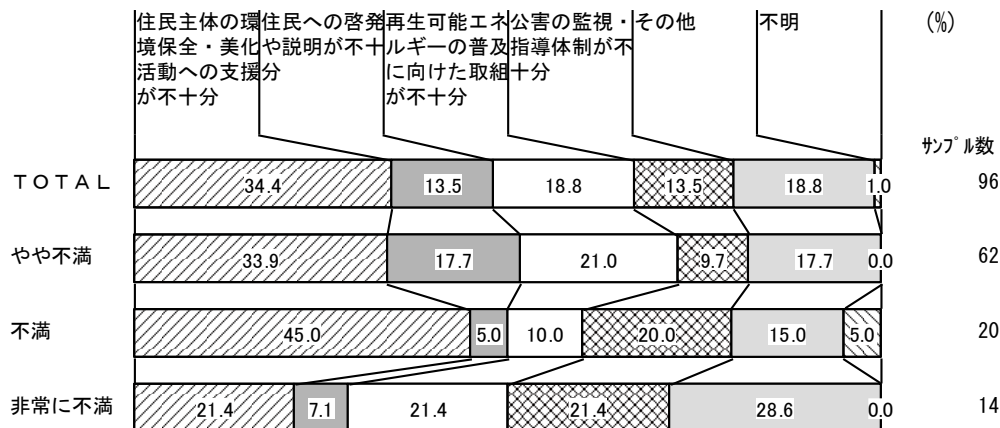
（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

○全体では、「住民主体の環境保全・美化活動への支援が不十分」が 34.4%で最も割合が大きくなっています。

○不満度別にみると、「やや不満」と「不満」では「住民主体の環境保全・美化活動への支援が不十分」が特に割合が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－６ 「環境保全の推進」に対する不満の理由（不満度別）

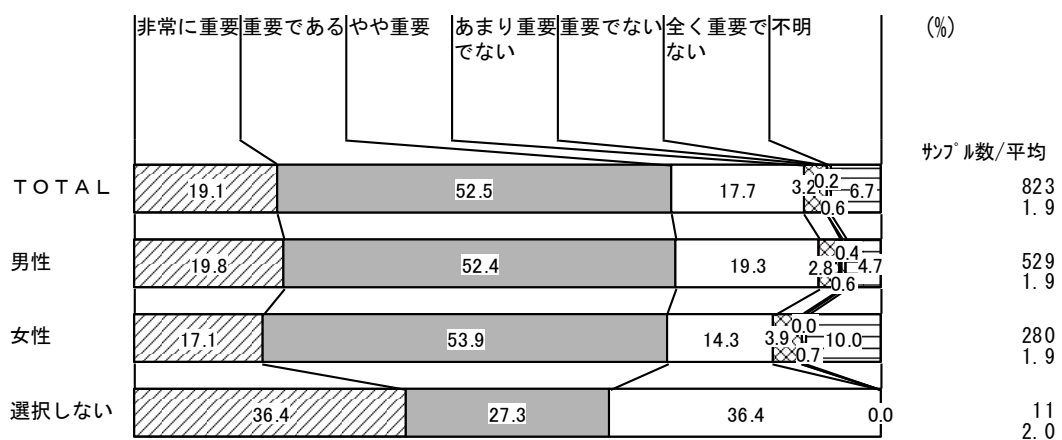


＜今後の重要度＞

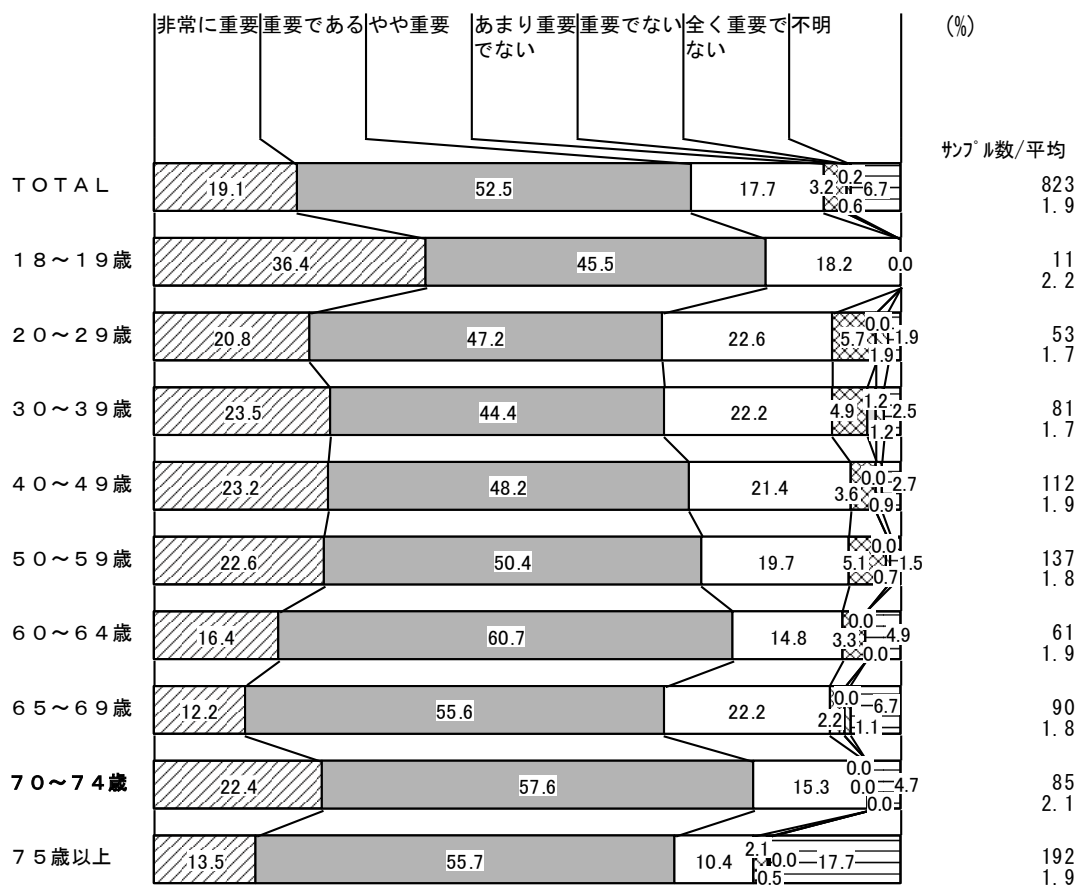
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 89.3%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 4.0%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は「不明」の多い「75歳以上」以外はいずれの年代も 90%台となっており、その中でも「18～19歳」は 100%となっています。

図表Ⅲ－４－７ 「環境保全の推進」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



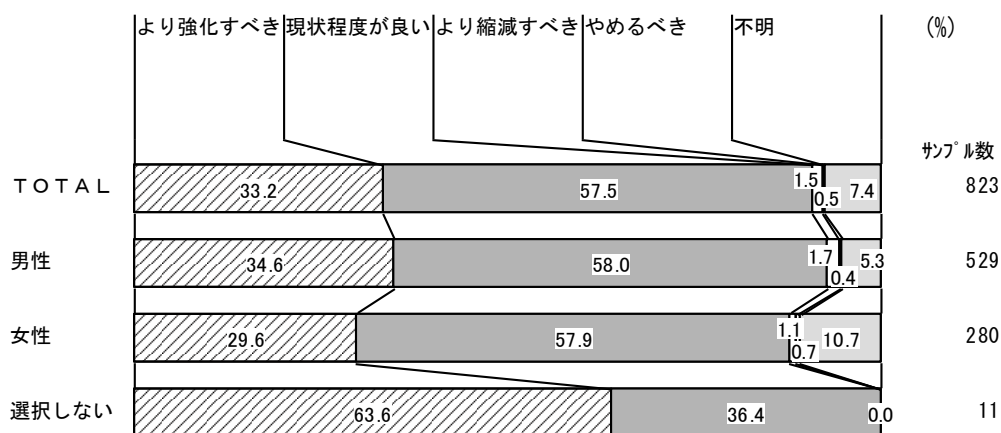
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

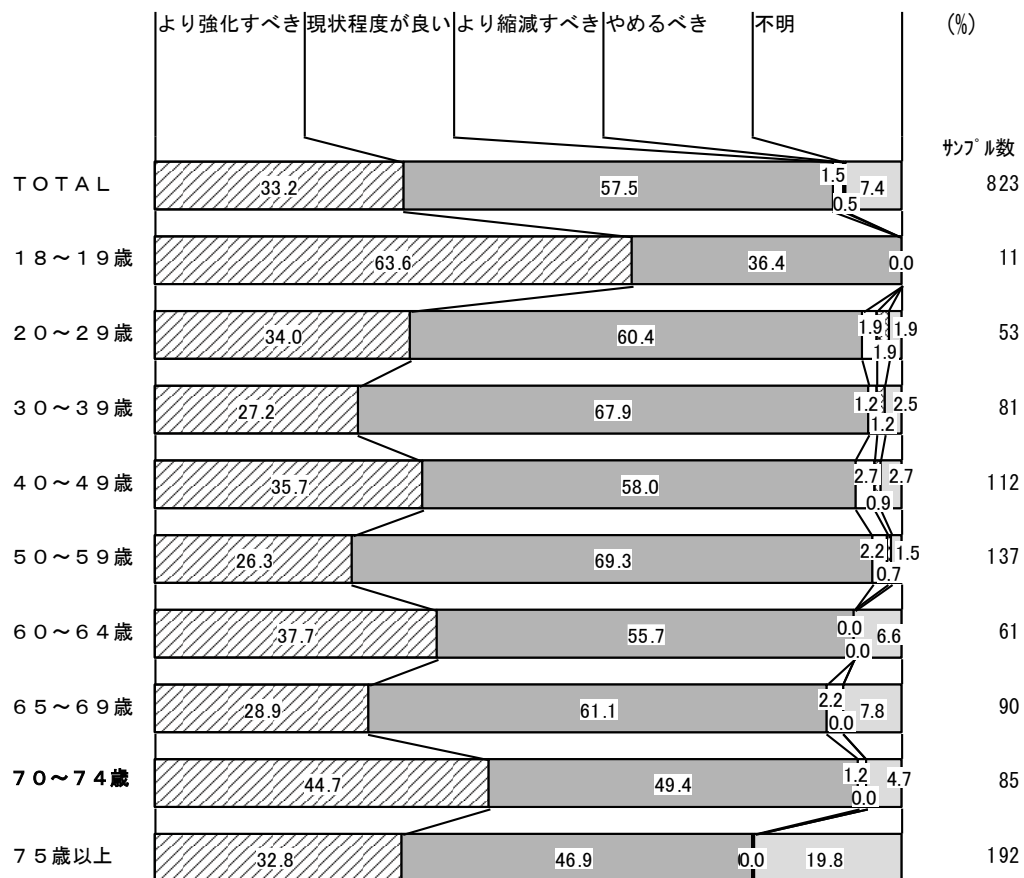
○全体では、「より強化すべき」が 33.2%、「現状程度がよい」が 57.5%となっています。

○年代別にみると、「18～19 歳」では「より強化すべき」が 63.5%となっています。

図表Ⅲ－４－８ 「環境保全の推進」に対する今後の注力度（性別、年齢別）（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

③環境衛生の充実

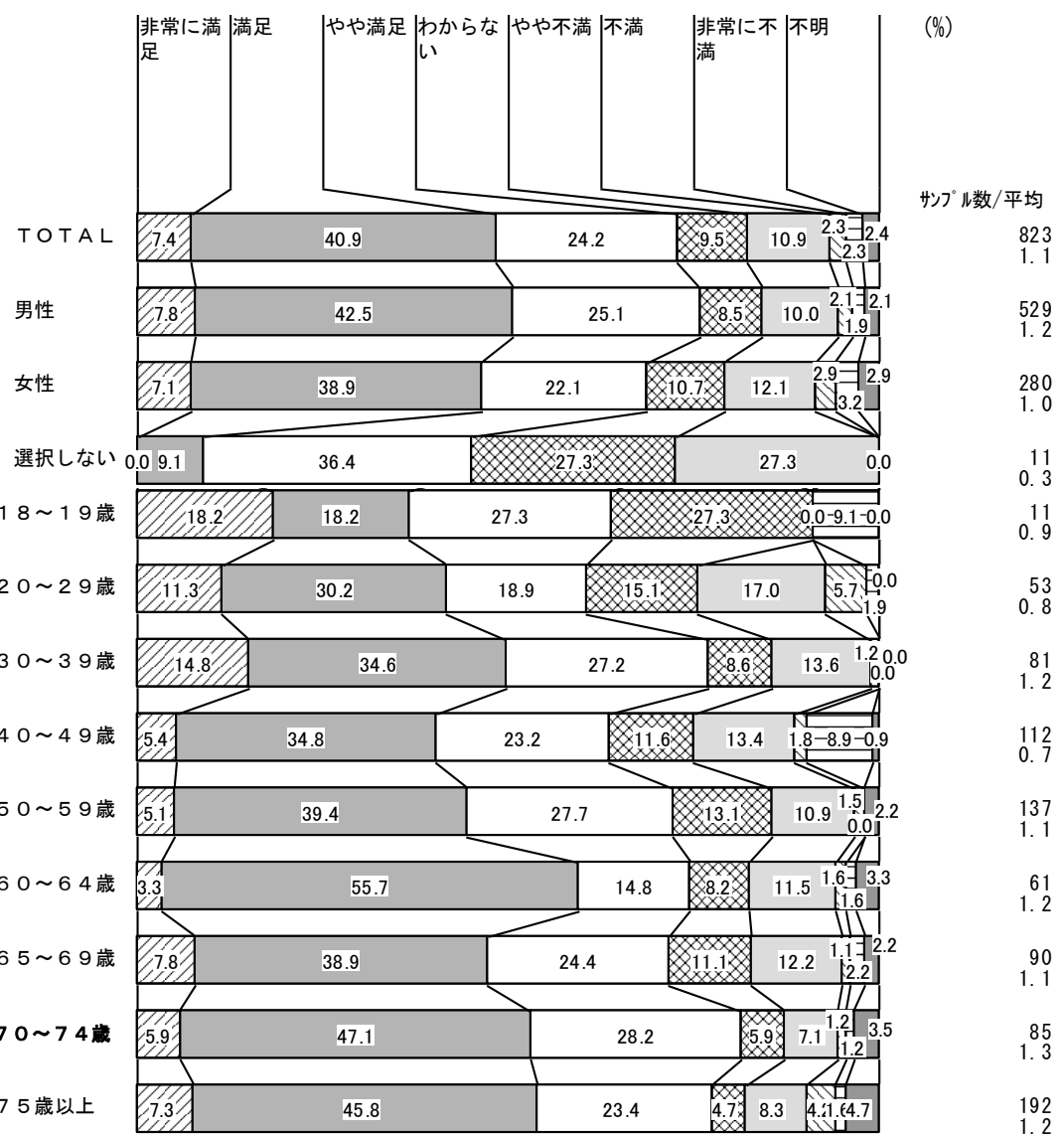
－不満の理由は、「ごみの分別・排出ルールが不十分」などが高くなっている－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が72.4%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の15.5%を56.9ポイント上回っており、「わからない」が9.5%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は、「70～74歳」、「30代」などでは70%を超えています。

図表Ⅲ－４－９ 「環境衛生の充実」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



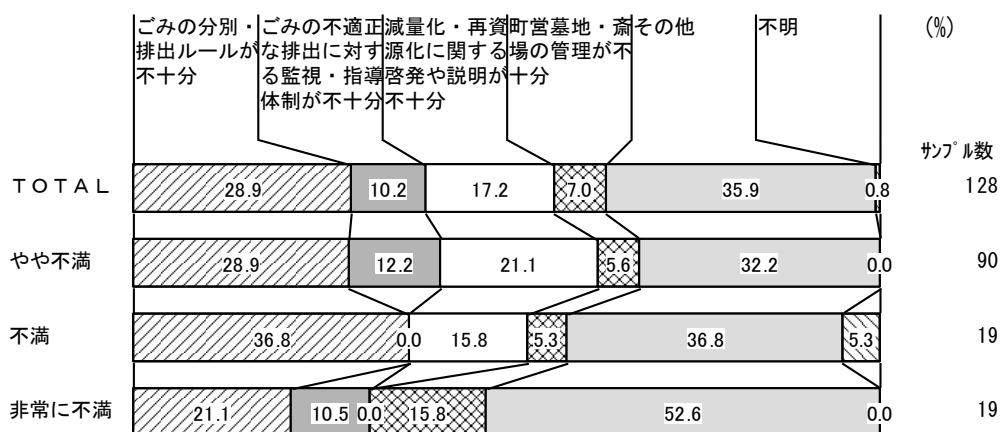
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜不満の理由＞

○全体では、ごみの再資源化の具体的内訳を明らかにして欲しいなどの理由で「その他」が35.9%で最も高く、次いで「ごみの分別・排出ルールが不十分」の28.9%となっています。

○不満度別にみても、いずれも「その他」が最も大きくなっていますが、「不満」では「ごみの分別・排出ルールが不十分」が同じ割合で大きくなっています。

図表Ⅲ－４－１０ 「環境衛生の充実」に対する不満の理由（不満度別）

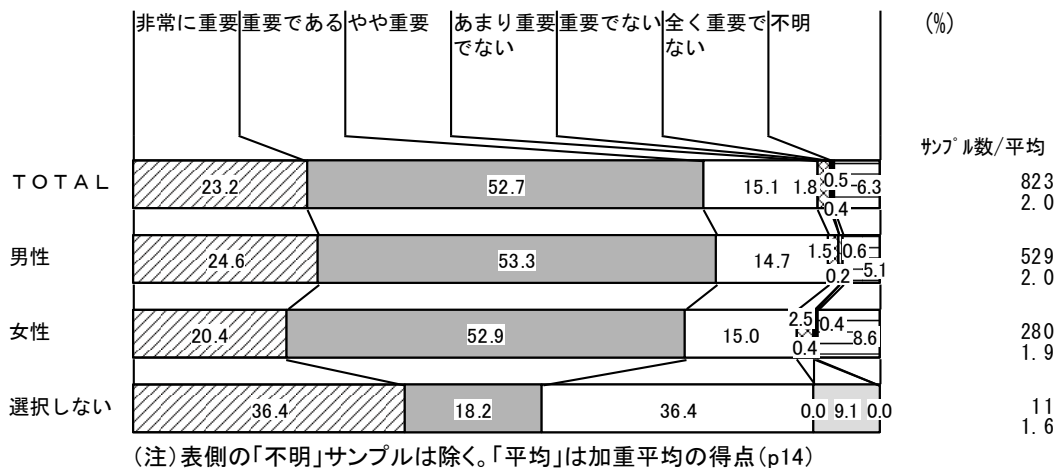


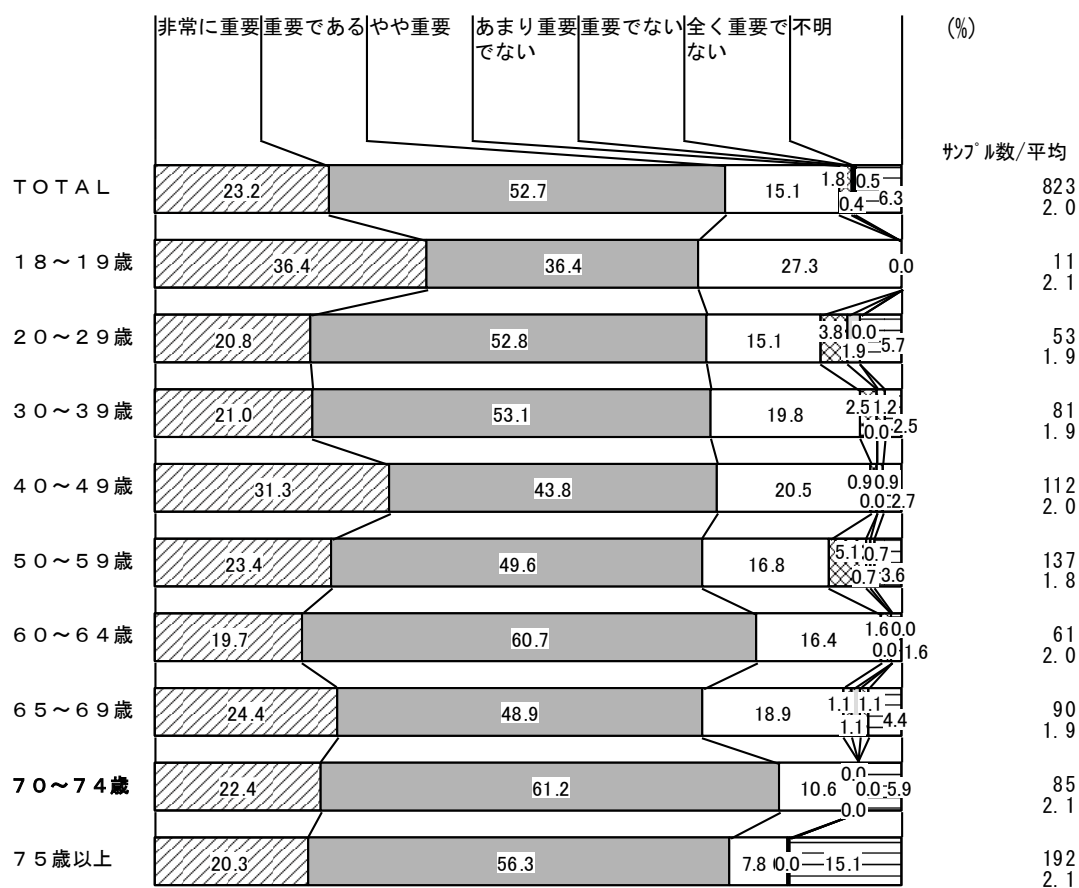
＜今後の重要度＞

○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が91.0%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が2.7%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）はいずれの年代も80%を超えており、その中でも「18～19歳」は100.0%となっています。

図表Ⅲ－４－１１ 「環境衛生の充実」に対する今後の重要度（性別、年齢別）





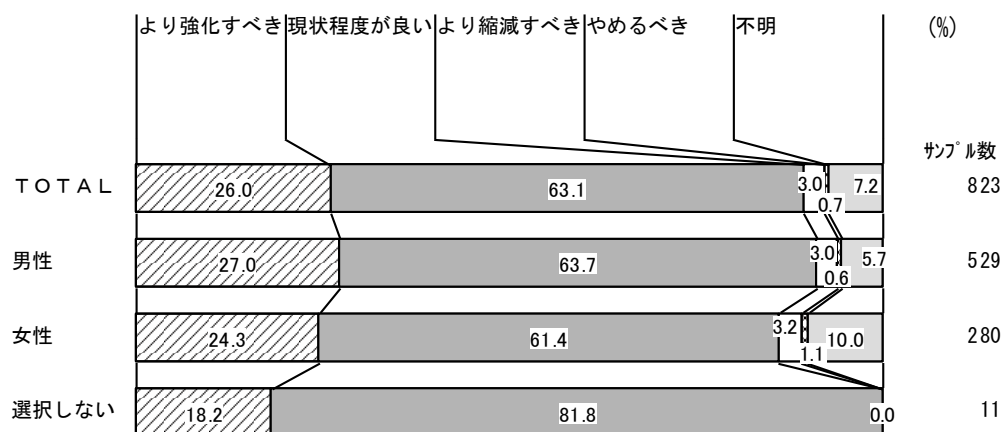
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

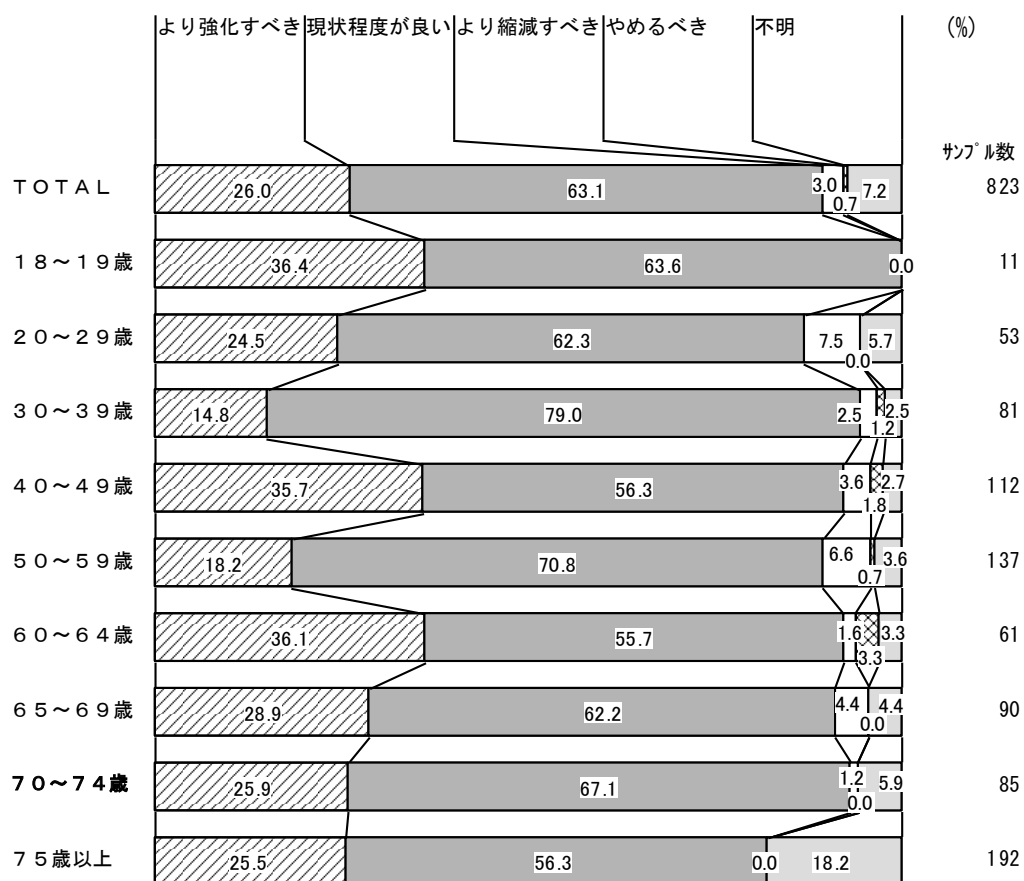
○全体では、「より強化すべき」が26.0%、「現状程度がよい」が63.1%となっています。

○年代別にみると、全ての年代では「現状程度がよい」が最も大きくなっていますが、「18～19歳」などでは「より強化すべき」も割合が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－12 「環境衛生の充実」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

(2) 生活基盤が充実したまち

④地域特性を活かしたまちづくりの推進

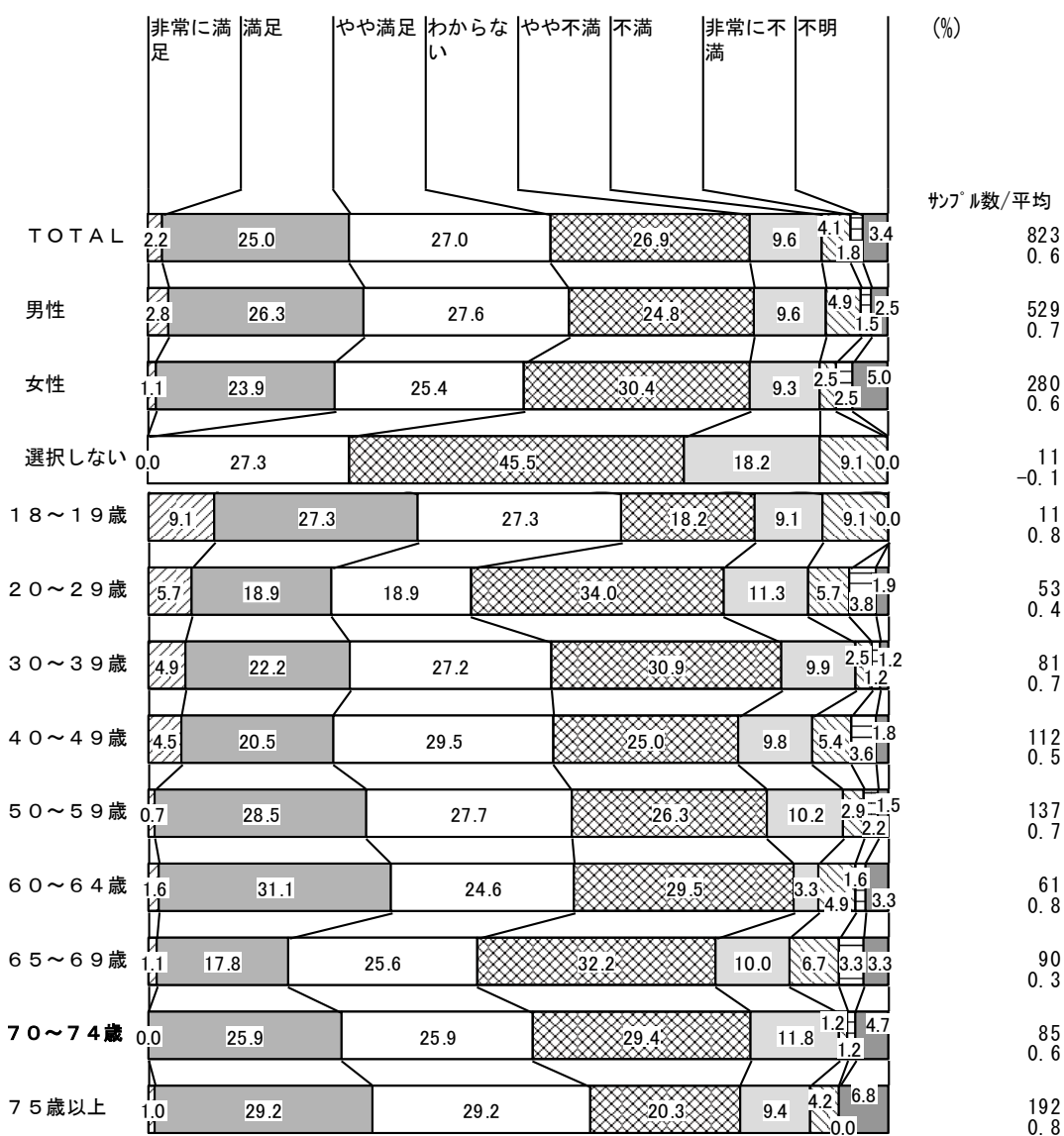
―不満の理由は、「良好な住環境を守るための取組が不十分」が最も高く、
次いで「秩序ある土地利用の規制・誘導が不十分」となっている―

<現在の満足度>

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が54.2%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の15.5%を38.7ポイント上回っており、「わからない」が26.9%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「75歳以上」が50.5%で最も大きくなっていますが、多くの年代では「わからない」の比率も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－１３ 「地域特性を活かしたまちづくりの推進」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



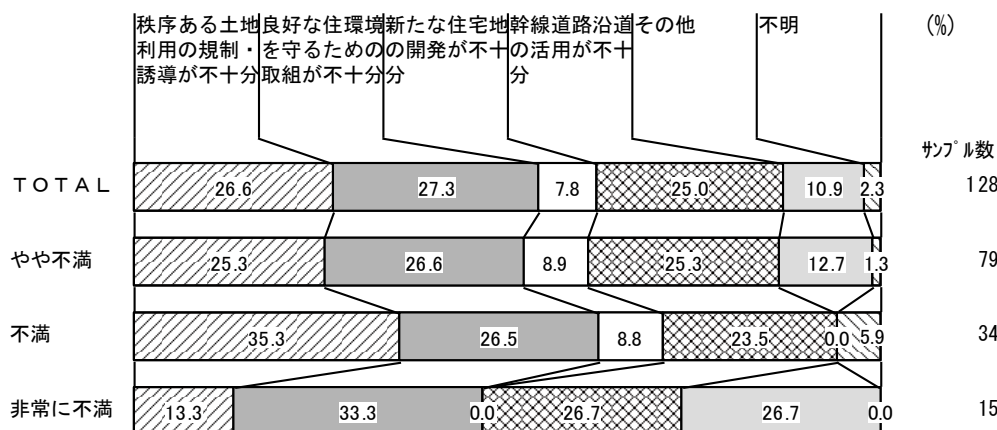
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜不満の理由＞

○全体では、「良好な住環境を守るための取組が不十分」が 27.3%で最も高く、次いで「秩序ある土地利用の規制・誘導が不十分」の 26.6%となっています。

○不満度別にみると、いずれも「良好な住環境を守るための取組が不十分」と回答した人の割合が大きくなっていますが、「非常に不満」では「幹線道路沿道の活用が不十分」なども大きくなっています。

図表Ⅲ－４－14 「地域特性を活かしたまちづくりの推進」に対する不満の理由（不満度別）

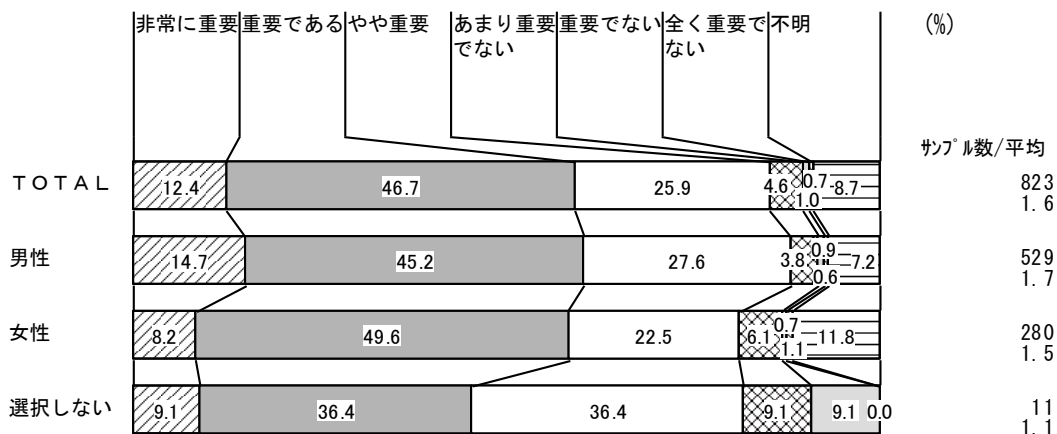


＜今後の重要度＞

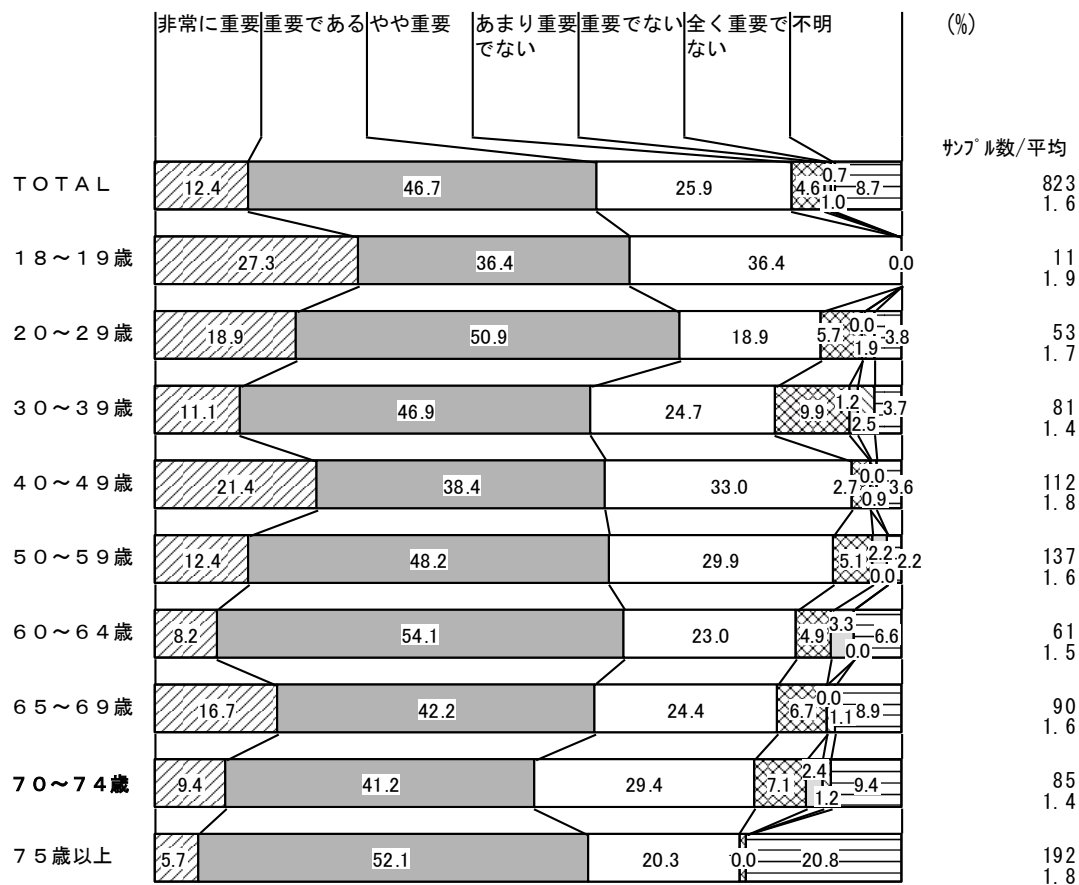
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 85.0%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 6.3%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、ほとんどの年代で 80%以上となっており、その中でも「40 代」は 92.8%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－15 「地域特性を活かしたまちづくりの推進」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)



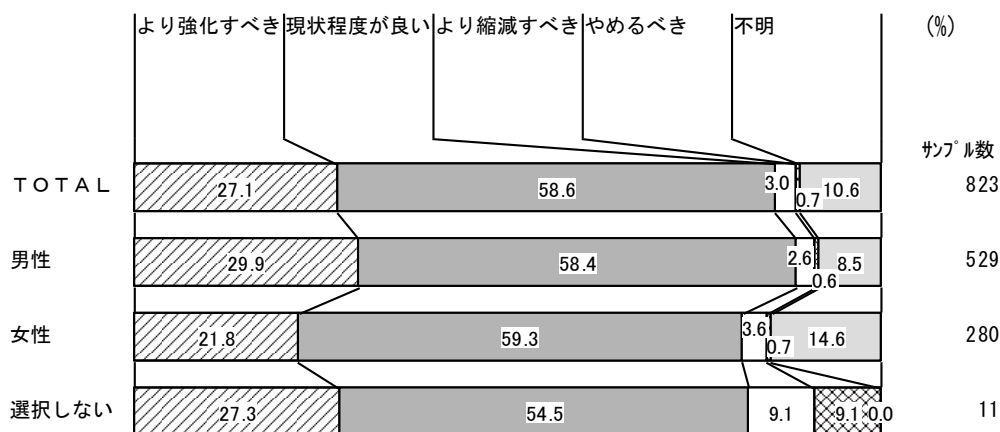
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

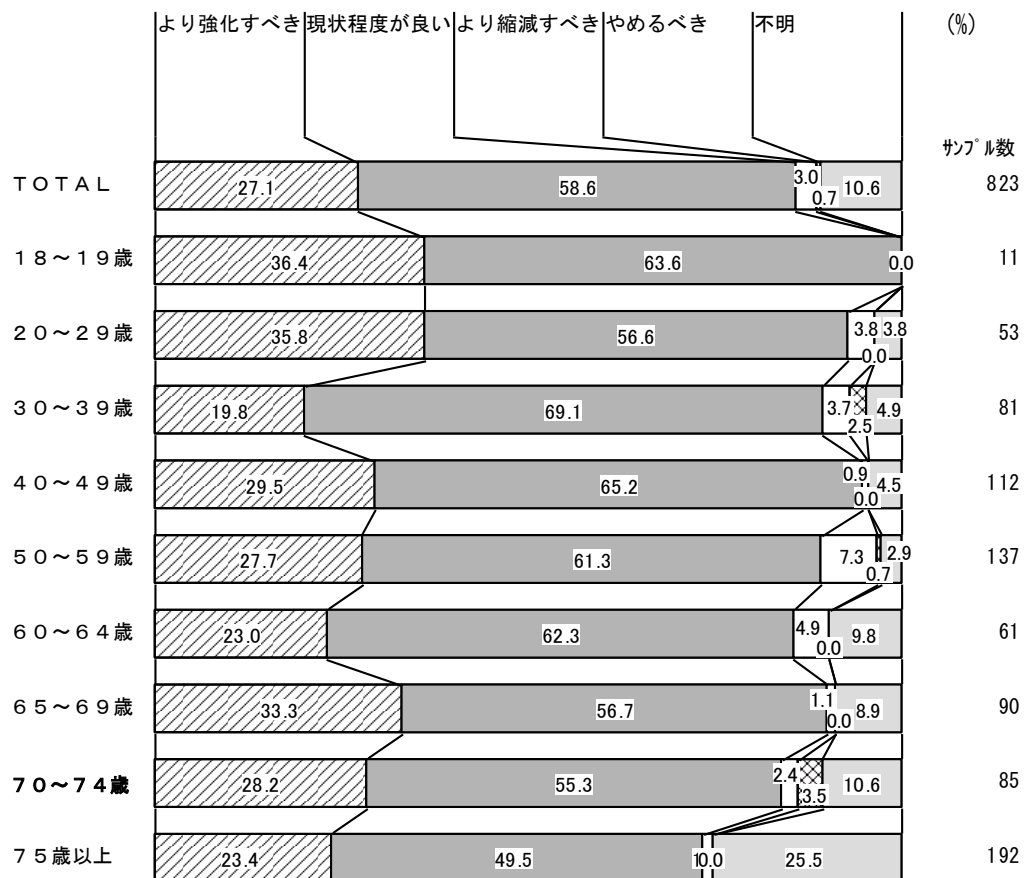
○全体では、「より強化すべき」が 27.1%、「現状程度がよい」が 58.6%となっています。

○年代別にみると、「より強化すべき」は「20 代」以下では 40%弱となっており、若い年代ほど回答した人の割合が大きい傾向にあります。

図表Ⅲ－４－16 「地域特性を活かしたまちづくりの推進」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

⑤良好な住環境の保全・形成

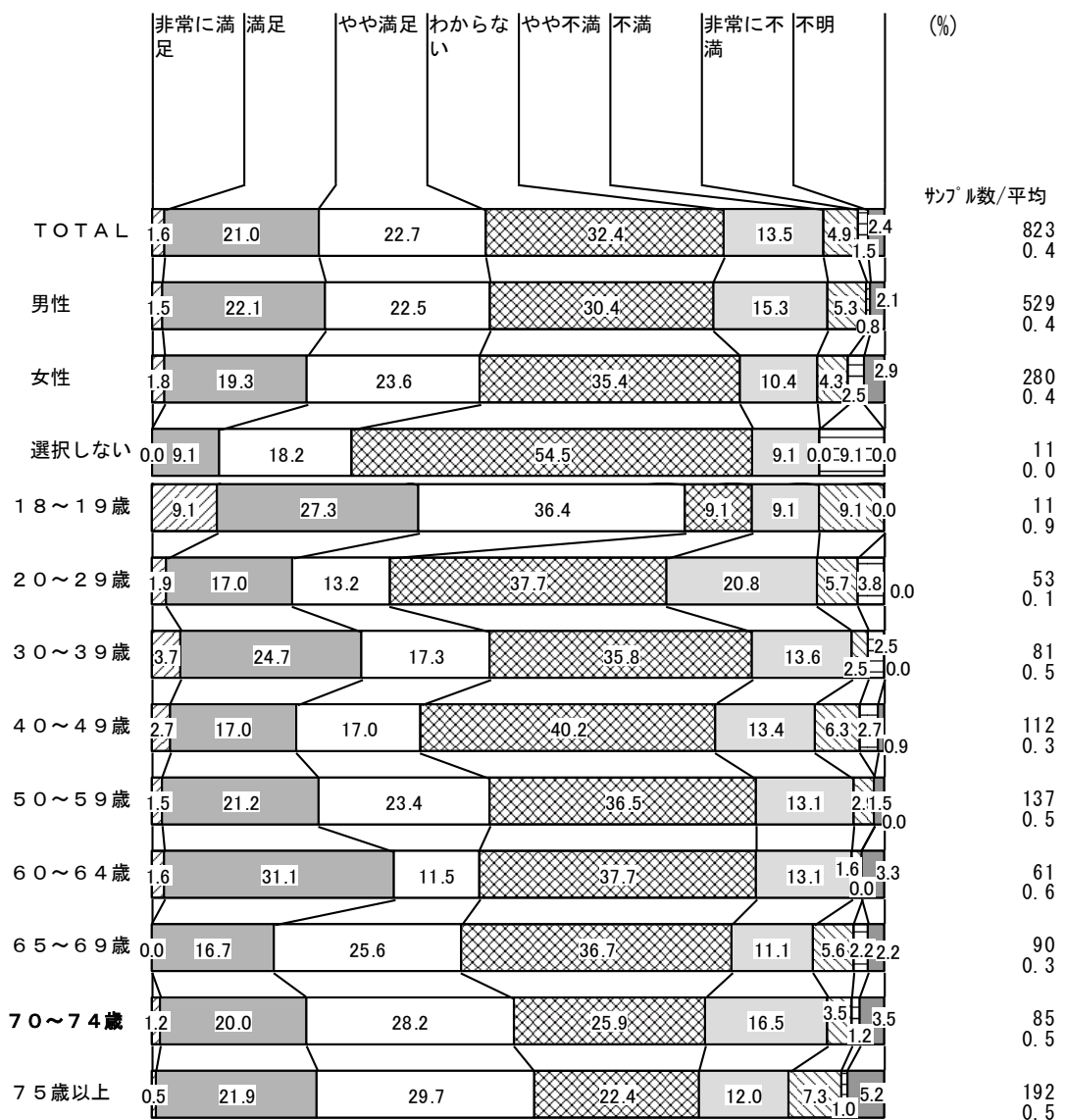
－不満の理由は、「空き家対策が不十分」が最も高くなっている－

<現在の満足度>

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が45.3%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の19.9%を25.4ポイント上回っており、「わからない」が32.4%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「75歳以上」が52.1%で最も高く、次いで「70代」の49.4%となっています。また、「わからない」は、「40代」が40.2%で最も大きく、若い年代ほど回答した人の割合が高い傾向にあります。

図表Ⅲ－４－17 「良好な住環境の保全・形成」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



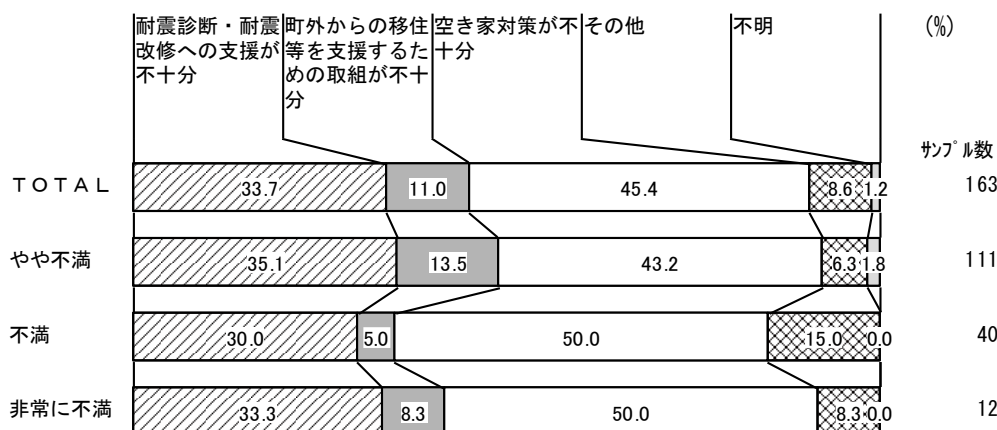
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

○全体では、「空き家対策が不十分」が 45.4%で最も大きく、次いで「耐震診断・耐震改修への支援が不十分」の 33.7%となっています。

○不満度別にみても、いずれも「空き家対策が不十分」が最も高くなっています。

図表Ⅲ－４－18 「良好な住環境の保全・形成」に対する不満の理由（不満度別）

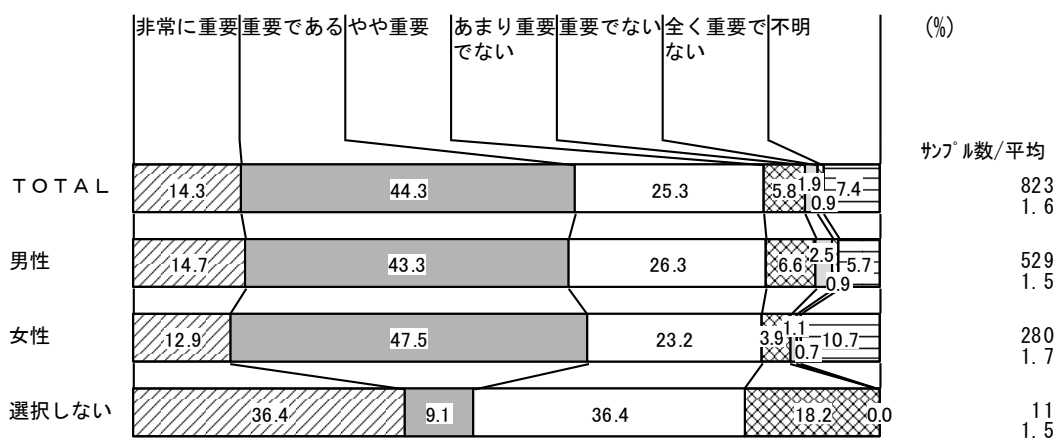


＜今後の重要度＞

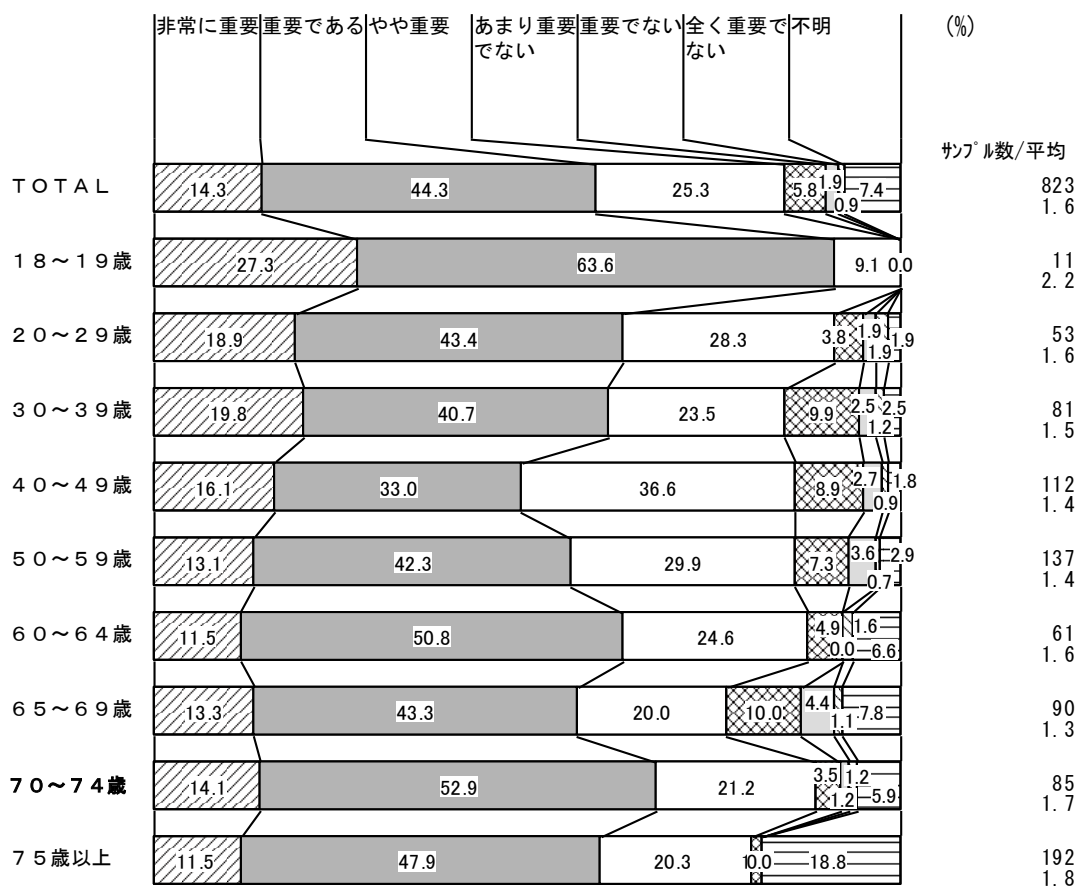
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 83.9%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 8.6%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は多くの年代で 80%を超えており、その中でも「18～19 歳」が 100.0%となっています。

図表Ⅲ－４－19 「良好な住環境の保全・形成」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



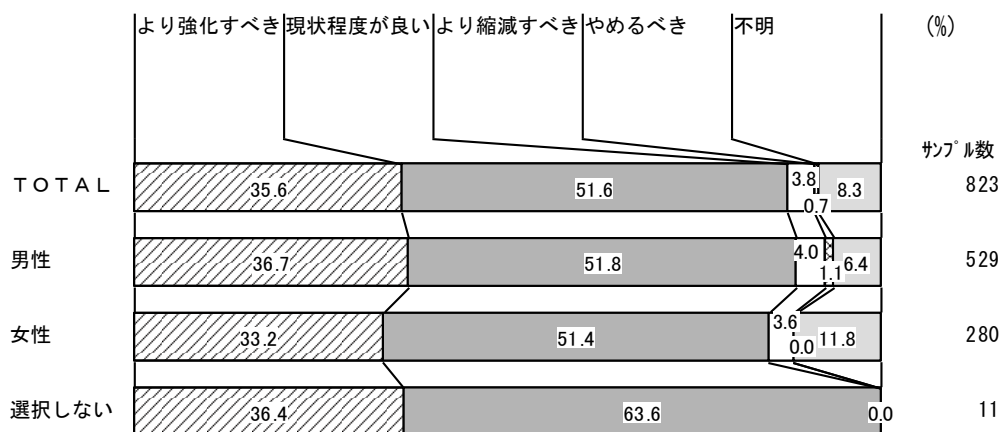
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

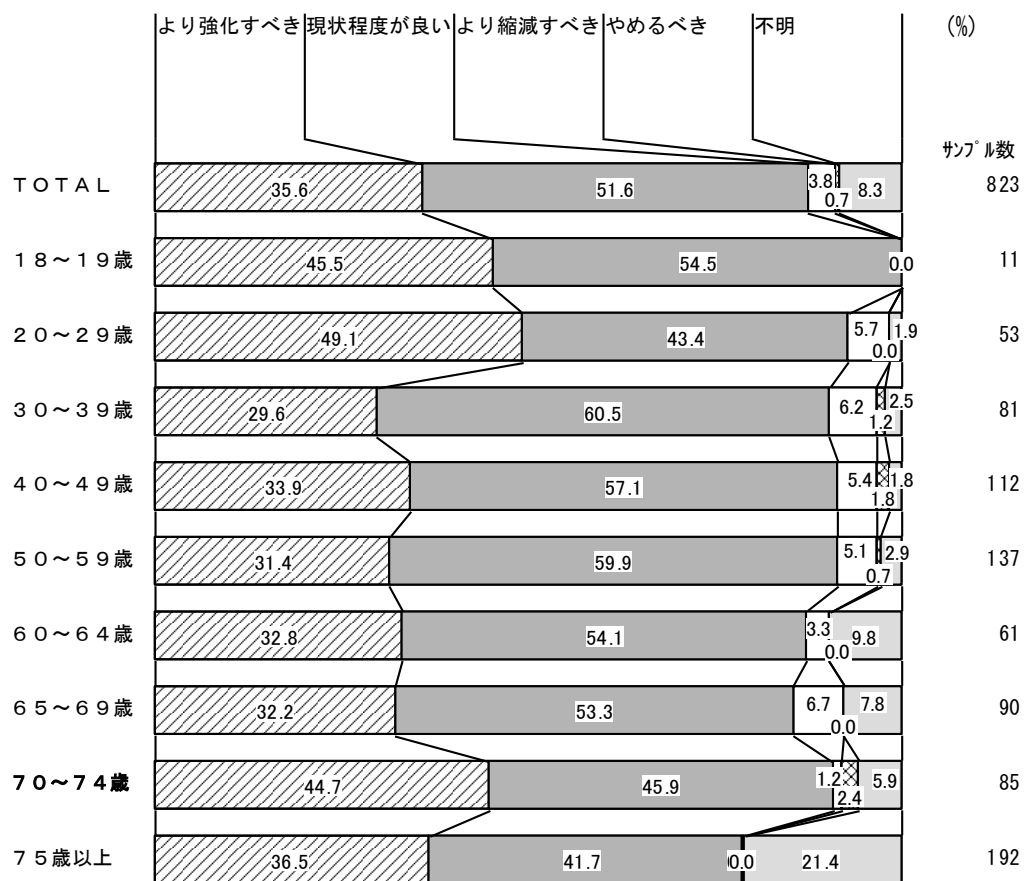
○全体では、「現状程度がよい」が51.6%で最も高く、「より強化すべき」の35.6%を16.0ポイント上回っています。

○年代別にみると、「より強化すべき」は「20代」以下や「70歳以上」では40%を超えて割合が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－20 「良好な住環境の保全・形成」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

⑥将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進

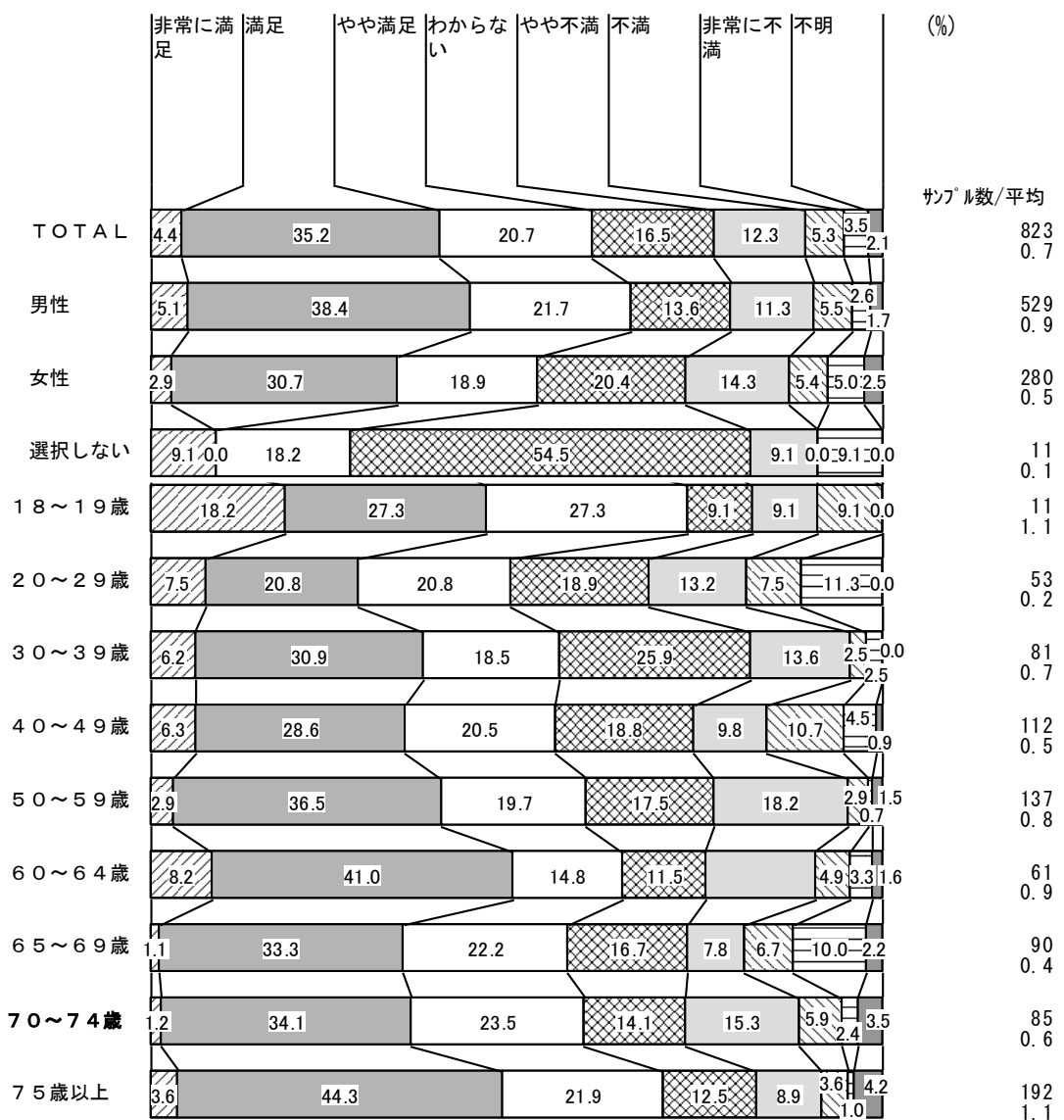
－不満の理由は、「上下水道料金が安いと思う」などが高くなっている－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が60.3%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の21.1%を39.2ポイント上回っており、「わからない」が16.5%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」や「75歳以上」では、凡そ70%以上となっています。

図表Ⅲ－４－２１ 「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



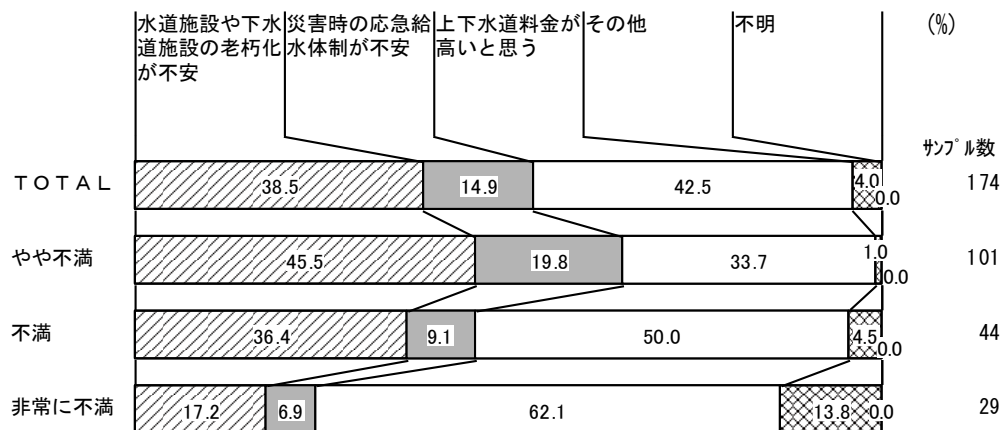
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

<不満の理由>

○全体では、「上下水道料金が高いと思う」が 42.5%で最も高く、次いで「水道施設や下水道施設の老朽化が不安」の 38.5%となっています。

○不満足度別にみても、いずれも「上下水道料金が高いと思う」と「水道施設や下水道施設の老朽化が不安」が上位 2 位以内となっています。

図表Ⅲ－４－22 「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」に対する不満の理由（不満度別）

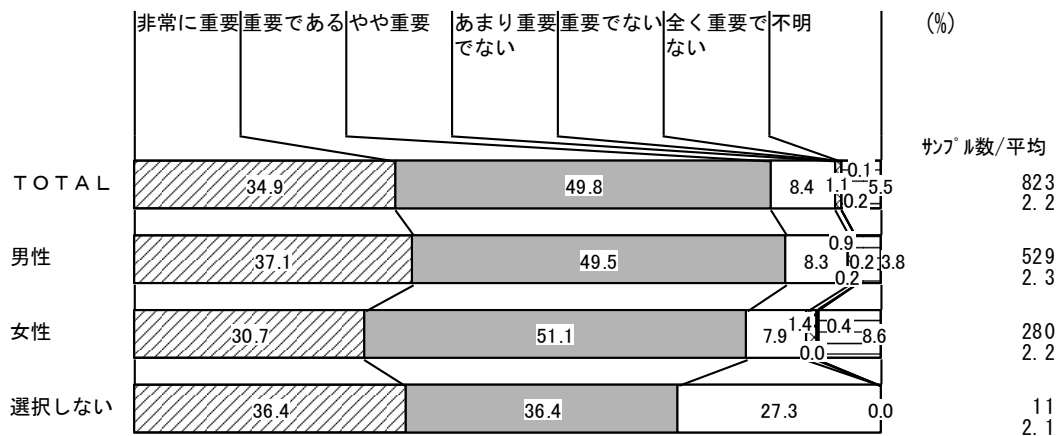


<今後の重要度>

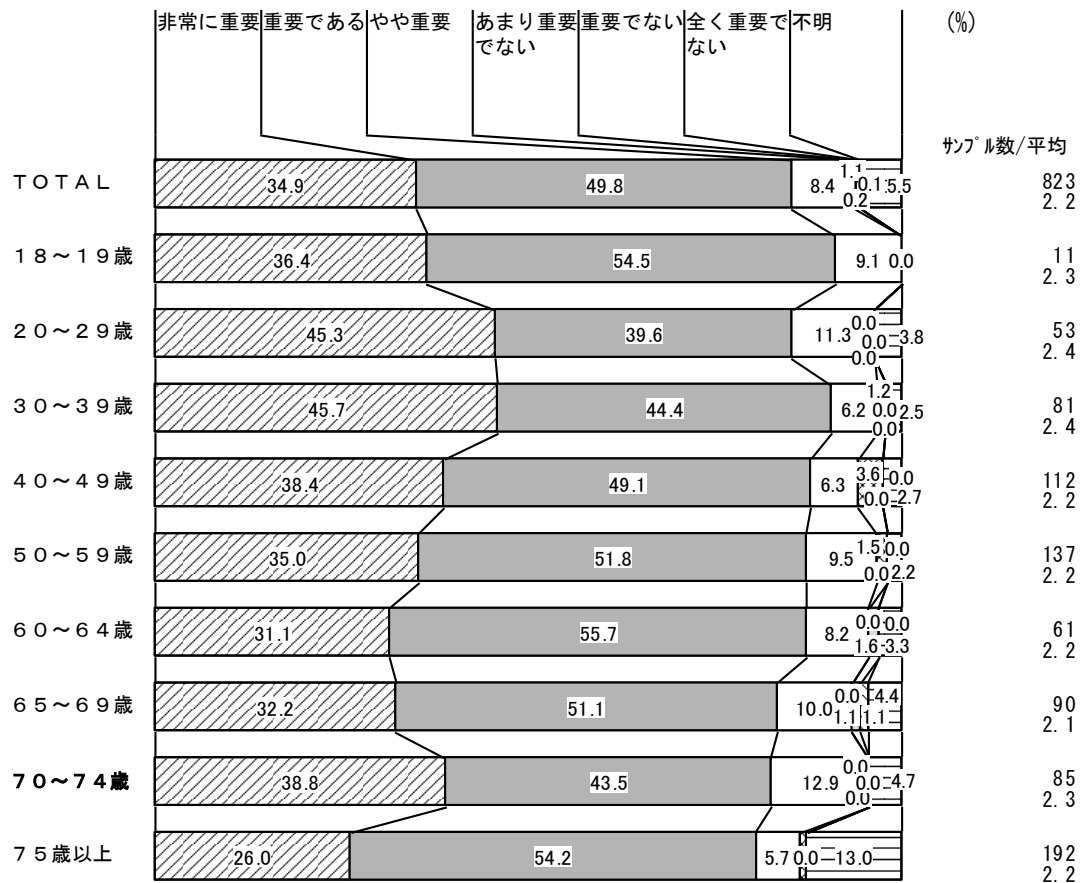
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 93.1%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 1.4%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）はいずれの年代も 80%以上となっており、その中でも「60 代」が 99.5%で最も高くなっています。中でも「18～19 歳」では 100%となっています。

図表Ⅲ－４－23 「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)



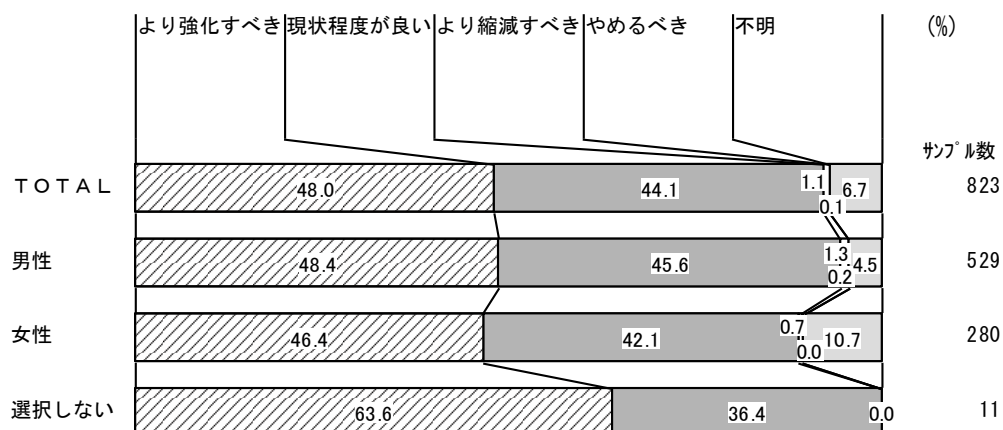
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

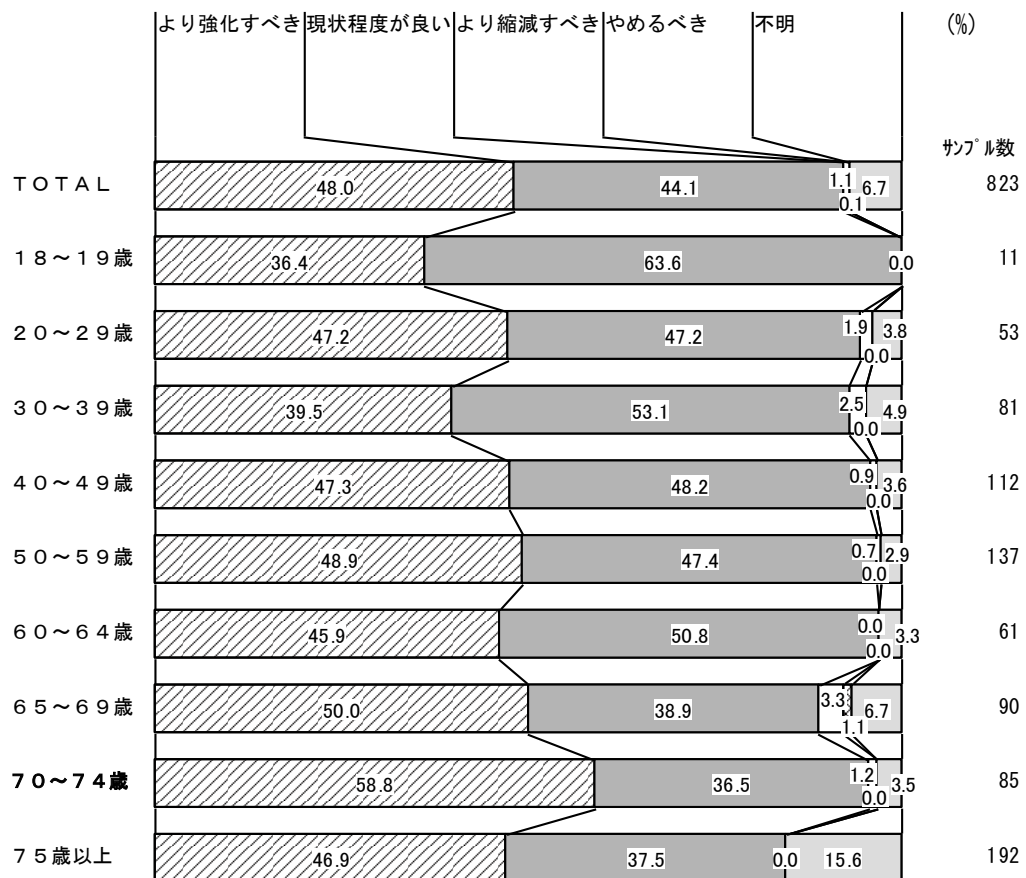
○全体では、「より強化すべき」が48.0%で最も高く、「現状程度がよい」の44.1%を3.9ポイント上回っています。

○年代別にみても、凡そ「40代」以下では「現状程度がよい」が「より強化すべき」を上回っており、「50代」以上では「より強化すべき」が「現状程度がよい」を上回っています。

図表Ⅲ－４－24 「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」に対する今後の注力度
(性別、年齢別)



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

⑦道路・公共交通の充実

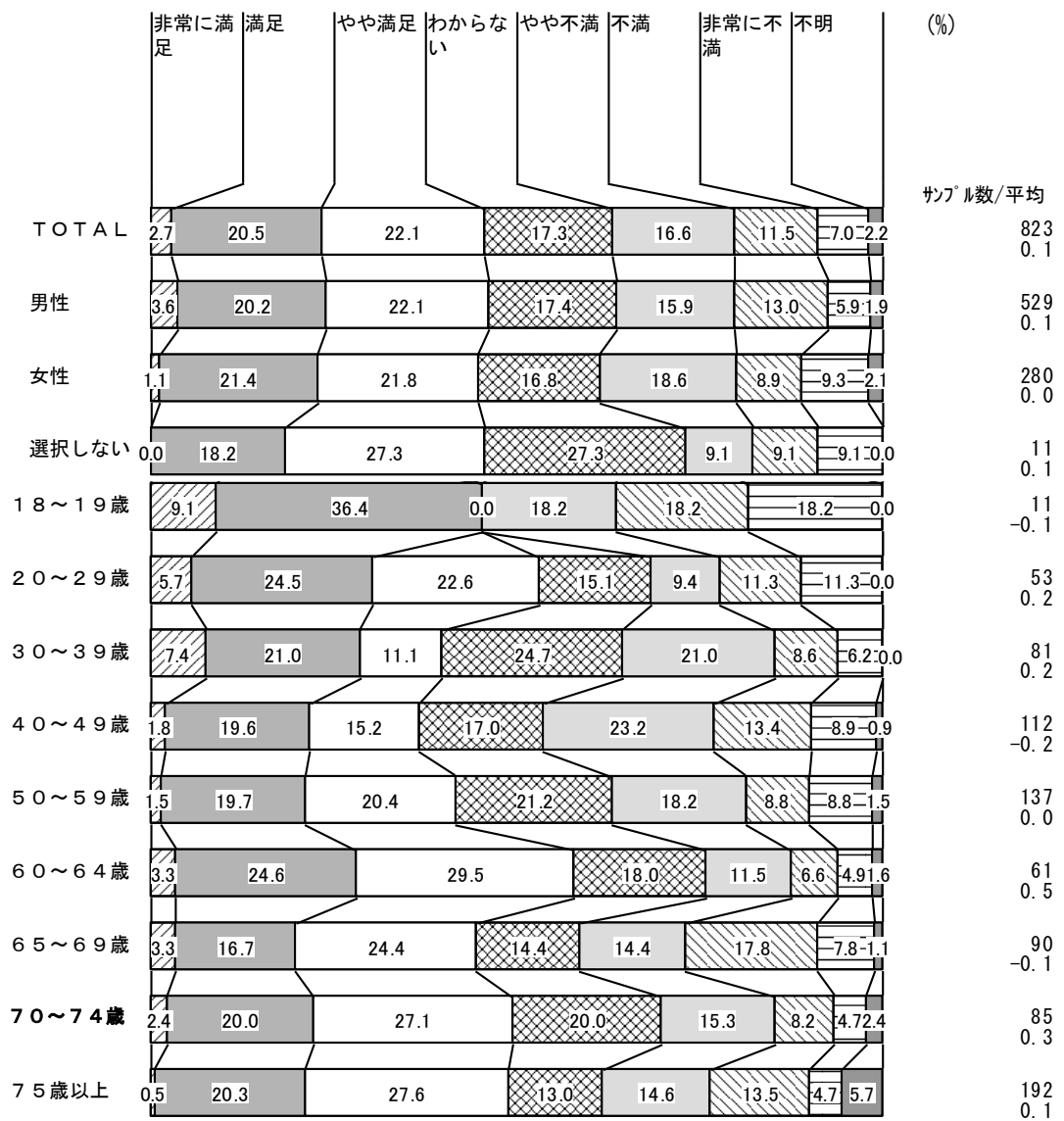
－不満足理由は、「公共交通が利用しにくい」が最も高くなっている－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が45.3%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の35.1%を10.2ポイント上回っており、「わからない」が17.3%となっています。

○満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「60～64歳」が57.4%で最も大きくなっており、「20代」などでも大きくなっていますが、「30代」「40代」ではやや小さくなっています。

図表Ⅲ－４－２５ 「道路・公共交通の充実」に対する現在の満足度（性別、年齢別）

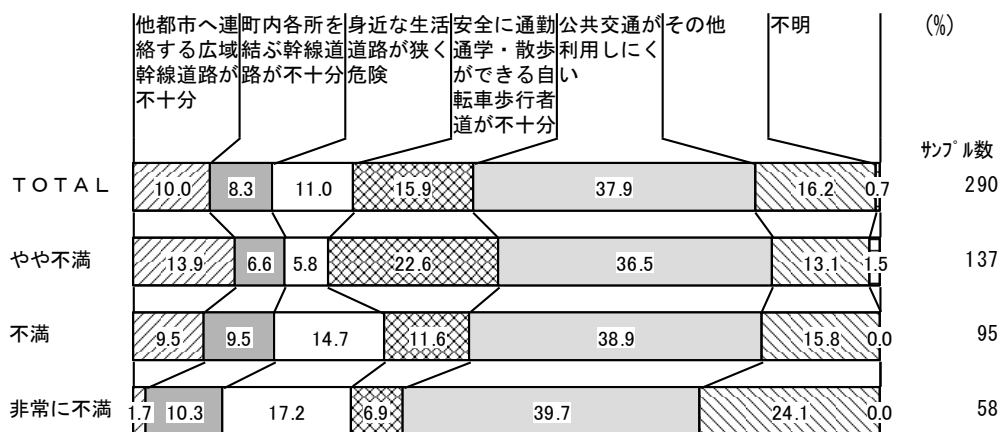


(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

- 全体では、「公共交通が利用しにくい」が 37.9%で最も割合が大きくなっています。
- 不満度別にみても、いずれも「公共交通が利用しにくい」が最も大きくなっています。

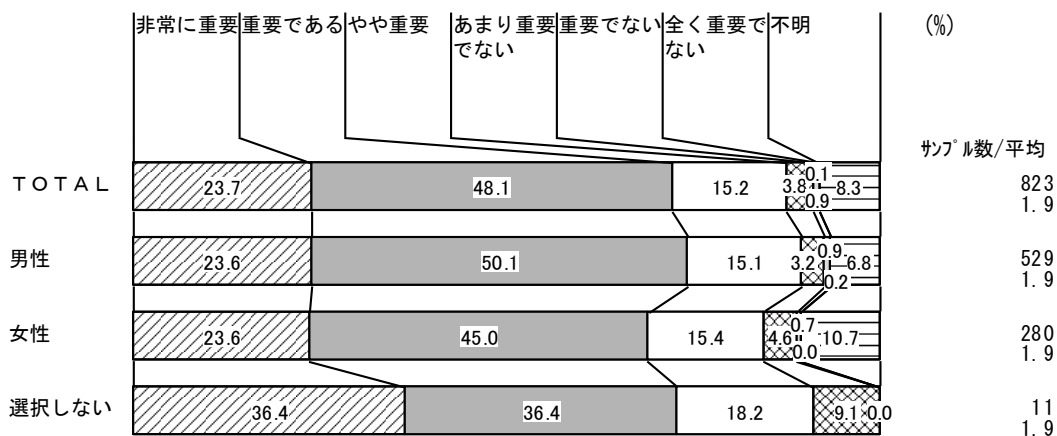
図表Ⅲ－４－26 「道路・公共交通の充実」に対する不満の理由（不満度別）



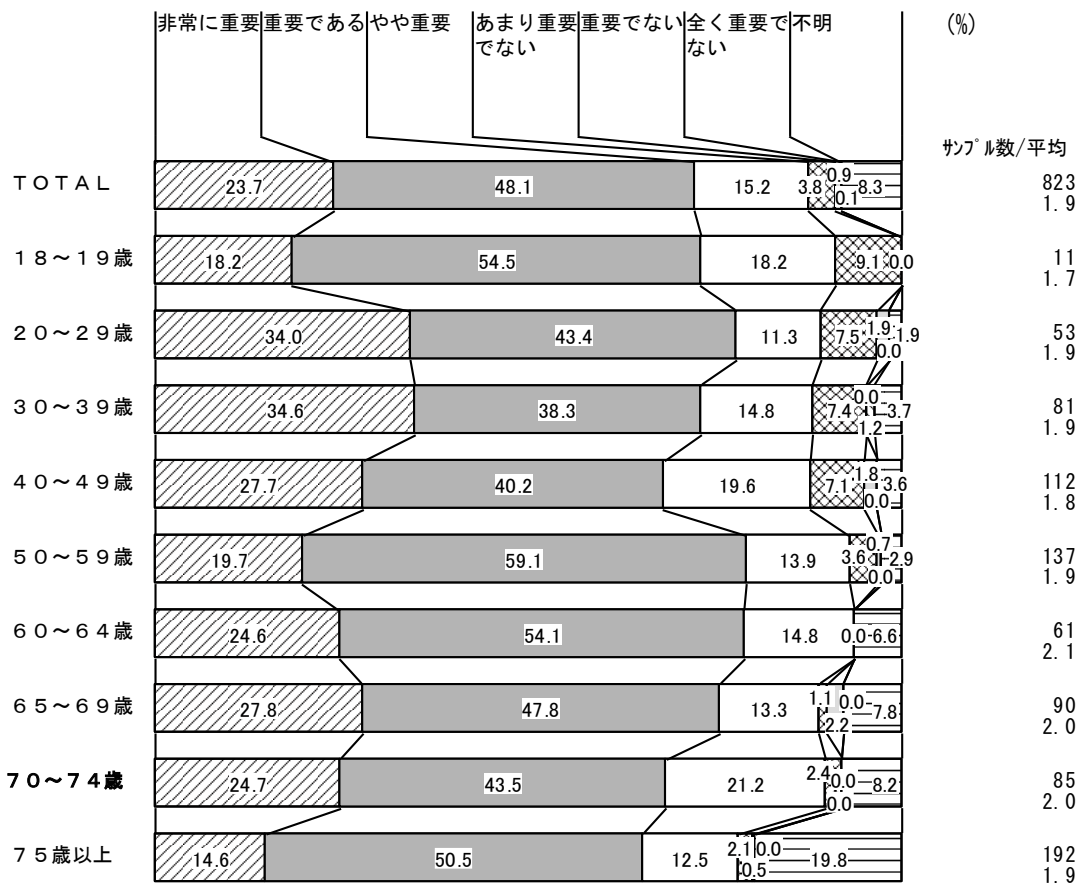
＜今後の重要度＞

- 全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 87.0%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 4.8%となっています。
- 年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、不明の多い 75 歳以上以外は、いずれの年代も 90%前後以上になっており、その中でも「50 代」「60 代」が特に大きくなっています。

図表Ⅲ－４－27 「道路・公共交通の充実」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



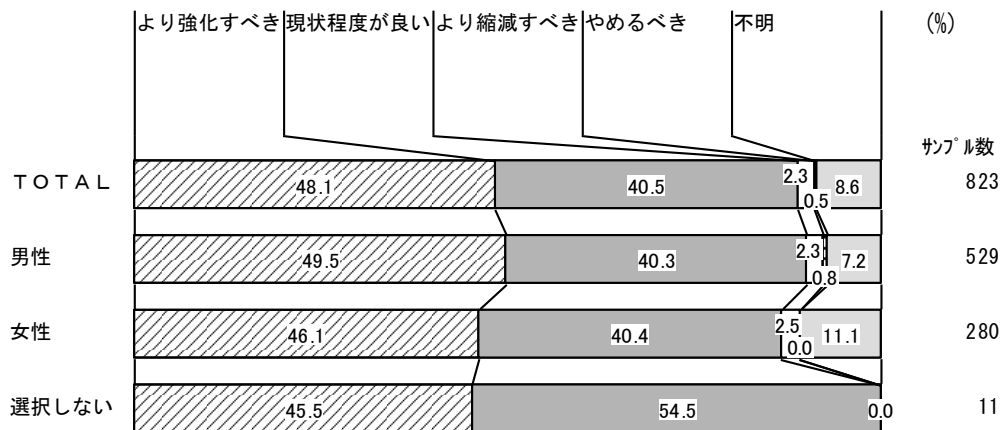
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

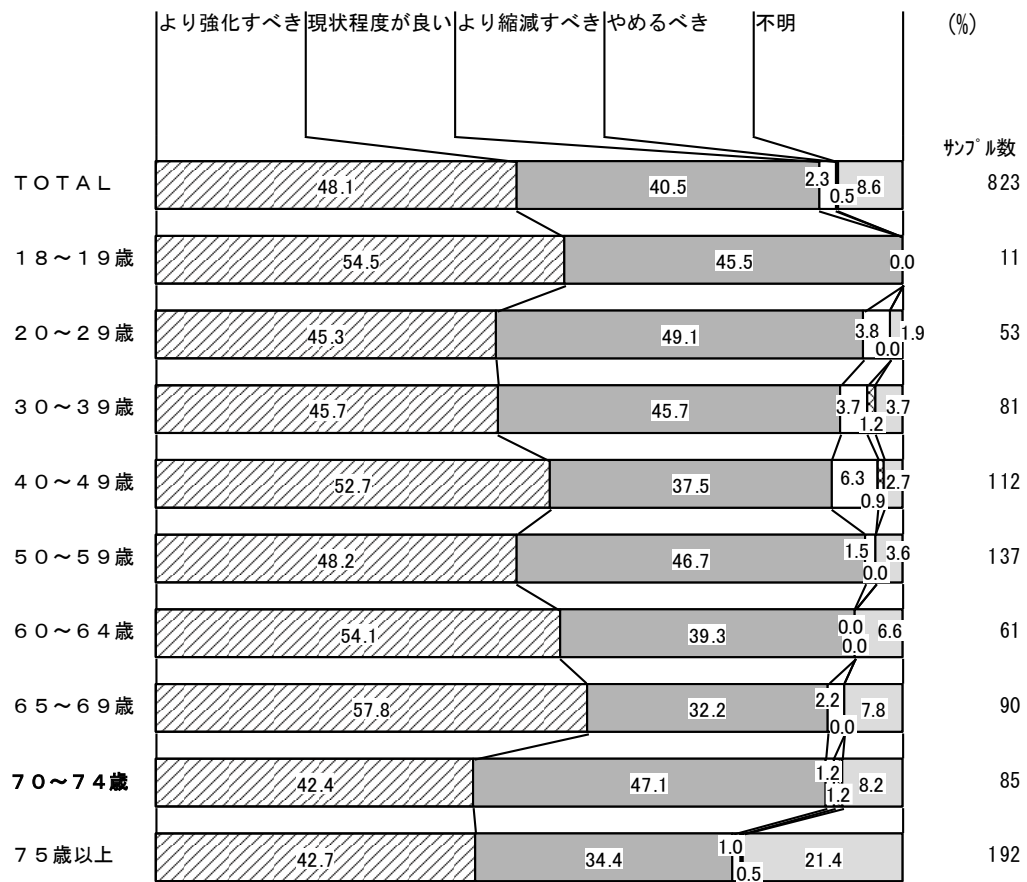
○全体では、「より強化すべき」が48.1%、「現状程度がよい」が40.5%となっています。

○年代別にみると、「より強化すべき」は「60代」、「18～19歳」などで「現状程度がよい」より大きくなっています。

図表Ⅲ－４－28 「道路・公共交通の充実」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

(3) 次世代を担う子どもが輝けるまち

⑧子育て支援の充実

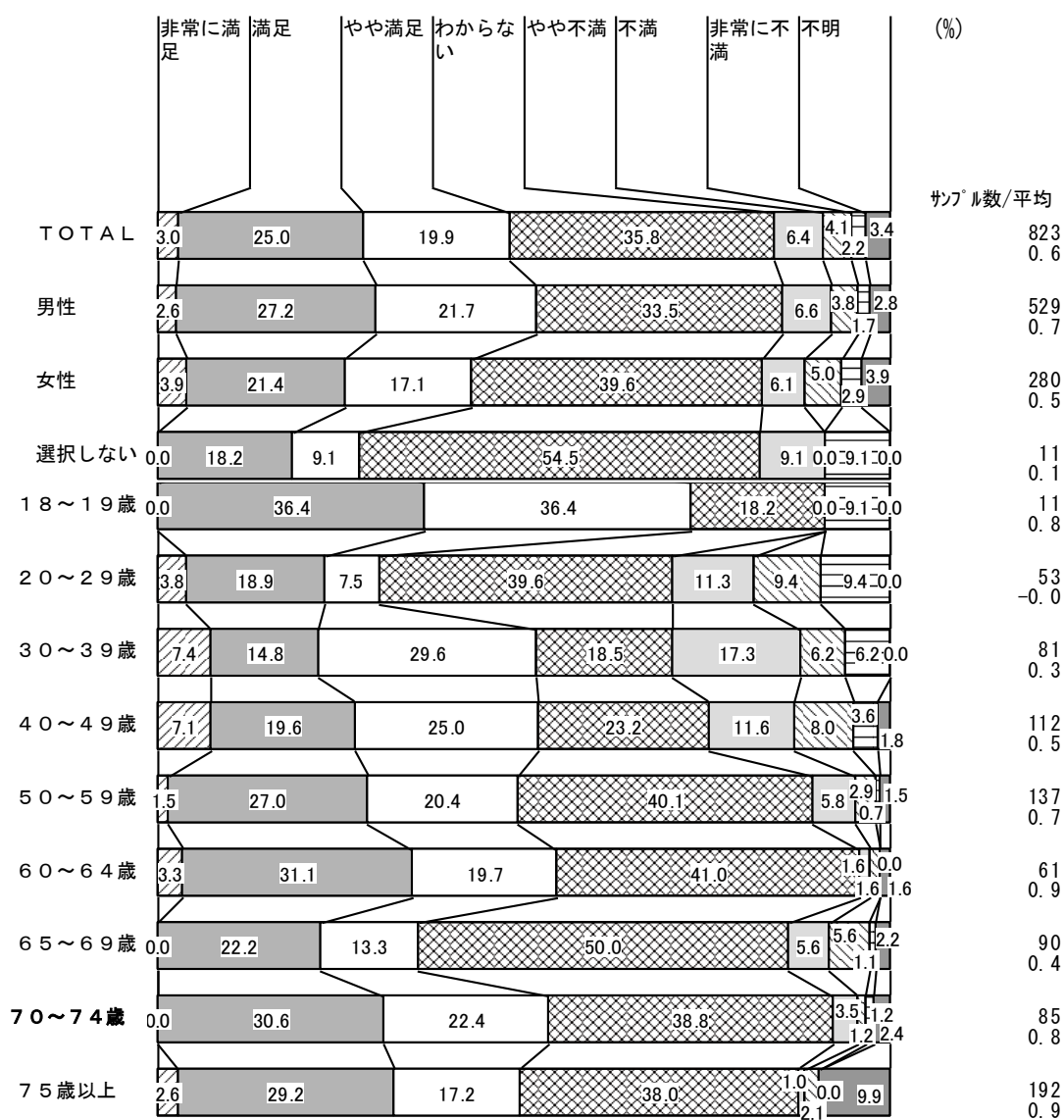
―不満の理由は、「子育て支援施設の数や規模が不十分」が最も高くなっている―

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が47.9%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の12.7%を35.2ポイント上回っており、「わからない」が35.8%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」が72.8%で最も大きく、また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「20代」が30.1%で最も大きくなっています

図表Ⅲ－4－29 「子育て支援の充実」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



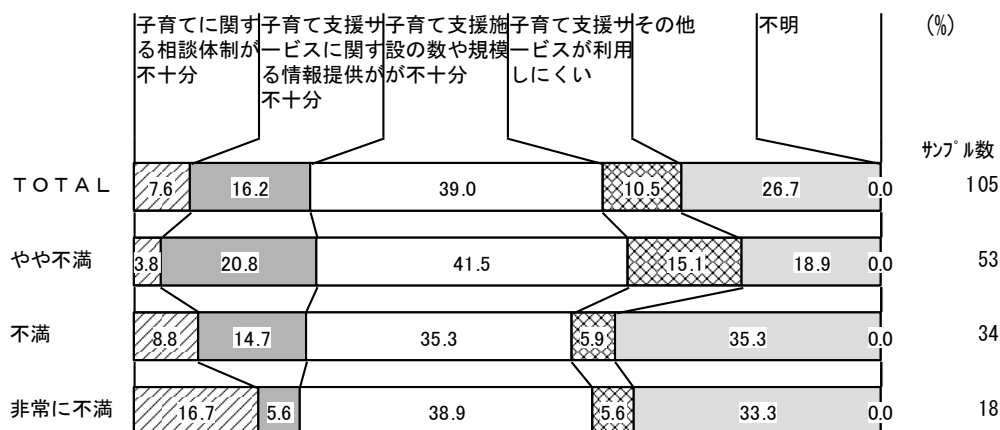
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

○全体では、「子育て支援施設の数や規模が不十分」が39.0%で最も大きくなっています。

○不満度別にみると、いずれも「子育て支援施設の数や規模が不十分」が最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－30 「子育て支援の充実」に対する不満の理由（不満度別）

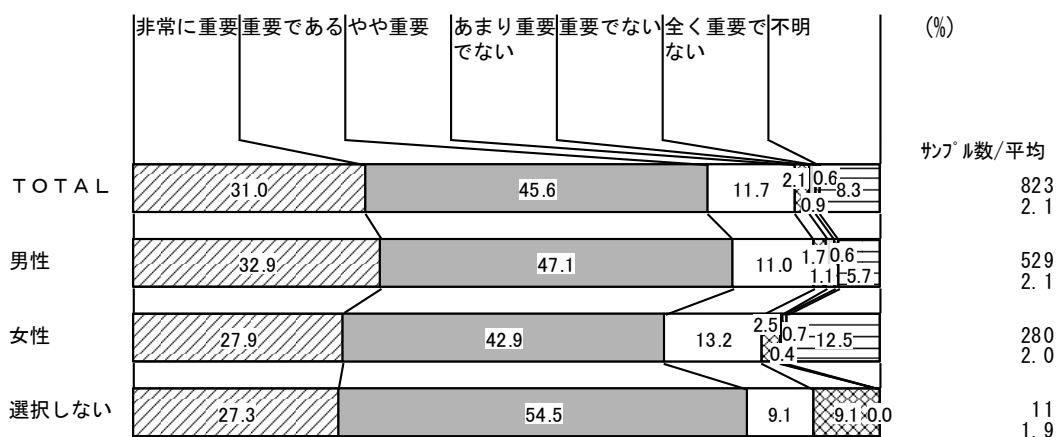


＜今後の重要度＞

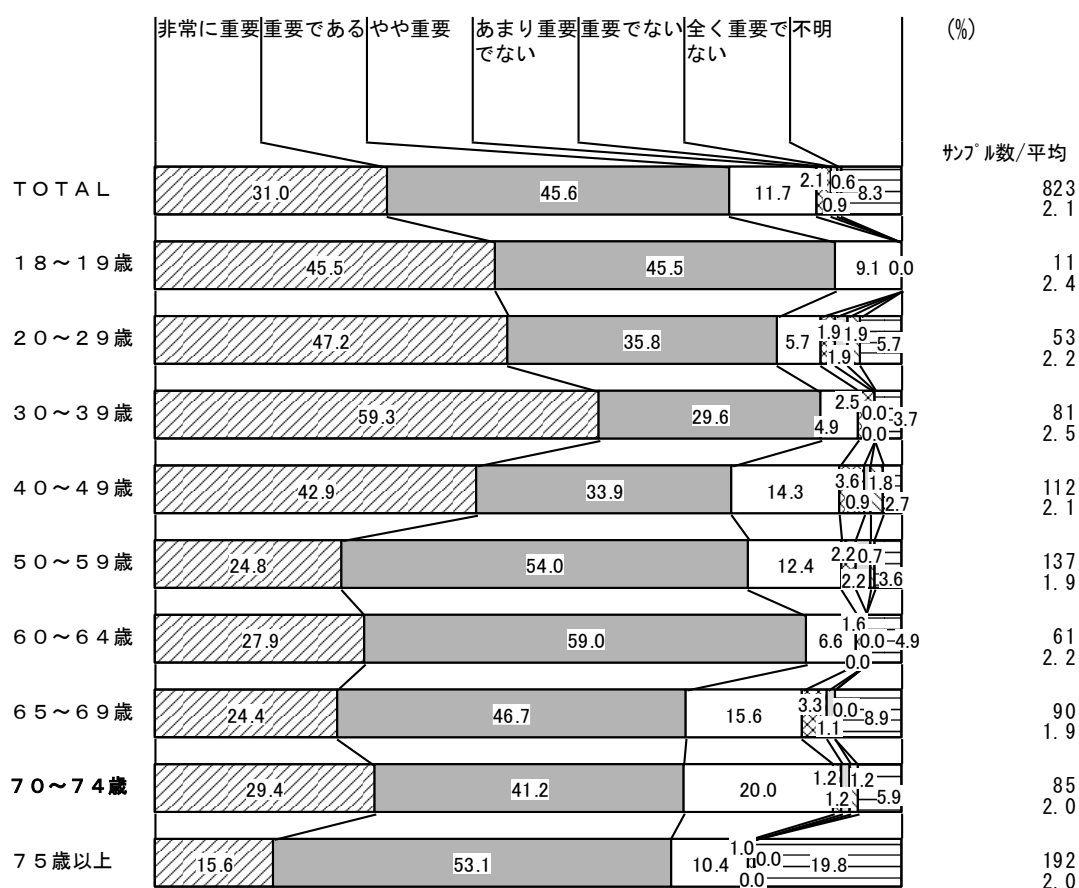
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が88.3%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が3.6%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、不明は多い「75歳以上」以外は、いずれの年代も凡そ90%以上となっています。

図表Ⅲ－４－31 「子育て支援の充実」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



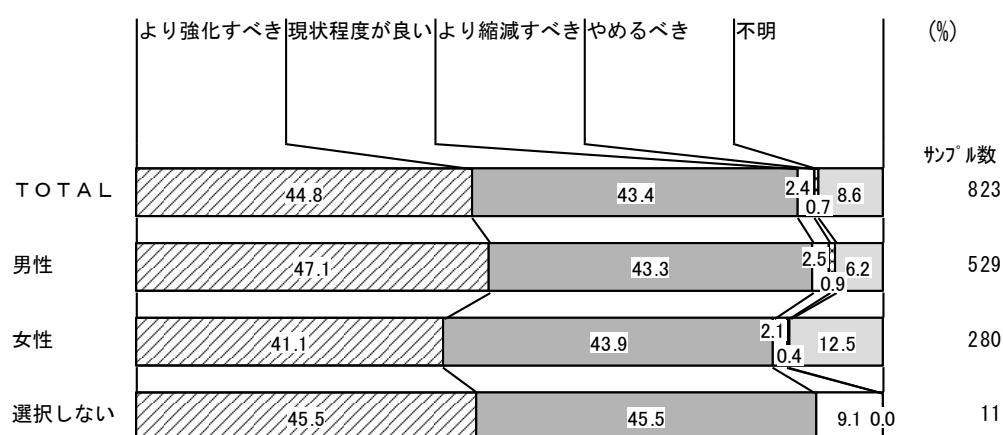
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

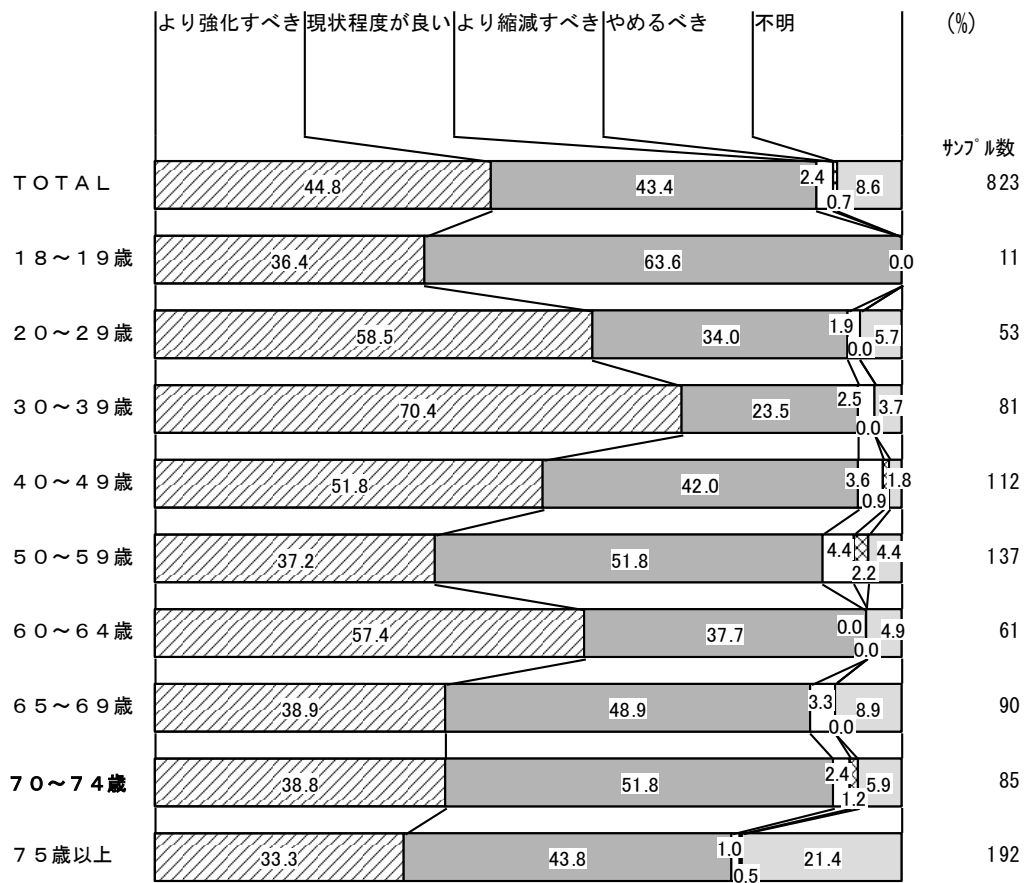
○全体では、「より強化すべき」が 44.8%、「現状程度がよい」が 43.4%となっています。

○年代別にみると、「より強化すべき」は「30代」が 70.4%で他の年代に比べて高くなっています。

図表Ⅲ－４－32 「子育て支援の充実」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

⑨青少年の健全育成

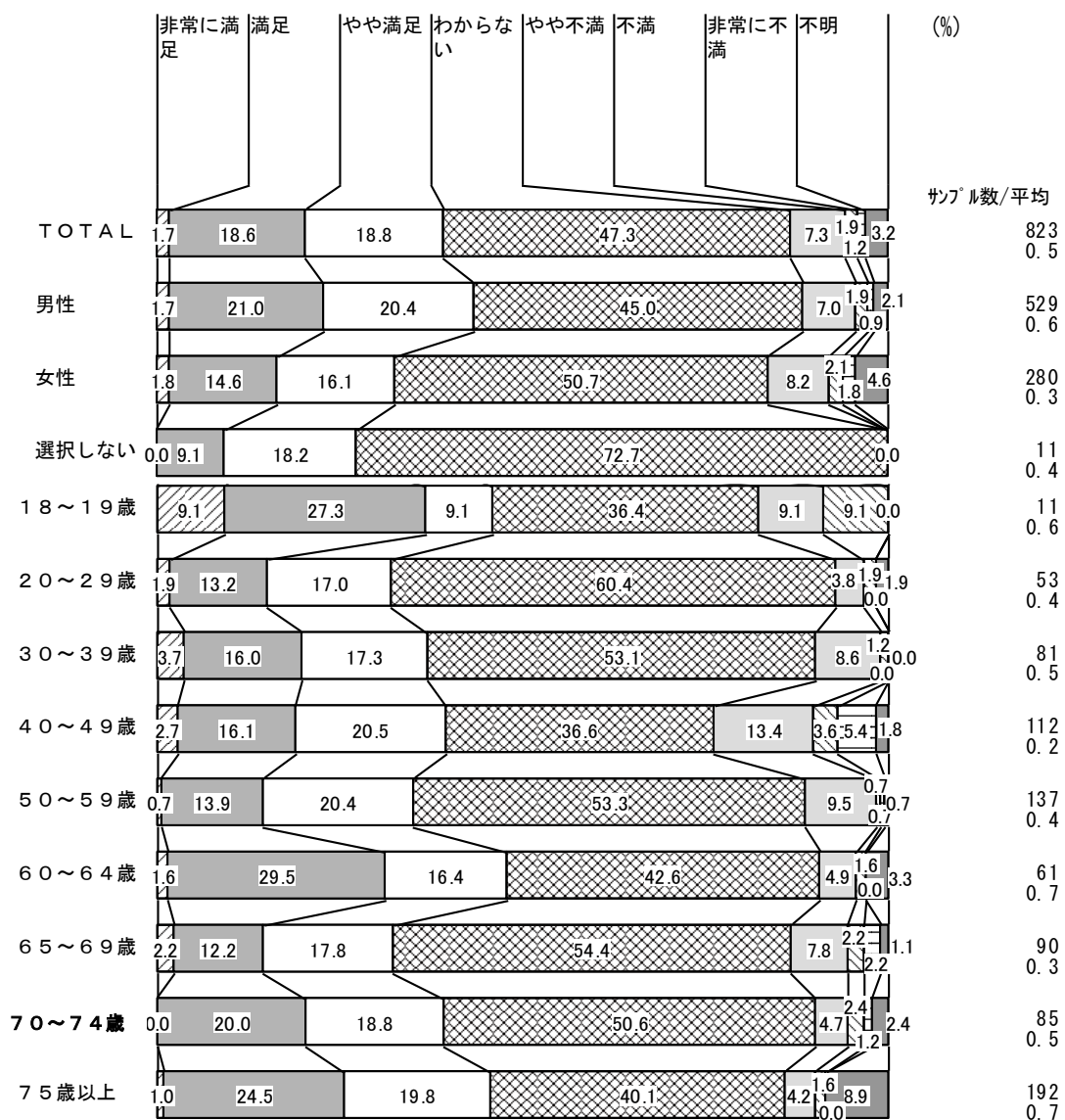
－不満の理由は、「豊かな体験や交流ができる機会が少ない」が最も高い－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が39.1%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の10.4%を28.7ポイント上回っており、「わからない」が47.3%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「60～64歳」が47.5%で最も大きくなっています。また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「40代」が22.4%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－33 「青少年の健全育成」に対する現在の満足度（性別、年齢別）

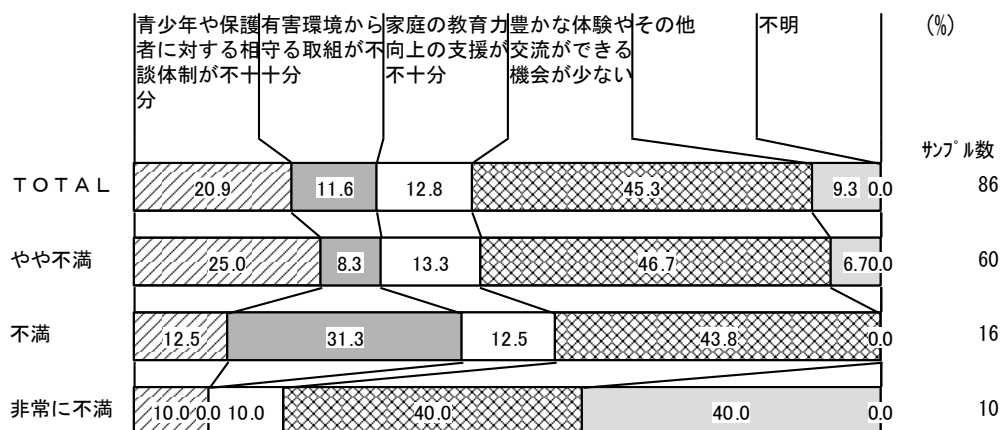


(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

- 全体では、「豊かな体験や交流ができる機会が少ない」が45.3%で最も大きくなっています。
- 不満度別にみても、いずれも「豊かな体験や交流ができる機会が少ない」が最も大きくなっています。

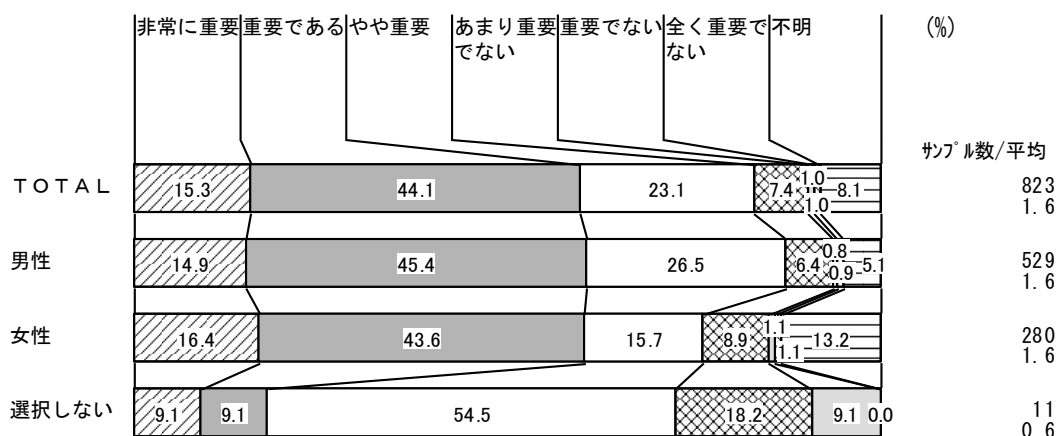
図表Ⅲ－４－34 「青少年の健全育成」に対する不満の理由（不満度別）



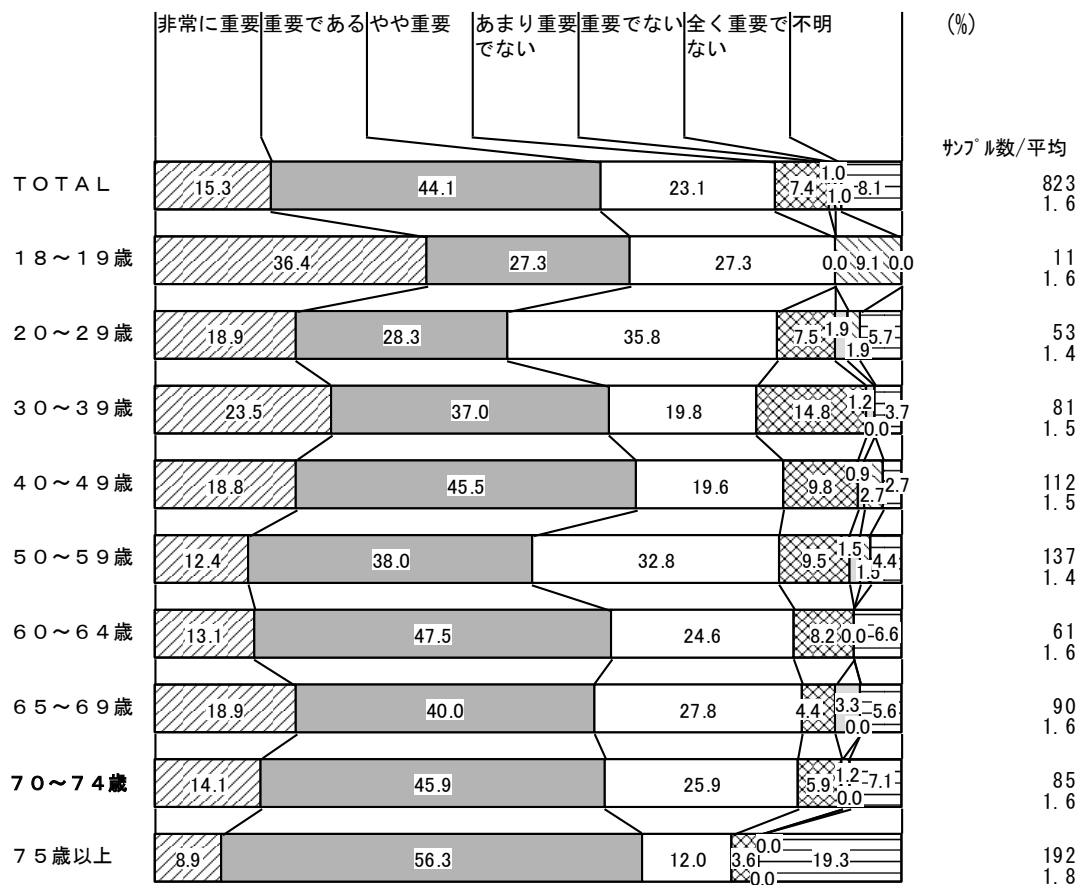
＜今後の重要度＞

- 全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が82.5%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が9.4%となっています。
- 年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、不明の多い「75歳以上」を除きいずれも80%台以上となっています。

図表Ⅲ－４－35 「青少年の健全育成」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



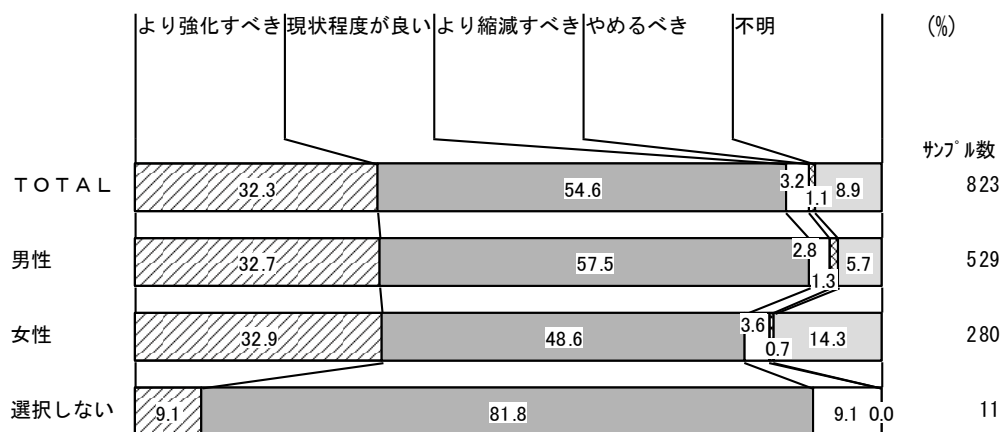
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

<今後の注力度>

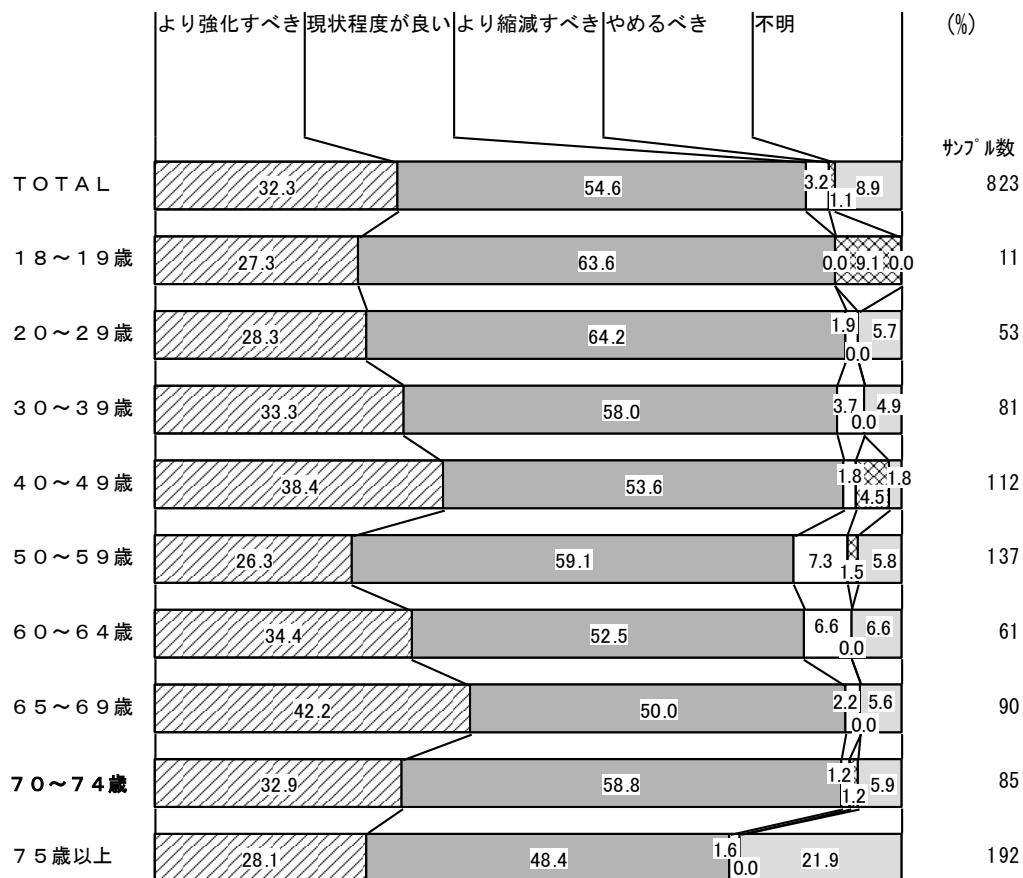
○全体では、「現状程度がよい」が54.6%で最も高く、「より強化すべき」の32.3%を22.3ポイント上回っています。

○年代別にみると、「より強化すべき」は「65～69歳」及び「40代」ではいずれも40%台前後になっています。

図表Ⅲ－４－36 「青少年の健全育成」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

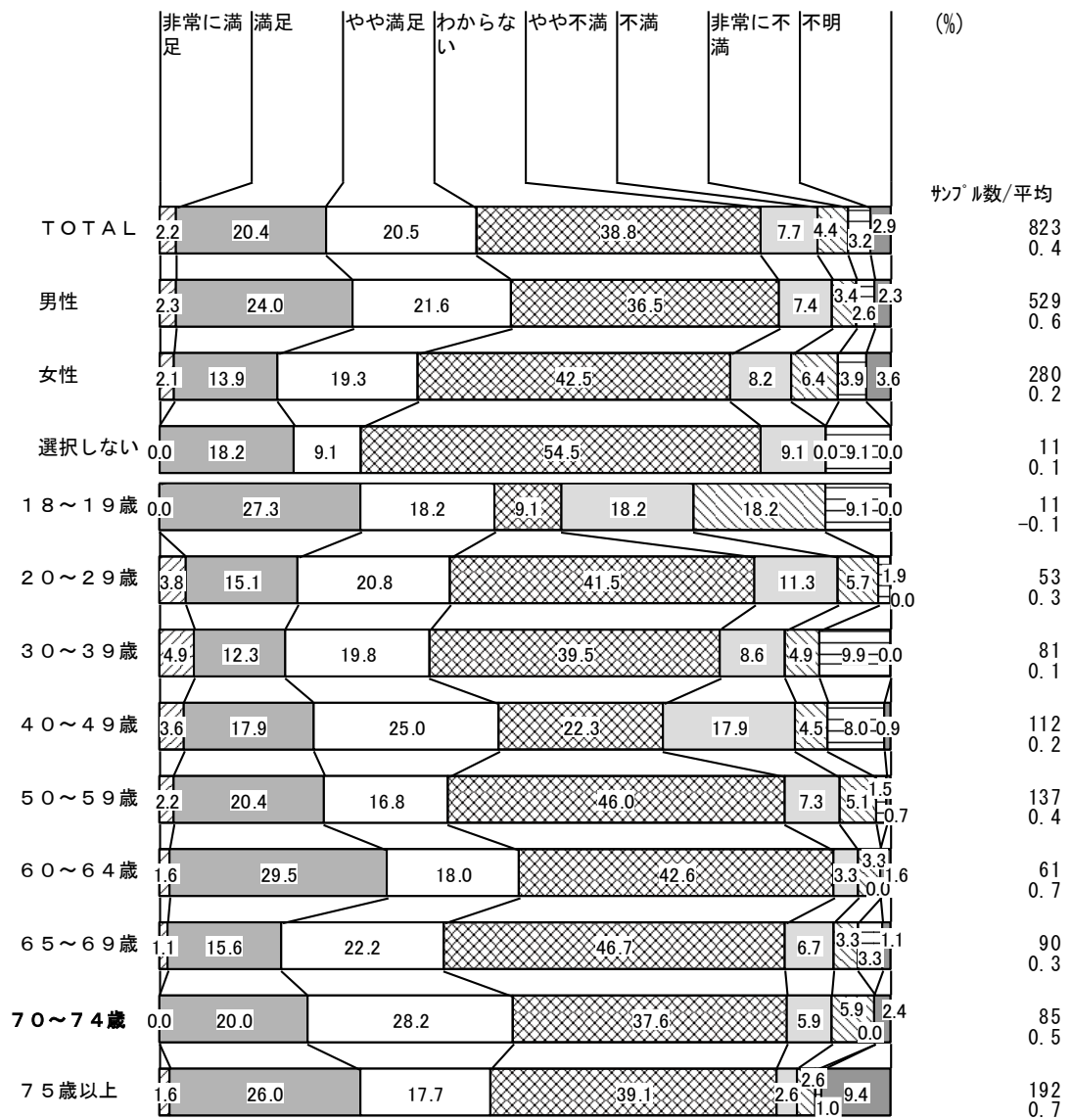
⑩学校教育の充実

－不満の理由は、「校舎や体育館が老朽化している」が最も高くなっている－

＜現在の満足度＞

- 全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が43.1%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の15.3%を27.8ポイント上回っており、「わからない」が38.8%となっています。
- 年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「60～64歳」が49.1%で最も割合が大きくなっています。また、「18～19歳」以外の多くの年代では「わからない」が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－37 「学校教育の充実」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



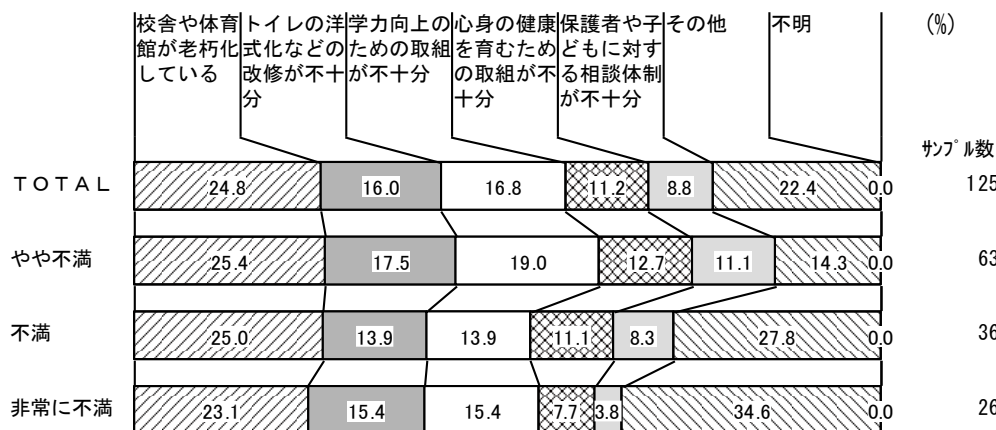
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

<不満の理由>

○全体では、「校舎や体育館が老朽化している」が24.8%で最も割合が大きくなっています。

○不満度別にみても、「校舎や体育館が老朽化している」とともに、人員の確保や幼稚園の職員の負担軽減など「その他」の割合最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－38 「学校教育の充実」に対する不満の理由（不満度別）

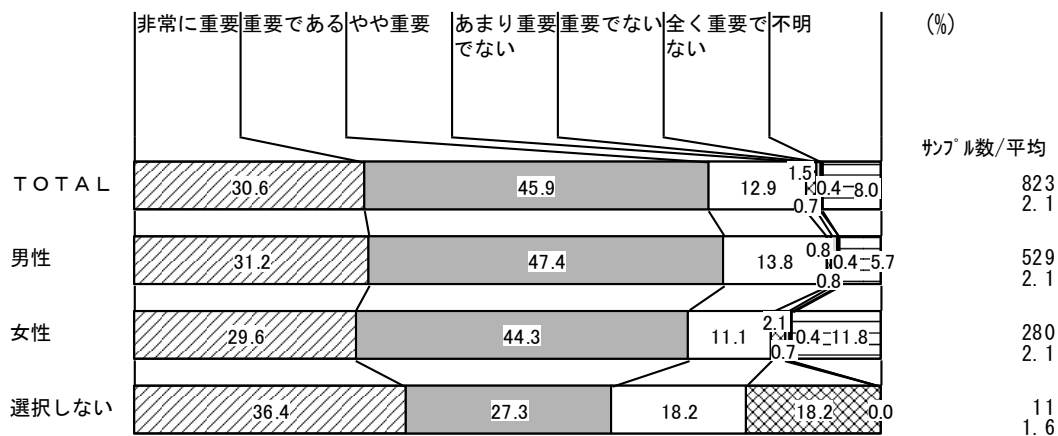


<今後の重要度>

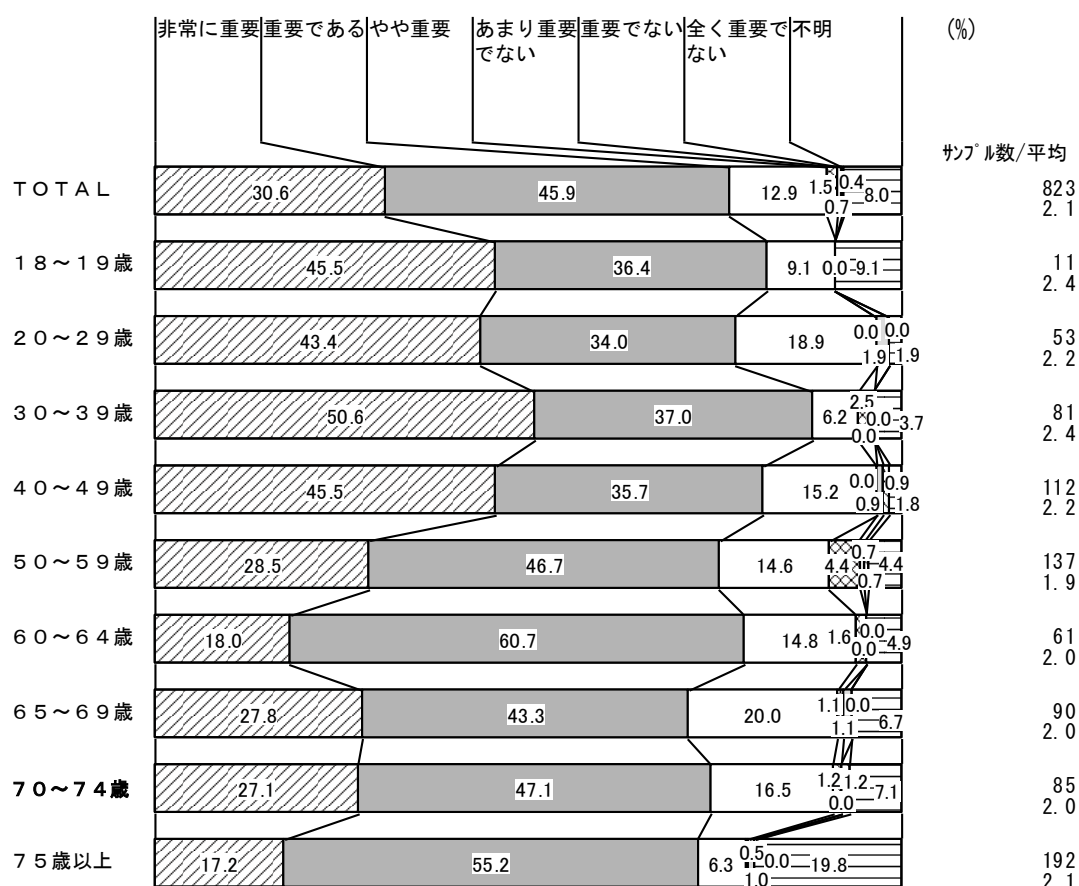
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が89.4%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が2.6%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、不明の多い「75歳以上」以外の多くの年代では90%台前後以上となっており、その中でも「40代」が96.4%で最も割合が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－39 「学校教育の充実」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



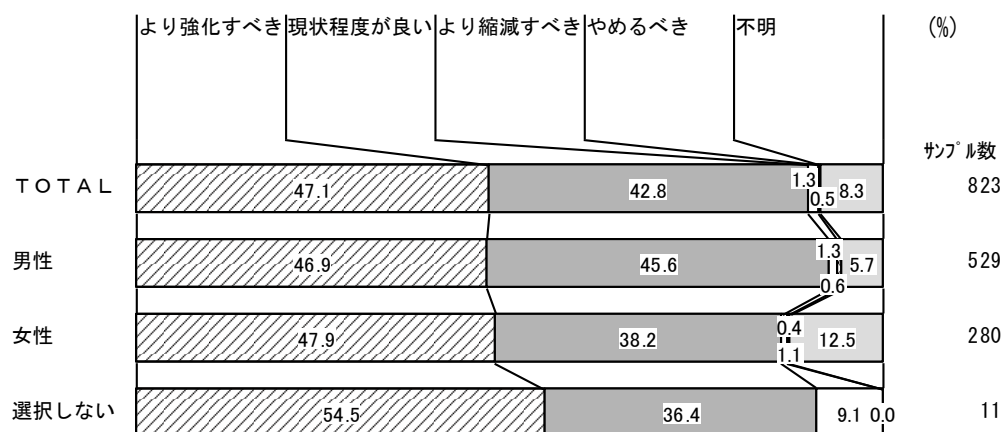
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

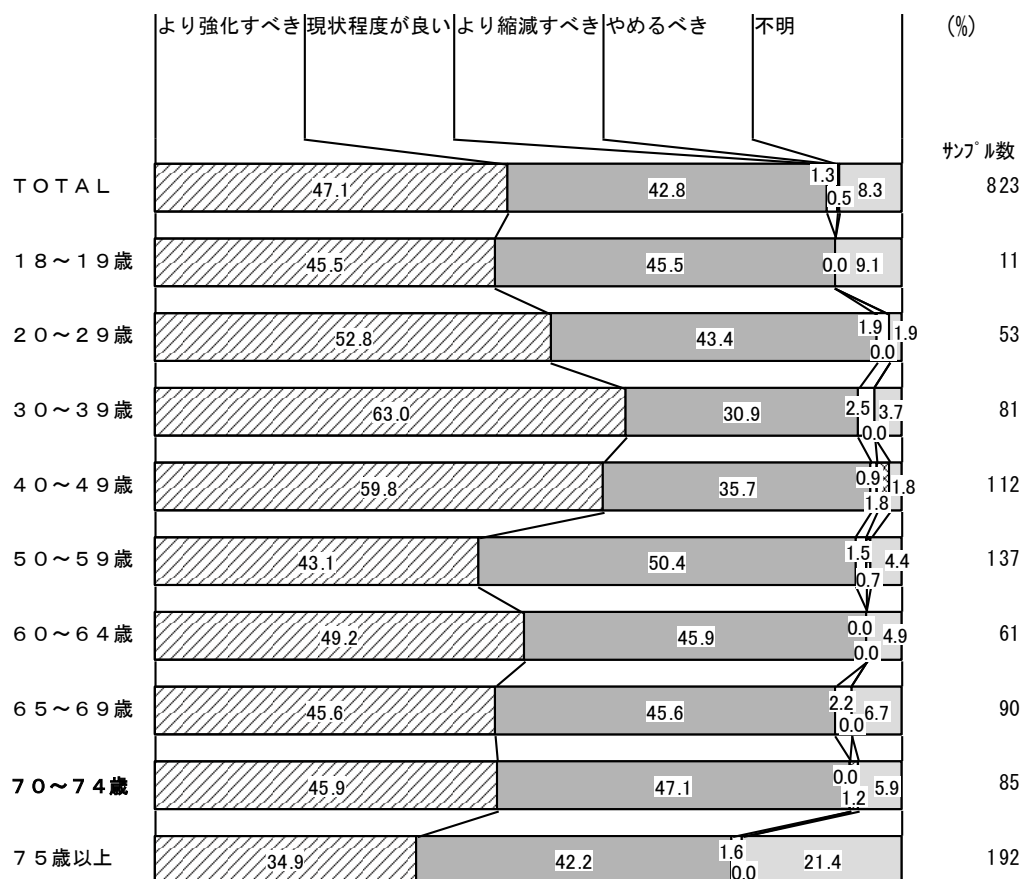
○全体では、「より強化すべき」が 47.1%、「現状程度が良い」が 42.8%となっています。

○年代別にみると、「より強化すべき」は「30代」「40代」では 60%前後となっていて特に割合が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－40 「学校教育の充実」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

(4) 誰もが安全・安心して暮らせる充実したまち

⑪防災・減災体制の強化

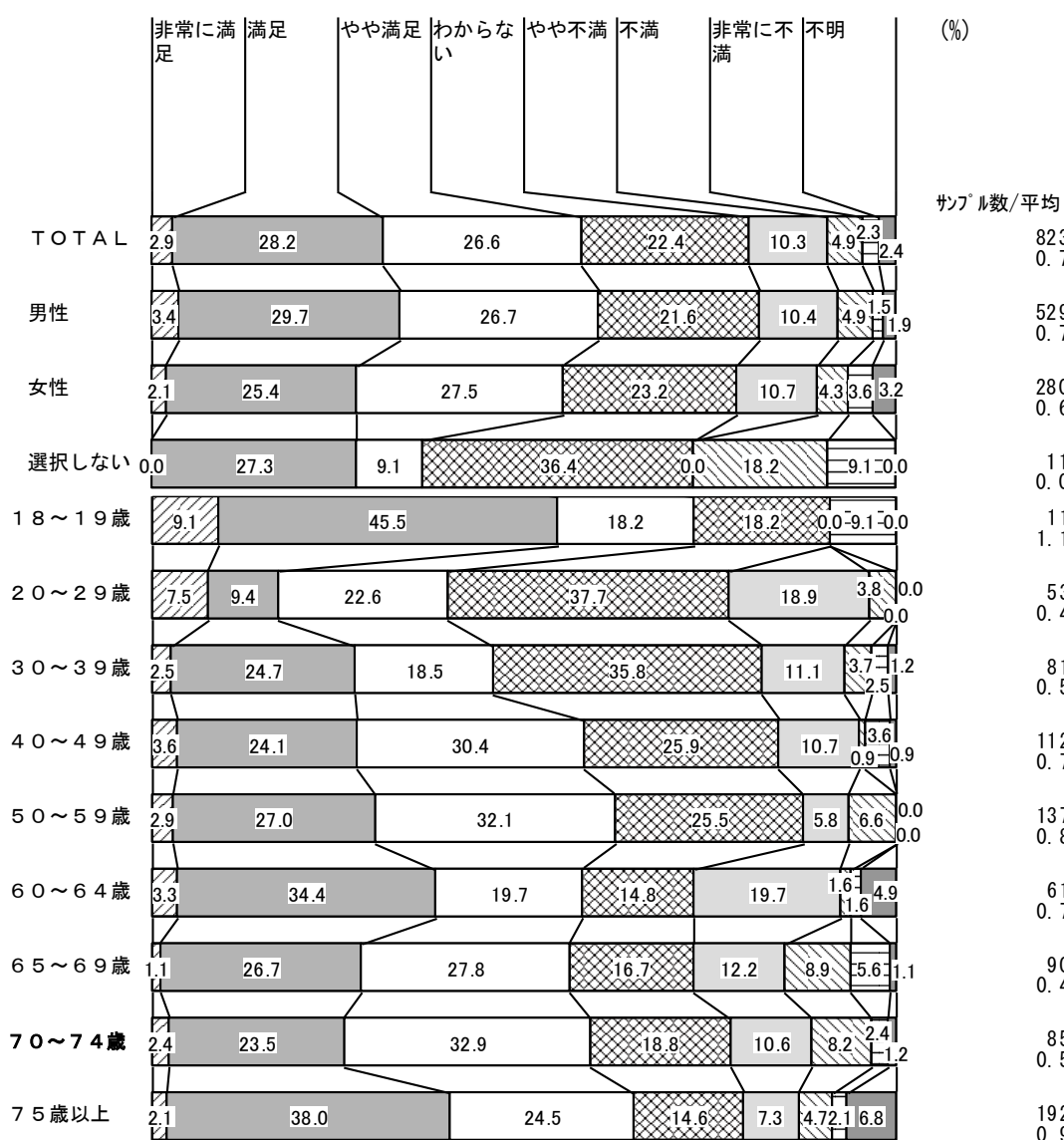
－不満の理由は、「避難所の運営体制が不安」が最も高くなっている－

<現在の満足度>

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が57.7%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の17.5%を40.2ポイント上回っており、「わからない」が22.4%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「75歳以上」の64.6%で最も割合が大きく、年代が上がるほど満足の割合が高い傾向にあります。

図表Ⅲ－4－41 「防災・減災体制の強化」に対する現在の満足度（性別、年齢別）

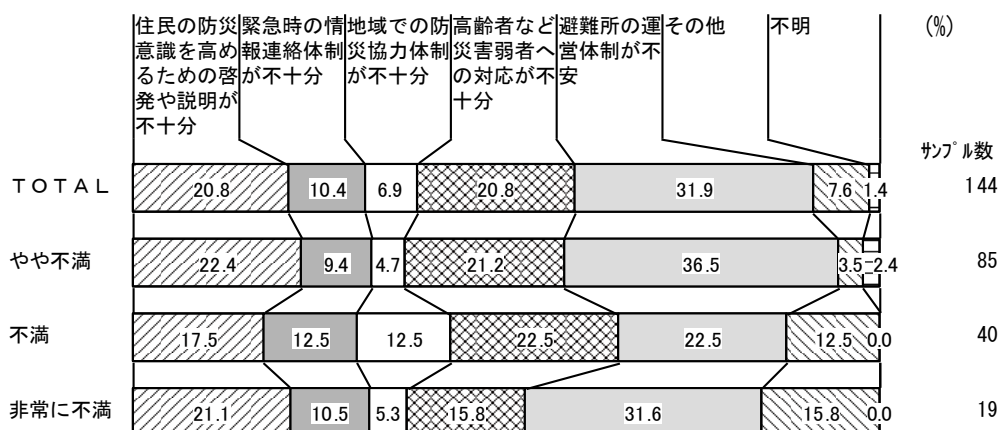


(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

<不満の理由>

- 全体では、「避難所の運営体制が不安」が31.9%で最も割合が大きくなっています。
- 不満度別にみると、いずれも「避難所の運営体制が不安」が最も大きい、「住民の防災意識を高めるための啓発や説明が不十分」、「高齢者など災害弱者への対応が不十分」も比較的大きくなっています。

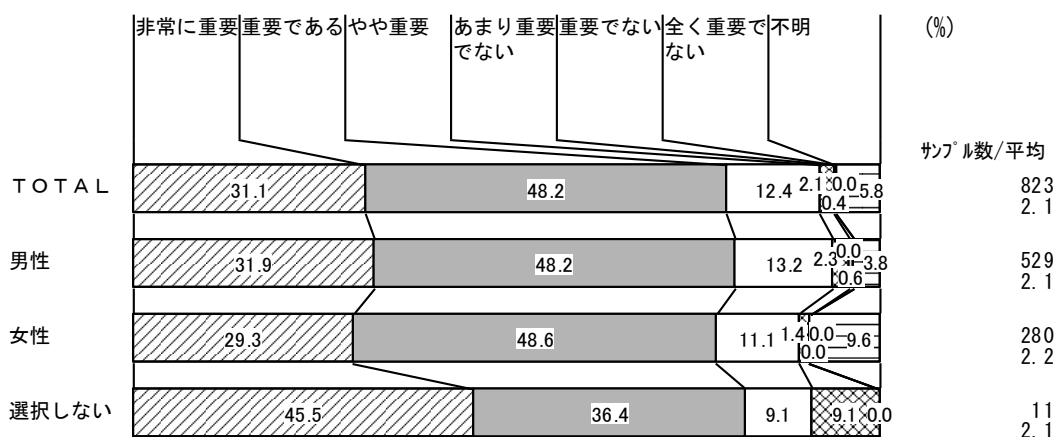
図表Ⅲ－４－４２ 「防災・減災体制の強化」に対する不満の理由（不満度別）



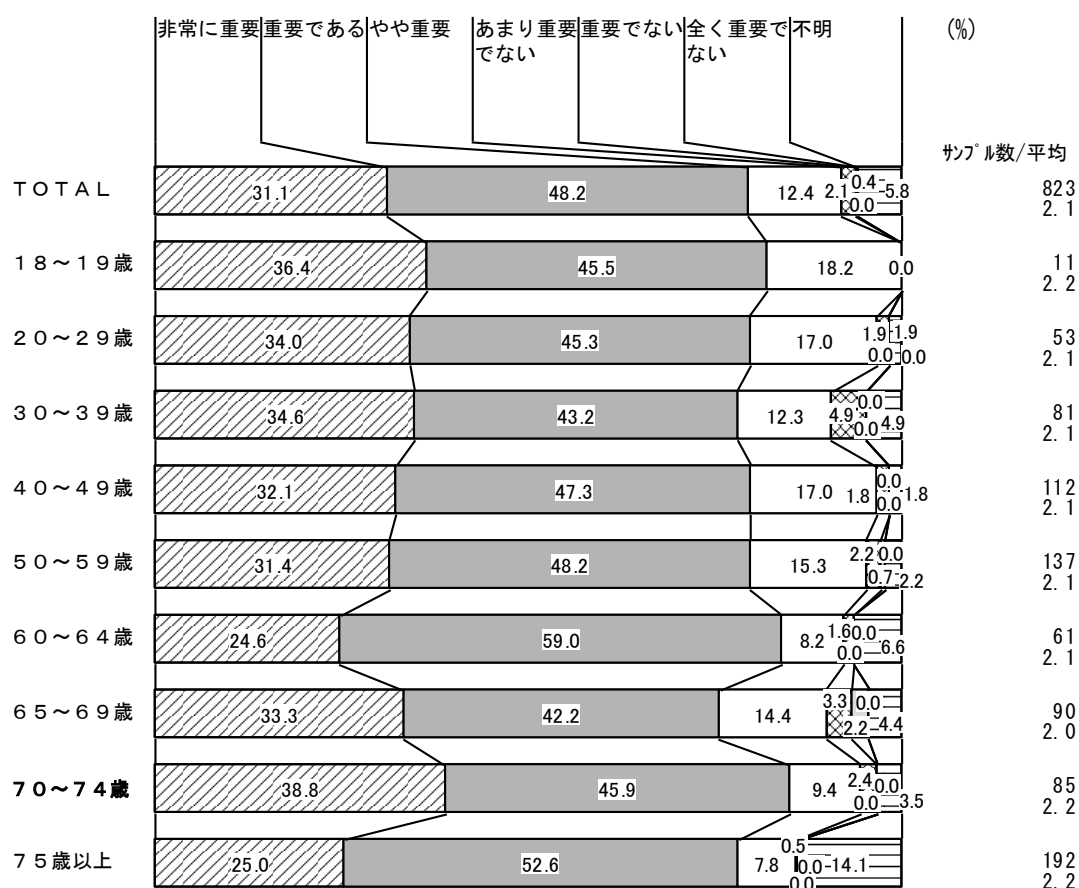
<今後の重要度>

- 全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が91.7%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が2.5%となっています。
- 年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）はいずれの年代も大きくなっており、その中でも「18～19歳」が100%になっています。

図表Ⅲ－４－４３ 「防災・減災体制の強化」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)



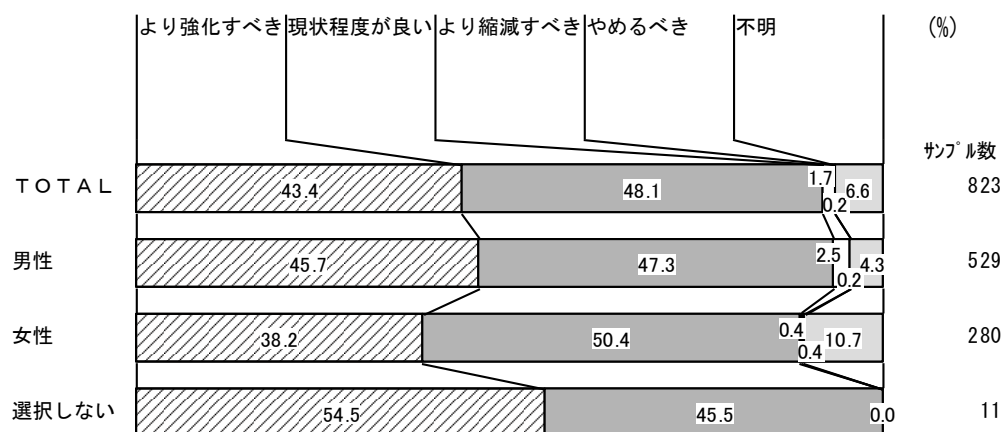
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

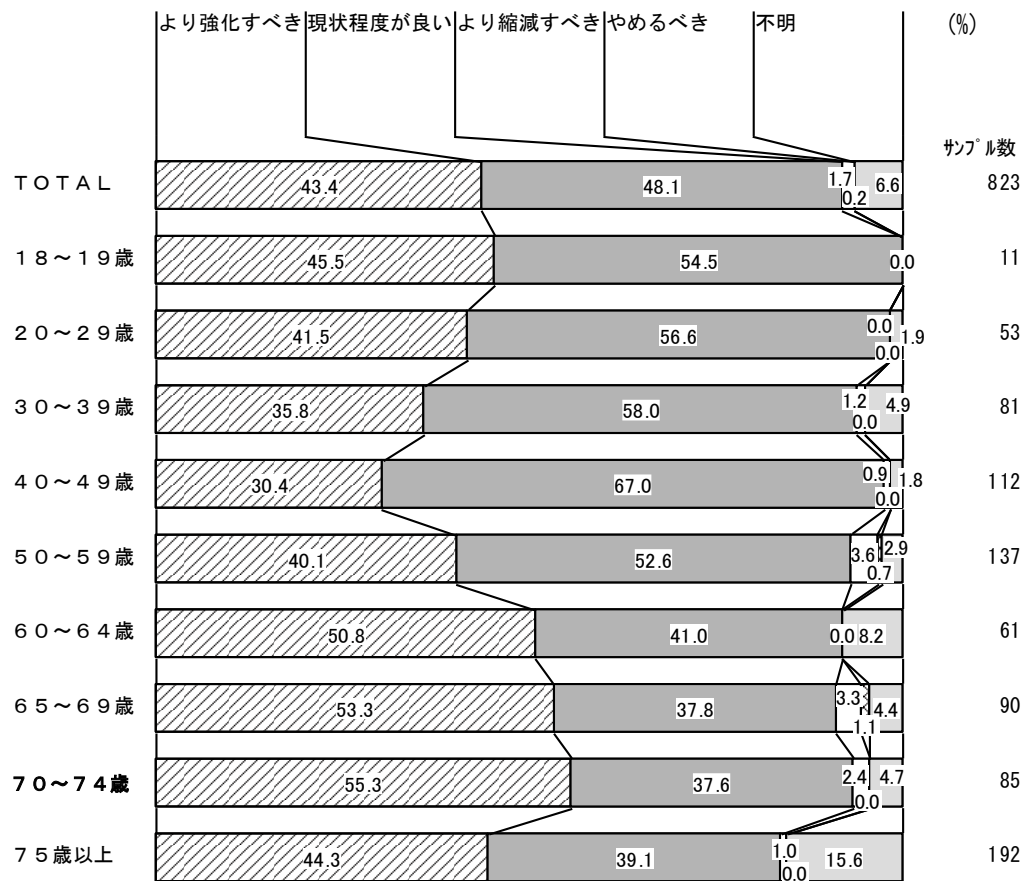
○全体では、「より強化すべき」が43.4%、「現状程度がよい」が48.1%となっています。

○年代別にみると、「より強化すべき」は「60代」以上で大きく、「50代」以下では「現状程度がよい」が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－４４ 「防災・減災体制の強化」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

⑫防犯・交通安全の充実

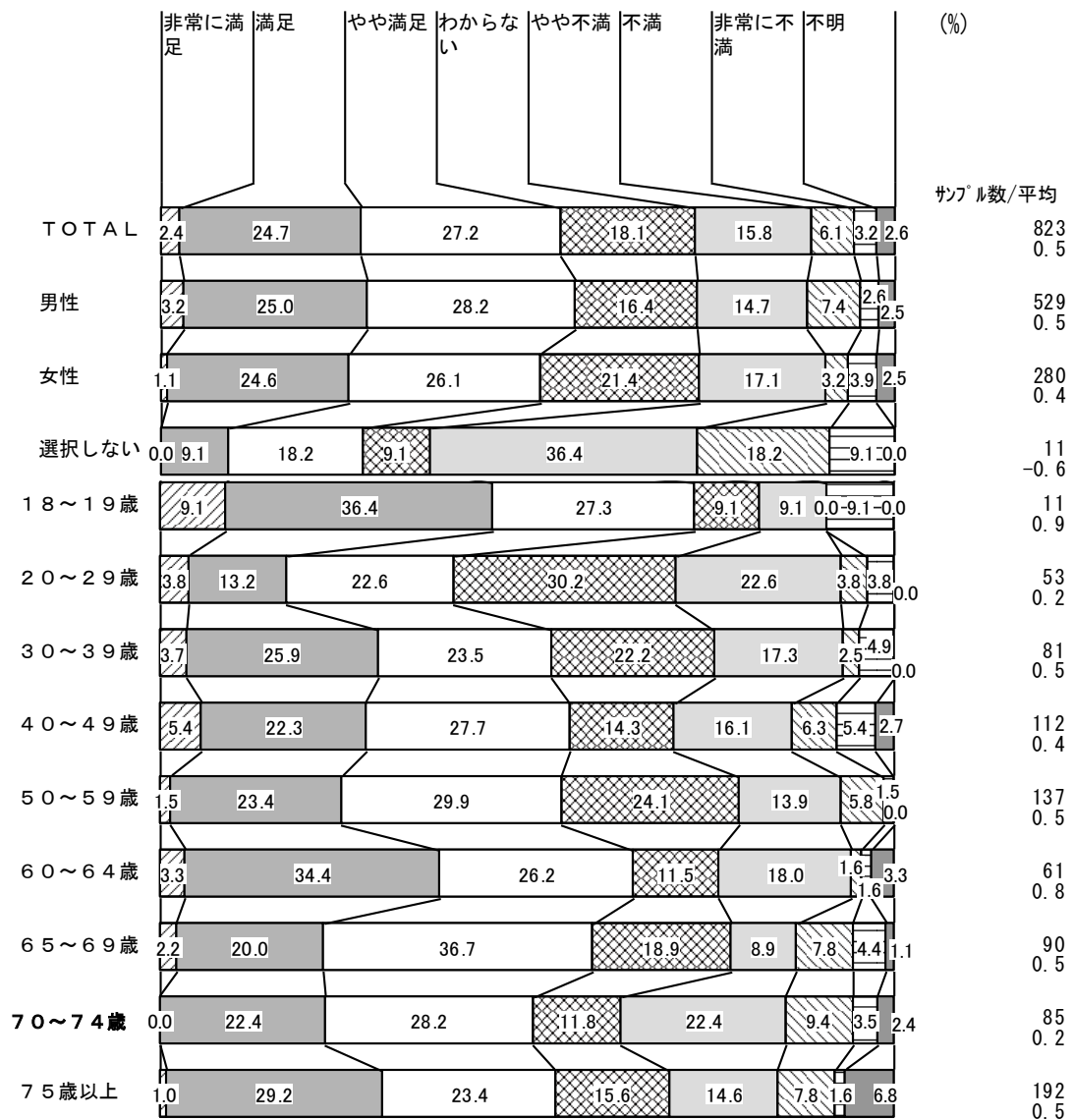
－不満の理由は、「防犯カメラの設置など犯罪防止のための取組が不十分」が最も高くなっている－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が54.3%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の25.1%を29.2ポイント上回っており、「わからない」が18.1%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は、「18～19歳」が72.8%、「60～64歳」が63.9%となっています。また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「70代」が35.3%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－４－４５ 「防犯・交通安全の充実」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



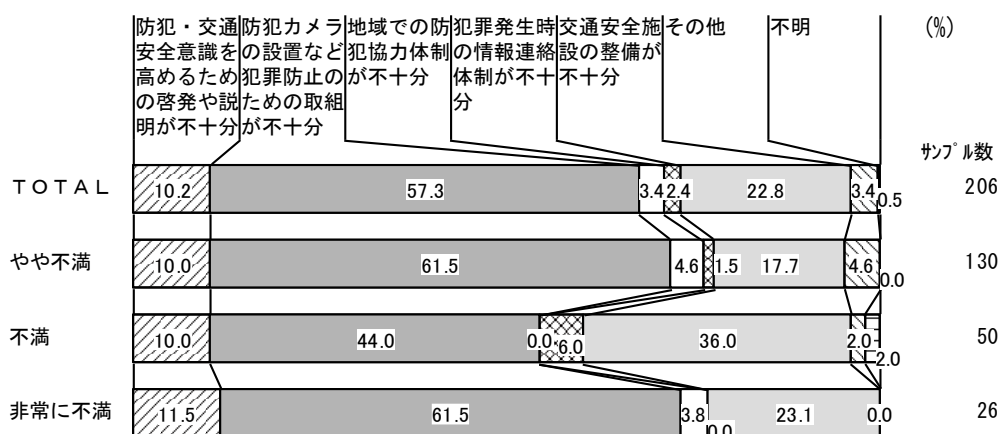
（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

○全体では、「防犯カメラの設置など犯罪防止のための取組が不十分」が 57.3%で最も割合が大き
く、次いで「歩道の設置や交差点の改良など、交通安全施設の整備が不十分」が 22.8%となっ
ています。

○不満度別にみると、いずれも「防犯カメラの設置など犯罪防止のための取組が不十分」が最も大
きくなっていますが、「不満」では「歩道の設置や交差点の改良など、交通安全施設の整備が不十分
」も比較的大きくなっています。

図表Ⅲ－４－46 「防犯・交通安全の充実」に対する不満の理由（不満度別）

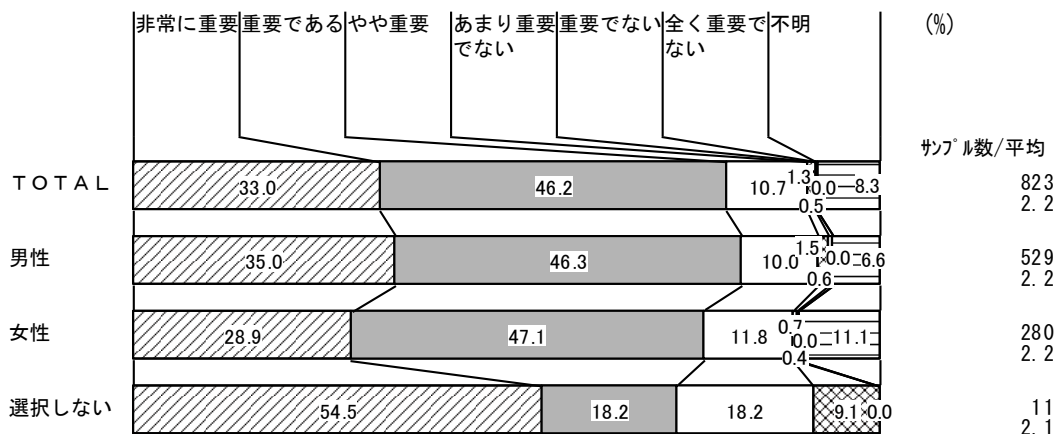


＜今後の重要度＞

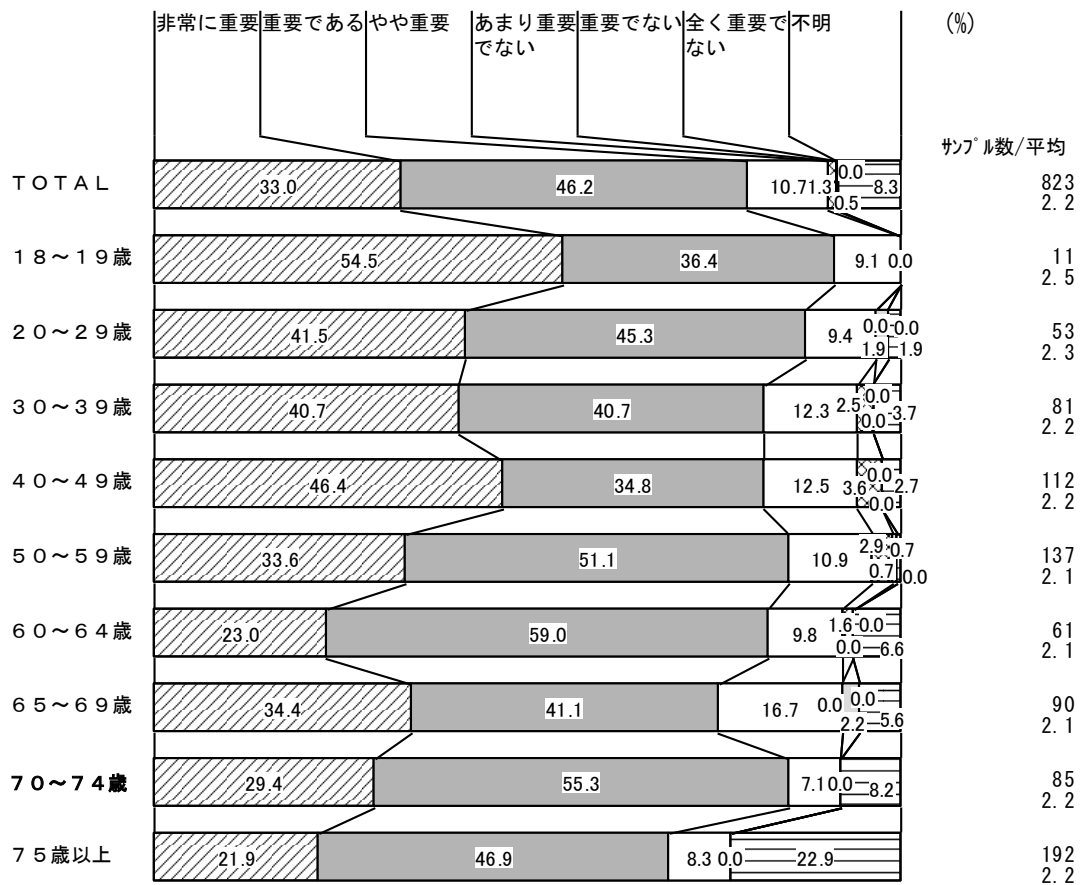
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 89.9%、重要ではない
（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 1.8%となってい
ます。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、不明の多い「75
歳以上」以外は、いずれの年代も 90%台となっており、その中でも「18～19 歳」が 100%に
なっています。

図表Ⅲ－４－47 「防犯・交通安全の充実」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



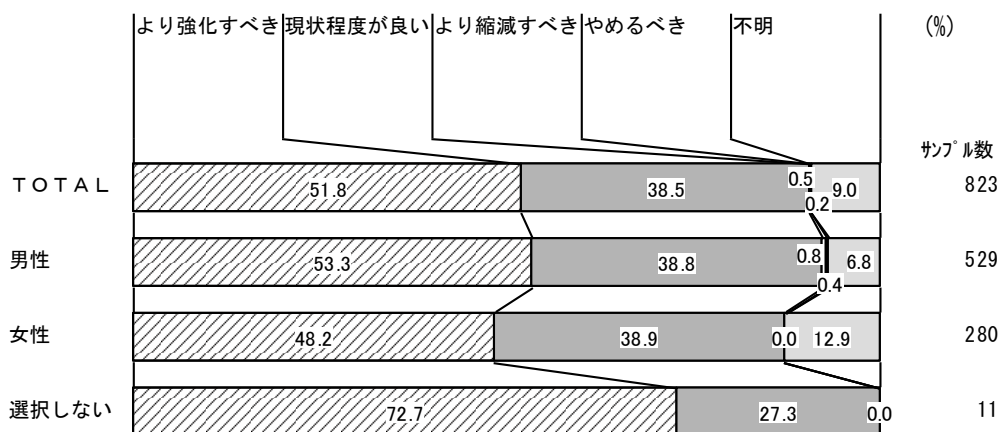
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

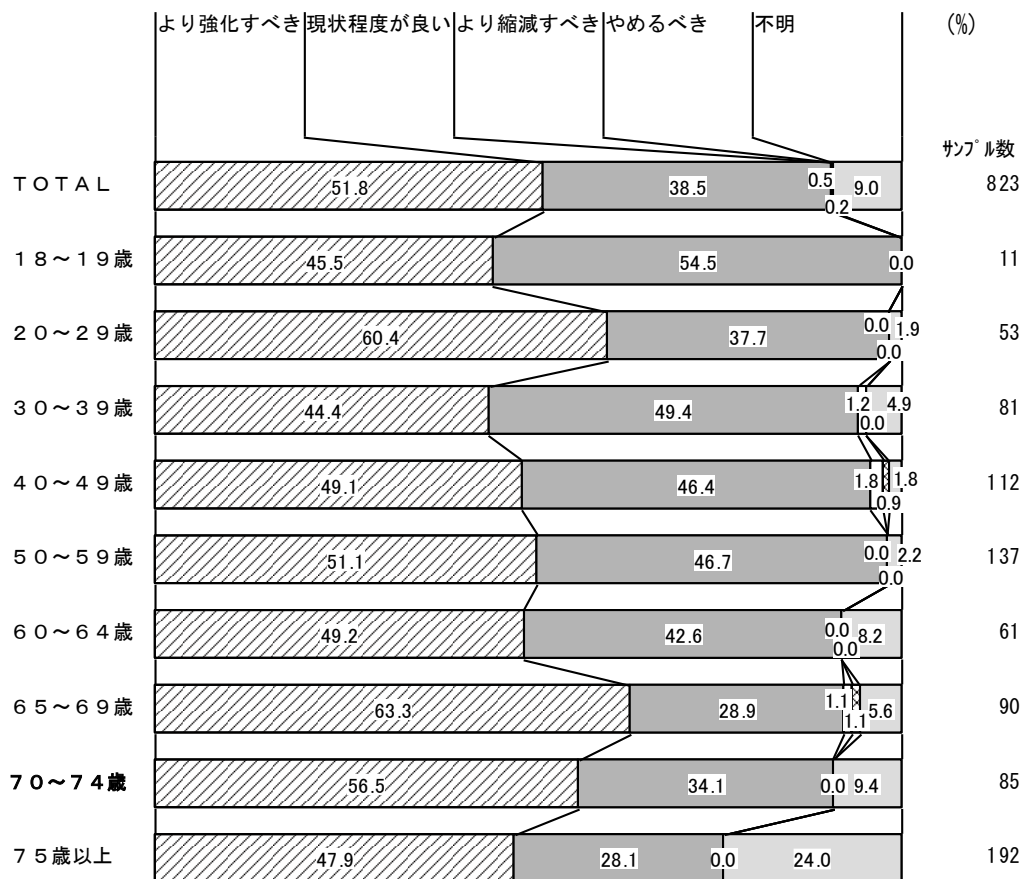
○全体では、「より強化すべき」が51.8%、「現状程度がよい」が38.5%となっています。

○年代別にみると、「より強化すべき」で特に「60代」及び「20代」ではいずれも60%以上になっています。

図表Ⅲ－４－48 「防犯・交通安全の充実」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

⑬保健・医療の充実

－不満の理由は、「休日・夜間の医療体制が不十分」

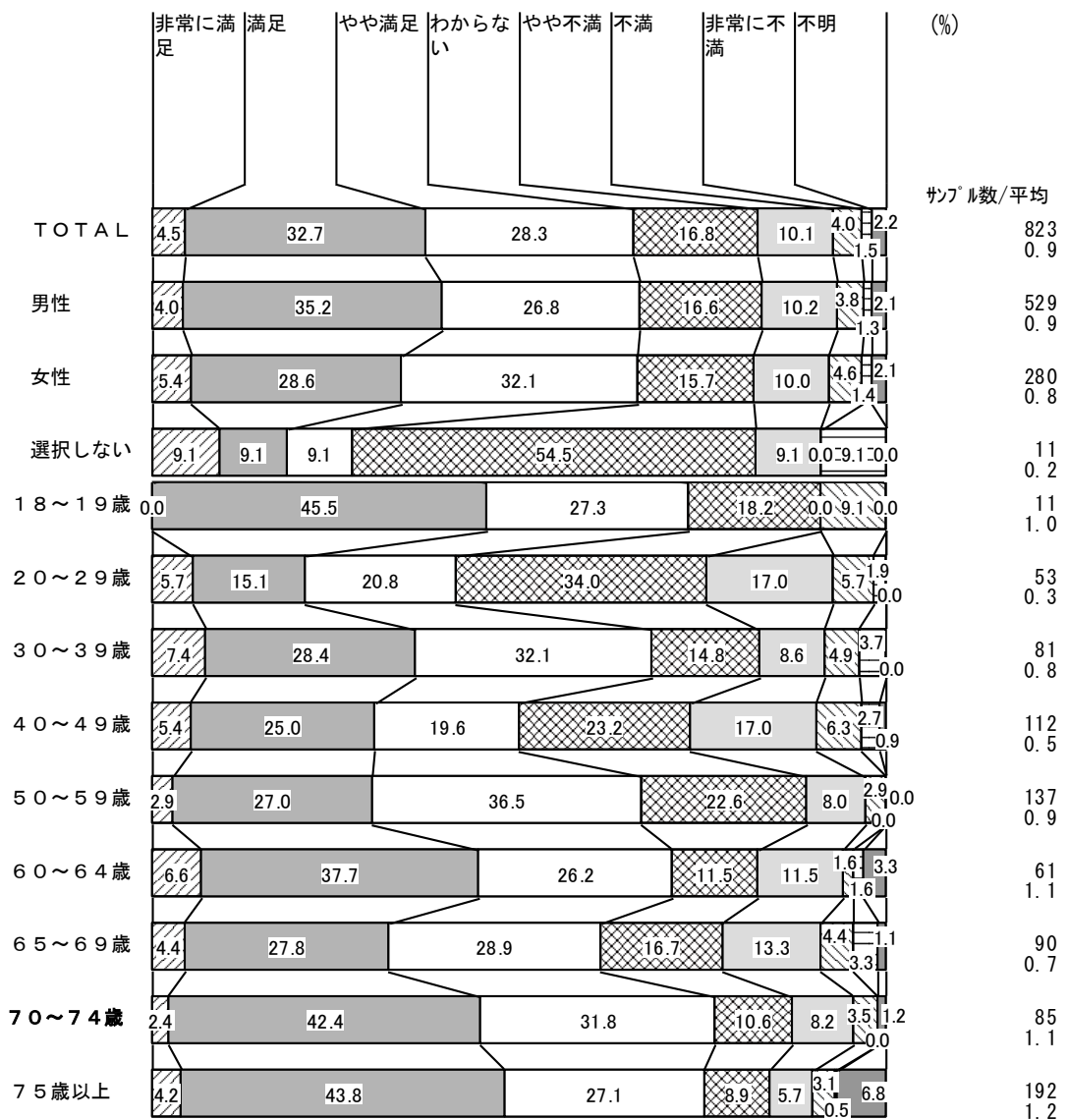
「医療施設が少ない」が高くなっている－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が65.5%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の15.6%を49.9ポイント上回っており、「わからない」が28.3%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「70～74歳」が76.6%で最も大きく、次いで「75歳以上」の75.1%となっています。また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「40代」が26.0%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－4－49 「保健・医療の充実」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



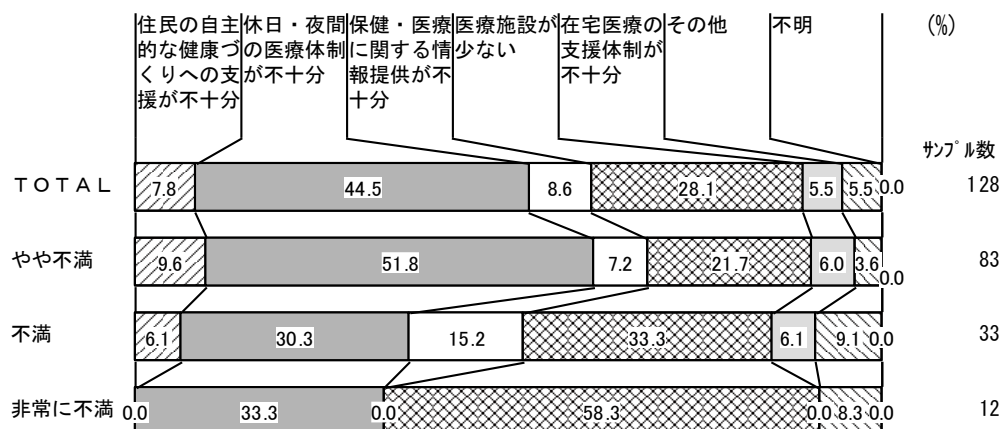
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

○全体では、「休日・夜間の医療体制が不十分」が44.5%で最も大きく、次いで「医療施設が少ない」の28.1%となっています。

○不満度別にみても、「やや不満」では「休日・夜間の医療体制が不十分」、「不満」及び「非常に不満」では「医療施設が少ない」が最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－50 「保健・医療の充実」に対する不満の理由（不満度別）

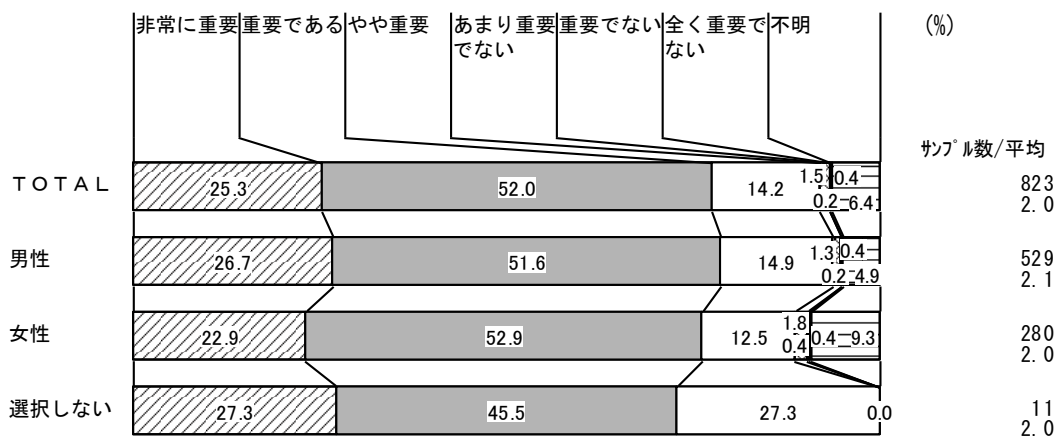


＜今後の重要度＞

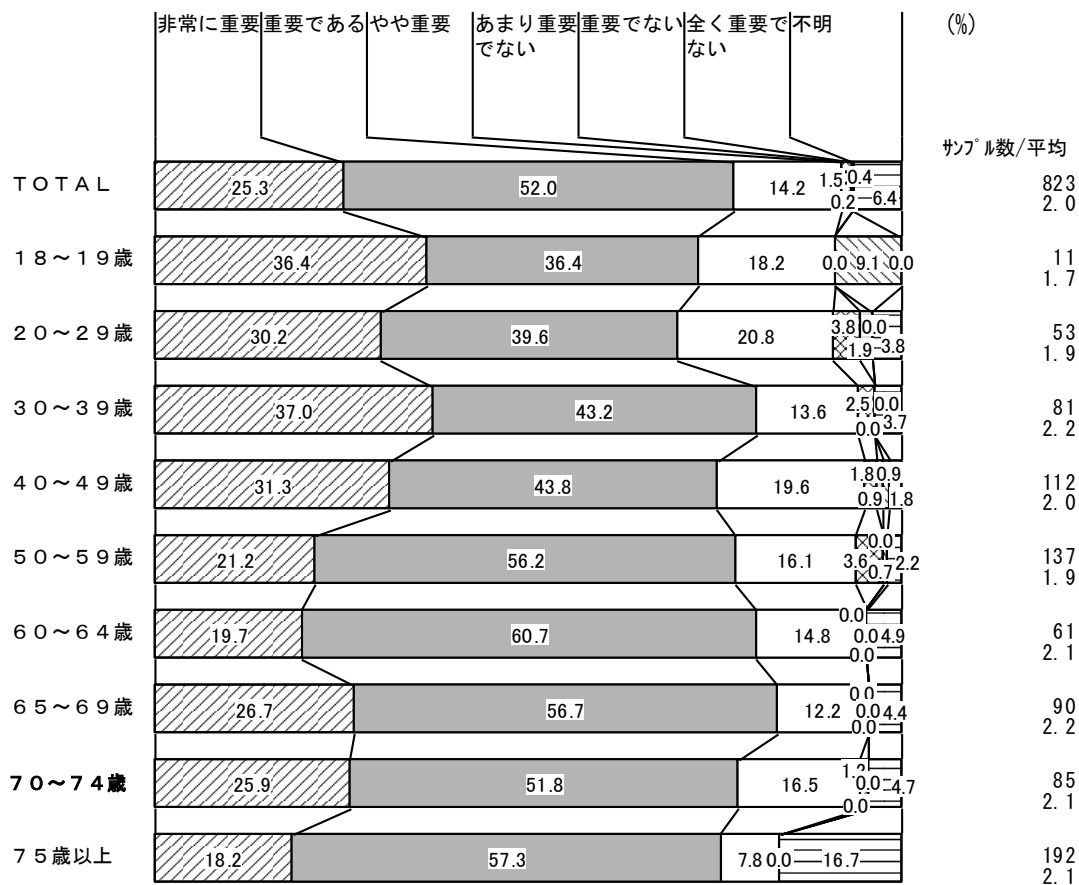
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が91.5%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が2.1%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、不明の多い「75歳以上」以外、ほとんどが90%以上となっています。

図表Ⅲ－４－51 「保健・医療の充実」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



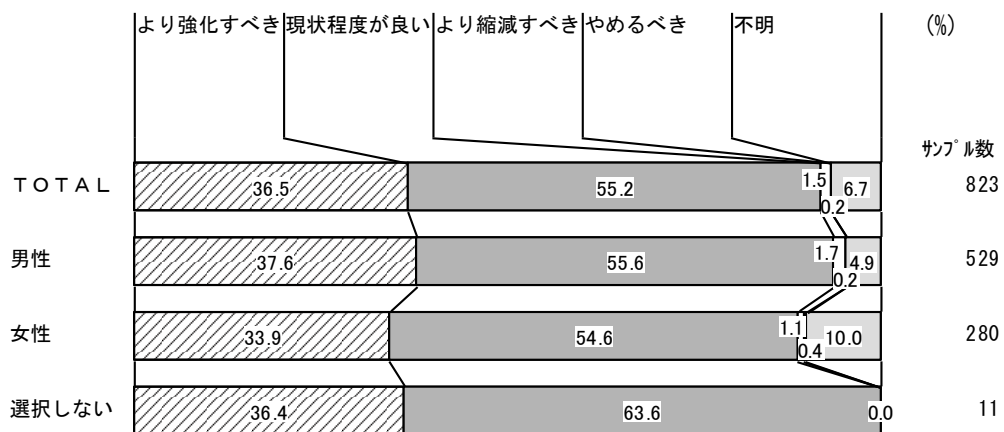
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

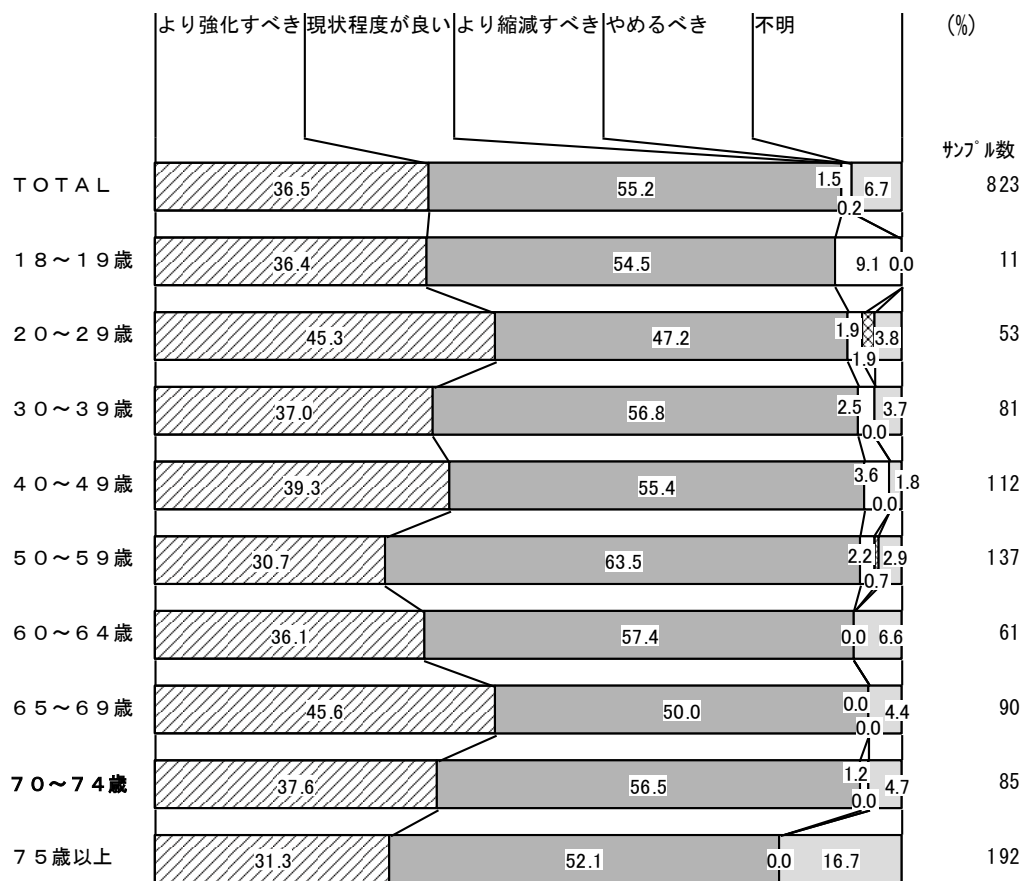
○全体では、「より強化すべき」が36.5%、「現状程度がよい」が55.2%となっています。

○年代別にみると、「より強化すべき」は「20代」と「60代」で45%を超えていますが、いずれの年代でも「現状程度がよい」が大きくなっています。

図表Ⅲ－4－52 「保健・医療の充実」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

⑭高齢者福祉の充実

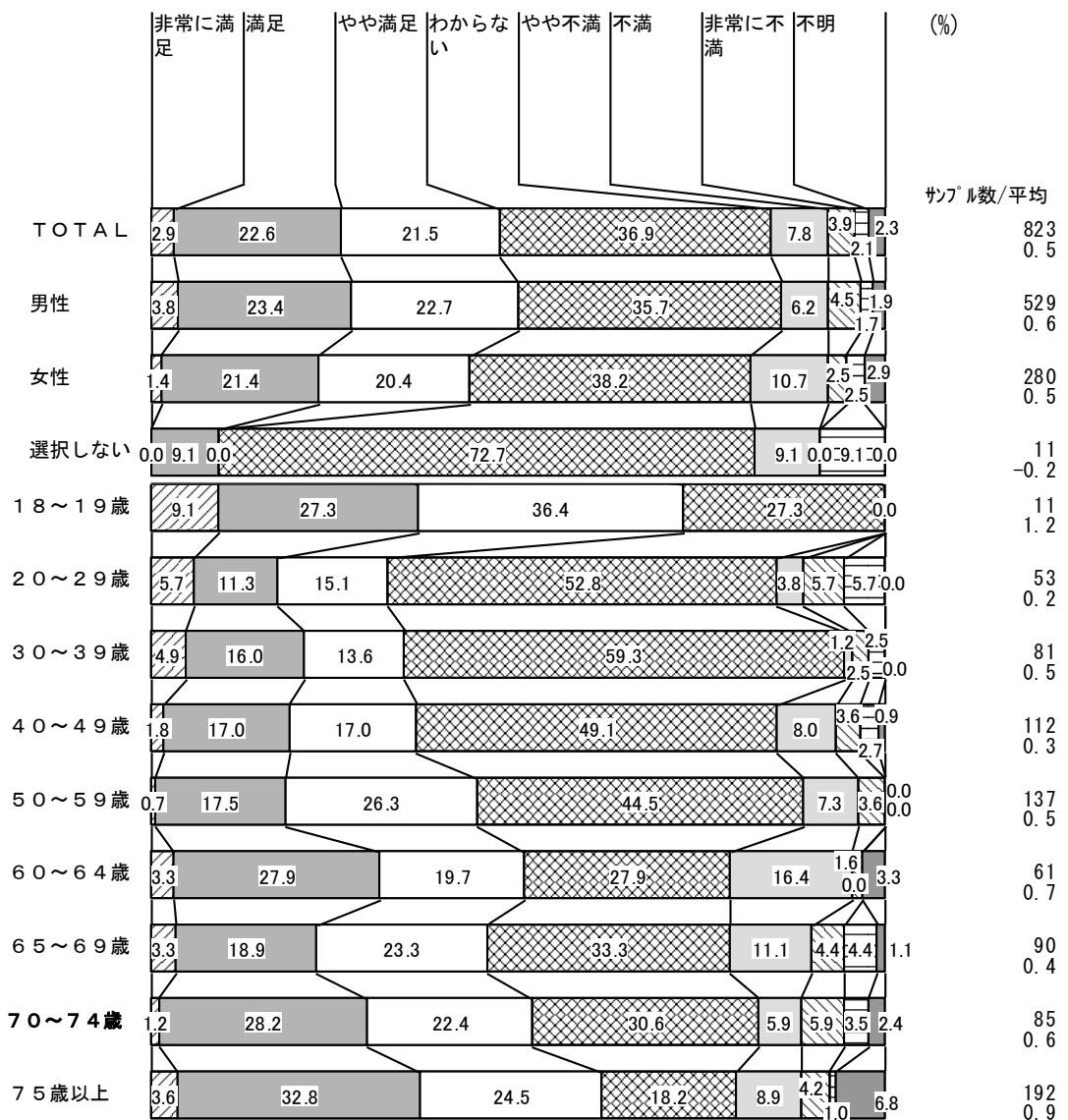
－不満の理由は、「介護サービスに関する情報提供が不十分」が最も高い－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が47.0%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の13.8%を33.2ポイント上回っており、「わからない」が36.9%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「75歳以上」が60.9%で最も大きく、凡そ年代に比例して満足度は高い傾向にあります。

図表Ⅲ－４－53 「高齢者福祉の充実」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



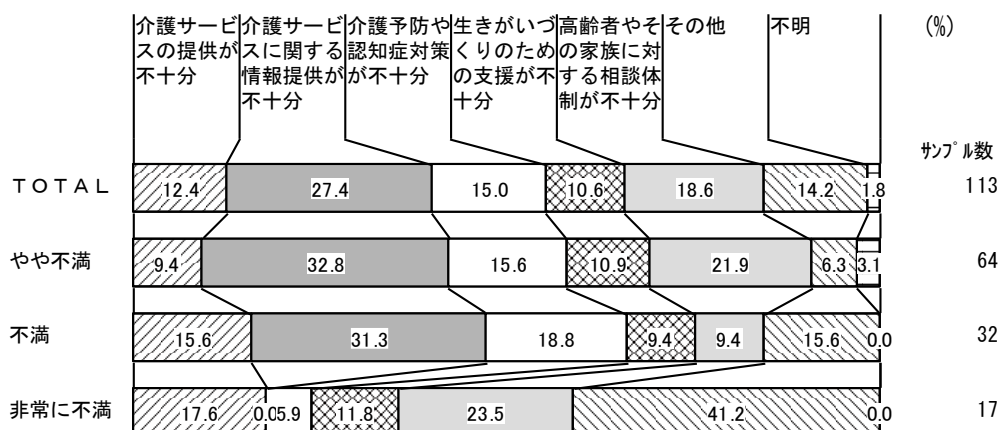
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

○全体では、「介護サービスに関する情報提供が不十分」が27.4%で最も割合が大きく、次いで「支援が必要な高齢者やその家族に対する相談体制が不十分」の18.6%となっています。

○不満度にみると、「やや不満」や「不満」では「介護サービスに関する情報提供が不十分」が最も大きく、「非常に不満」では介護人材不足など「その他」が最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－54 「高齢者福祉の充実」に対する不満の理由（不満度別）

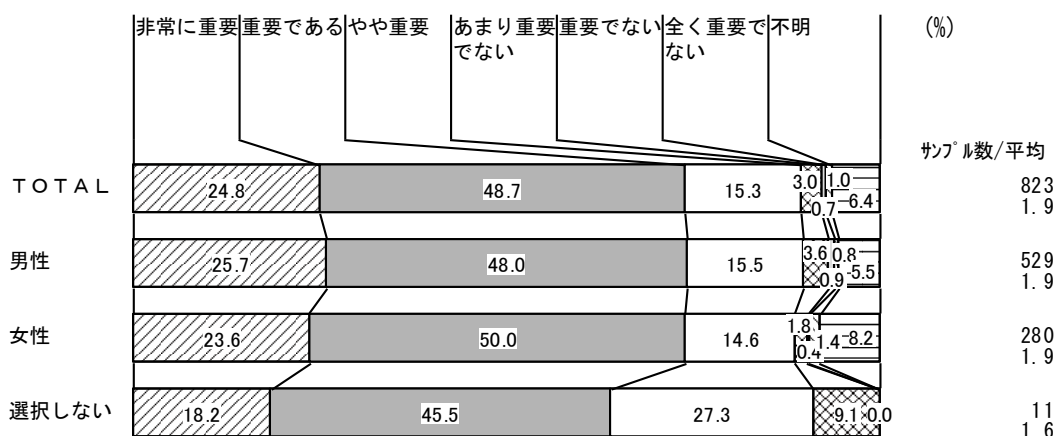


＜今後の重要度＞

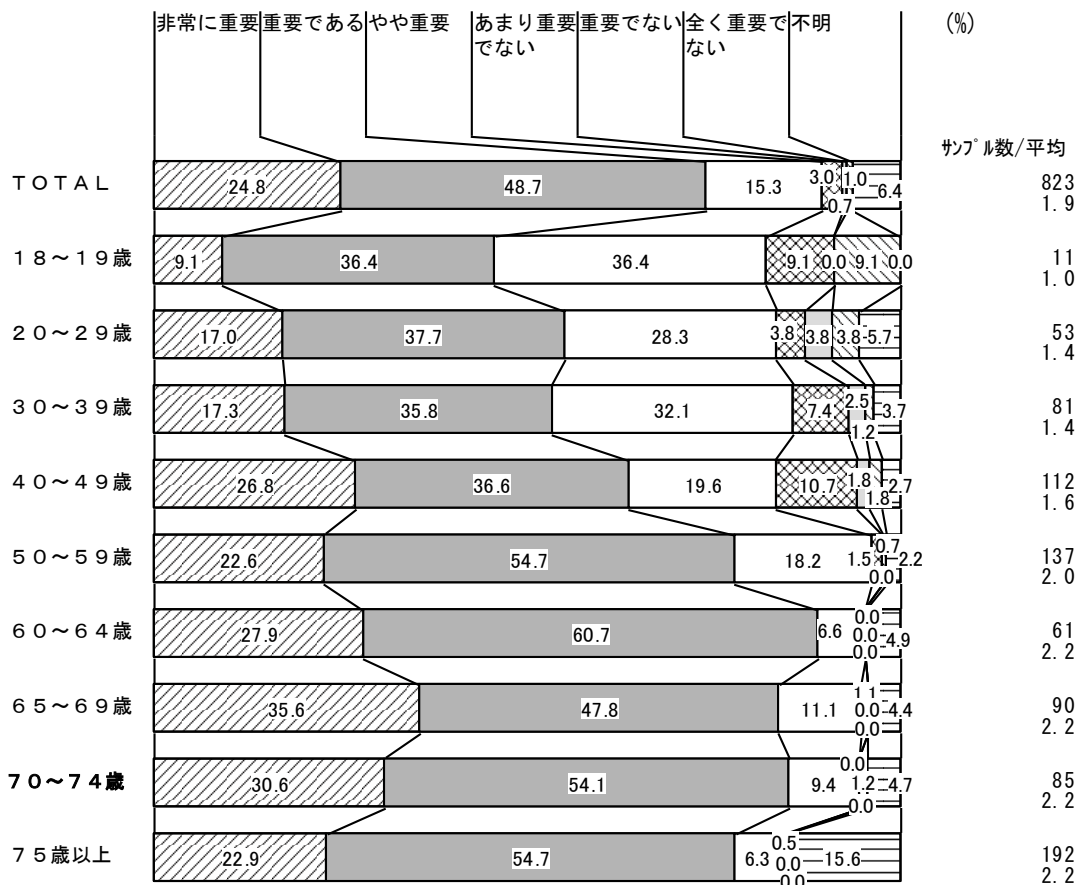
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が88.8%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が4.7%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）はいずれの年代も80%を超えており、その中でも「50代」が95.2%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－55 「高齢者福祉の充実」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)



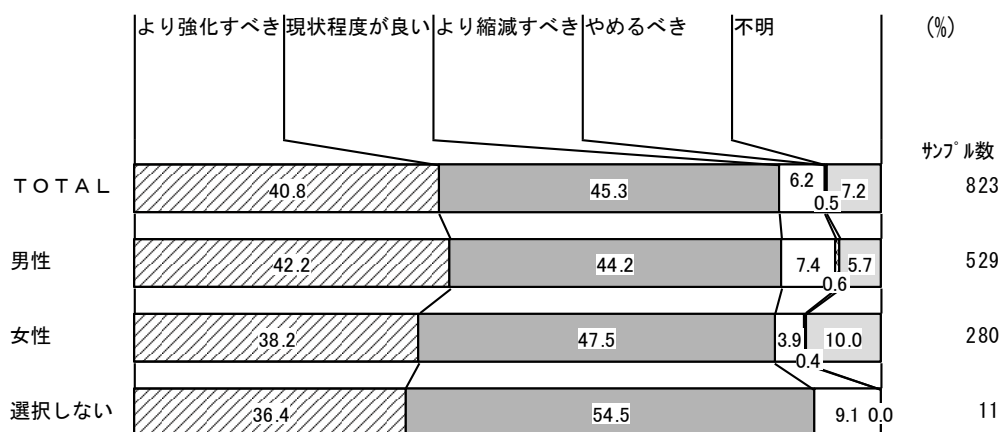
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

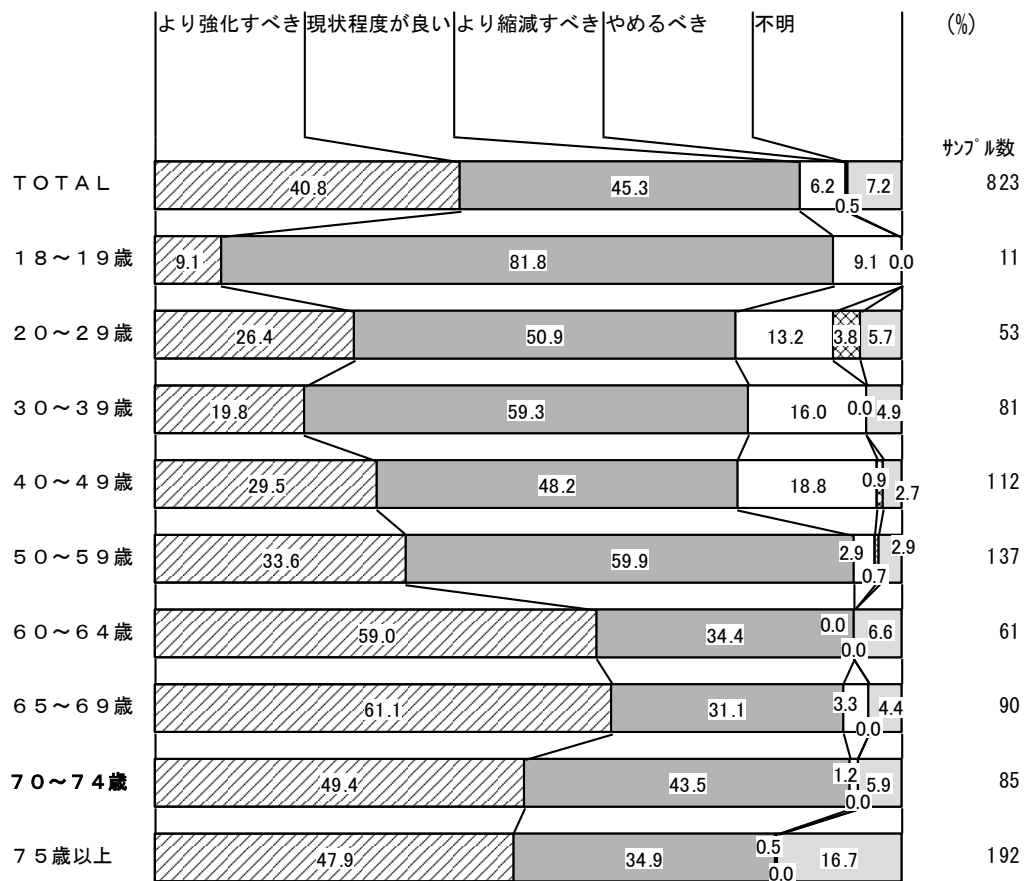
○全体では、「より強化すべき」が 40.8%、「現状程度がよい」が 45.3%となっています。

○年代別にみると、「18～19 歳」及び「50 代」を中心に「現状程度がよい」が大きく、「60 代」では「より強化すべき」が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－56 「高齢者福祉の充実」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

⑮障がい者福祉の充実

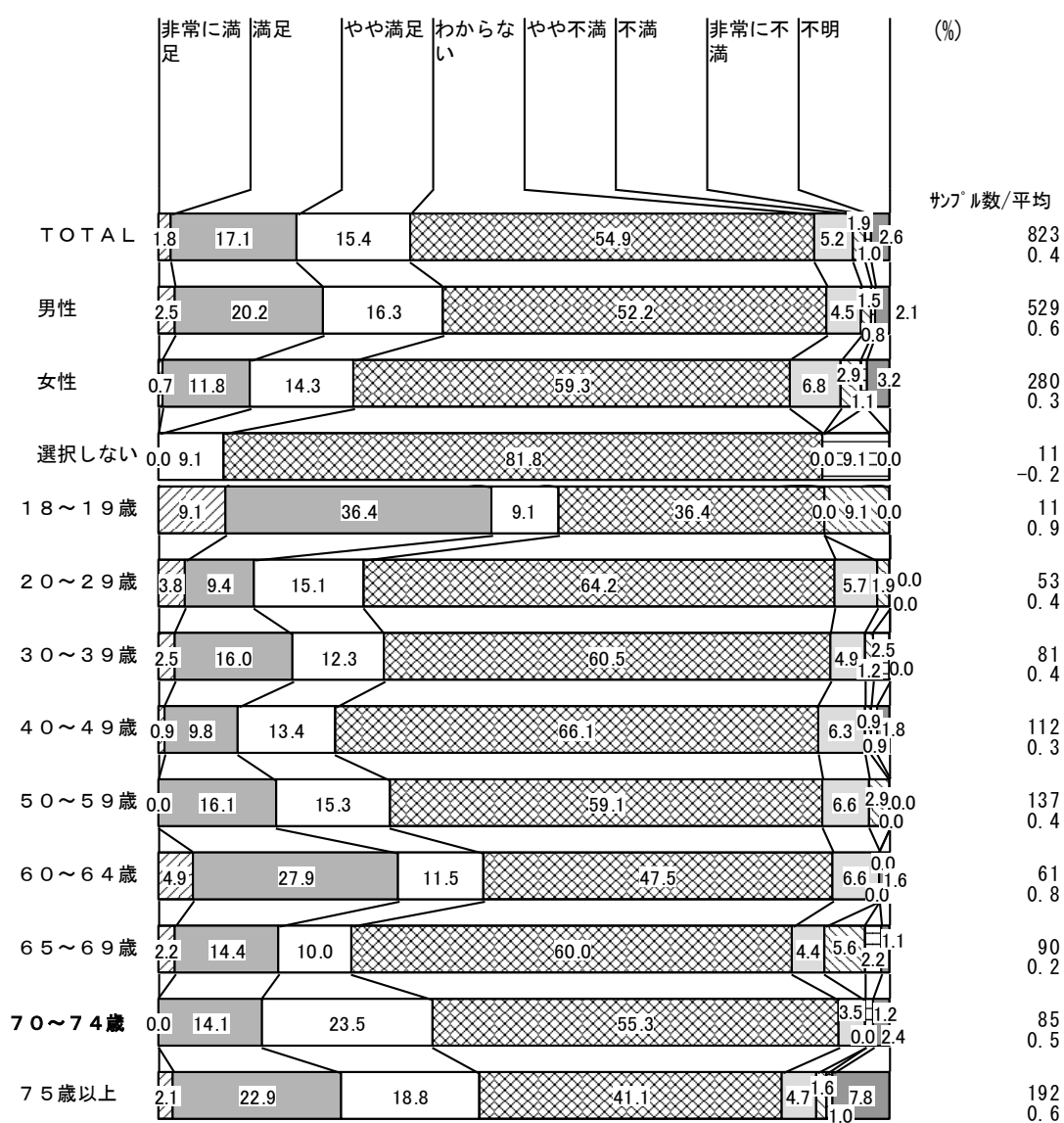
－不満の理由は、「障がいのある方が自立した生活を送るための支援体制が不十分」が最も高い－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が34.3%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の8.1%を26.2ポイント上回っており、「わからない」が54.9%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」や「60～64歳」、「75歳以上」などで大きくなっています。なお、「わからない」はいずれも最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－57 「障がい者福祉の充実」に対する現在の満足度（性別、年齢別）

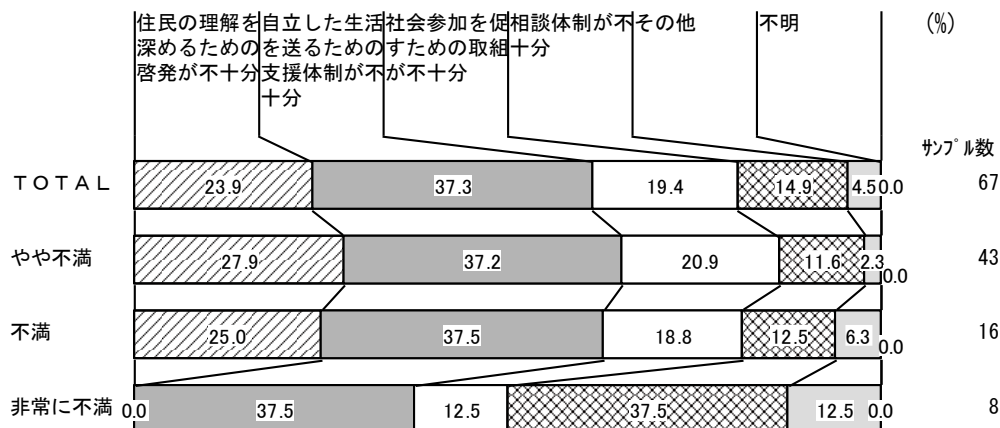


（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）

＜不満の理由＞

- 全体では、「障がいのある方が自立した生活を送るための支援体制が不十分」が 37.3%で最も割合が大きく、次いで「障がいのある方に対する住民の理解を深めるための啓発が不十分」の 23.9%となっています。
- 不満度別にみると、いずれも「障がいのある方が自立した生活を送るための支援体制が不十分」が最も大きくなっています。

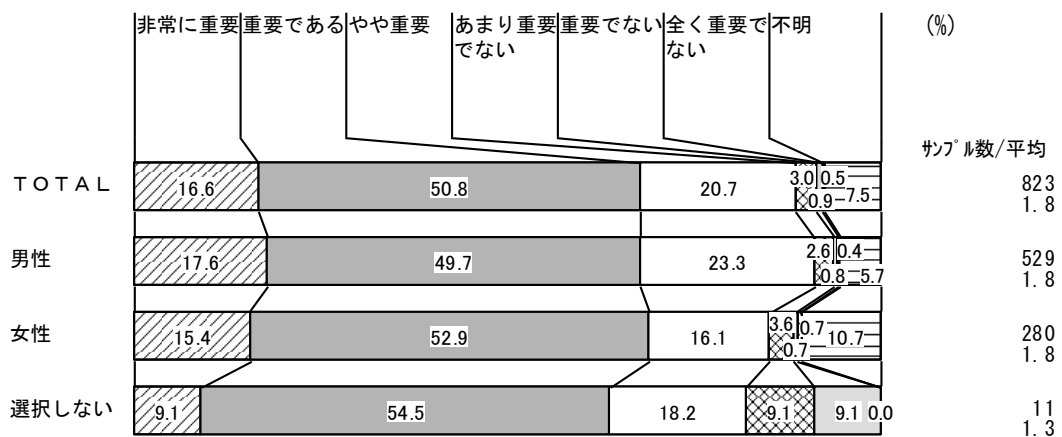
図表Ⅲ－４－58 「障がい者福祉の充実」に対する不満の理由（不満度別）



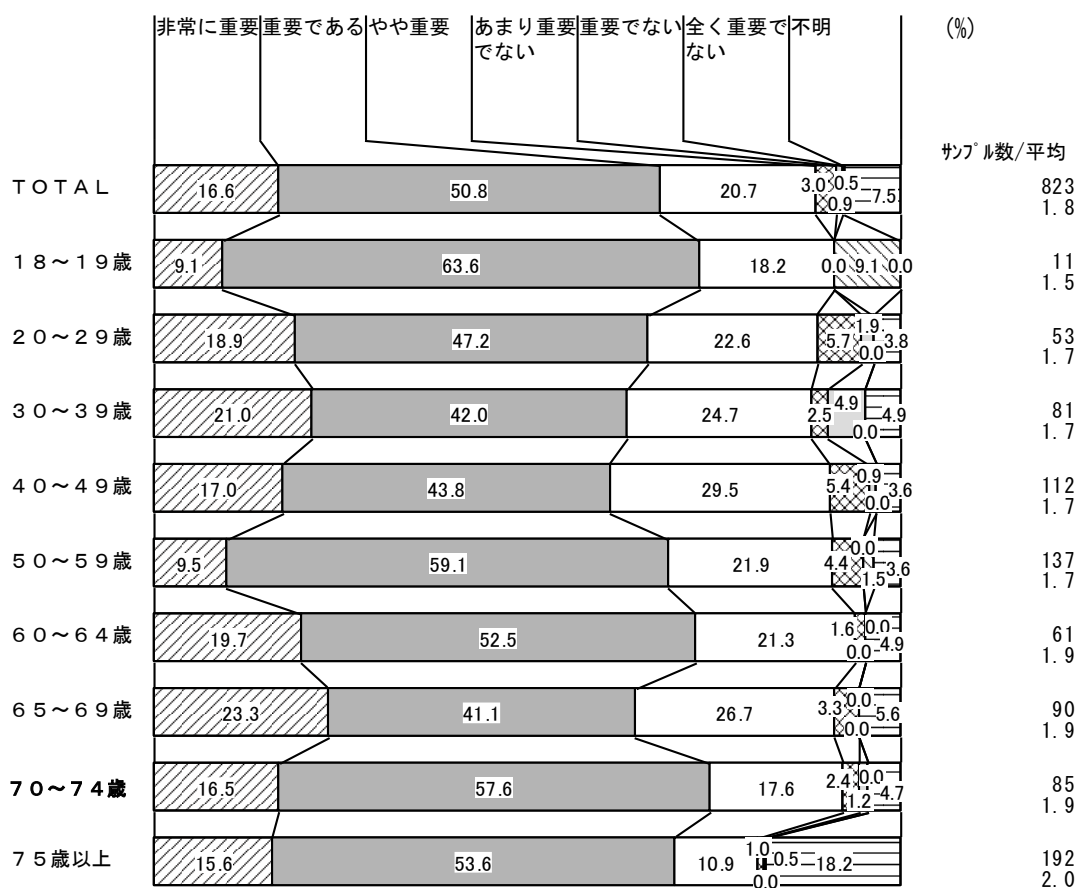
＜今後の重要度＞

- 全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 88.1%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 4.4%となっています。
- 年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、不明の多い「75歳以上」以外、いずれの年代も 90%前後と大きくなっています。

図表Ⅲ－４－59 「障がい者福祉の充実」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



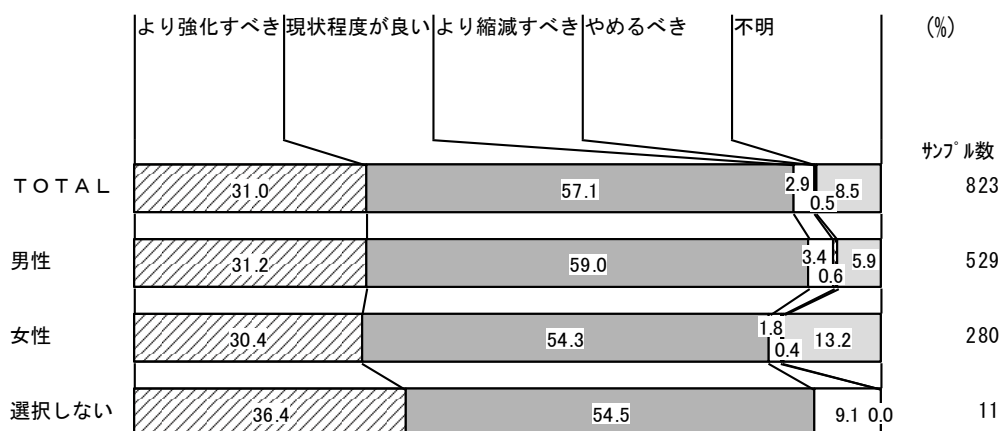
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

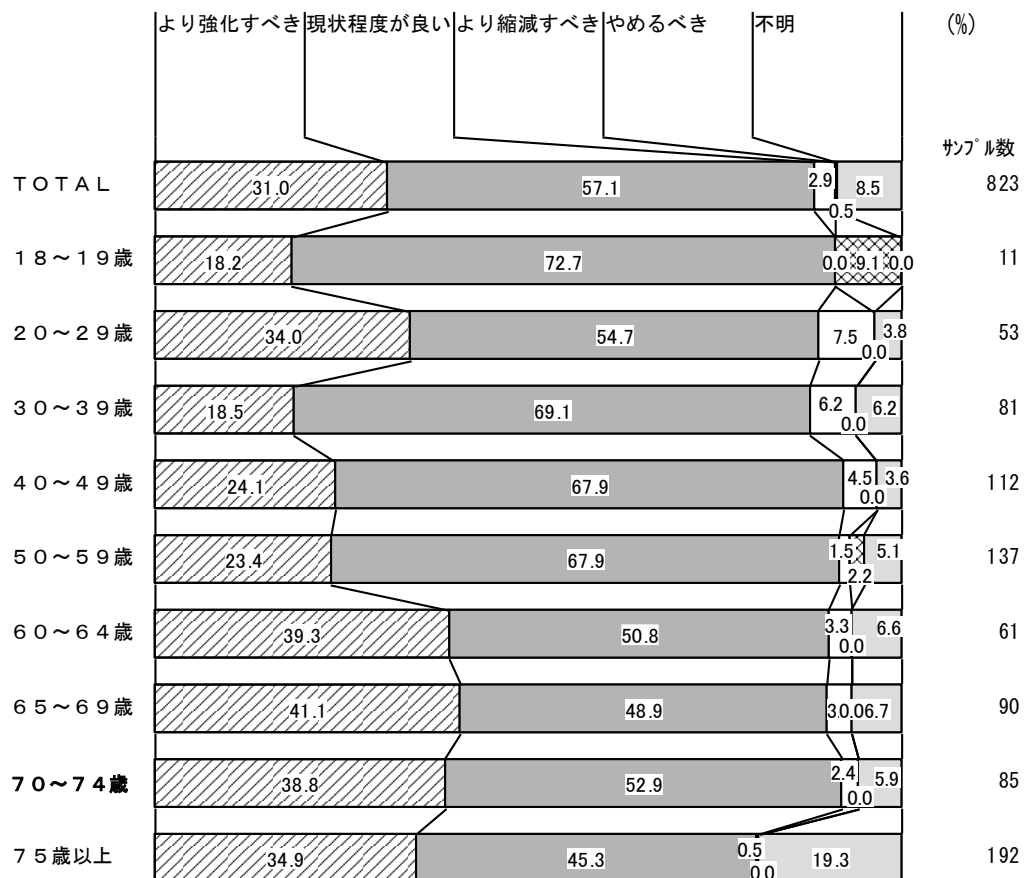
○全体では、「より強化すべき」が31.0%、「現状程度がよい」が57.1%となっています。

○年代別にみると、いずれの年代でも「現状程度がよい」が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－60 「障がい者福祉の充実」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

⑯地域福祉の充実

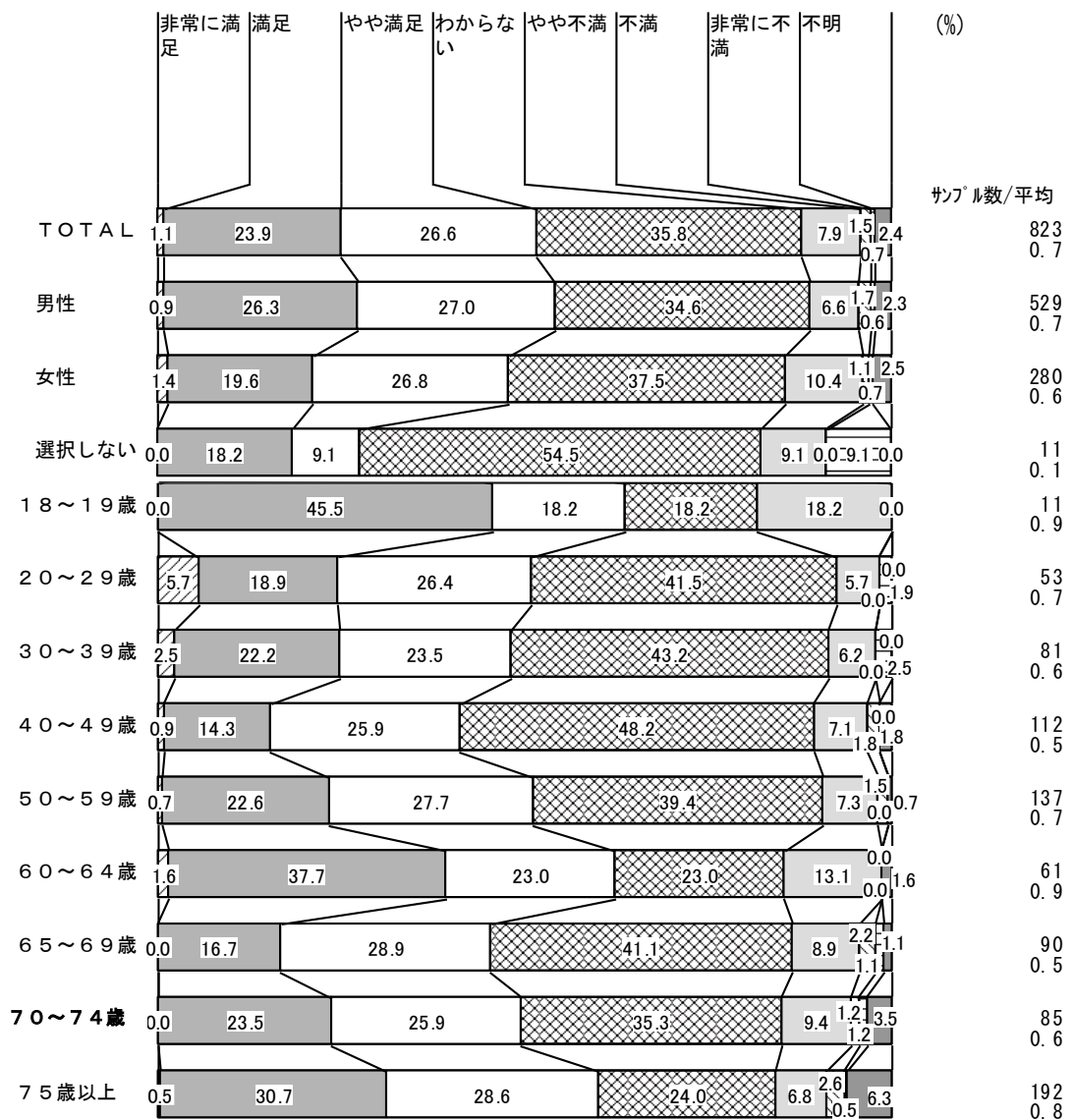
－不満の理由は、「豊かな体験や交流ができる機会が少ない」が最も高い－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が51.6%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の10.1%を41.5ポイント上回っており、「わからない」が35.8%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」が63.7%で最も大きく、「60～64歳」が62.3%でこれに次いでいます。また、「わからない」は、多くの年代で大きくなっており、その中でも「40代」が48.2%で最も大きくなっていきます。

図表Ⅲ－４－61 「地域福祉の充実」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



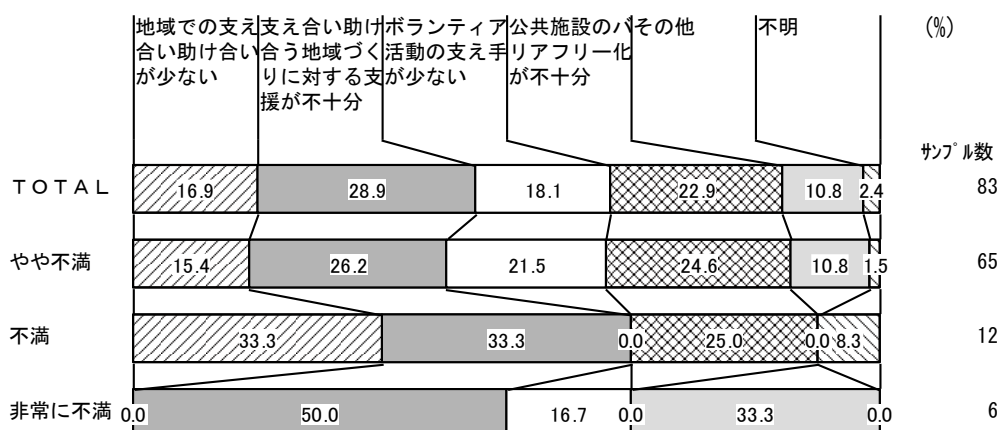
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

○全体では、「支え合い助け合う地域づくりに対する支援が不十分」が 28.9%で最も高く、次いで「公共施設のバリアフリー化が不十分」の 22.9%となっています。

○不満度別にみると、いずれも「支え合い助け合う地域づくりに対する支援が不十分」が最も大きくなっていますが、「不満」では「地域での支え合い助け合いが少ない」も同様に大きくなっています。

図表Ⅲ－４－62 「地域福祉の充実」に対する不満な理由

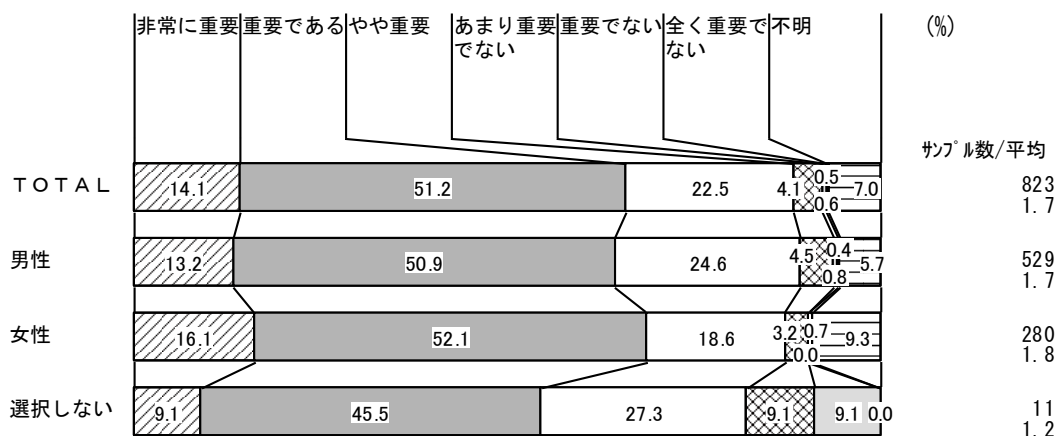


＜今後の重要度＞

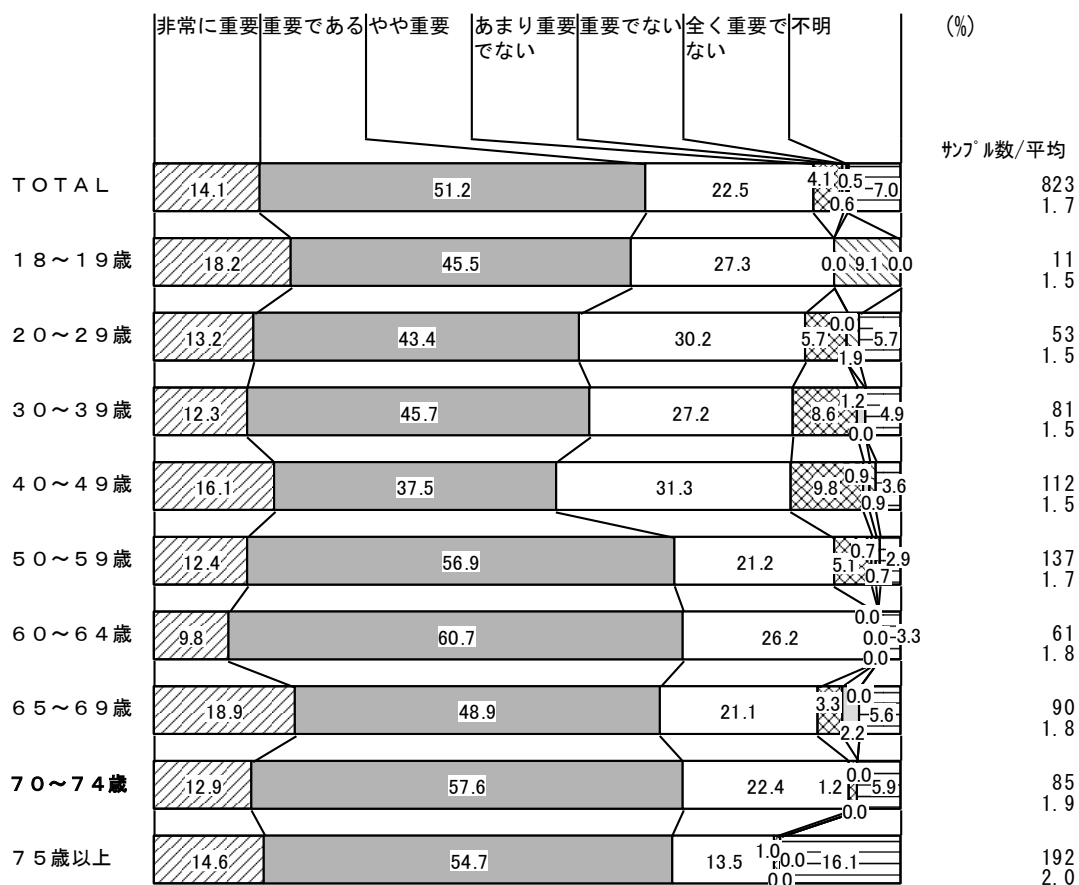
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 87.8%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 5.2%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）はいずれの年代も 80%を超えており、その中でも「60～64 歳」が 96.7%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－63 「地域福祉の充実」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



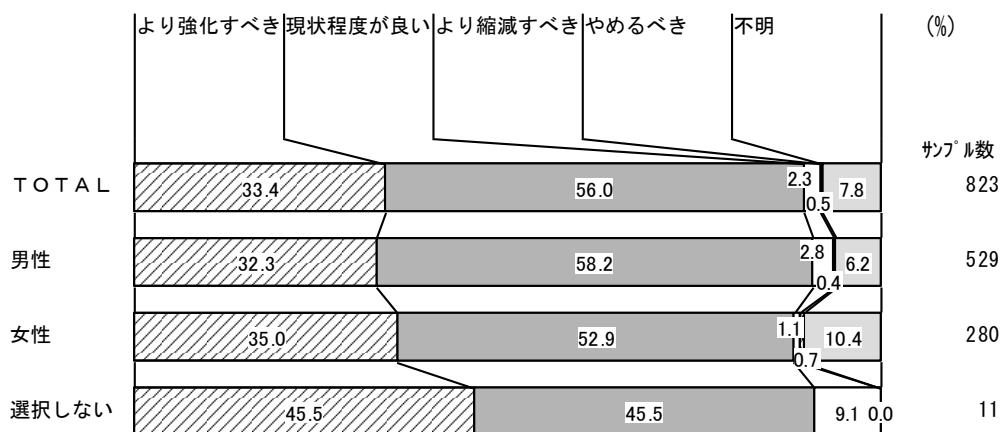
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

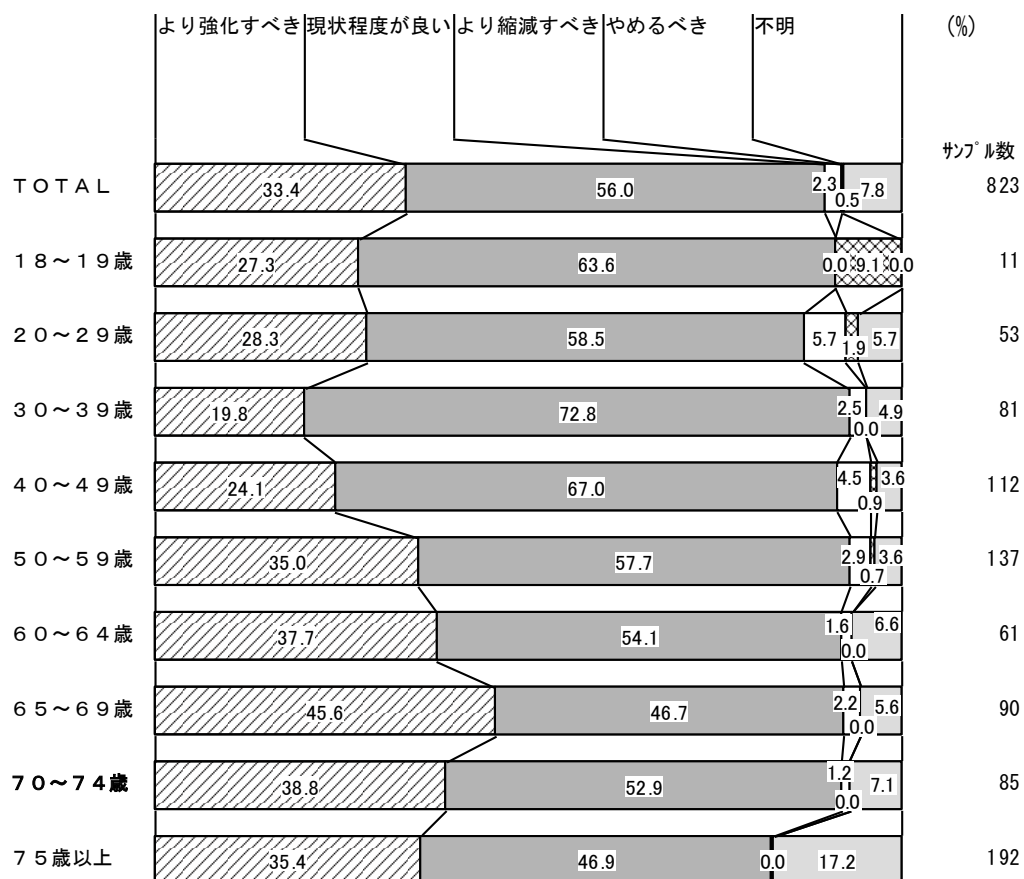
○全体では、「より強化すべき」が33.4%、「現状程度がよい」が56.0%となっています。

○年代別にみると、「より強化すべき」は「60代」で45.6%となっていますが、いずれも「現状維持がよい」が最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－64 「地域福祉の充実」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

⑰社会保障の適正運用

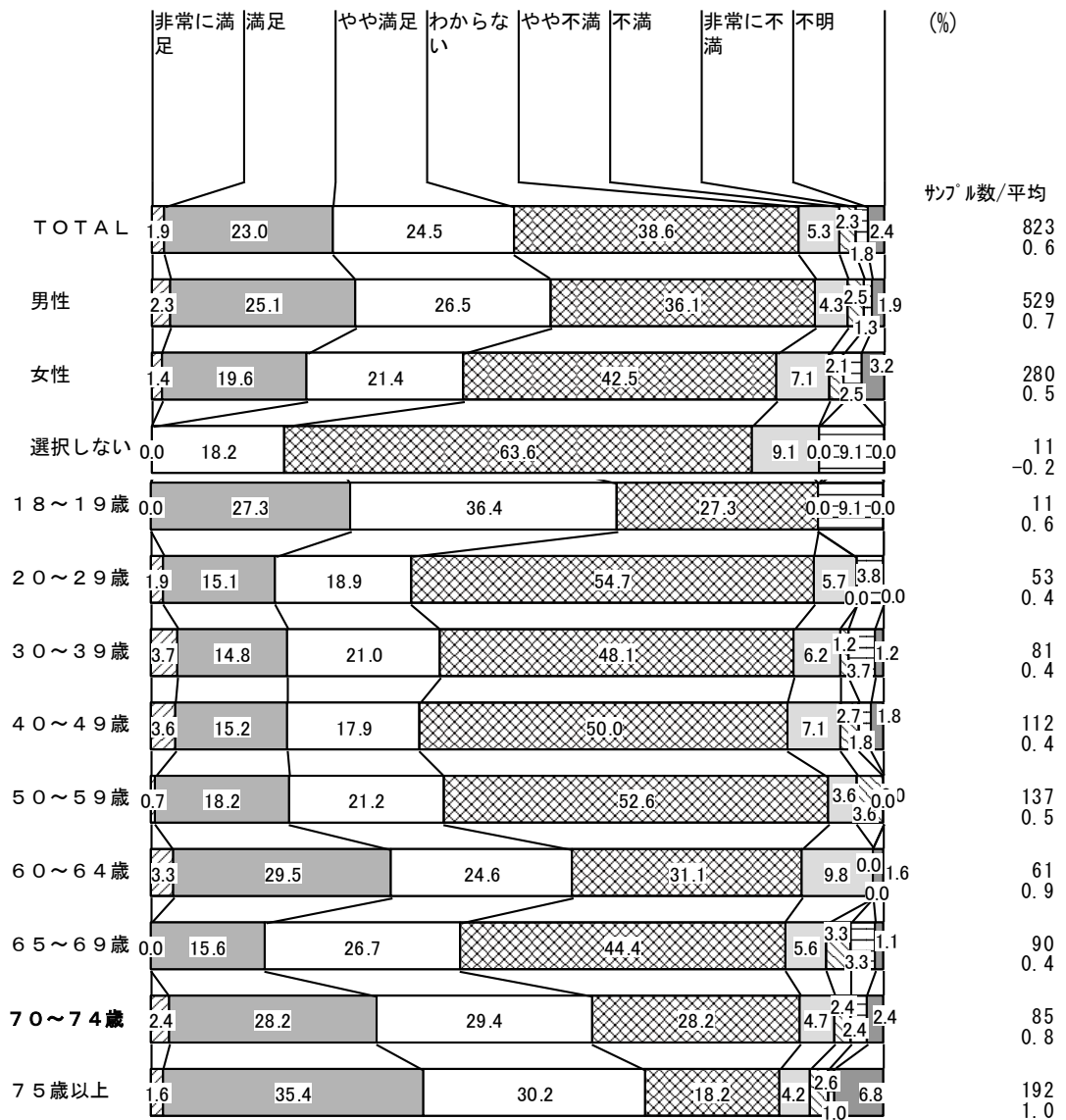
－不満の理由は、「生活困窮者に対する就労支援、自立支援等が不十分」が最も高くなっている－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が49.4%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の9.4%を40.0ポイント上回っており、「わからない」が38.6%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「75歳以上」が67.2%で最も大きく、「20代」以降は年代に比例して満足度が増加傾向にあります。

図表Ⅲ－４－65 「社会保障の適正運用」に対する現在の満足度（性別、年齢別）

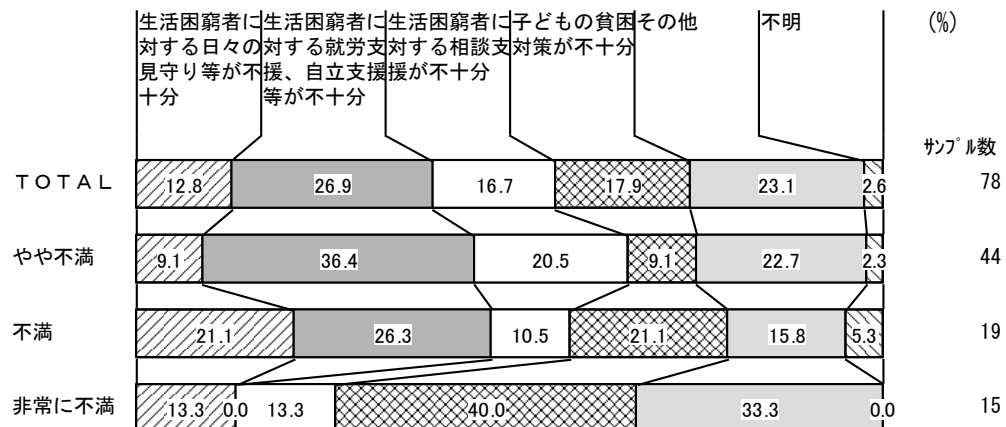


(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

<不満の理由>

- 全体では、「生活困窮者に対する就労支援、自立支援等が不十分」が 26.9%で最も割合が大きくなっています。
- 不満度別にみると、「やや不満」と「不満」では、「生活困窮者に対する就労支援、自立支援等が不十分」が最も大きくなっていますが、「非常に不満」では「子どもの貧困対策が不十分」が最も大きくなっています。

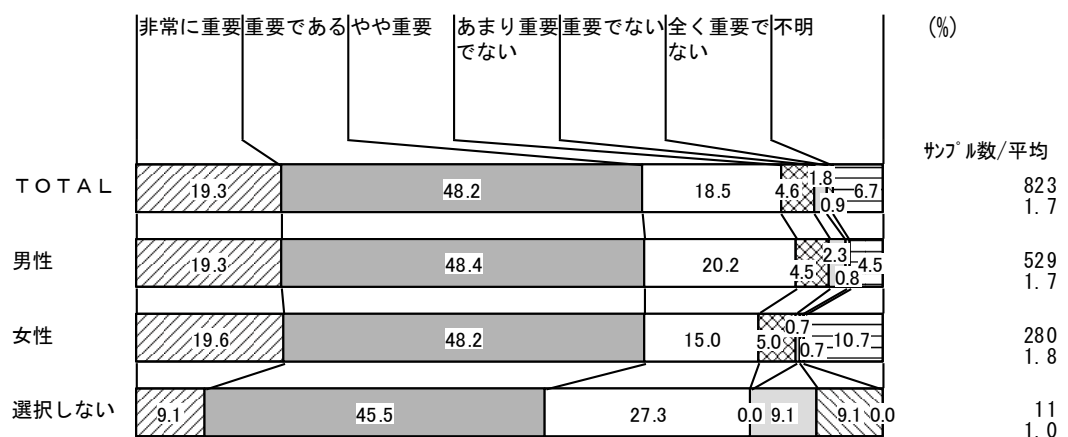
図表Ⅲ－４－66 「社会保障の適正運用」に対する不満の理由（不満度別）



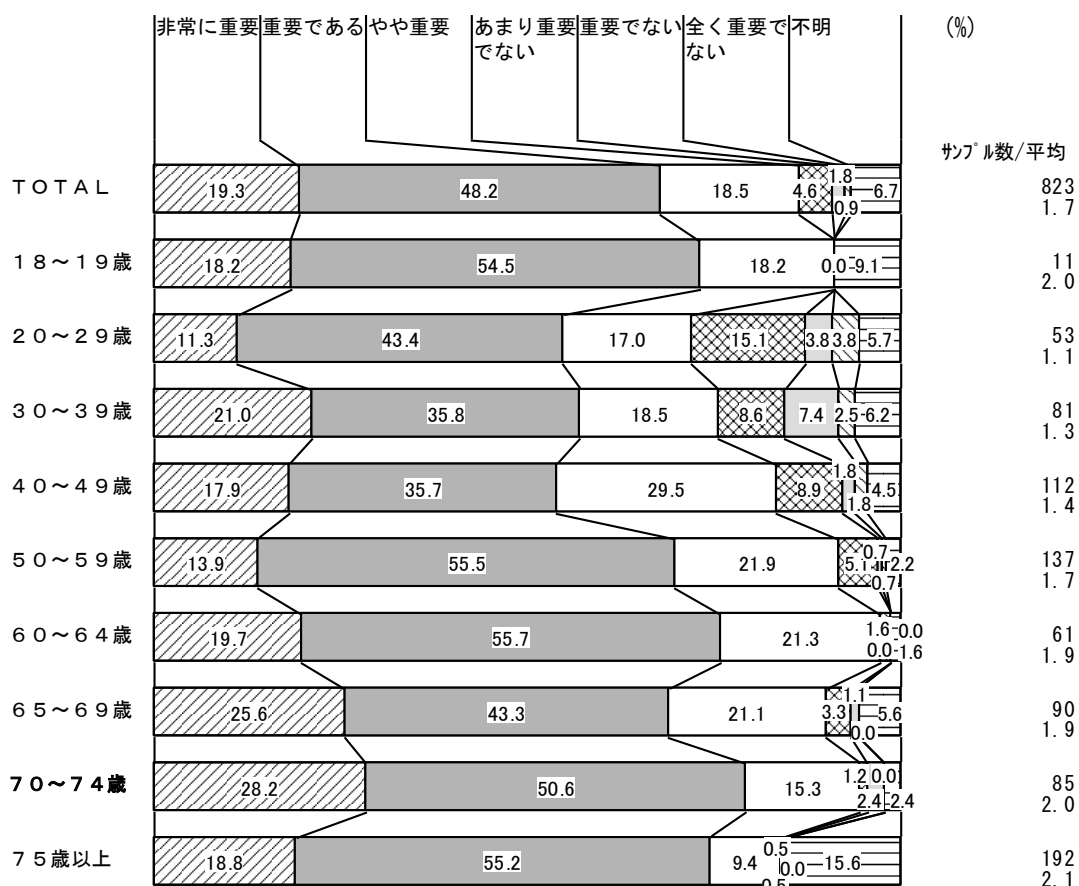
<今後の重要度>

- 全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 86.0%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要でない」＋「全く重要でない」）が 7.3%となっています。
- 年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、「18～19 歳」及び「40 代」以降では 80%を超えていますが、「20 代」「30 代」では重要でないの割合も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－67 「社会保障の適正運用」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



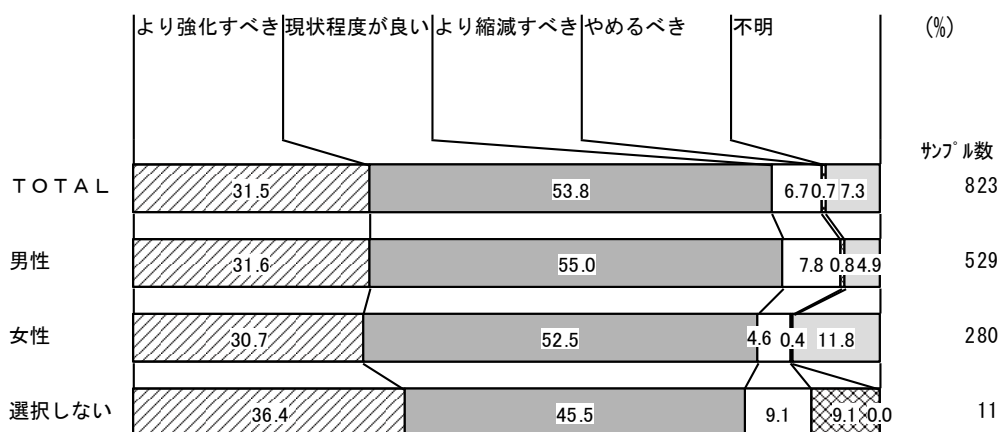
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

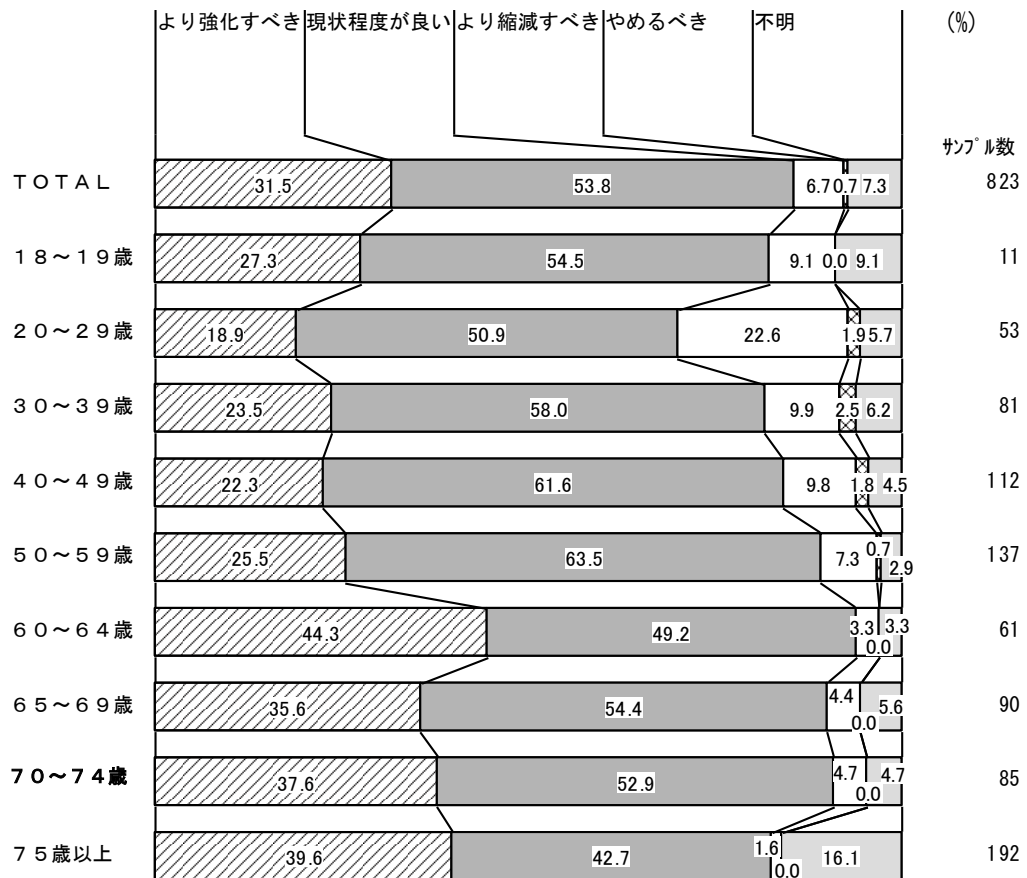
○全体では、「より強化すべき」が 31.5%、「現状程度がよい」が 53.8%となっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「現状程度がよい」が多くなっていますが、「60～64 歳」では「より強化すべき」が 44.3%になっています。

図表Ⅲ－４－68 「社会保障の適正運用」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注)表側の「不明」サンプルは除く。

(5) 地域のきずなを深め、表現力豊かな力強いまち

⑮生涯学習の推進

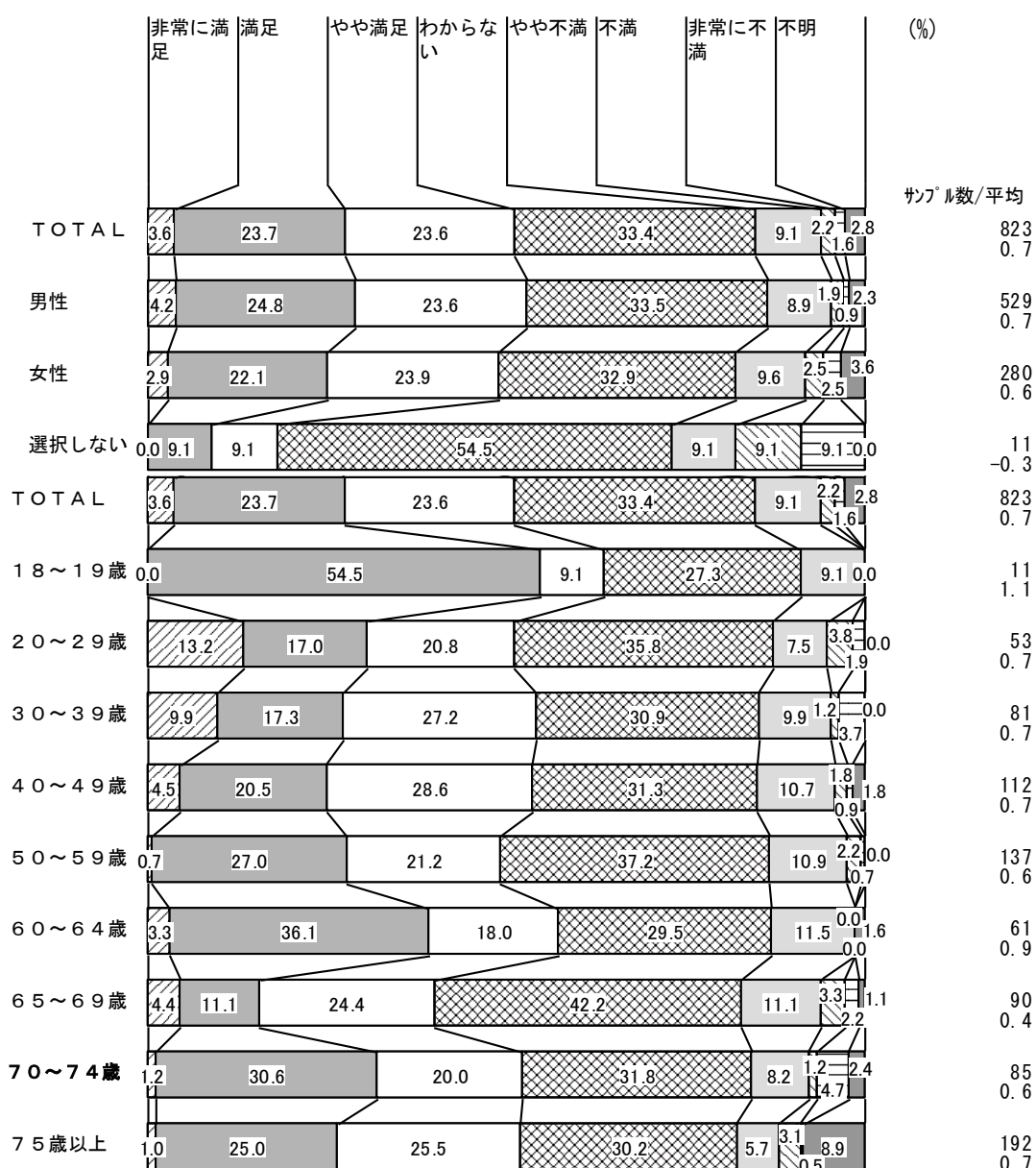
－不満の理由は、「参加したい講座・教室がないなど学習機会の場が少ない」が最も高くなっている－

<現在の満足度>

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が50.9%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の12.9%を38.0ポイント上回っており、「わからない」が33.4%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」が63.6%で最も大きく、「60～64歳」が54.7%でこれに次いでいます。

図表Ⅲ－4－69 「生涯学習の推進」に対する現在の満足度（性別、年齢別）

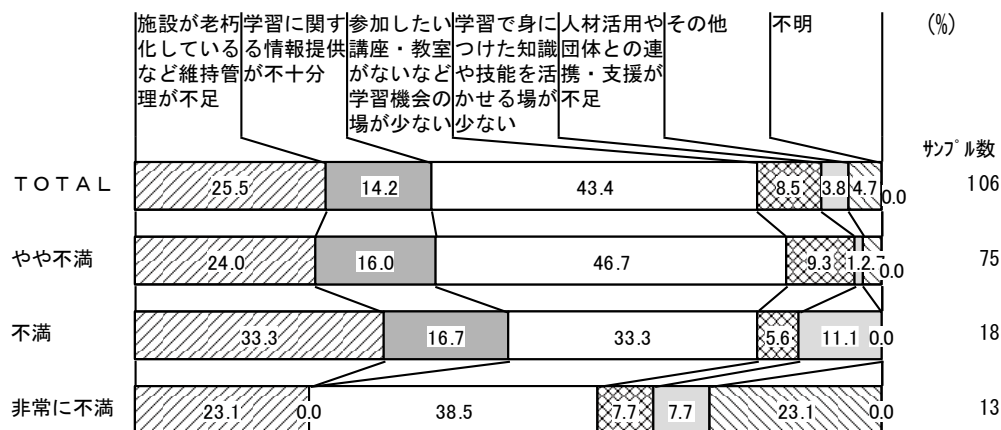


(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

- 全体では、「参加したい講座・教室がないなど学習機会の場が少ない」が43.4%で最も大きく、次いで「施設が老朽化しているなど維持管理が不足」の25.5%となっています。
- 不満度別にみると、いずれも「参加したい講座・教室がないなど学習機会の場が少ない」、「施設が老朽化しているなど維持管理が不足」が大きくなっています。

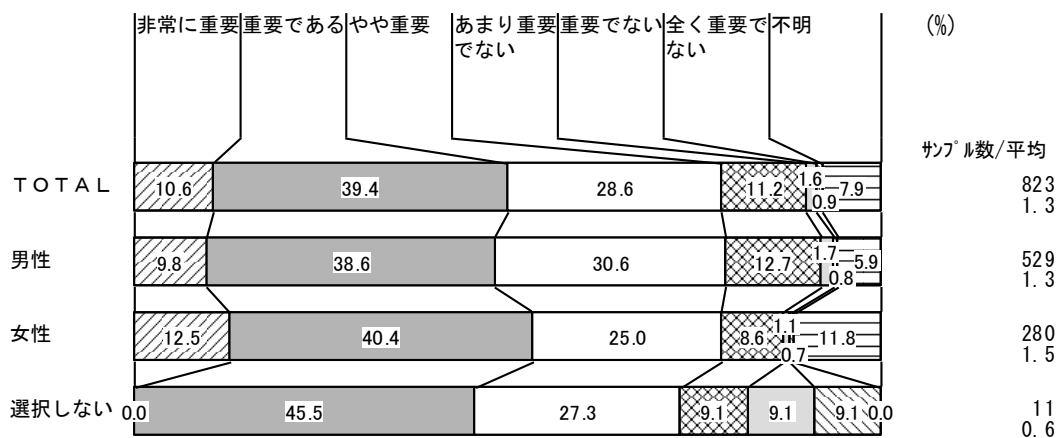
図表Ⅲ－４－70 「生涯学習の推進」に対する不満の理由（不満度別）



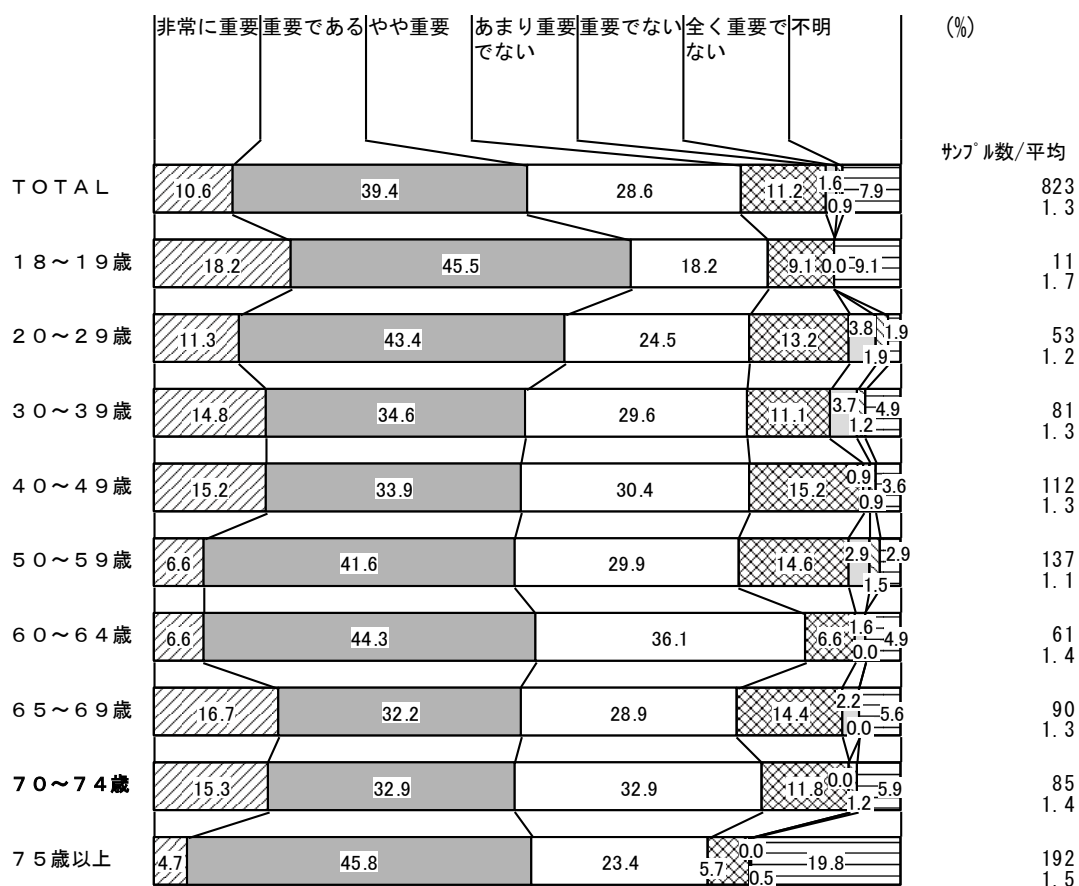
＜今後の重要度＞

- 全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が78.6%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が13.7%となっています。
- 年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）はいずれの年代も70%以上となっており、その中でも「60～64歳」が87.0%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－71 「生涯学習の推進」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)



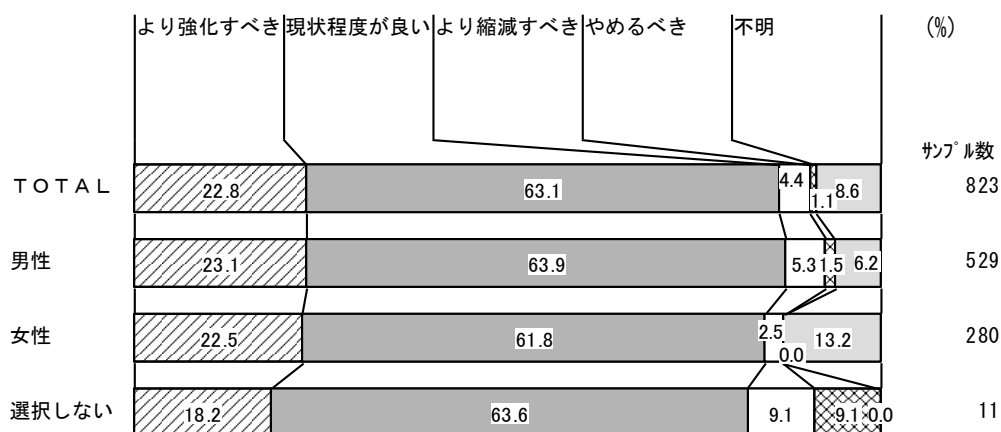
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

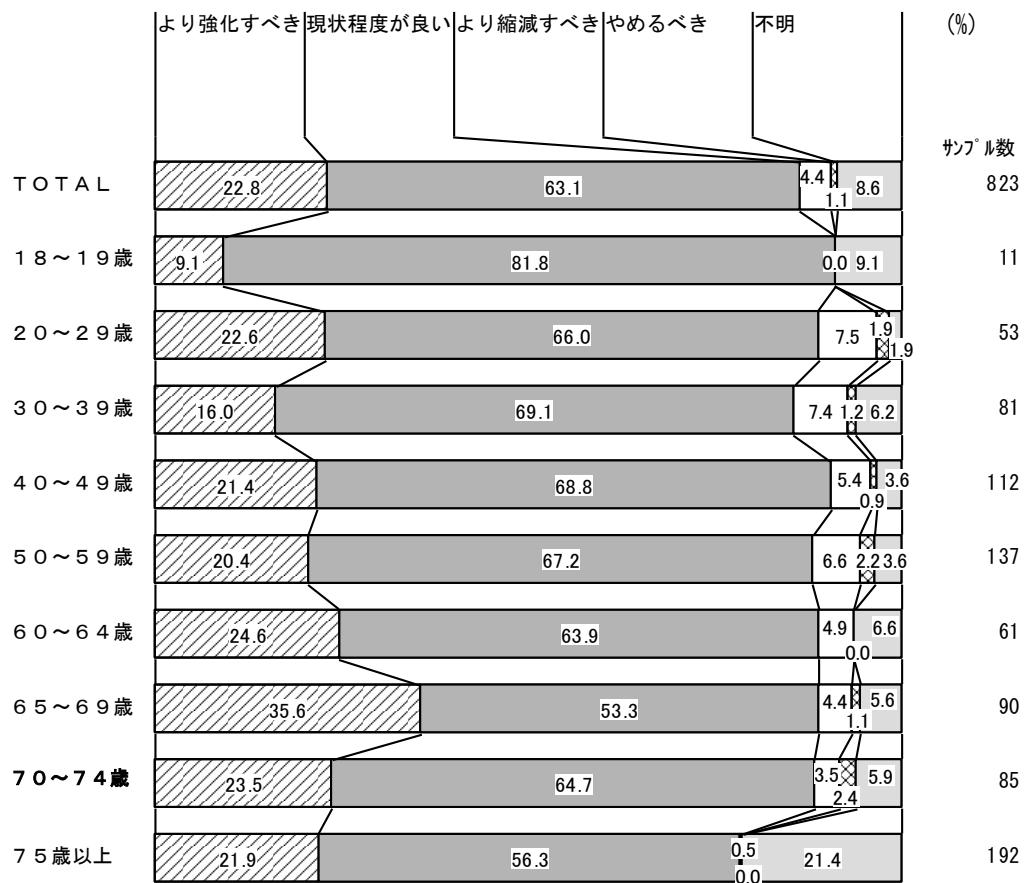
○全体では、「より強化すべき」が 22.8%、「現状程度がよい」が 63.1%となっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「現状程度がよい」が最も大きくなっていますが、「65～69 歳」では「より強化すべき」が 35.6%となっています。

図表Ⅲ－４－72 「生涯学習の推進」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

⑱地域コミュニティの育成

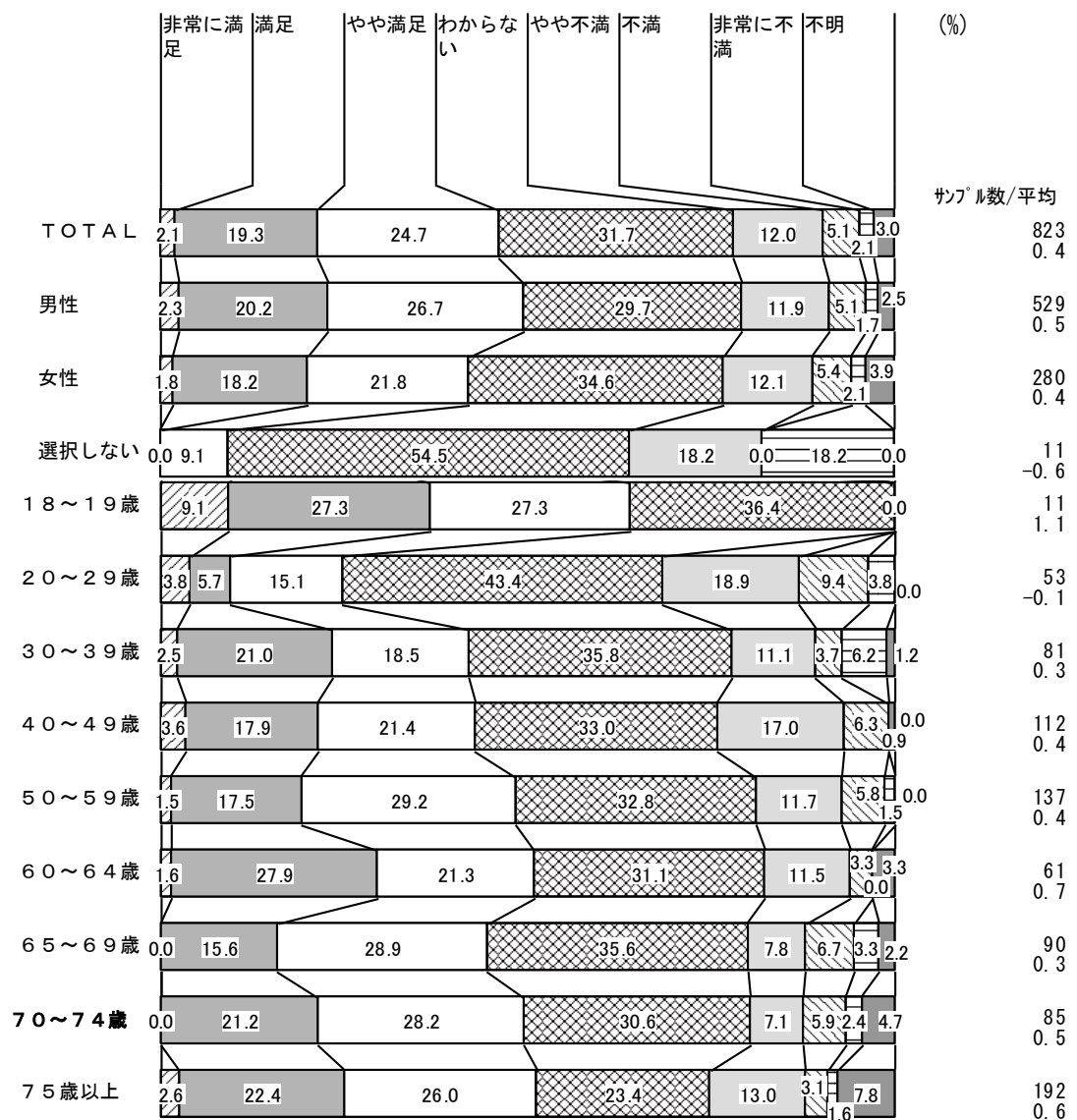
－不満の理由は、「コミュニティの必要性がわかりにくい」が最も高くなっている

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が46.1%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の19.2%を26.9ポイント上回っており、「わからない」が31.7%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「75歳以上」が51.0%で最も大きく、「18～19歳」以外は年代に比例して満足度が高くなっています。

図表Ⅲ－４－73 「地域コミュニティの育成」に対する現在の満足度（性別、年齢別）

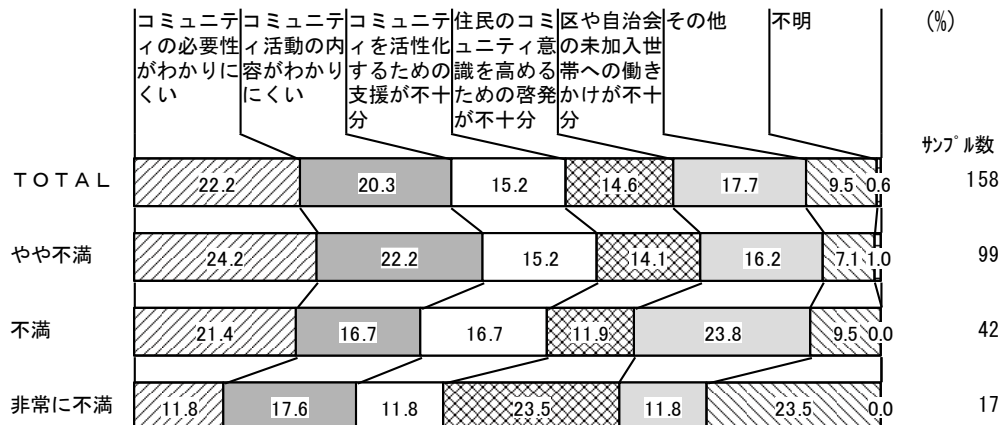


（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）

<不満の理由>

- 全体では、「コミュニティの必要性がわかりにくい」が22.2%で最も割合が大きく、次いで「コミュニティ活動の内容がわかりにくい」の20.3%となっています。
- 不満度別にみると、「やや不満」では「コミュニティの必要性がわかりにくい」、「不満」では「区や自治会の未加入世帯への働きかけが不十分」、「非常に不満」では「住民のコミュニティ意識を高めるための啓発が不十分」となっています。

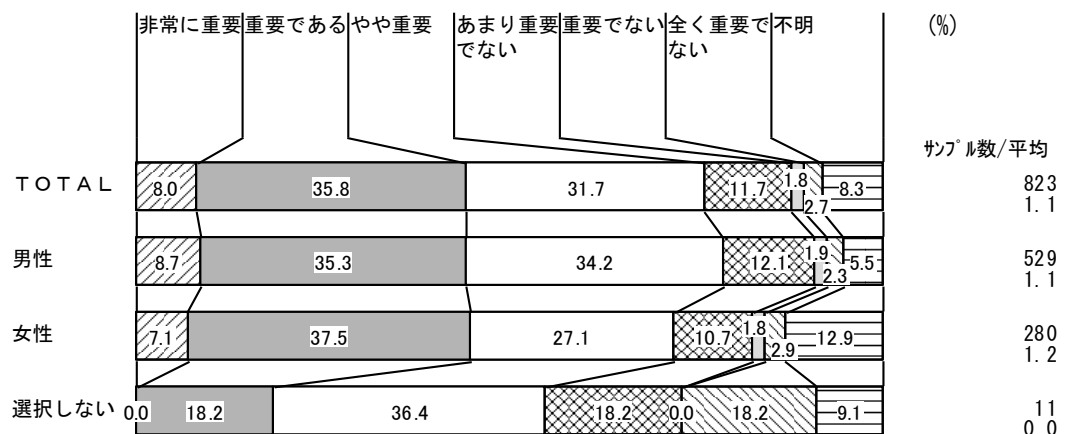
図表Ⅲ－４－74 「地域コミュニティの育成」に対する不満の理由（不満度別）



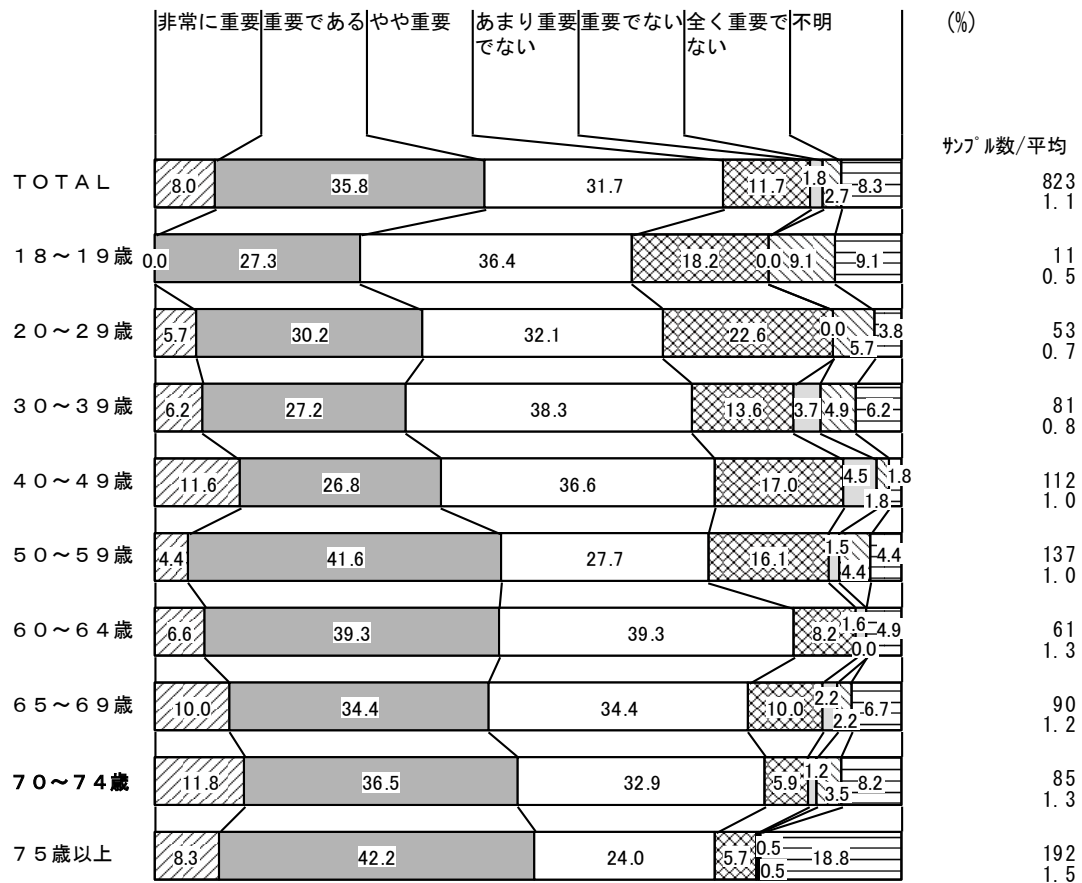
<今後の重要度>

- 全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が75.5%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要でない」＋「全く重要でない」）が16.2%となっています。
- 年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は「18～19歳」以外は70%を超えており、その中でも「60～64歳」は85.2%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－75 「地域コミュニティの育成」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)



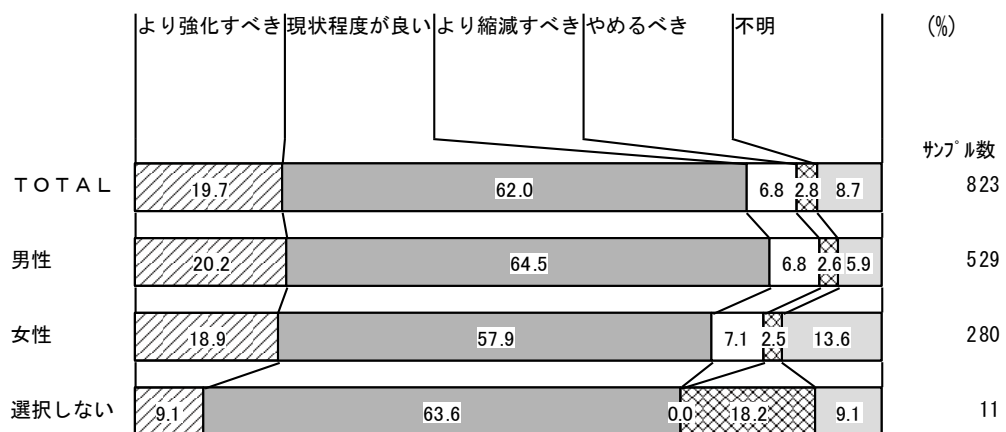
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

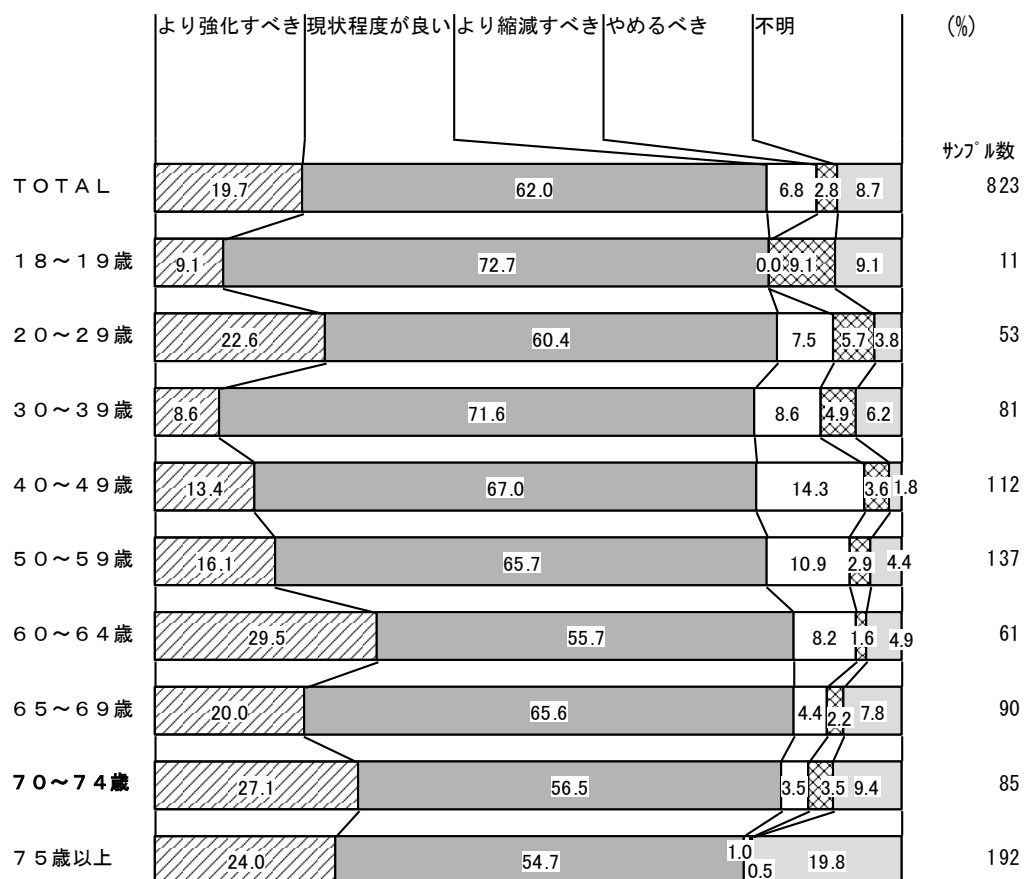
○全体では、「より強化すべき」が 19.7%、「現状程度がよい」が 62.0%となっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「現状程度がよい」が最も大きくなっていますが、「60～64 歳」では「より強化すべき」が 29.5%になっています。

図表Ⅲ－４－76 「地域コミュニティの育成」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

②0スポーツの振興

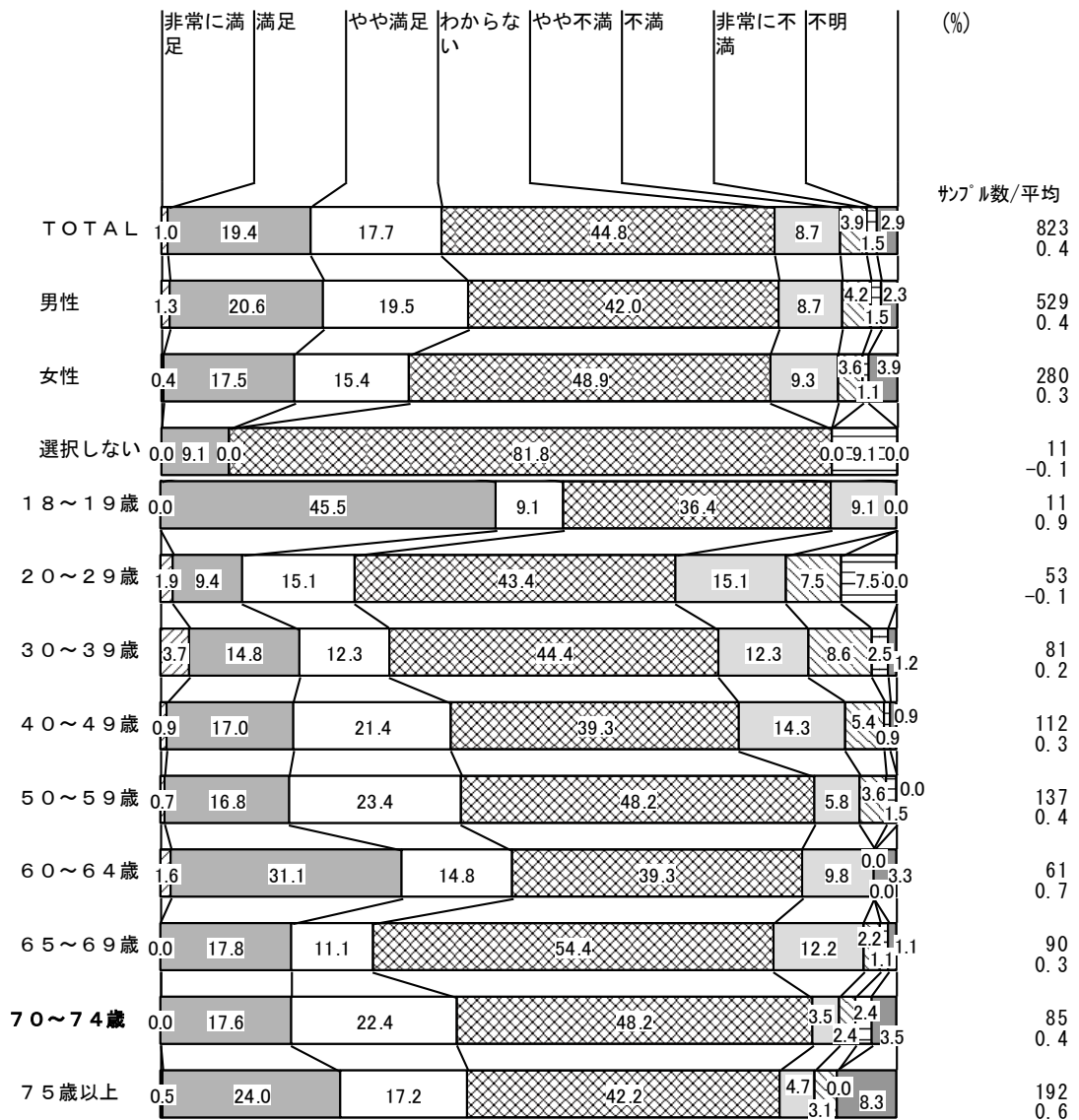
―不満の理由は、「施設が老朽化している」と「設備が不十分」が高くなっている―

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が38.1%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の14.1%を24.0ポイント上回っており、「わからない」が44.8%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」が54.6%で最も大きく、次いで「60～64歳」の47.5%となっています。また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「20代」が30.1%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－77 「スポーツの振興」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



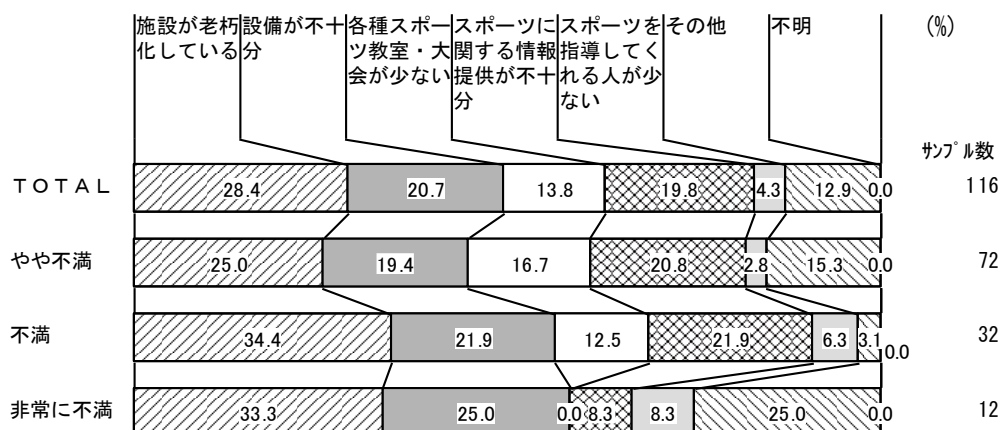
（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）

＜不満の理由＞

○全体では、「施設が老朽化している」が 28.4%で最も割合が大きく、次いで「設備が不十分」の 20.7%となっています。

○不満度別にみると、いずれも「施設が老朽化している」が最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－78 「スポーツの振興」に対する不満の理由（不満度別）

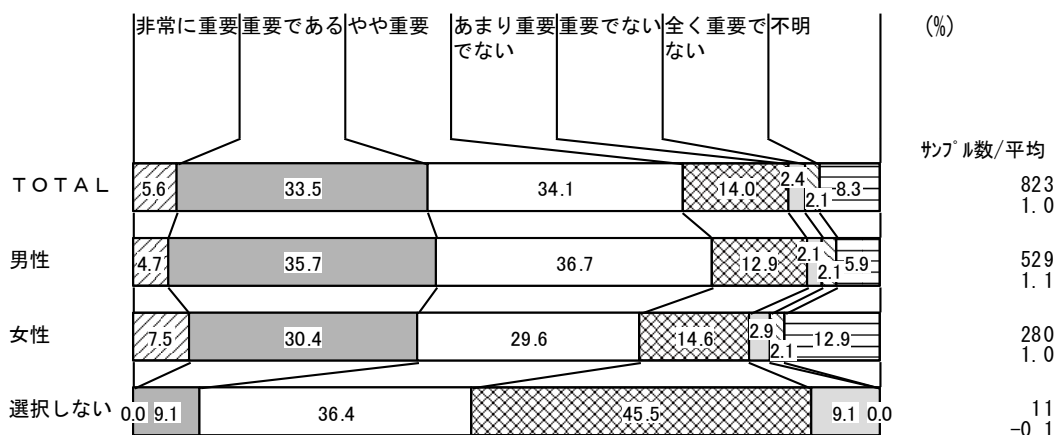


＜今後の重要度＞

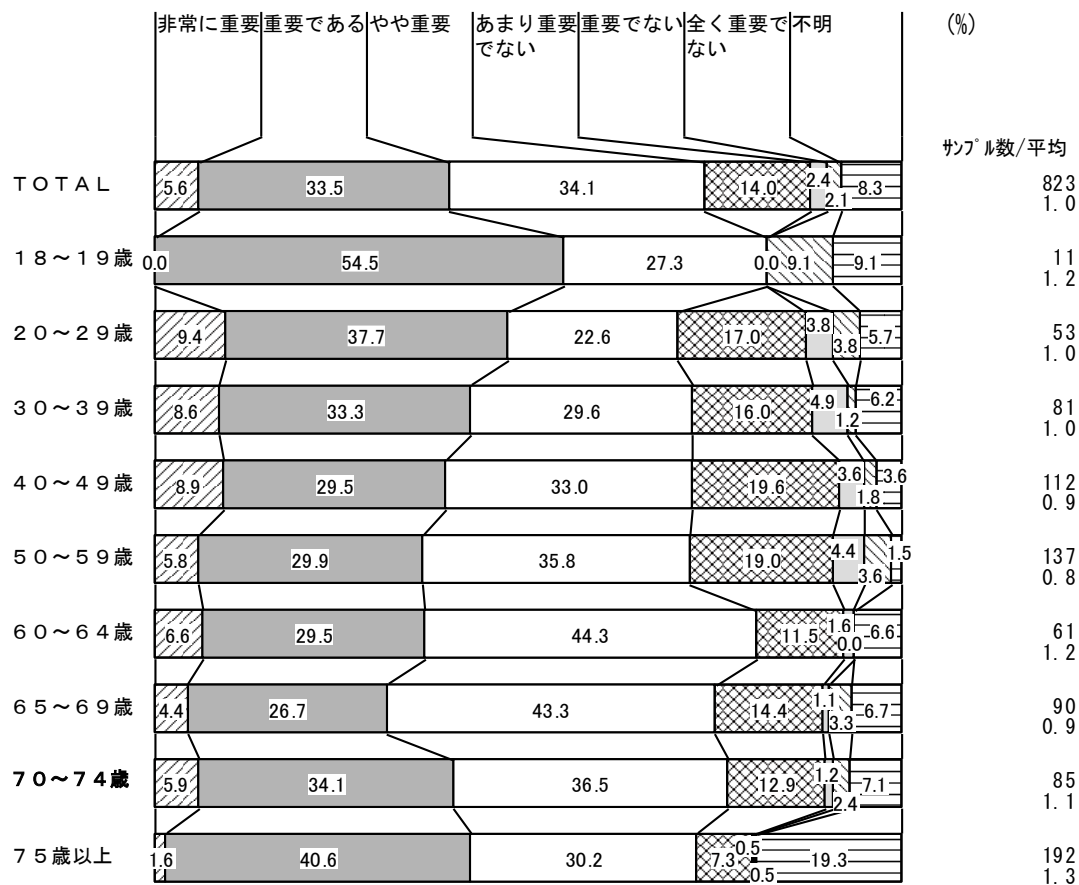
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 73.2%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 18.5%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）はいずれの年代も 70%を超えており、その中でも「18～19 歳」が 81.8%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－79 「スポーツの振興」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)



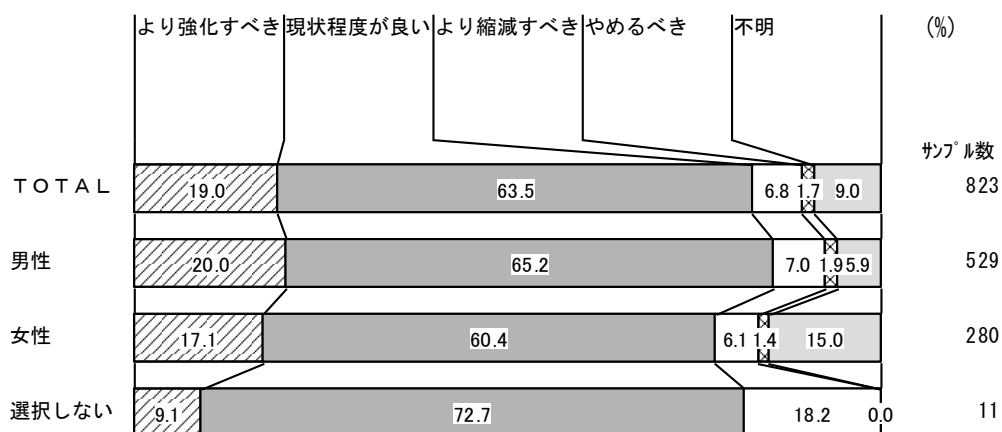
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

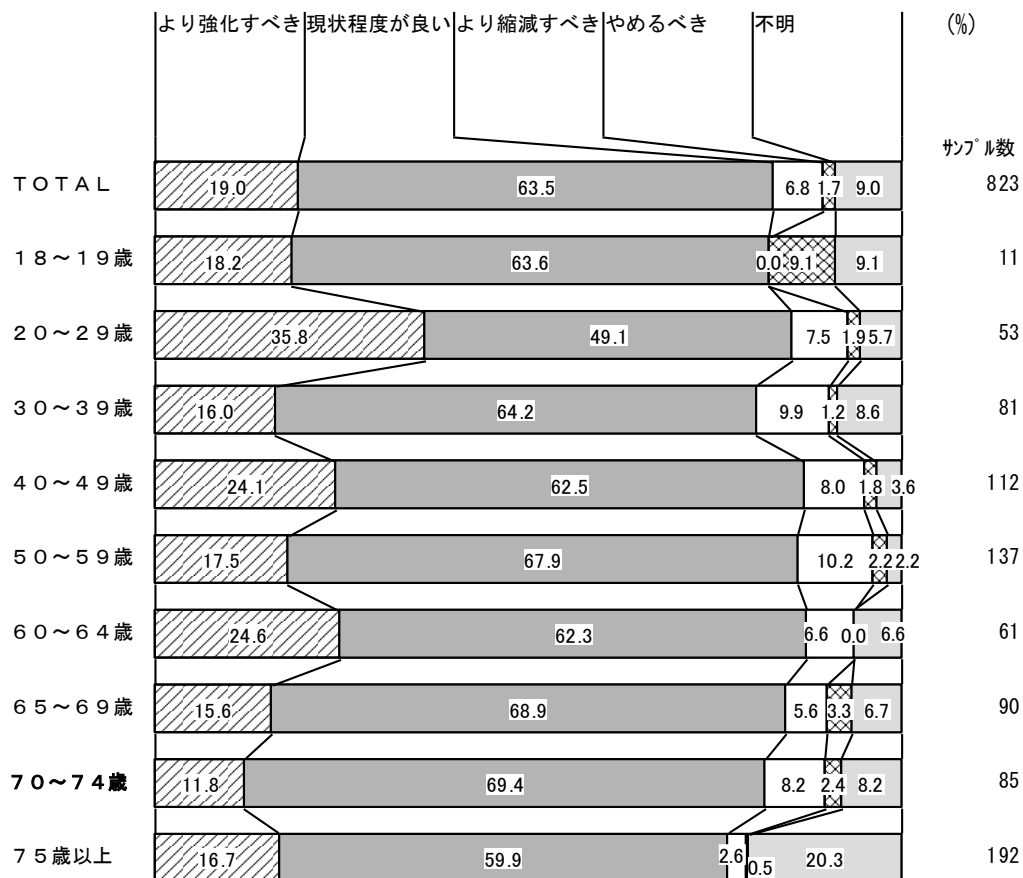
○全体では、「より強化すべき」が 19.0%、「現状程度がよい」が 63.5%となっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「現状程度がよい」が多くなっていますが、「20 代」では「より強化すべき」が 35.8%になっています。

図表Ⅲ－４－80 「スポーツの振興」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注)表側の「不明」サンプルは除く。

㊦文化芸術の振興と文化財の保存・活用

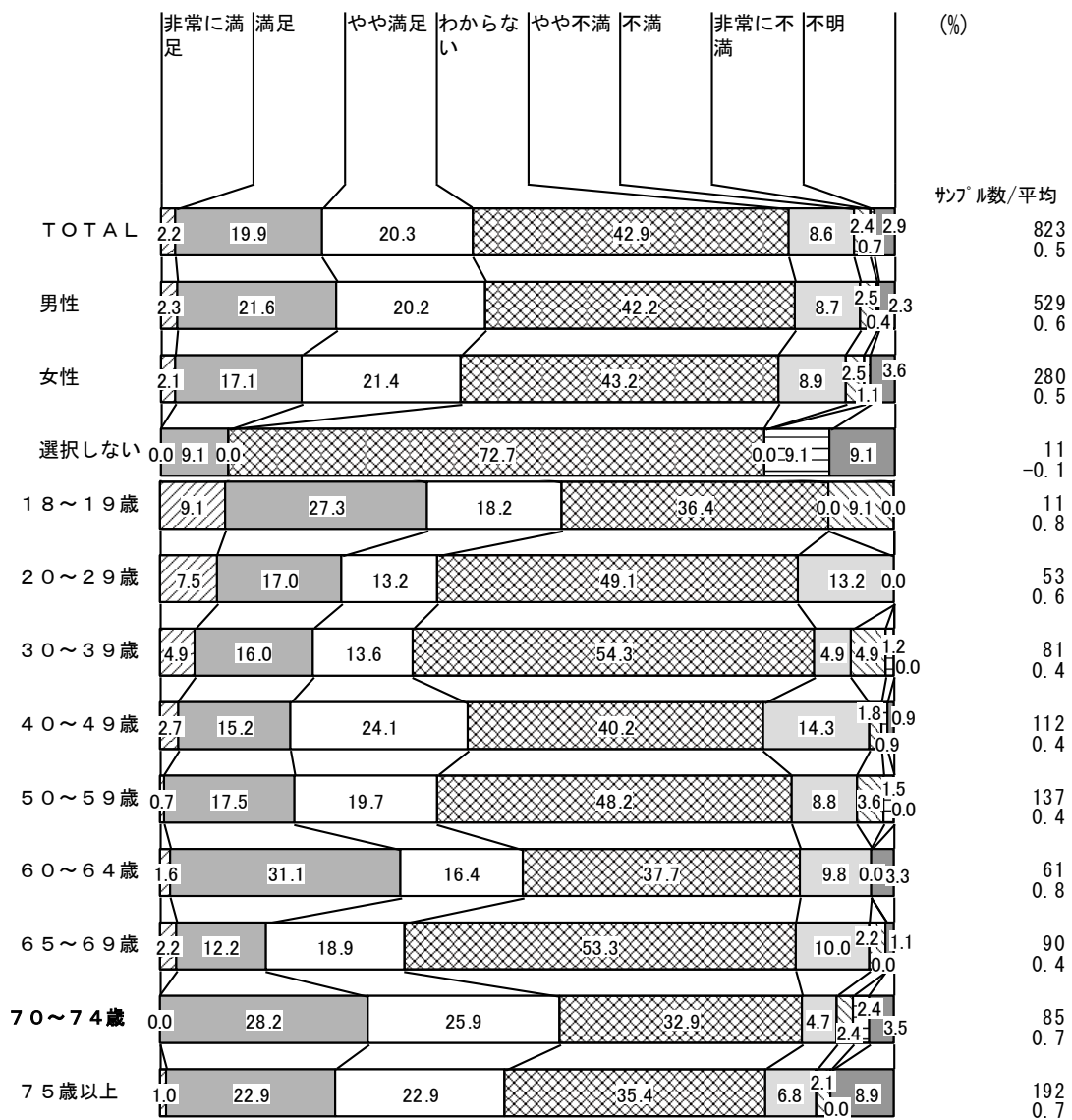
－不満の理由は、「参加したい文化芸術活動や鑑賞の機会が少ない」が最も高くなっている－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が42.4%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の11.7%を30.7ポイント上回っており、「わからない」が42.9%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「70～74歳」が54.1%で最も大きく、次いで「18～19歳」の54.6%となっています。また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「40代」が17.0%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－81 「文化芸術の振興と文化財の保存・活用」に対する現在の満足度（性別、年齢別）

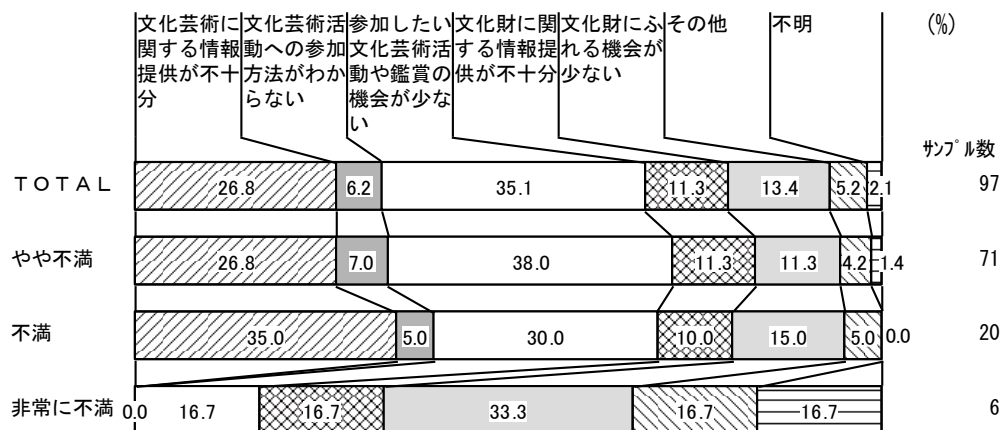


(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

- 全体では、「参加したい文化芸術活動や鑑賞の機会が少ない」が 35.1%で最も割合が大きく、次いで「文化芸術に関する情報提供が不十分」の 26.8%となっています。
- 不満度別にみても、「やや不満」と「不満」では「参加したい文化芸術活動や鑑賞の機会が少ない」及び「文化芸術に関する情報提供が不十分」が大きくなっています。

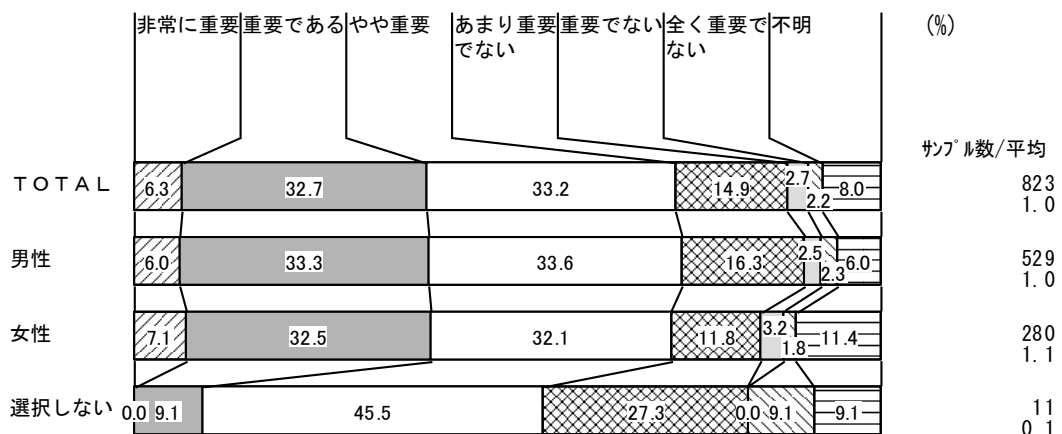
図表Ⅲ－４－82 「文化芸術の振興と文化財の保存・活用」に対する不満の理由（不満度別）



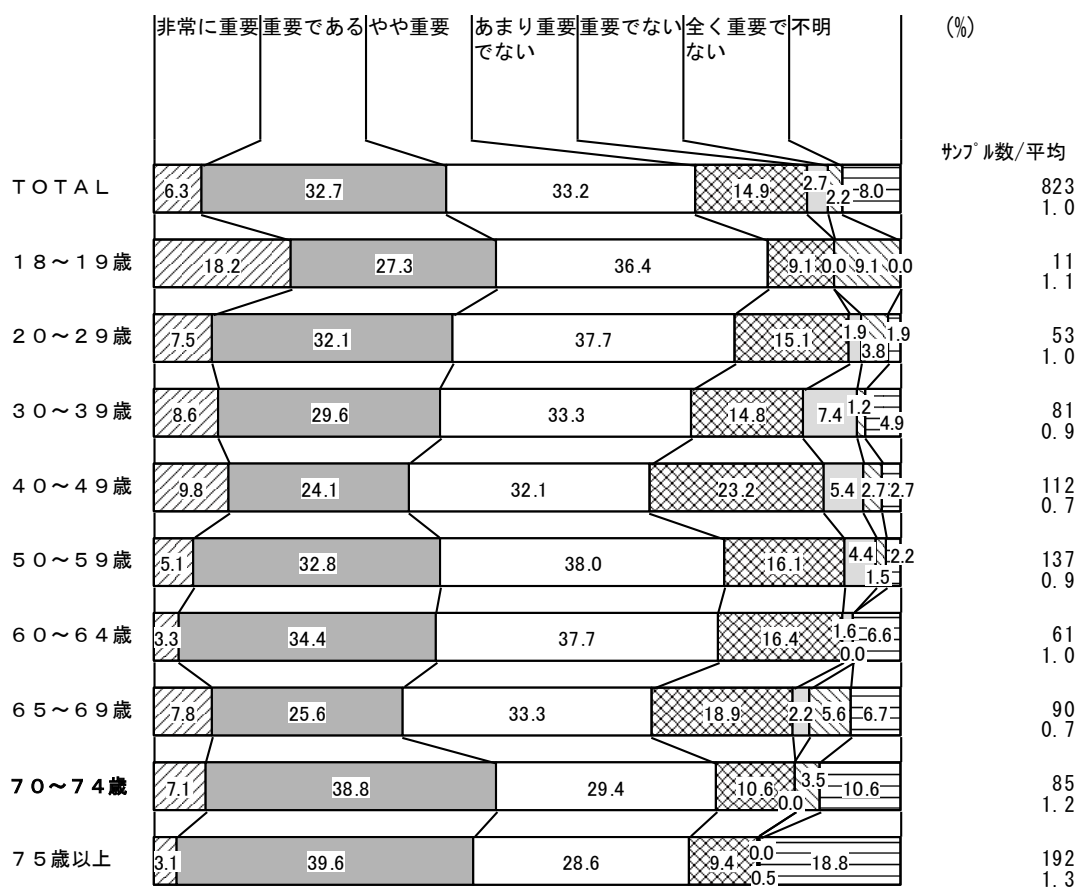
＜今後の重要度＞

- 全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 72.2%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 19.8%となっています。
- 年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、「18～19 歳」で 81.9%、「20 代」で 77.3%などで大きくなっています。

図表Ⅲ－４－83 「文化芸術の振興と文化財の保存・活用」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)



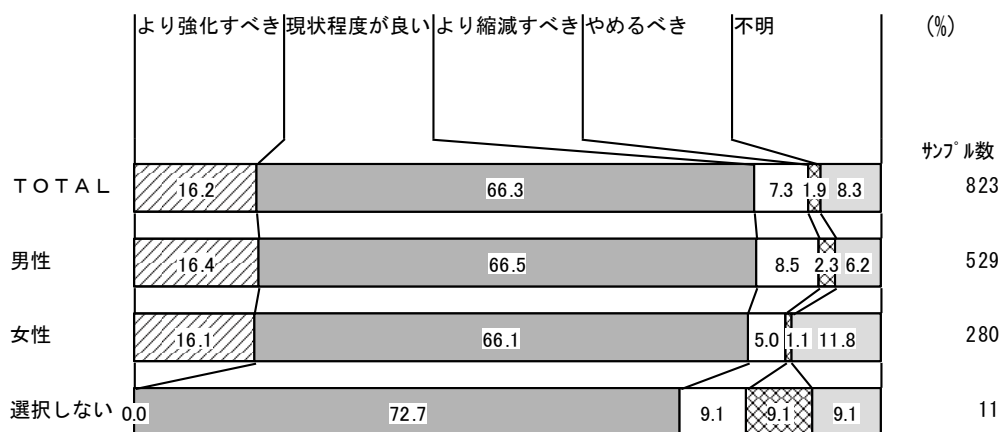
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

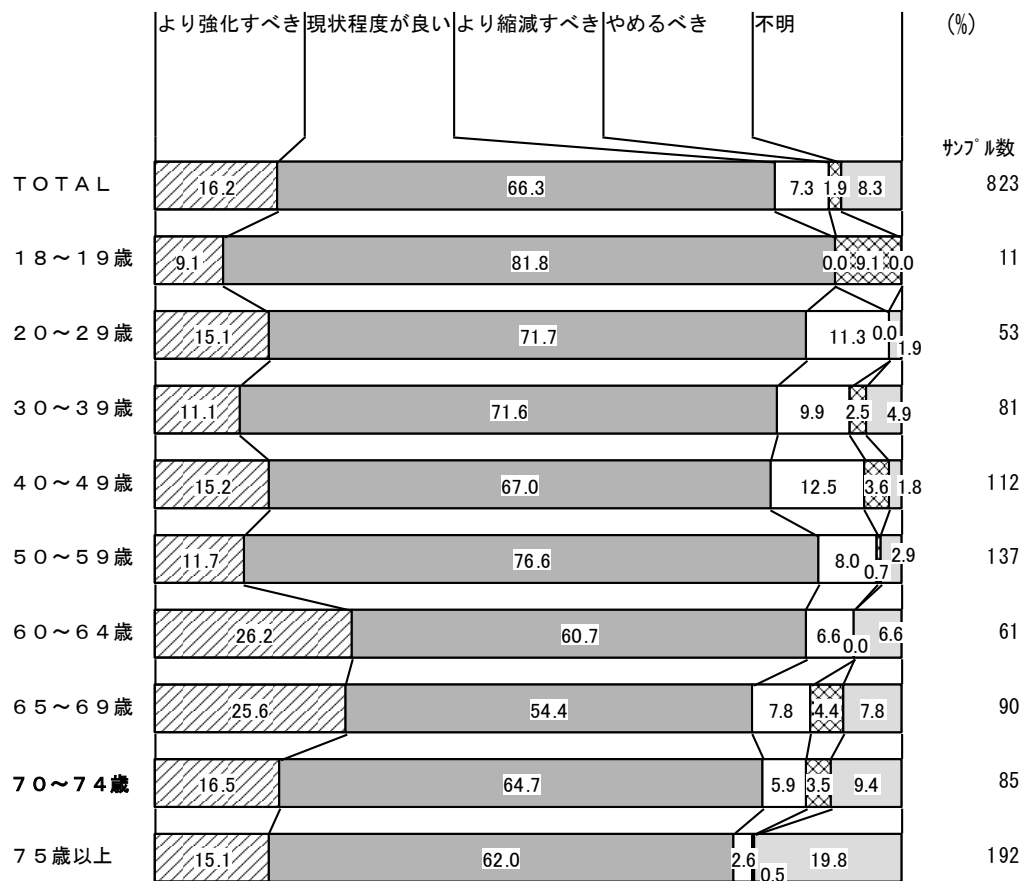
○全体では、「より強化すべき」が 16.2%、「現状程度がよい」が 66.3%となっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「現状程度がよい」が大きくなっていますが、「60代」では「より強化すべき」が 25%を超えています。

図表Ⅲ－４－84 「文化芸術の振興と文化財の保存・活用」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

②人権尊重、非核平和、男女共同参画、多文化共生の推進

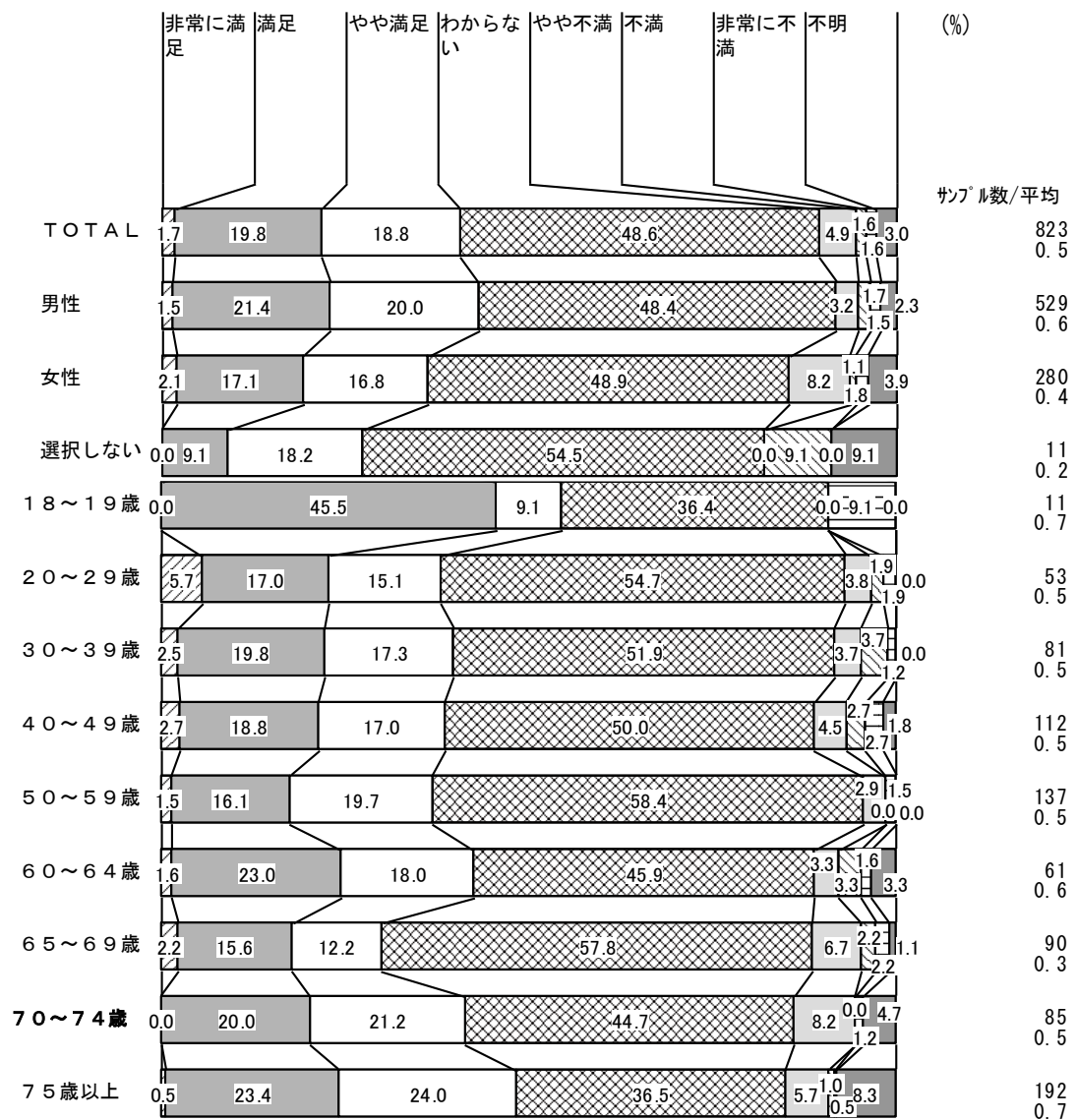
－不満の理由は、「子どもたちが平和の尊さを学ぶ機会が不十分」などが高くなっている－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が40.3%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の8.1%を32.2ポイント上回っており、「わからない」が48.6%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」が54.6%で最も大きく、次いで「75歳以上」の47.9%となっています。また、ほとんどの年代では「わからない」が最も大きくなっています。

図表Ⅲ－4－85 「人権尊重、非核平和、男女共同参画、多文化共生の推進」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



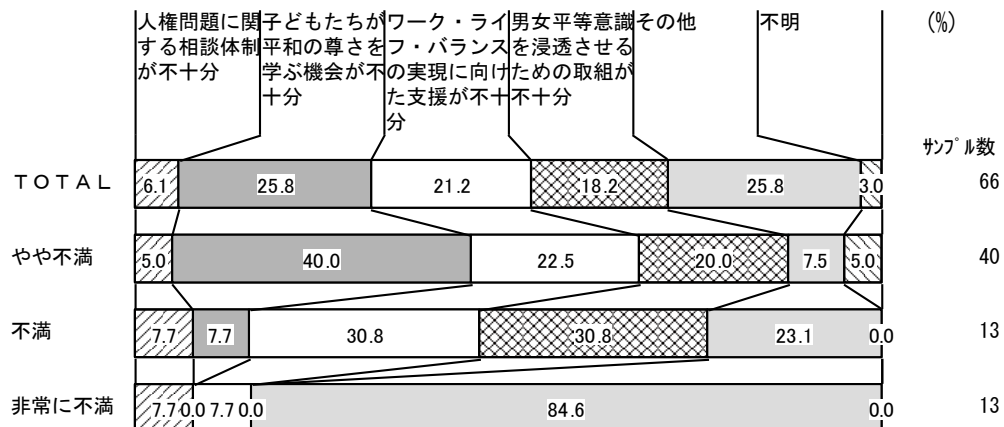
（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）

＜不満の理由＞

○全体では、「子どもたちが平和の尊さを学ぶ機会が不十分」及び「その他」が 25.8%で最も大きくなっています。

○不満度別にみても、「やや不満」では「子どもたちが平和の尊さを学ぶ機会が不十分」、「非常に不満」では「その他」など違いが出ています。

図表Ⅲ－４－86 「人権尊重、非核平和、男女共同参画、多文化共生の推進」に対する不満の理由（不満度別）

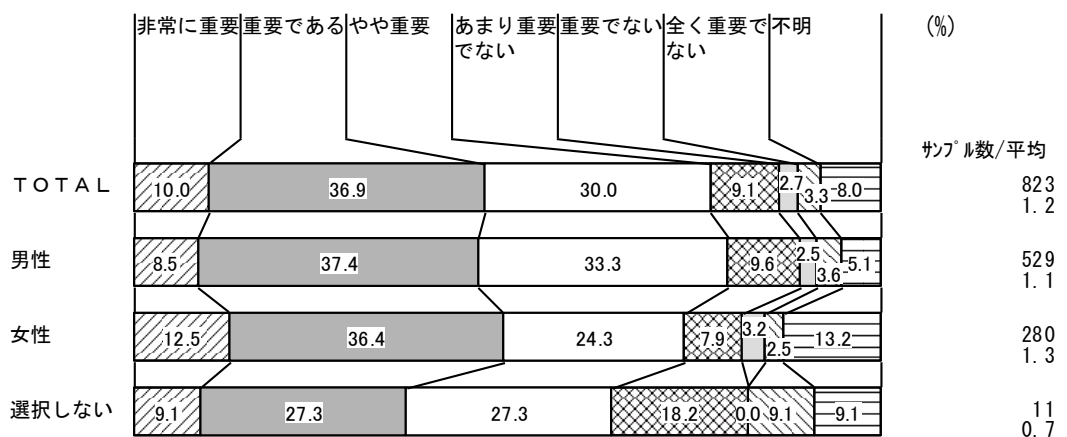


＜今後の重要度＞

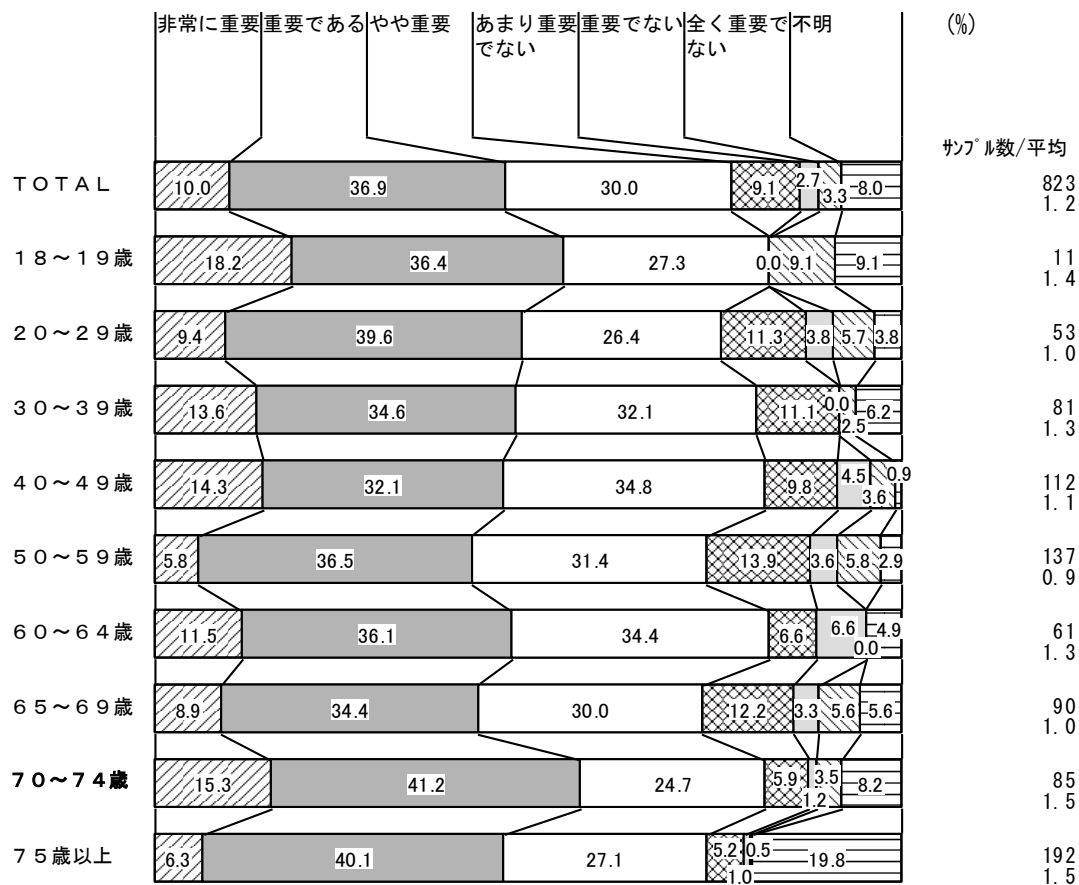
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 76.9%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要でない」＋「全く重要でない」）が 15.1%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）はいずれの年代も 70%を超えており、その中でも「60～64 歳」が 82.0%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－87 「人権尊重、非核平和、男女共同参画、多文化共生の推進」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)



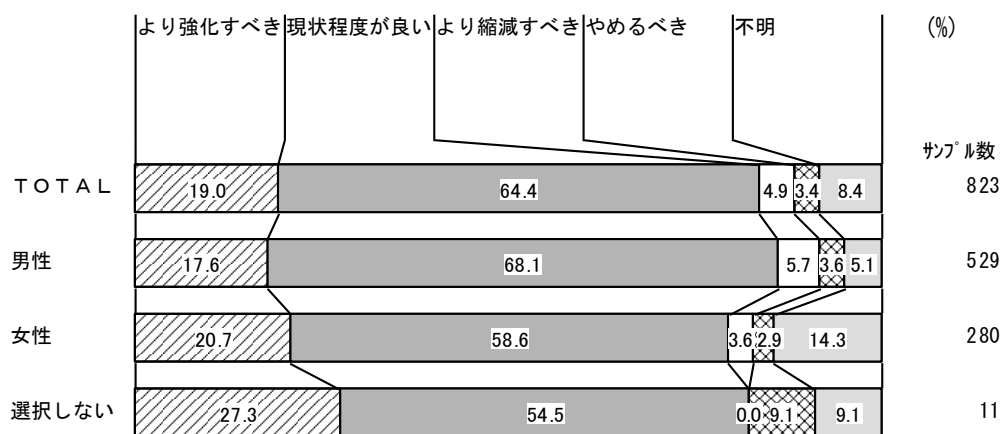
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

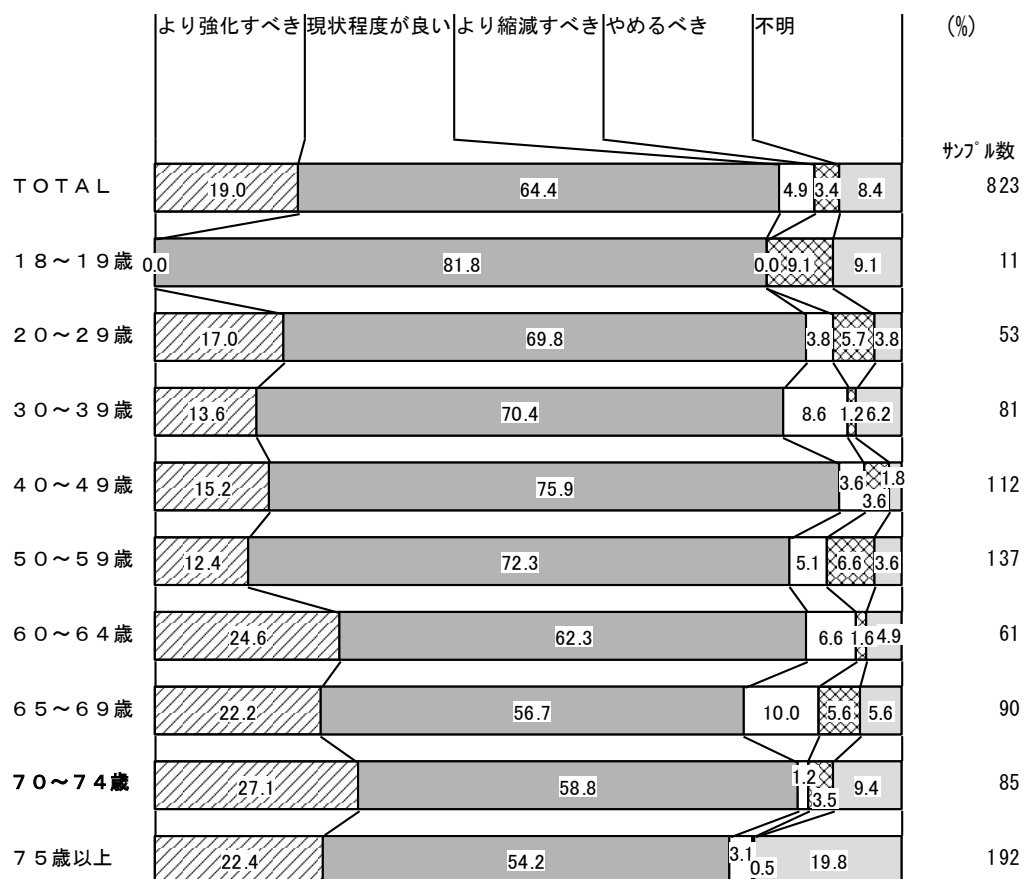
○全体では、「より強化すべき」が 19.0%、「現状程度がよい」が 64.4%となっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「現状程度がよい」が最も大きくなっていますが、「70 代」では「より強化すべき」がやや大きくなっています。

図表Ⅲ－４－88 「人権尊重、非核平和、男女共同参画、多文化共生の推進」に対する今後の注力度 (性別、年齢別)



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

(6) 地域が活性化するまち

②農業の振興

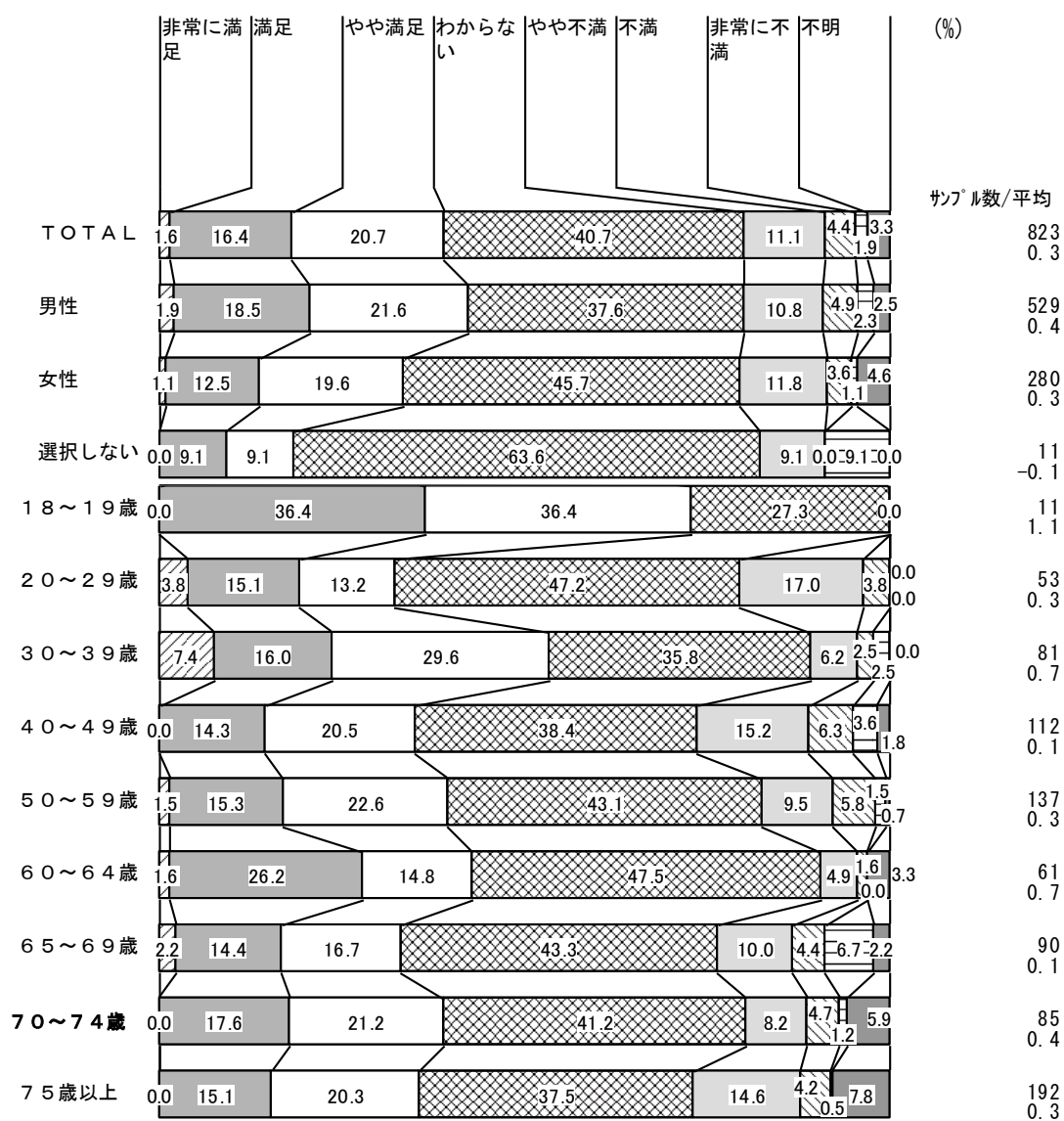
－不満の理由は、「耕作されていない農地が多い」が最も高い－

<現在の満足度>

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が38.7%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の17.4%を21.3ポイント上回っており、「わからない」が40.7%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」が72.8%で最も大きく、次いで「30代」の53.0%となっています。また、ほとんどの年代では「わからない」に比率は大きくなっています。

図表Ⅲ－４－89 「農業の振興」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



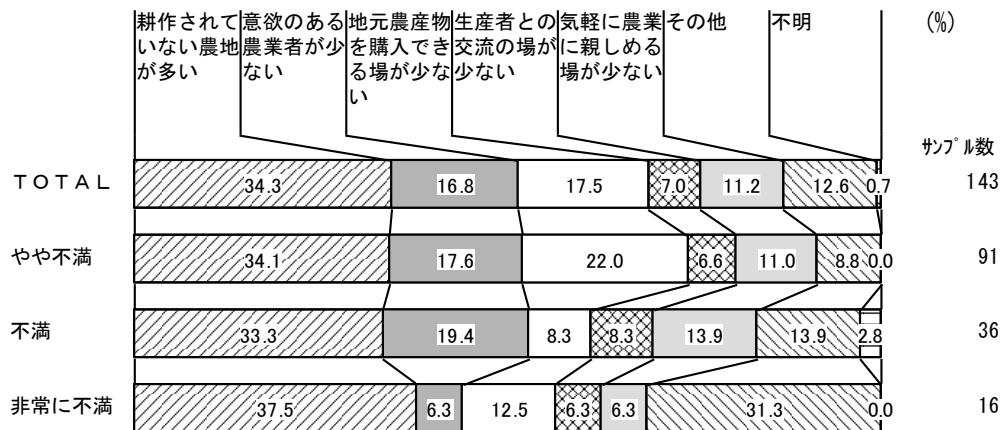
(注)表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

○全体では、「耕作されていない農地が多い」が 34.3%で最も大きく、次いで「地元農産物を購入できる場が少ない」の 17.5%となっています。

○不満度別にみても、いずれも「耕作されていない農地が多い」が最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－90 「農業の振興」に対する不満の理由（不満度別）

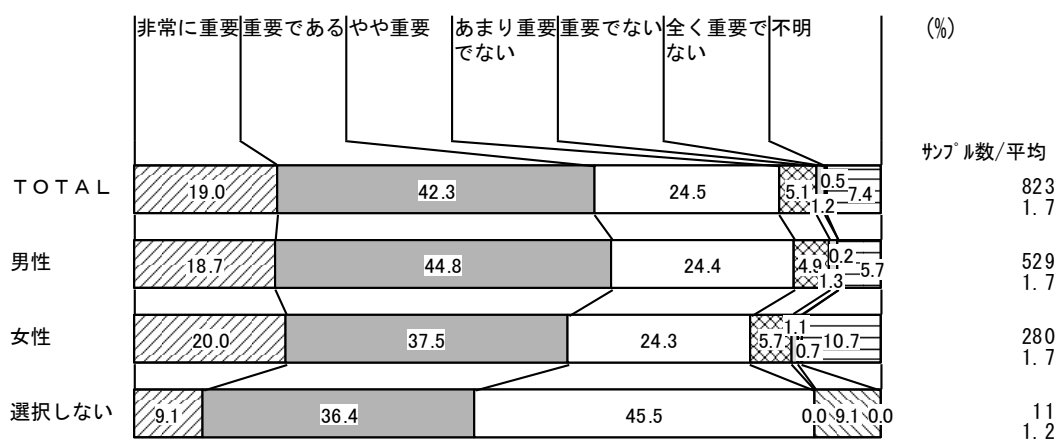


＜今後の重要度＞

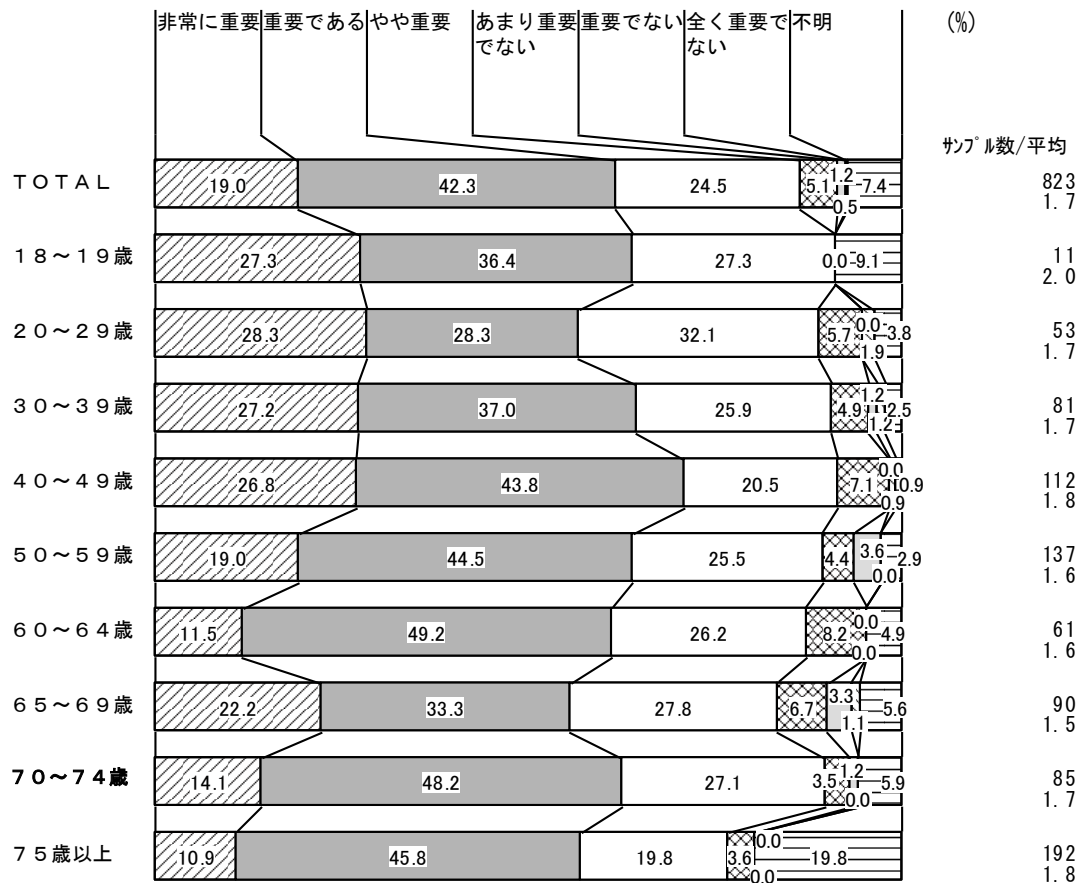
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 85.8%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 6.8%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、不明の多く「75歳以上」以外はいずれの年代も 80%以上となっています。

図表Ⅲ－４－91 「農業の振興」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



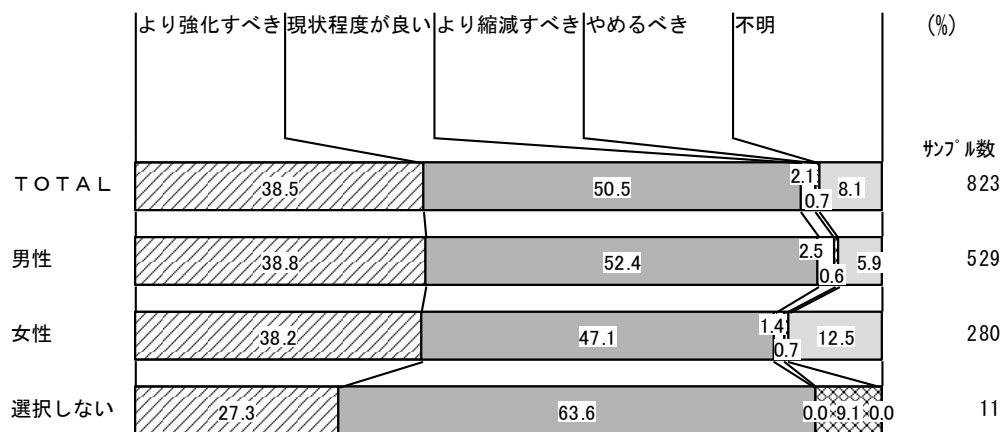
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

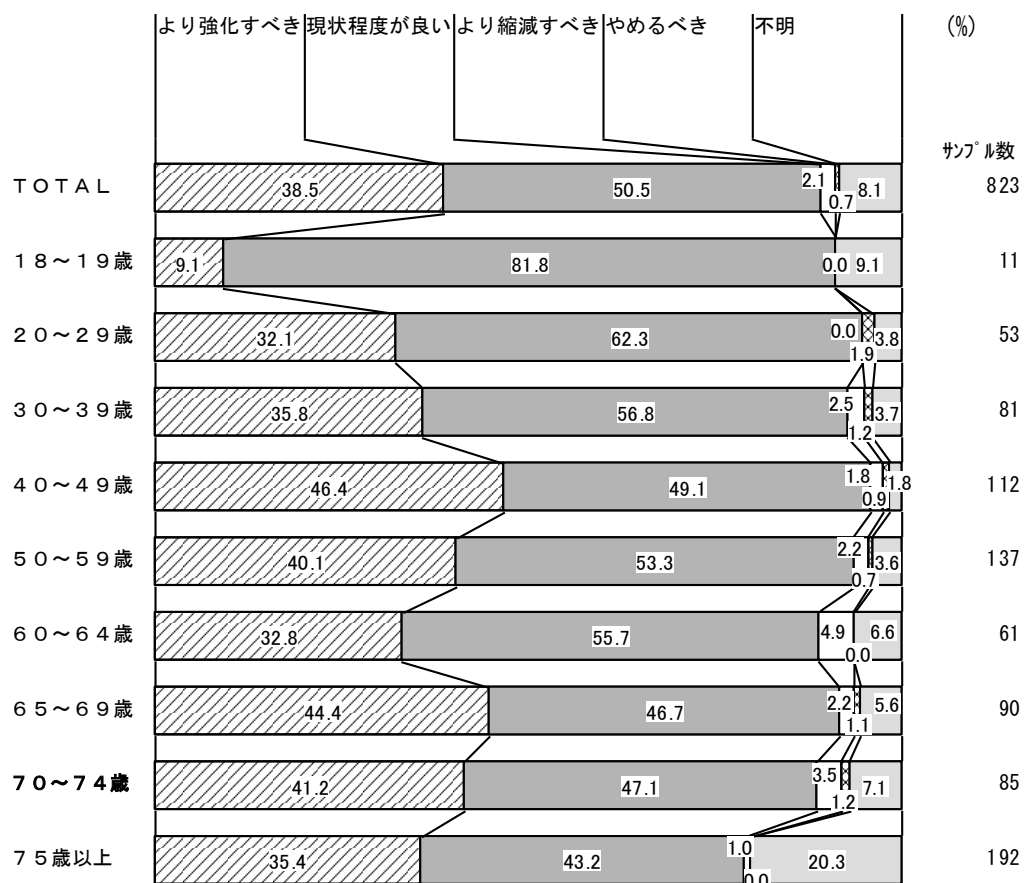
○全体では、「より強化すべき」が38.5%、「現状程度がよい」が50.5%となっています。

○年代別にみると、「より強化すべき」は「40代」が46.4%で最も大きくなっていますが、いずれの年代も「現状程度がよい」が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－92 「農業の振興」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

②④地域経済の振興

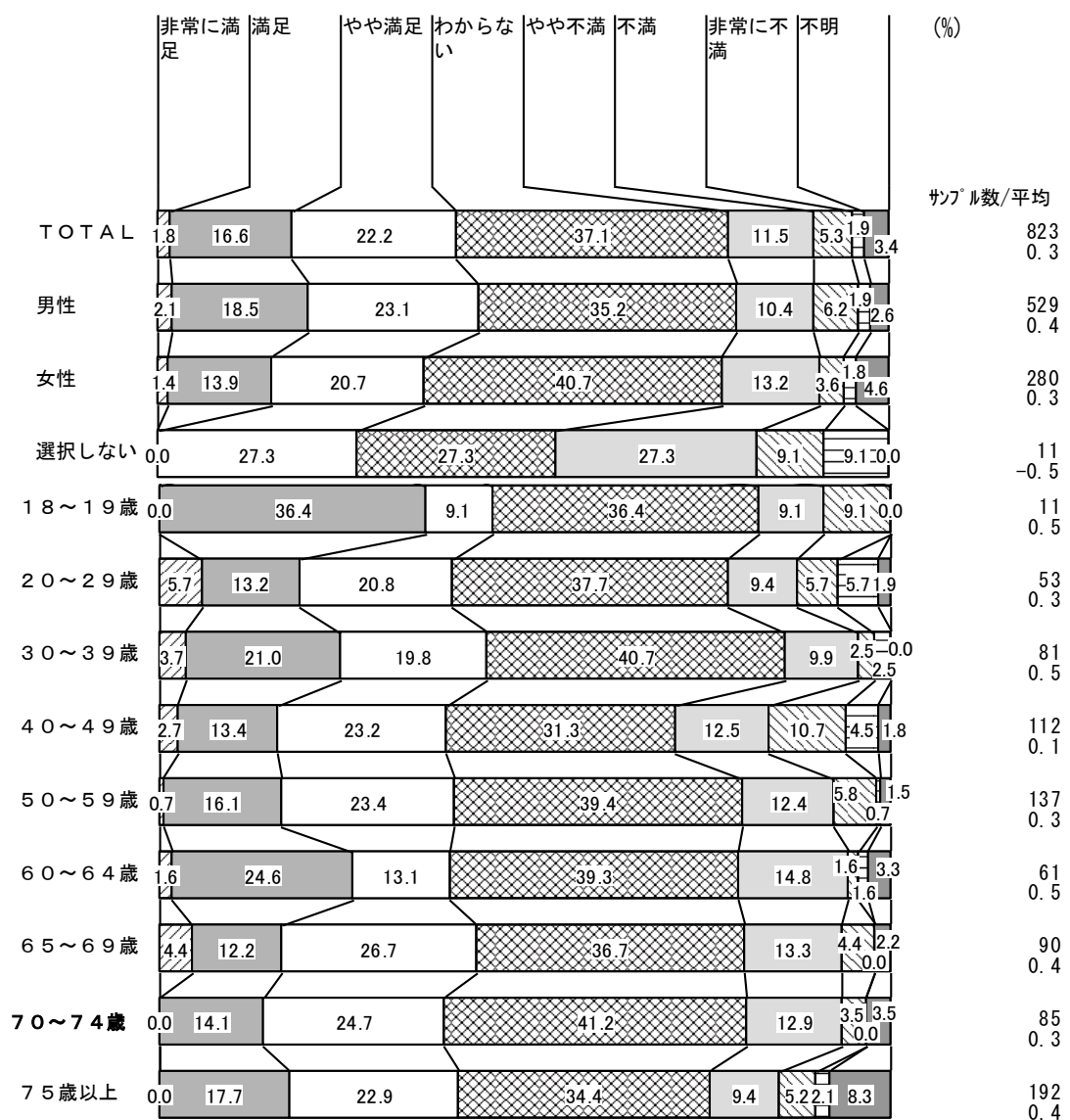
－不満の理由は、「入ってみたいくなるような店舗が少ない」が最も高い－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が40.6%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の18.7%を21.9ポイント上回っており、「わからない」が37.1%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」の45.5%で最も大きくなっていますが、いずれの年代も「わからない」が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－93 「地域経済の振興」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



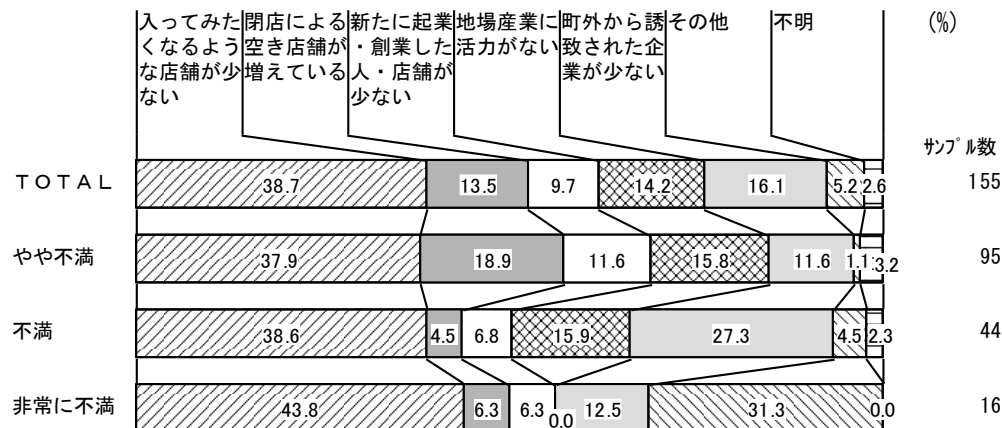
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

○全体では、「入ってみたいくなるような店舗が少ない」が 38.7%で最も大きく、次いで「町外から誘致された企業が少ない」の 16.1%となっています。

○不満度別にみると、いずれも「入ってみたいくなるような店舗が少ない」が最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－94 「地域経済の振興」に対する不満の理由（不満度別）

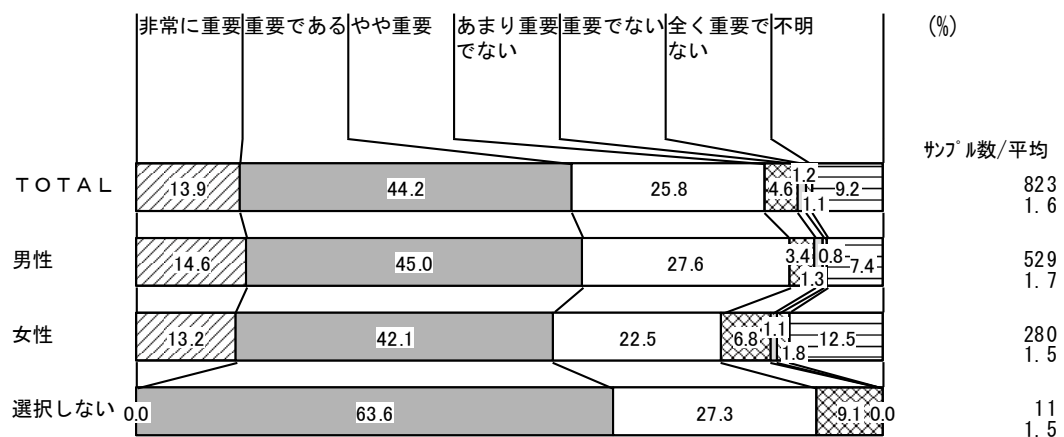


＜今後の重要度＞

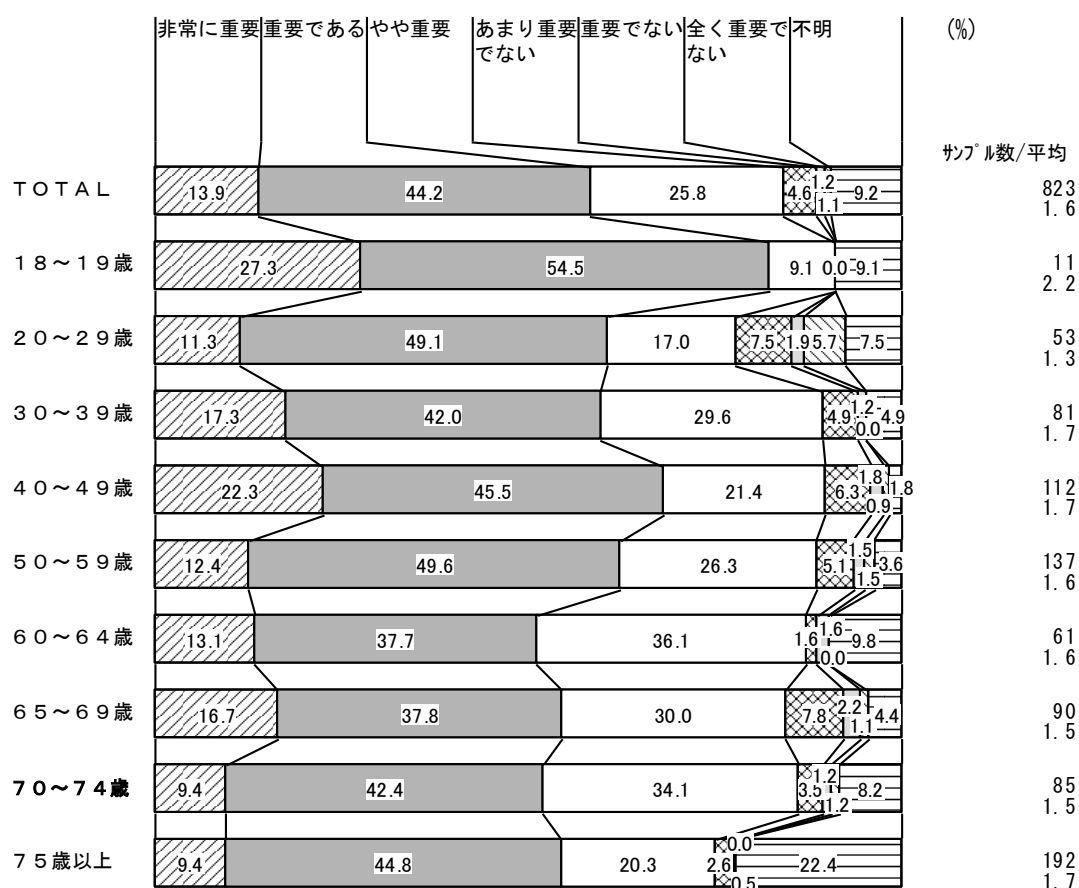
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 83.9%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 6.9%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、「18～19 歳」が 90.1%で最も大きくなっており、ほとんどの年代では大きくなっています。

図表Ⅲ－４－95 「地域経済の振興」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



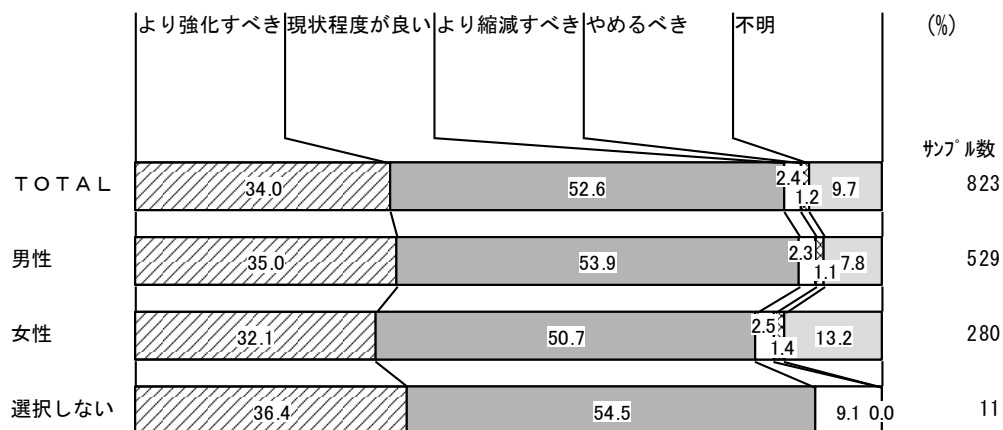
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

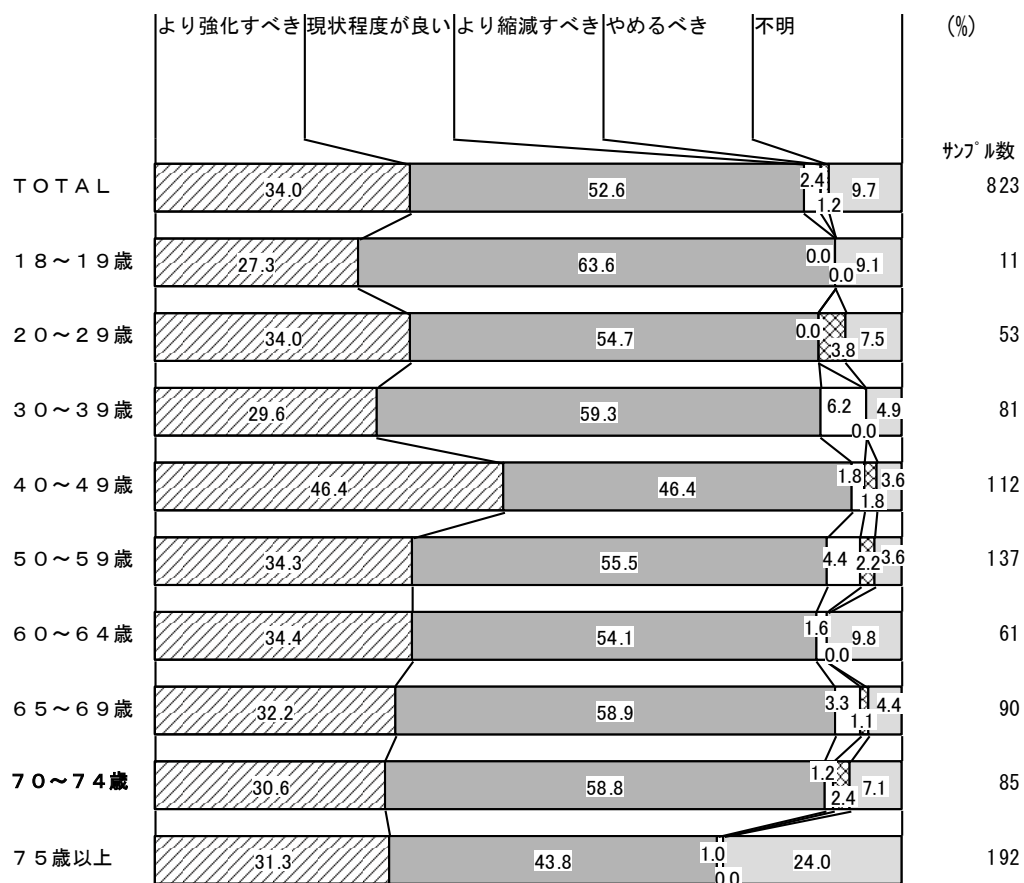
○全体では、「より強化すべき」が 34.0%、「現状程度がよい」が 52.6%となっています。

○不満度別にみると、「より強化すべき」は「40代」で 46.4%と大きくなっていますが、全体的には「現状程度がよい」が大きくなっています。

図表Ⅲ－４－96 「地域経済の振興」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

②⑤観光・交流の振興

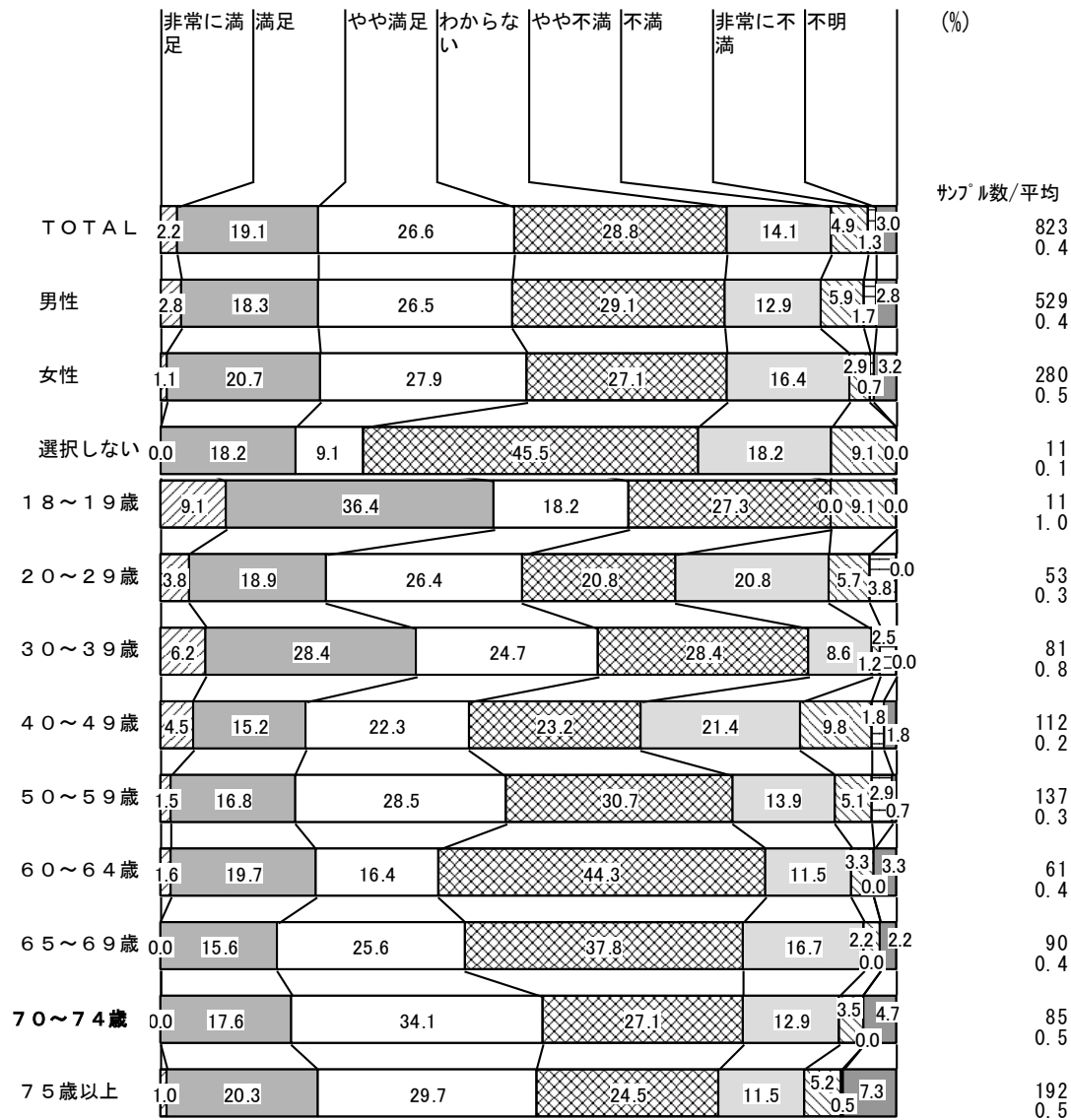
－不満の理由は、「魅力ある祭り・イベントが少ない」が最も高い－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が47.9%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の20.3%を27.6ポイント上回っており、「わからない」が28.8%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」が63.7%、「30代」が59.3%で50%以上となっています。また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「40代」が33.0%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－97 「観光・交流の振興」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



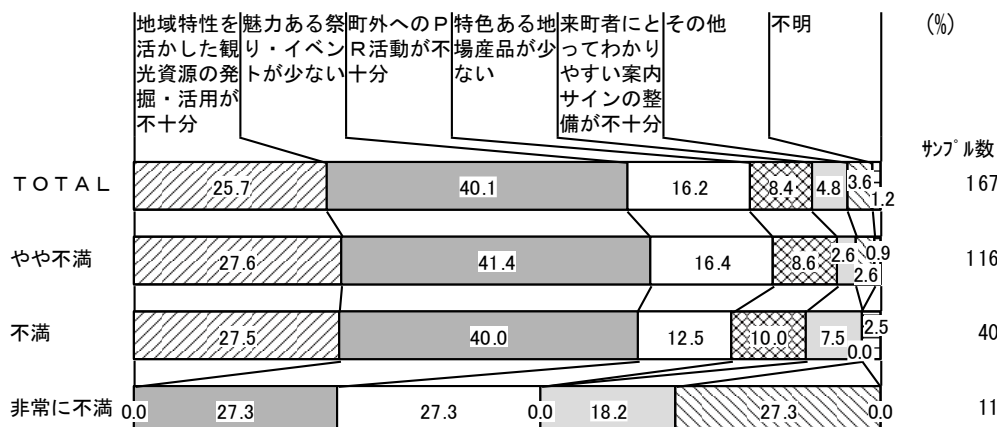
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

○全体では、「魅力ある祭り・イベントが少ない」が40.1%で最も割合が大きく、次いで「地域特性を活かした観光資源の発掘・活用が不十分」の25.7%となっています。

○不満度別にみると、いずれも「魅力ある祭り・イベントが少ない」が最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－98 「観光・交流の振興」に対する不満の理由（不満度別）

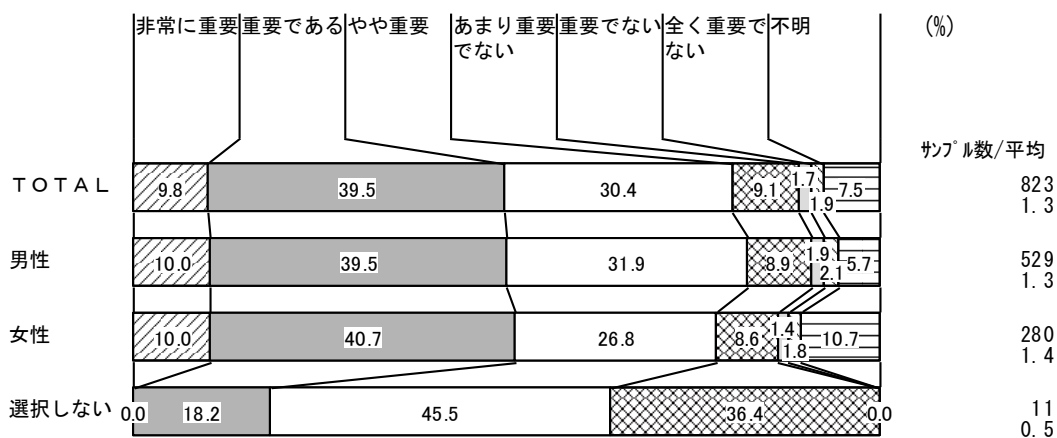


＜今後の重要度＞

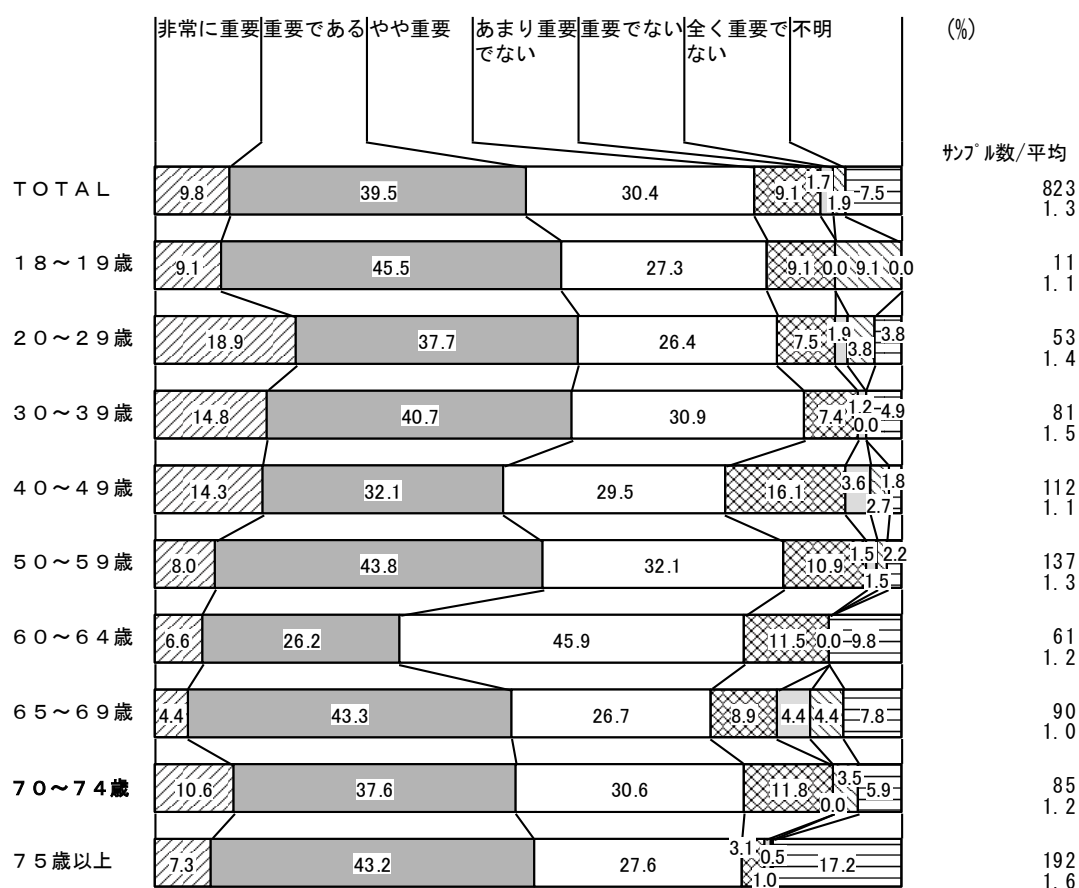
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が79.7%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が12.7%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）はいずれの年代も70%を超えており、その中でも「30代」が86.4%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－99 「観光・交流の振興」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



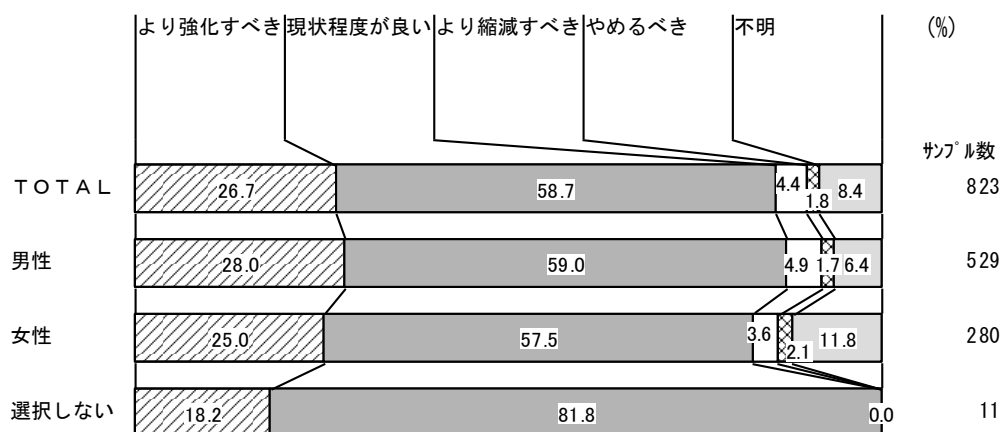
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

＜今後の注力度＞

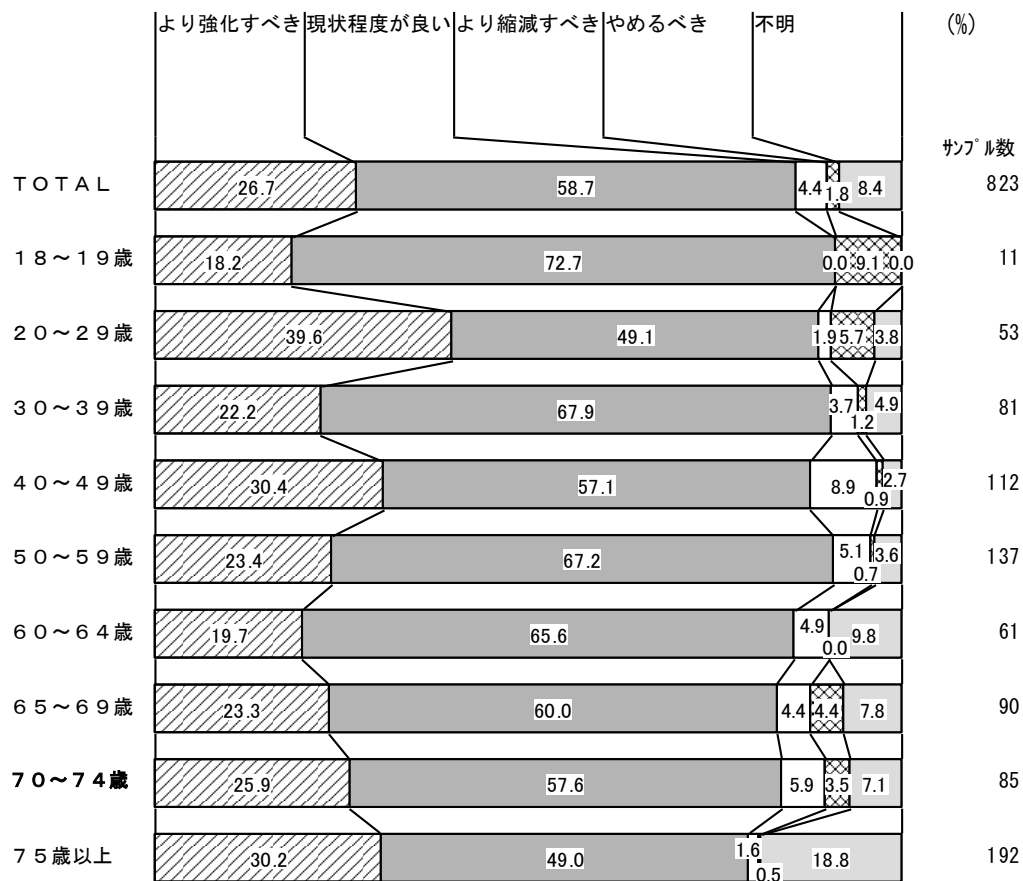
○全体では、「より強化すべき」が 26.7%、「現状程度がよい」が 58.7%となっています。

○年代別にみると、いずれの年代でも「現状程度がよい」が大きくなっていますが、「20 代」では「より強化すべき」が 39.6%で他に比べて大きくなっています。

図表Ⅲ－４－100 「観光・交流の振興」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

(7) 健全で効果的・効率的な行財政運営の推進

㊦効果的・効率的な行政運営の推進

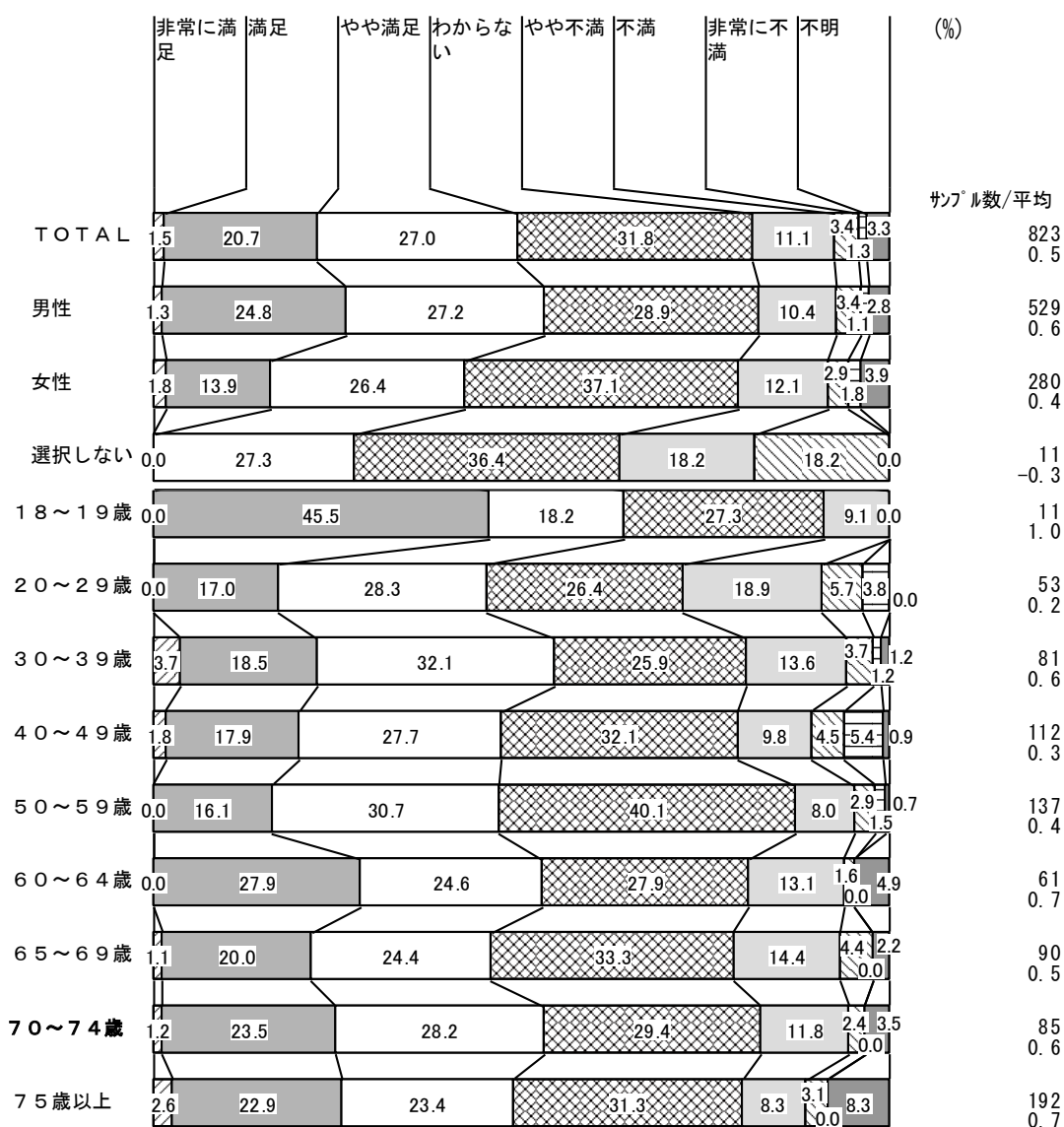
－不満足の理由は、「インターネット上で手続きできる行政サービスが少ない」が最も高い－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が49.2%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の15.8%を33.4ポイント上回っており、「わからない」が31.8%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」が63.7%で最も大きく、次いで「30代」の54.3%となっています。また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「20代」が28.4%で最も高くなっています。

図表Ⅲ－４－101 「効果的・効率的な行政運営の推進」に対する現在の満足度（性別、年齢別）

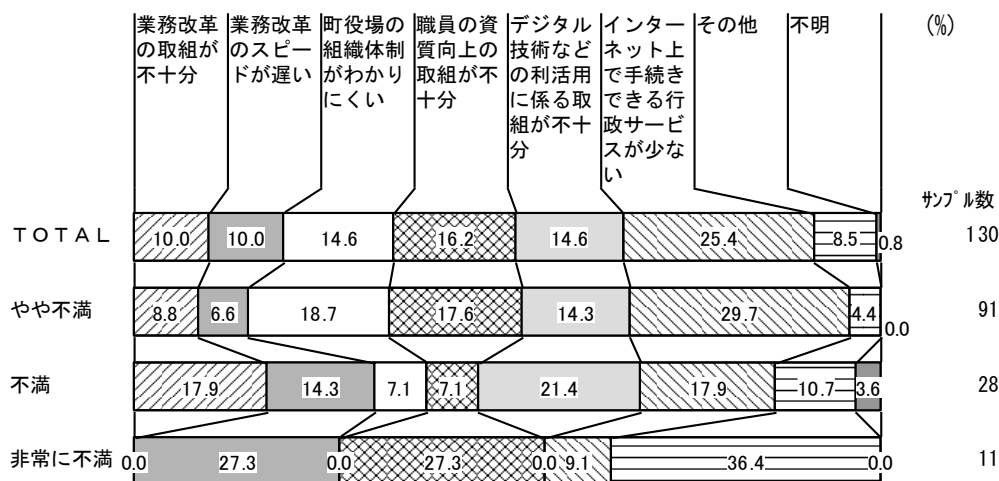


(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜不満の理由＞

- 全体では、「インターネット上で手続きできる行政サービスが少ない」が 25.4%で最も大きく、次いで「職員の資質向上の取組が不十分」の 16.2%となっています。
- 不満度別にみても、「やや不満」では「インターネット上で手続きできる行政サービスが少ない」、「不満」では「デジタル技術やマイナンバーカードの利活用に係る取組が不十分」など様々になっています。

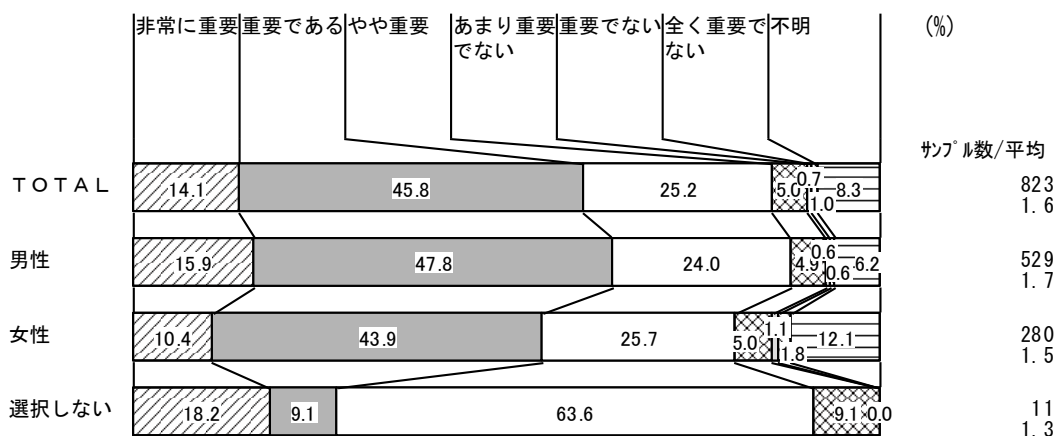
図表Ⅲ－４－102 「効果的・効率的な行政運営の推進」に対する不満の理由（不満度別）



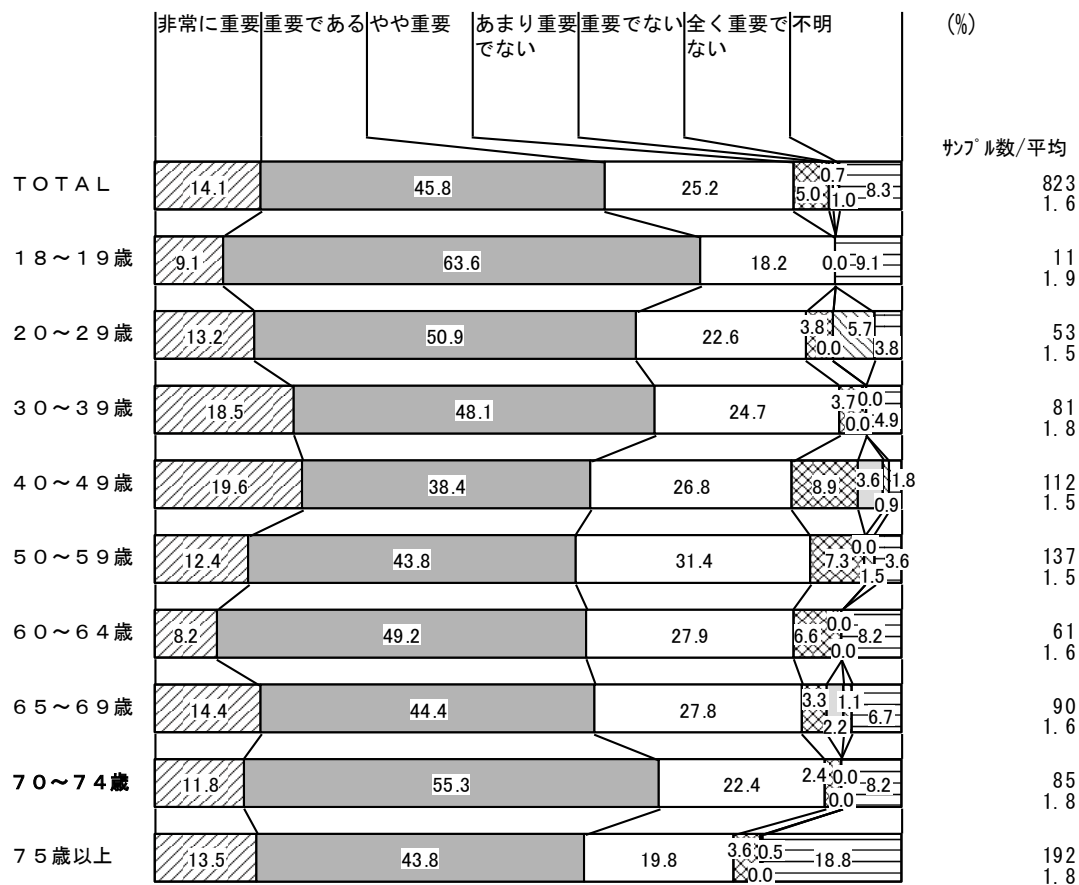
＜今後の重要度＞

- 全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）が 85.1%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 6.7%となっています。
- 年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は「70 歳以上」が 78.3%で最も高く、次いで「60 代」の 69.4%となっています。

図表Ⅲ－４－103 「効果的・効率的な行政運営の推進」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



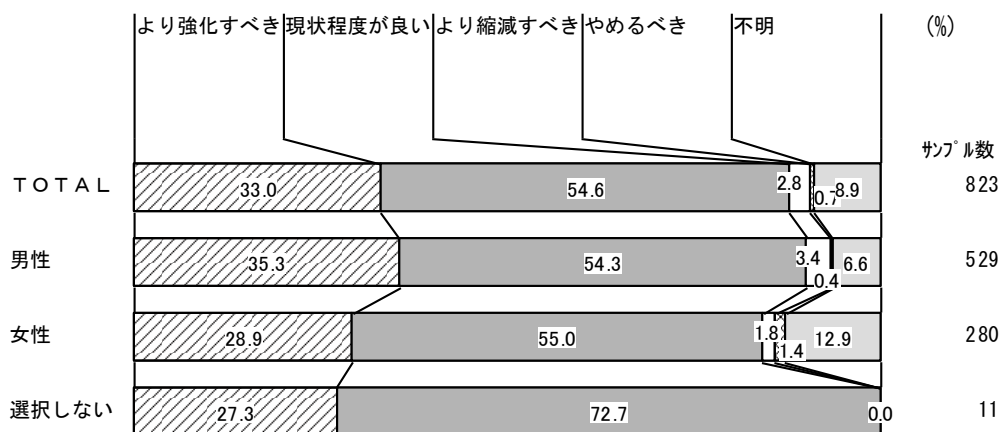
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点 (p14)

<今後の注力度>

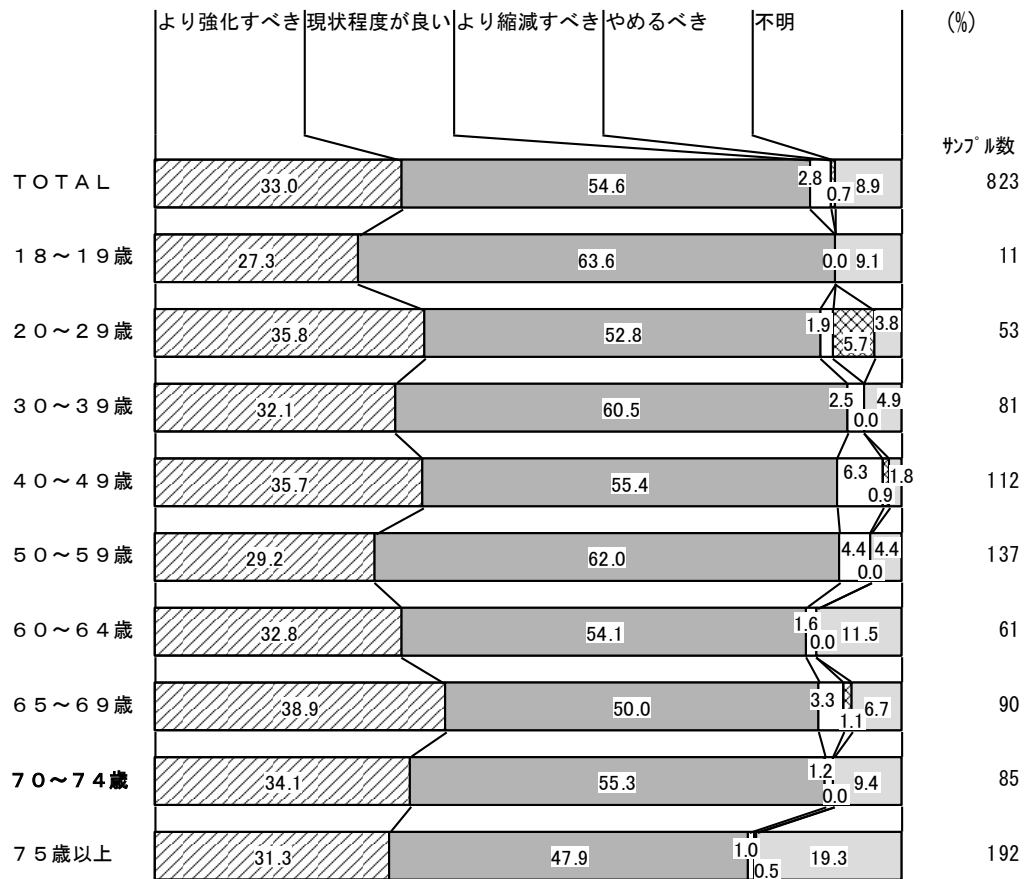
○全体では、「より強化すべき」が 33.0%、「現状程度がよい」が 54.6%となっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「現状程度がよい」が多くなっていますが、「65～69 歳」では 40%弱になっています。

図表Ⅲ－４－104 「効果的・効率的な行政運営の推進」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

② 健全な財政運営の推進

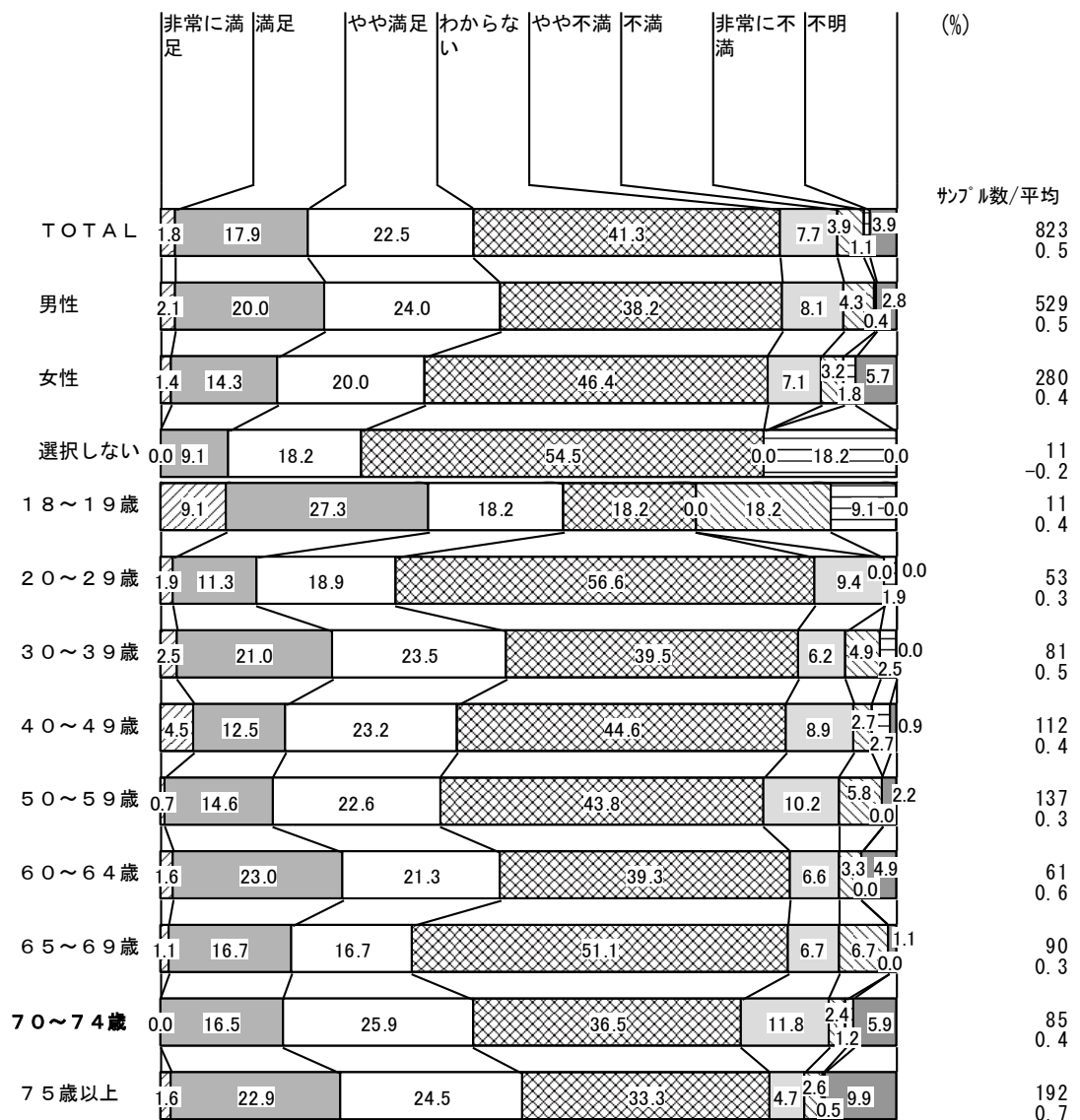
－不満の理由は、「歳入を増やすための取組が不十分」が最も高い－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が42.2%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の12.7%を29.5ポイント上回っており、「わからない」が41.3%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」が54.6%で最も大きく、次いで「70歳以上」となっています。また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「50代」が16.0%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－105 「健全な財政運営の推進」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



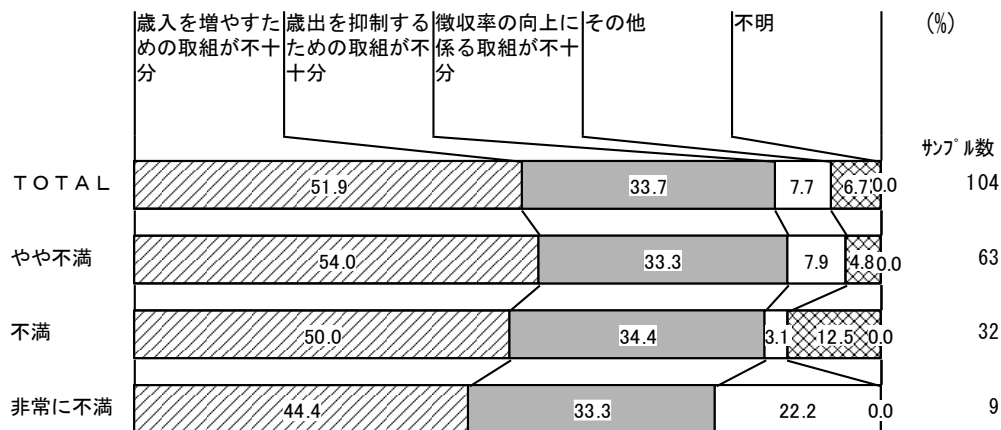
（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）

＜不満の理由＞

○全体では、「歳入を増やすための取組が不十分」が 51.9%で最も大きく、次いで「歳出を抑制するための取組が不十分」の 33.7%となっています。

○不満度別にみると、いずれも「歳入を増やすための取組が不十分」が最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－106 「健全な財政運営の推進」に対する不満の理由（不満度別）

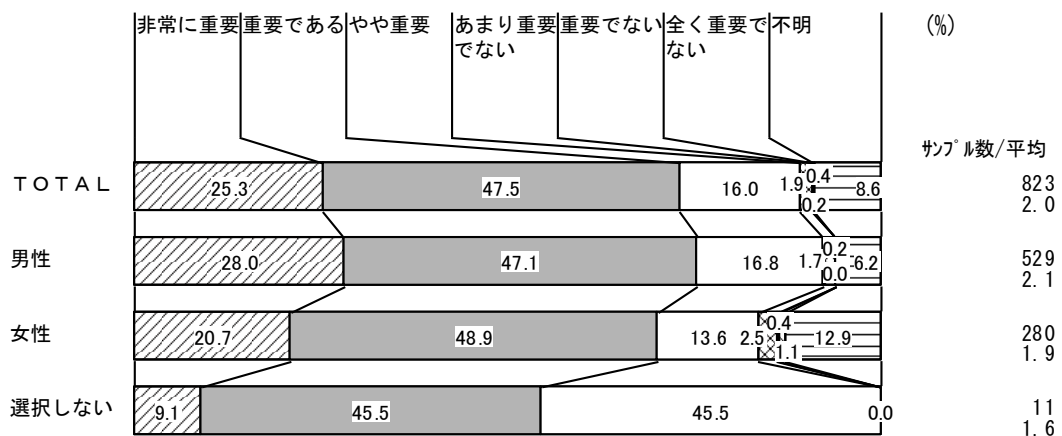


＜今後の重要度＞

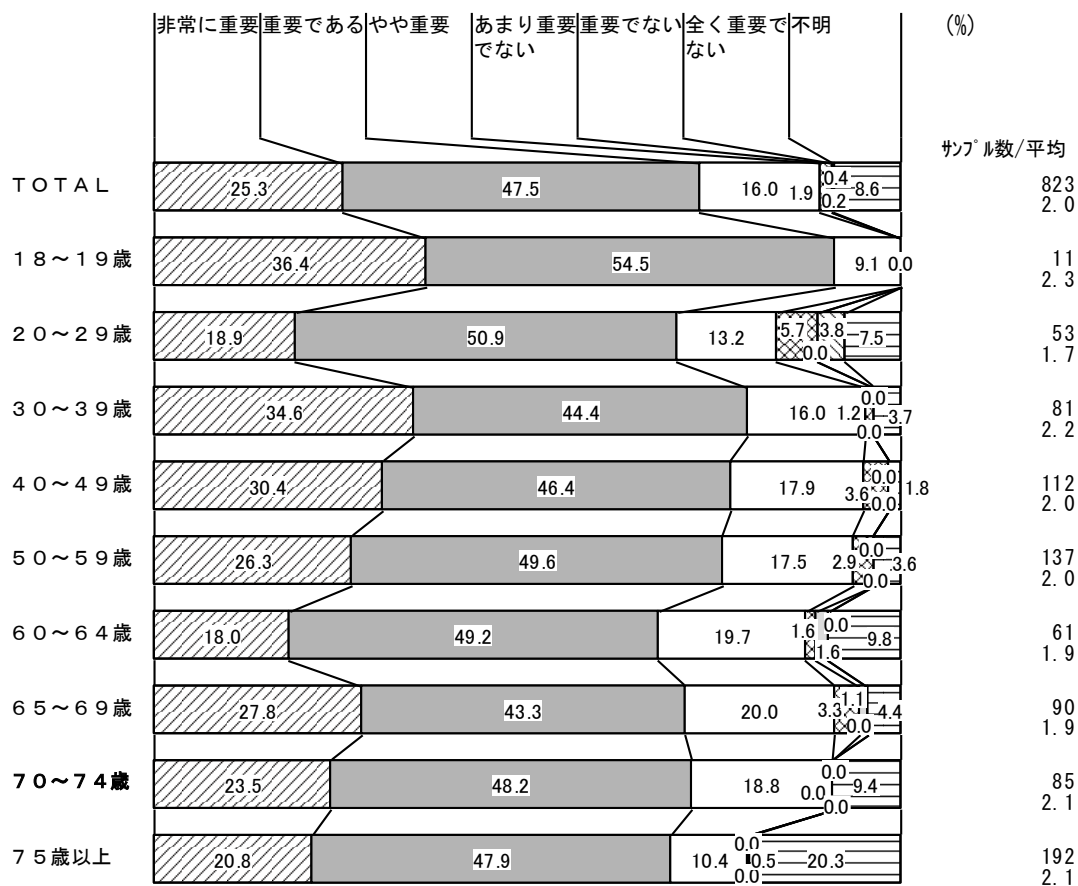
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）88.8%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 2.5%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）はいずれの年代も 80%を超えており、その中でも「18～19 歳」が 100%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－107 「健全な財政運営の推進」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



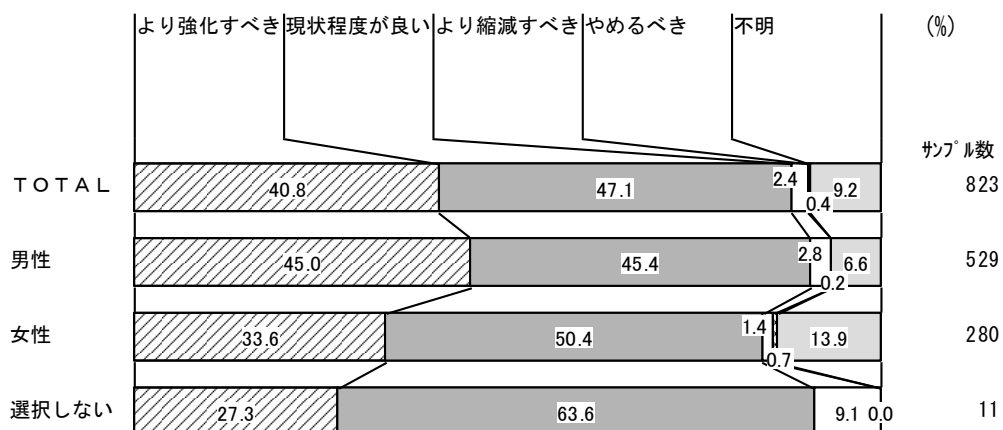
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

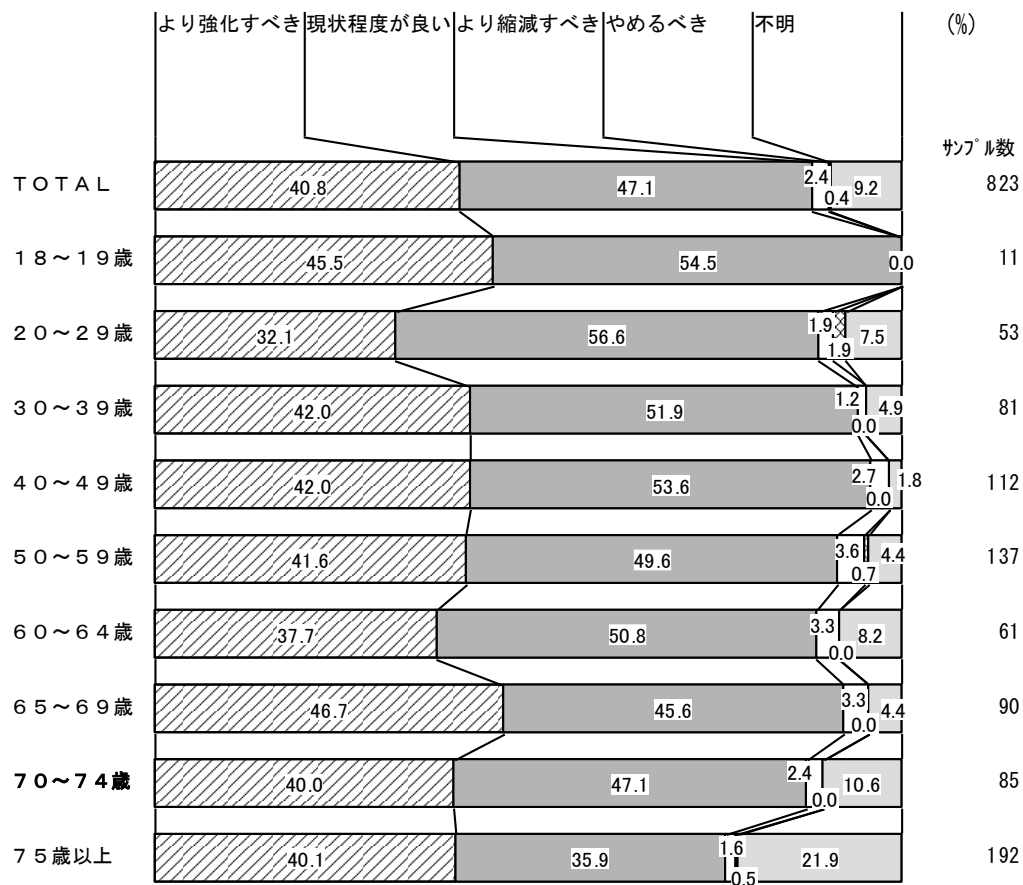
○全体では、「より強化すべき」が40.8%、「現状程度がよい」が47.1%となっています。

○年代別にみると、全体的に「現状程度がよい」が「より強化すべき」をやや上回っていますが、65～69歳では「より強化すべき」が「現状程度がよい」を上回っています。

図表Ⅲ－４－108 「健全な財政運営の推進」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

②⑧公共施設マネジメントの推進

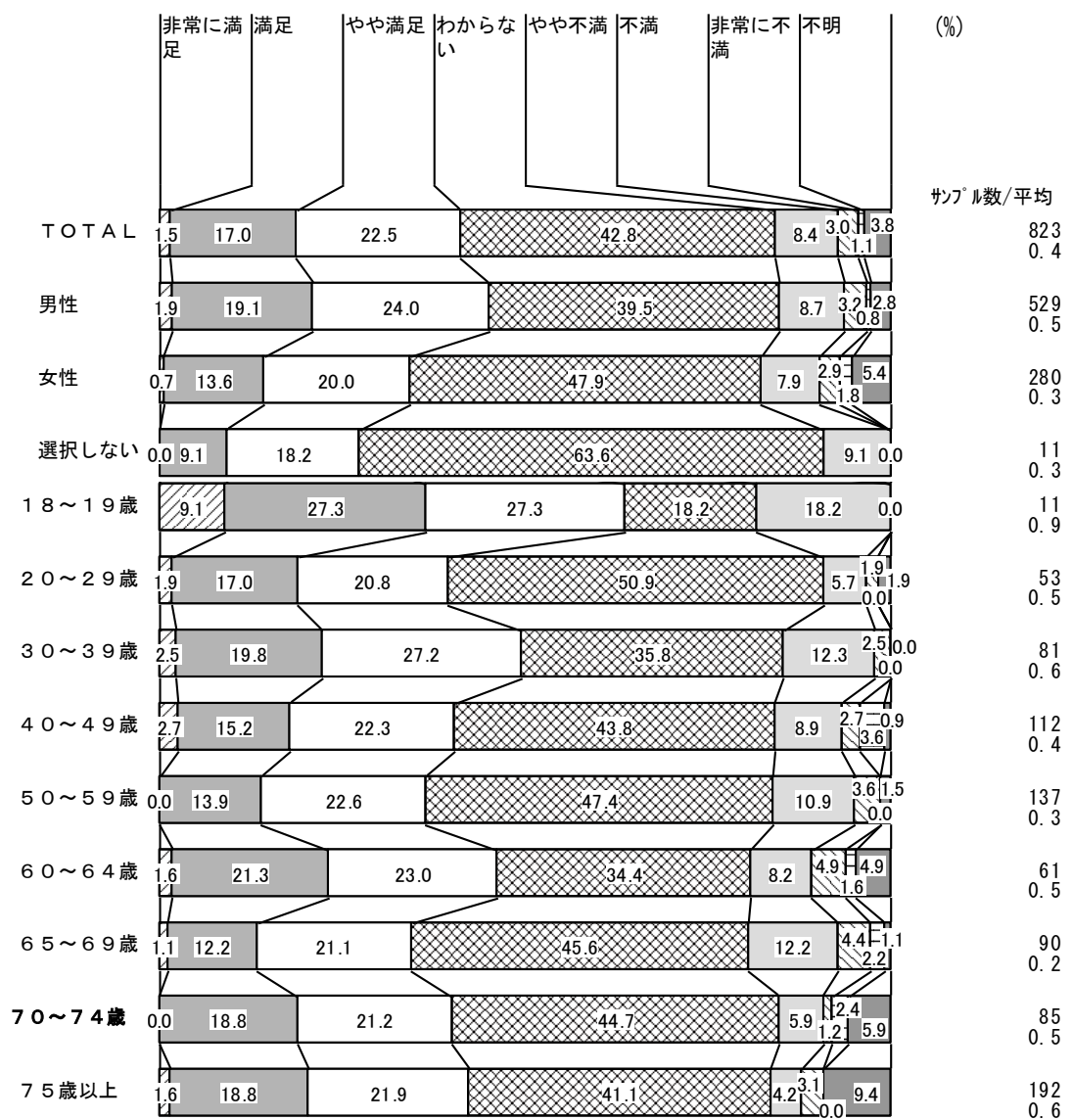
－不満の理由は、「施設が古く使いづらい」が最も高い－

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が41.0%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の12.5%を28.5ポイント上回っており、「わからない」が42.8%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」が63.7%で最も大きく、次いで「30代」の49.5%となっています。

図表Ⅲ－４－109 「公共施設マネジメントの推進」に対する現在の満足度（性別、年齢別）

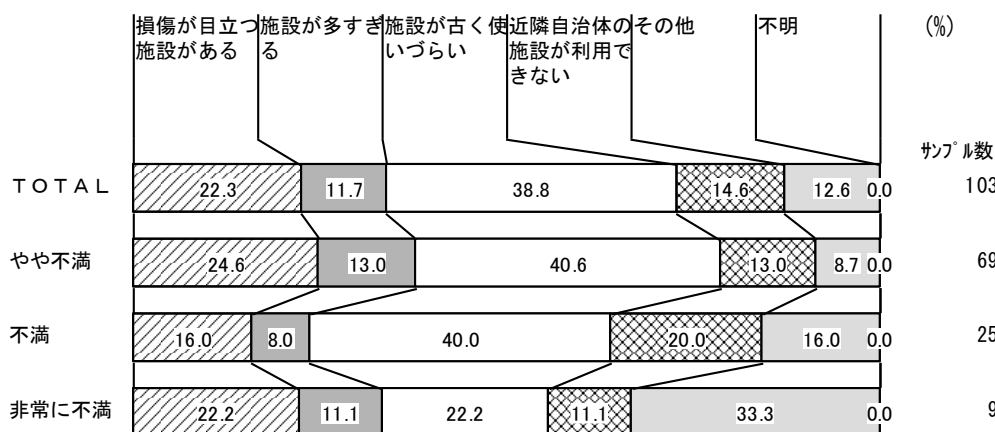


＜不満の理由＞

○全体では、「施設が古く使いづらい」が38.8%で最も大きく、次いで「損傷が目立つ施設がある」の22.3%となっています。

○不満度別にみると、「やや不満」と「不満」では「施設が古く使いづらい」、「非常に不満」では「その他」が最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－110 「公共施設マネジメントの推進」に対する不満の理由（不満度別）

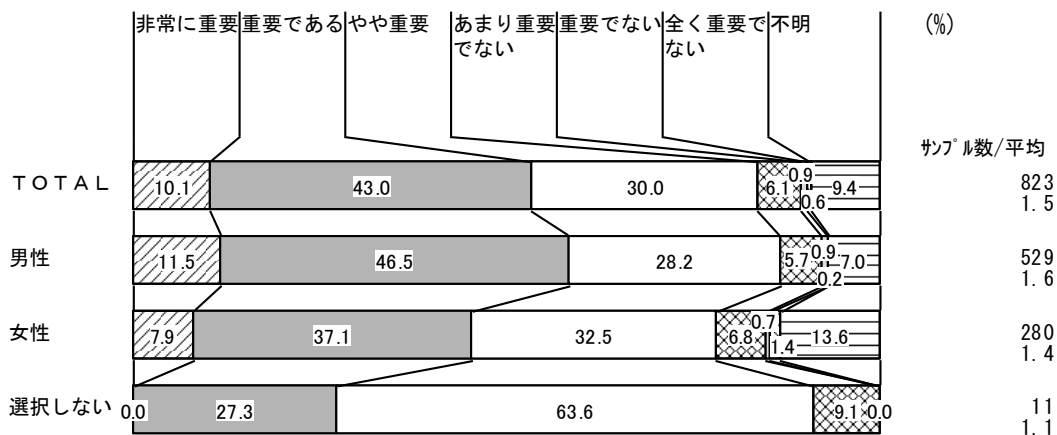


＜今後の重要度＞

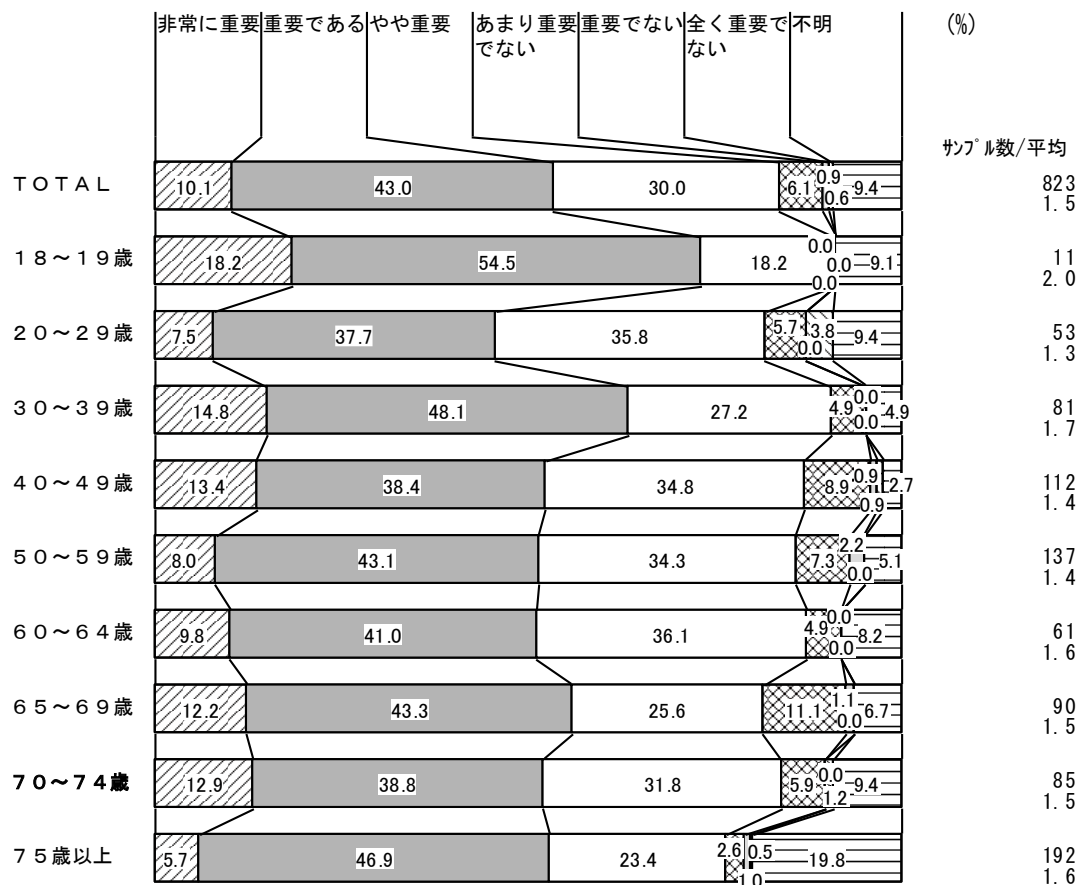
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）83.1%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が7.6%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、不明の多い「75歳以上」以外の年代では80%を超えており、その中でも「30歳以上」が90.1%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－111 「公共施設マネジメントの推進」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



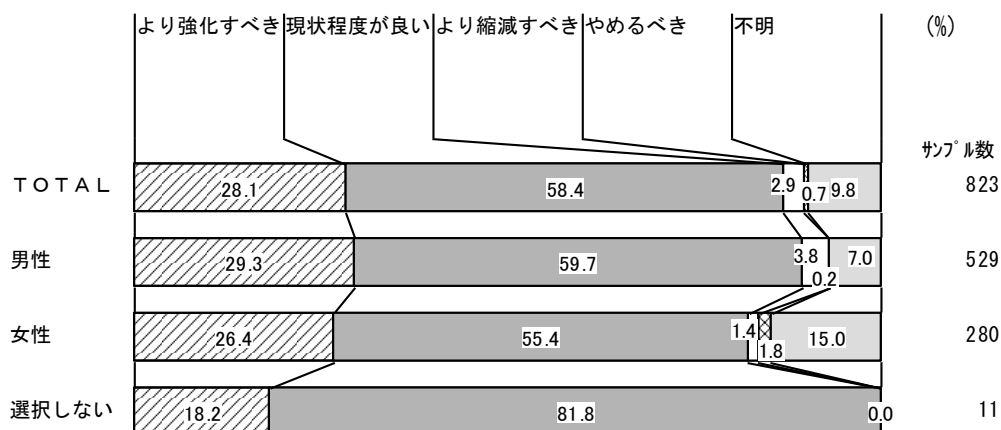
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

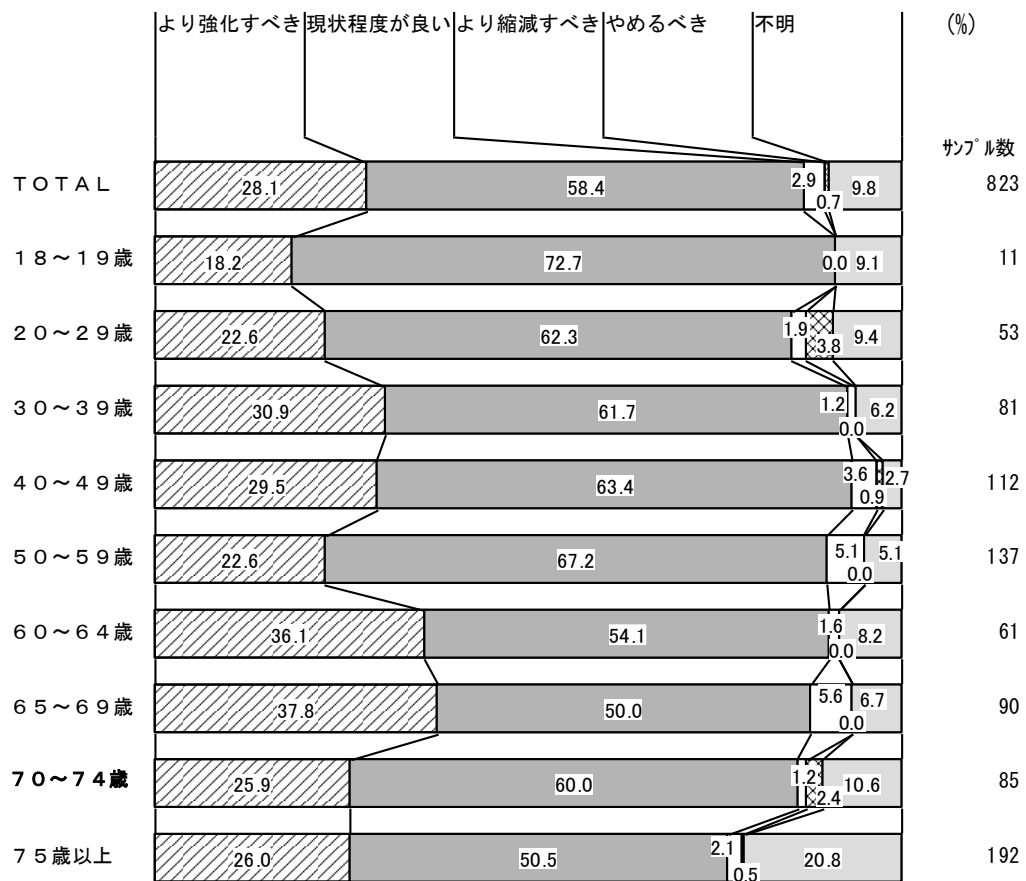
○全体では、「より強化すべき」が 28.1%、「現状程度がよい」が 58.4%となっています。

○年代別にみると、不明の多い「75歳以上」以外の年代では「現状程度がよい」が大きくなっていますが、「60代」は「より強化すべき」がやや大きくなっています。

図表Ⅲ－４－112 「公共施設マネジメントの推進」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。

②⑨協働・連携によるまちづくりの推進

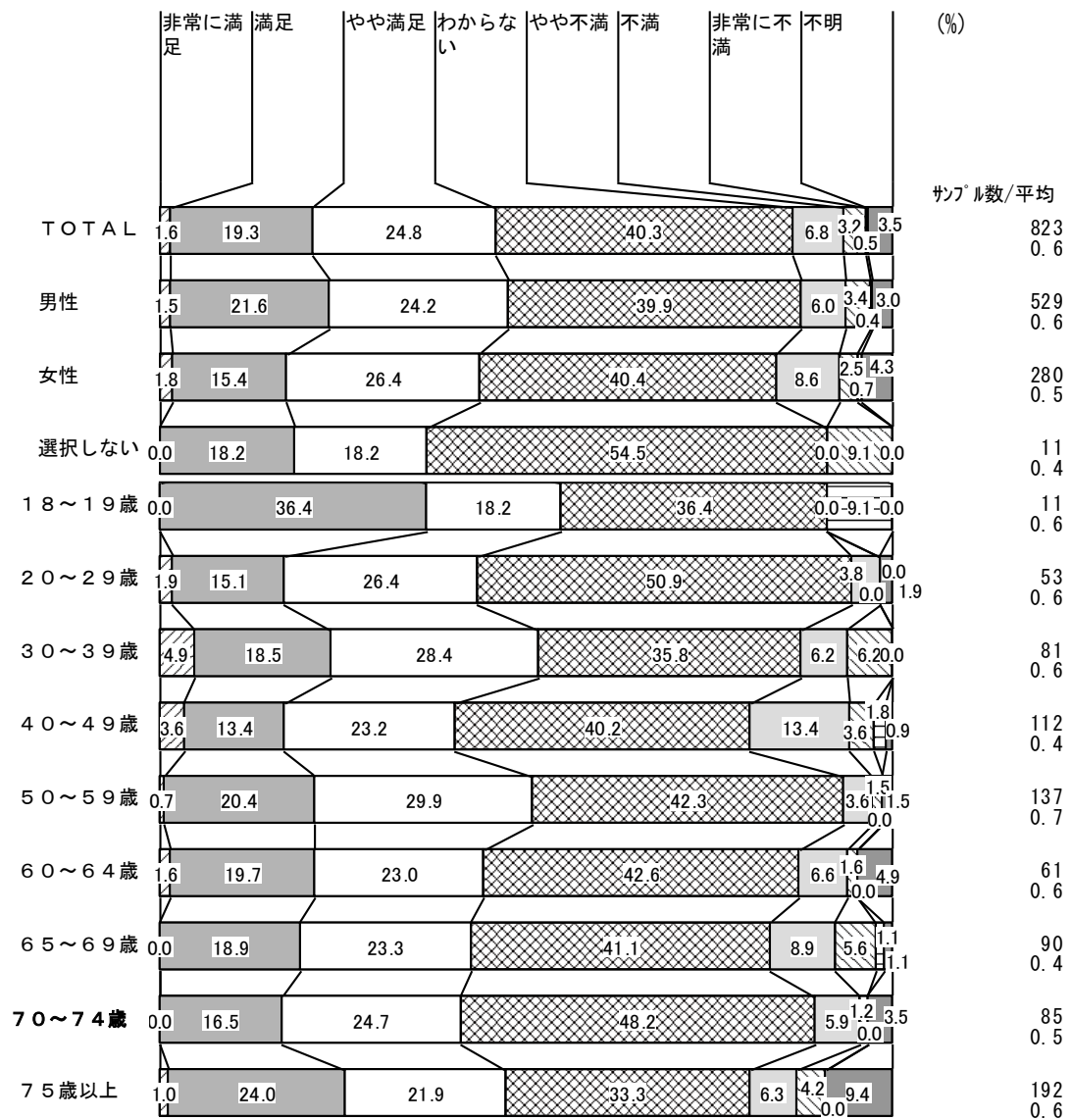
―不満の理由は、「住民が町政やまちづくりへ参加する機会が少ない」が最も高い―

＜現在の満足度＞

○全体では、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が45.7%で、不満（「やや不満」＋「不満」＋「非常に不満」）の10.5%を35.2ポイント上回っており、「わからない」が40.3%となっています。

○年代別にみると、満足（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）は「18～19歳」が54.6%で最も大きく、次いで「30代」の51.8%となっています。また、不満（「不満」＋「やや不満」＋「非常に不満」）は「40代」が18.8%で最も大きくなっています。

図表Ⅲ－４－113 「協働・連携によるまちづくりの推進」に対する現在の満足度（性別、年齢別）



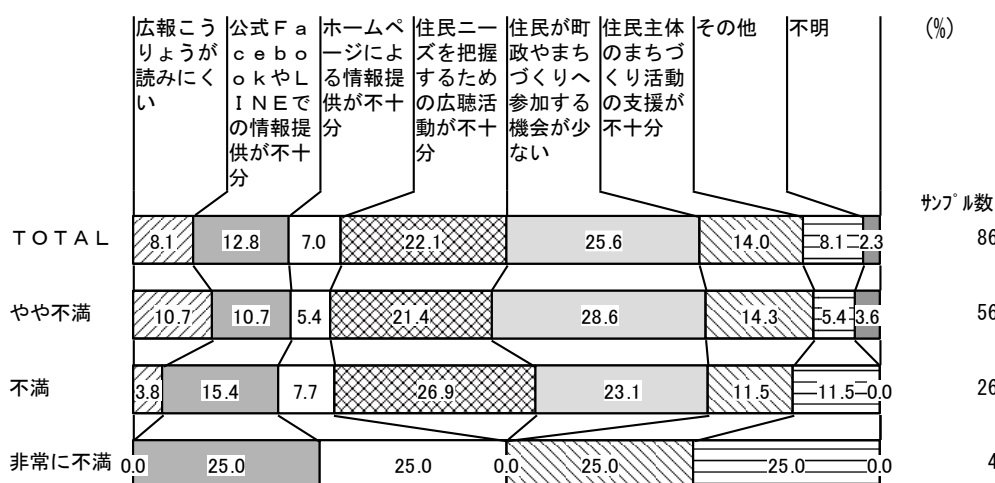
（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）

<不満の理由>

○全体では、「住民が町政やまちづくりへ参加する機会が少ない」が 25.6%で最も大きく、次いで「住民ニーズを把握するための広聴活動が不十分」の 22.1%となっています。

○不満度別にみると、回答者の少ない「非常に不満」以外は、「住民が町政やまちづくりへ参加する機会が少ない」と「住民ニーズを把握するための広聴活動が不十分」が上位 2 位となっています。

図表Ⅲ－４－114 「協働・連携によるまちづくりの推進」に対する不満の理由（不満度別）

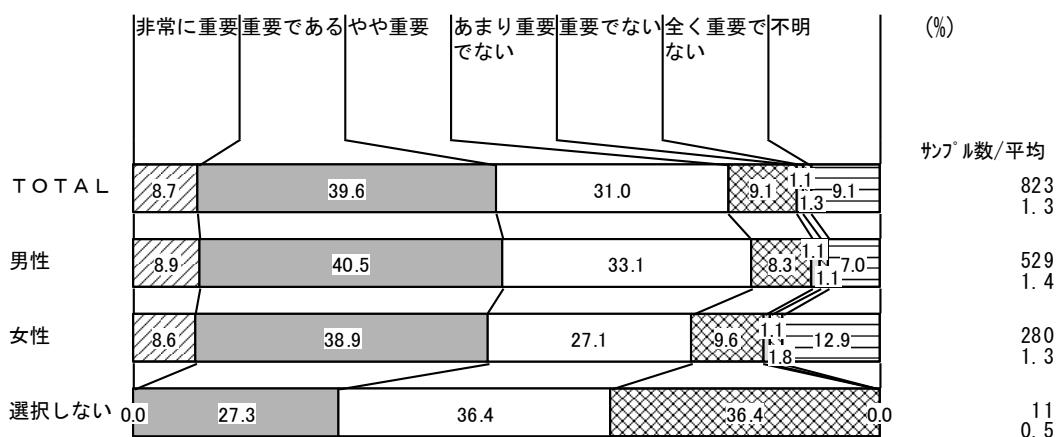


<今後の重要度>

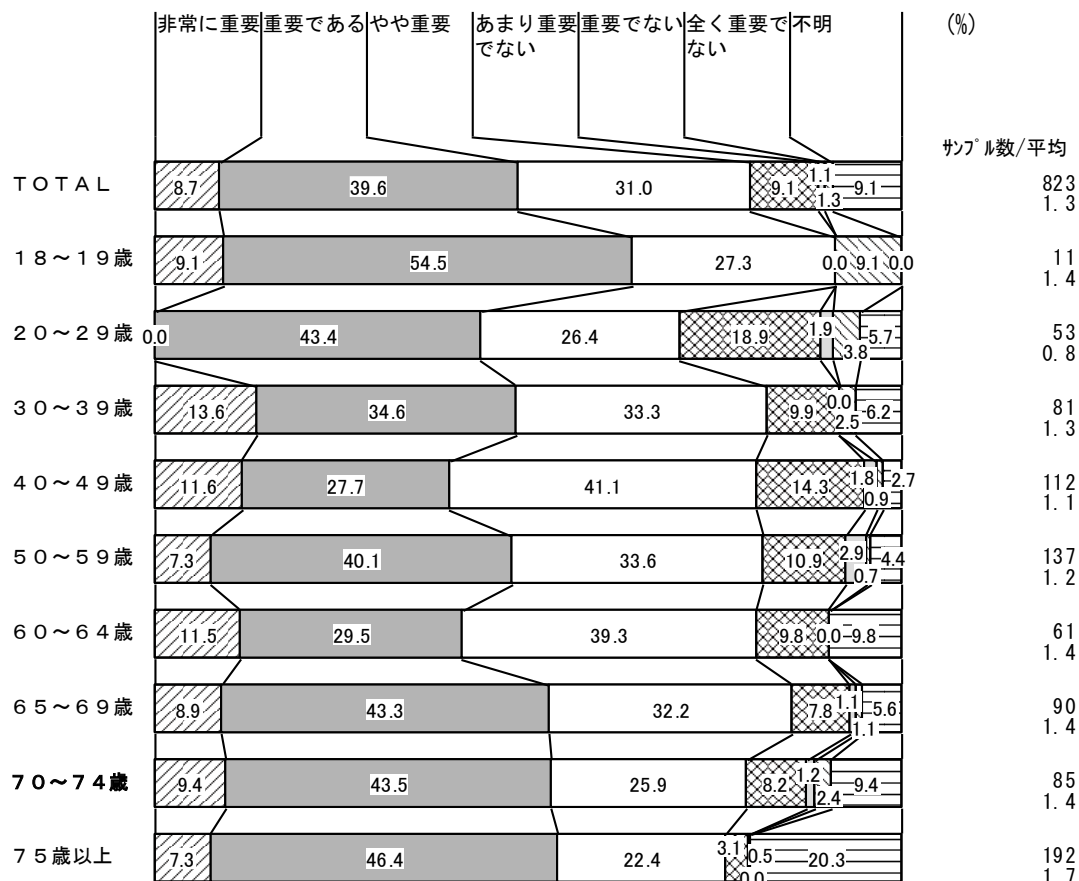
○全体では、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）79.3%、重要ではない（「あまり重要ではない」＋「重要ではない」＋「全く重要ではない」）が 11.5%となっています。

○年代別にみると、重要（「非常に重要」＋「重要である」＋「少し重要」）は、ほとんどの年代では 80% 台を超えていますが、「20 代」では重要度がやや低くなっています。

図表Ⅲ－４－115 「協働・連携によるまちづくりの推進」に対する今後の重要度（性別、年齢別）



（注）表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点（p14）



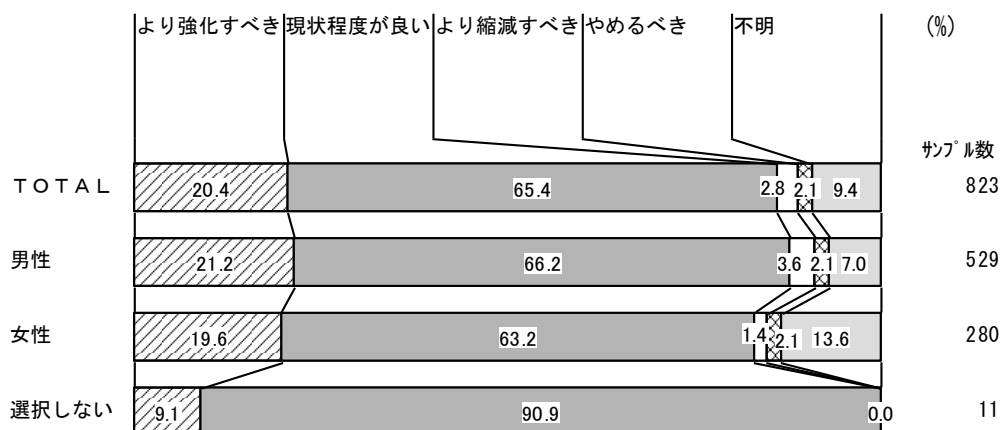
(注) 表側の「不明」サンプルは除く。「平均」は加重平均の得点(p14)

＜今後の注力度＞

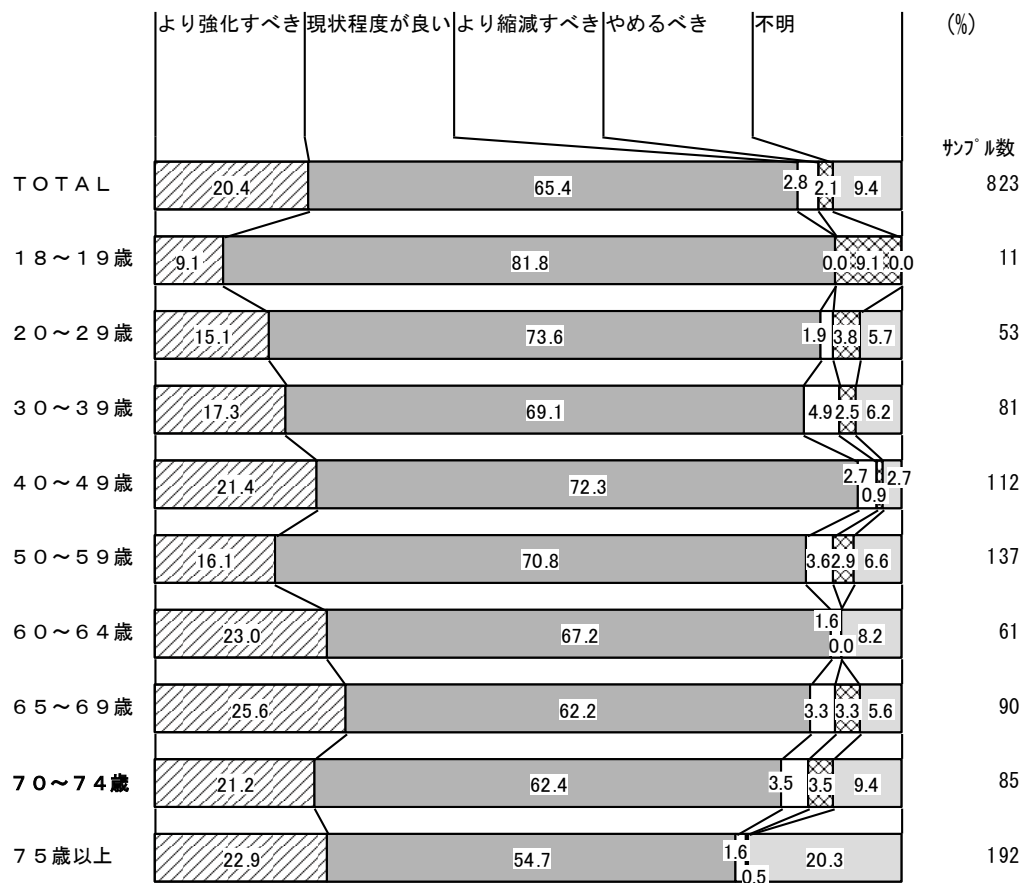
○全体では、「より強化すべき」が20.4%、「現状程度がよい」が65.4%となっています。

○年代別にみると、いずれの年代も「現状程度がよい」が大きくなっていますが、「60代」では「より強化すべき」がやや大きくなっています。

図表Ⅲ－４－116 「協働・連携によるまちづくりの推進」に対する今後の注力度（性別、年齢別）



(注) 表側の「不明」サンプルは除く。



(注)表側の「不明」サンプルは除く。

IV 資料編

1 アンケート調査票



1 「あなた」について教えてください。

問1) 性別は、次のどれですか。(1つだけチェック)

☐ 男性

☐ 女性

☐ 選択しない

問2) 現在の年齢は、次のどれですか。(1つだけチェック)

☐ 18～19 歳

☐ 20～29 歳

☐ 30～39 歳

☐ 40～49 歳

☐ 50～59 歳

☐ 60～64 歳

☐ 65～69 歳

☐ 70～74 歳

☐ 75 歳以上

問3) 広陵町にお住まいになって、通算で何年になりますか。(1つだけチェック)

☐ 3 年未満

☐ 3 年以上 5 年未満

☐ 5 年以上 10 年未満

☐ 10 年以上 20 年未満

☐ 20 年以上

問4) 現在、広陵町のどの地区にお住まいですか。(1つだけチェック)

☐ 広陵東小学校区 (南郷・古寺・百済・広瀬 等)

☐ 広陵西小学校区 (大塚・安部・平尾・疋相・三吉・笠 等)

☐ 広陵北小学校区 (沢・大野・萱野・南・弁財天・的場・大場・中・寺戸 等)

☐ 真美ヶ丘第一小学校区 (馬見南 1～6 丁目・みささぎ台 等)

☐ 真美ヶ丘第二小学校区 (馬見北 1～9 丁目・馬見中 1～5 丁目 等)

問5) 現在、お住まいになっている住宅は、次のどれですか。(1つだけチェック)

☐ 一戸建ての持ち家

☐ 民間アパート、賃貸マンション

☐ 分譲マンション (賃貸を除く)

☐ 社宅・寮

☐ 公営の賃貸住宅 (町営住宅)

☐ その他 ()

問6) 家族構成(世帯)は、次のどれですか。(1つだけチェック)

☐ ひとり暮らし	⇒問7へ	☐ 夫婦のみ
☐ 親と子(2世代)		☐ 親と子と孫(3世代)
☐ パートナー(事実婚)		☐ その他()

「☒ ひとり暮らし」以外を選んだ方へ。現在、あなた又は同居する家族の中に、次の方はいますか。
(チェックはいくつでも)

- | | |
|--|------------------------------------|
| ☐ 就学前(0～5歳)の子ども | ☐ 小学生 |
| ☐ 中学生 | ☐ 妊娠中の方 |
| ☐ 65歳以上の方 | ☐ 介護を必要とする方 |
| ☐ 該当する人はいない | |

問7) 現在の職業は、次のどれですか。(兼業の方は、主となる職業を選択してください。)(1つだけチェック)

☐ 給与所得者(会社員・公務員・団体職員など)	☐ 自営業(農業を含む)
☐ パート・アルバイト	☐ 専業主婦(主夫)
☐ 学生	☐ 無職
☐ その他()	

問8) 現在の通勤・通学先は、次のどれですか。(1つだけチェック)

☐ 広陵町内	☐ 奈良県内
☐ 奈良県外	☐ 通勤・通学していない

問9) 現在、スマートフォン・タブレット端末をお持ちですか。(1つだけチェック)

☐ 持っている	☐ 持っていない
--------------------------------	---------------------------------

「☒ 持っている」を選んだ方へ。スマートフォン・タブレット端末の主な利用目的は何ですか。
(チェックはいくつでも)

- | | |
|--|--|
| ☐ メールの利用 | ☐ 写真・動画の撮影 |
| ☐ SNSの利用(Facebook・Instagram・TikTok・X(旧Twitter)など) | ☐ 仕事や趣味に関する情報収集 |
| ☐ メッセージアプリの利用(LINEなど) | ☐ 行政サービスの利用手続き |
| ☐ ゲームの利用 | ☐ ネット通販の利用 |
| ☐ 音楽や動画の視聴 | ☐ eラーニングの利用 |
| ☐ スマートフォン決済(PayPay・楽天ペイ・d払いなど) | ☐ ニュースや天気予報の閲覧 |
| ☐ 銀行口座の残高確認・ネットバンキング | ☐ 経路検索(Google map・駅探など) |
| ☐ 町公式ホームページ内「手続きナビ」の利用 | ☐ その他() |

問 10) 町政やまちづくり（住み続けたいまちにするための活動）の情報をどこから得ていますか。

（チェックはいくつでも）

- | | |
|--|--|
| ☐ 町広報紙 | ☐ 町公式ホームページ |
| ☐ 町公式 LINE・Facebook | ☐ チラシ・ポスター |
| ☐ 区・自治会の回覧板等 | ☐ その他（ ） |

問 11) これまでに、まちづくりに参画したことがありますか。（1つだけチェック）

- | | | |
|------------------------------------|------------------------------------|----------------|
| ☐ 参画したことがある | ☐ 参画したことがない | ⇒問 12 へ |
|------------------------------------|------------------------------------|----------------|

「☒ 参画したことがある」を選んだ方へ。どのようなかたちで参画しましたか。

（チェックはいくつでも）

- | | |
|--|--|
| ☐ 区・自治会での活動 | ☐ まちづくり協議会としての活動 |
| ☐ その他町の各種団体としての活動 | ☐ 自主防災組織としての活動 |
| ☐ 町主催のワークショップへの参加 | ☐ 町の各種委員としての活動 |
| ☐ パブリックコメント等への回答 | ☐ その他（ ） |



2 まちへの愛着度や定住意向について、教えてください。

問 12) 広陵町に対しどの程度愛着を感じていますか。（1つだけチェック）

- | | | | | |
|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| ☐ | ☐ | ☐ | ☐ | ☐ |
| とても愛着を
感じている | どちらかという
と愛着を感じている | どちらとも
いえない | あまり愛着を
感じていない | 愛着を
感じていない |

問 13) 広陵町のどのようなところが魅力的だと思いますか。（チェックはいくつでも）

- | | |
|---|--|
| ☐ 自然環境が豊かである | ☐ 転入時の支援体制が整っている |
| ☐ 上・下水道やごみ処理施設などの
生活基盤施設が整っている | ☐ 文化・スポーツ環境が整っている |
| ☐ 道路・交通施策が整っている | ☐ 歴史的遺産が多い |
| ☐ インターネットなどを利用するための
情報通信網が整っている | ☐ 活力ある産業がある |
| ☐ 消防・防災体制が整っている | ☐ 買い物が便利でよい |
| ☐ 防犯体制が整っている | ☐ 働く場が整っている |
| ☐ 保健・医療環境が整っている | ☐ 人情味や地域の連帯感がある |
| ☐ 福祉環境が整っている | ☐ 行政サービスが充実している |
| ☐ 子育て・教育環境が整っている | ☐ 広報などによる行政の情報発信が充実している |
| ☐ 産前産後の支援体制が整っている | ☐ その他（ ） |
| | ☐ 特に魅力を感じない |

問 14) これからも広陵町に住みたいと思いますか。(1つだけチェック)

☐	☐	☐	☐	☐
住みたい	どちらかといえば住 みたい	どちらとも いえない	どちらかといえば 住みたくない	住みたくない (できれば町外へ 引っ越したい)

「☒ どちらかといえば住みたくない」又は「☒ 住みたくない(できれば町外へ引っ越したい)」
を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。(チェックはいくつでも)

- | | |
|---|---|
| ☐ 自然環境が悪い | ☐ 文化・スポーツ環境が不十分 |
| ☐ 上・下水道やごみ処理施設などの
生活基盤施設が不十分 | ☐ 産業の活力が不十分 |
| ☐ 道路・交通施策が不十分 | ☐ 買い物が不便 |
| ☐ インターネットなどを利用するための
情報通信網が不十分 | ☐ 働く場が不十分 |
| ☐ 消防・防災体制が不十分 | ☐ 人情味や地域の連帯感が薄い |
| ☐ 防犯体制が不十分 | ☐ 行政サービスが不十分 |
| ☐ 保健・医療環境が不十分 | ☐ 広報などによる行政の情報発信が不十分 |
| ☐ 福祉環境が不十分 | ☐ ふるさとが他にある |
| ☐ 子育て・教育環境が不十分 | ☐ 都会で生活したい |
| ☐ 産前産後の支援体制が不十分 | ☐ 通学先が遠方にある |
| ☐ 転入時の支援が不十分 | ☐ 働く場が遠方にある |
| | ☐ 介護が必要な家族や親族が遠方にいる |
| | ☐ その他 () |



3 町の施策に対する満足度、今後の重要度及び注力度を教えてください。

満足度・重要度・注力度（今後について）とは

- 1 満足度【現在、その施策に対してどのくらい満足しているか】
- 2 重要度【その施策がどのくらい重要か】
- 3 注力度（今後について）【今後、町としてどのくらい力を入れていくべきか】

を意味しています。

また、満足度の中で、「やや不満」、「不満」、「非常に不満」のいずれかを選んだ方は、「4 不満の理由」について、選択肢の中から主なものを1つだけ☒（チェック）してください。

ご回答いただく際は、別添の依頼文の裏面に掲載した「【参考データ①】施策の実施に投じた事業費一覧」も参考としてご覧ください。

記入例

問)「防災・減災体制の強化」について

町では、自主防災組織、防災士ネットワークとの連携による地域の防災力の向上、感震ブレーカー普及等火災予防の徹底、避難所整備・資機材充実、治水対策の推進、災害時避難行動要支援者の安全確保などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額925百万円、住民1人当たり26.4千円



1 満足度

- ☐ 非常に満足
- ☒ やや不満
- ☐ 満足
- ☐ 不満
- ☐ やや満足
- ☐ 非常に不満
- ☐ わからない



2 重要度

- ☒ 非常に重要
- ☐ あまり重要ではない
- ☐ 重要である
- ☐ 重要ではない
- ☐ 少し重要
- ☐ 全く重要ではない



3 今後は…

- ☒ より強化すべき
- ☐ 現状程度がよい
- ☐ より縮減すべき
- ☐ やめるべき



4 不満な理由は？（主なものを1つだけチェック）

- ☐ 住民の防災意識を高めるための啓発や説明が不十分
- ☐ 高齢者など災害弱者への対応が不十分
- ☐ 緊急時の情報連絡体制が不十分
- ☐ 避難所の運営体制が不安
- ☒ 地域での防災協力体制が不十分
- ☐ その他（ ）

【1 満足度（現在、その施策に対してどのくらい満足しているか）】の解説

満足度の選択肢	選択肢の内容
非常に満足	受益者（施策によって利益を受ける住民、事業者等をいう。以下同じ。）に対して十分な取組が行われており、現状に非常に満足
満足	受益者に対して適切な取組が行われており、現状に満足
やや満足	受益者に対して十分ではないが、ある程度の取組が行われており、現状にやや満足
やや不満	受益者に対する取組がやや不足しており、現状にやや不満
不満	受益者に対する取組が不足しており、現状に不満
非常に不満	受益者に対する取組が明らかに不十分であり、現状に非常に不満
わからない	施策に対する関心・関係がない（又は薄い）ため、判断できない

【2 重要度（その施策がどのくらい重要か）】の解説

重要度の選択肢	選択肢の内容
非常に重要	今後のまちづくりにおいて極めて重要な施策であり、最優先で実施する必要がある
重要である	今後のまちづくりにおいて重要な施策であり、他の施策より優先的に実施する必要がある
少し重要	今後のまちづくりにおいてやや重要であり、他の施策よりもある程度優先的に実施する必要がある
あまり重要ではない	今後のまちづくりにおいてあまり重要ではなく、他の施策よりも優先的に実施する必要はない
重要ではない	今後のまちづくりにおいて重要ではなく、他の施策を優先的に実施すべき
全く重要ではない	今後のまちづくりにおいて、全く重要ではない

【3 注力度（今後について）（今後、町としてどのくらい力を入れていくべきか）】の解説

注力度（今後について）の選択肢	選択肢の内容
より強化すべき	受益者に対する取組が明らかに不十分であり、今後、事業費を拡大して取組をより強化すべき施策
現状程度がよい	受益者に対する取組は適切であり、今後も現状の取組や事業費を維持すべき施策
より縮減すべき	受益者に対する取組が過大であり、今後は取組や事業費を縮減すべき施策
やめるべき	町全体から見た波及効果や緊急性が低いため、今後は廃止を検討すべき施策



基本目標 1 自然と人が調和したまち

問 15) 「公園の保全と緑化の推進」について

町では、老朽化した公園施設・設備の点検・改修、地域の住民や団体等による公園・緑地の維持管理体制の充実、町ぐるみによる緑化の推進などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 156 百万円、住民 1 人当たり 4.4 千円

♡ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…
☐ 非常に満足	☐ 非常に重要	☐ より強化すべき
☐ 満足	☐ あまり重要ではない	☐ 現状程度がよい
☐ やや満足	☐ 重要である	☐ より縮減すべき
☐ わからない	☐ 少し重要	☐ やめるべき
☐ やや不満		
☐ 不満		
☐ 非常に不満		

😞 4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

☐ 公園が住まいの近くにない	☐ 公園・緑地の管理が不十分
☐ 公園が狭い	☐ 気軽にふれあえる緑地が少ない
☐ 公園の遊具が老朽化している	☐ その他（ ）

問 16) 「環境保全の推進」について

町では、環境保全・美化活動の促進、温室効果ガスの排出削減、環境への負荷の少ない再生可能エネルギーの導入、公害やごみの不法投棄の未然防止、美しい景観づくりなどに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費予算ベース】令和 4～6 年度の平均：総額 130 百万円、住民 1 人当たり 3.7 千円

♡ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…
☐ 非常に満足	☐ 非常に重要	☐ より強化すべき
☐ 満足	☐ あまり重要ではない	☐ 現状程度がよい
☐ やや満足	☐ 重要である	☐ より縮減すべき
☐ わからない	☐ 少し重要	☐ やめるべき
☐ やや不満		
☐ 不満		
☐ 非常に不満		

😞 4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

☐ 住民主体の環境保全・美化活動への支援が不十分	☐ 再生可能エネルギーの普及に向けた取組が不十分
☐ 温室効果ガスの排出抑制に関する住民への啓発や説明が不十分	☐ 公害の監視・指導体制が不十分
	☐ その他（ ）

問 17)「環境衛生の充実」について

町では、住民のごみ分別の徹底促進、ごみの減量化・再資源化、町営墓地・斎場の適正管理などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 1,796 百万円、住民 1 人当たり 51.2 千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|---|---|
| ☐ ごみの分別・排出ルールが不十分 | ☐ ごみの不適正な排出に対する監視・指導体制が不十分 |
| ☐ ごみの減量化・再資源化に関する住民への啓発や説明が不十分 | ☐ 町営墓地・斎場の管理が不十分 |
| ☐ その他（ ） | |



基本目標 2 生活基盤が充実したまち

問 18)「地域特性を活かしたまちづくりの推進」について

町では、市街地の良好な住環境の維持・保全、新規開発への指導、用途区域に応じた土地利用を誘導する基盤整備や再開発などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 346 百万円、住民 1 人当たり 9.9 千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|---|--|
| ☐ 秩序ある土地利用の規制・誘導が不十分 | ☐ 新たな住宅地の開発が不十分 |
| ☐ 良好な住環境を守るための取組が不十分 | ☐ 幹線道路沿道の活用が不十分 |
| ☐ その他（ ） | |

問 19) 「良好な住環境の保全・形成」について

町では、既存住宅の耐震診断・耐震改修への支援、町営住宅の長寿命化、町外からの移住等に関する相談体制の充実、空き家対策などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額14百万円、住民1人当たり0.4千円

 1 満足度	 2 重要度	 3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ やや不満	☐ 非常に重要 ☐ あまり重要ではな	☐ より強化すべき
☐ 満足 ☐ 不満	☐ 重要である ☐ 重要ではない	☐ 現状程度がよい
☐ やや満足 ☐ 非常に不満	☐ 少し重要 ☐ 全く重要ではない	☐ より縮減すべき
☐ わからない		☐ やめるべき

 4 不満な理由は？（主なものを1つだけチェック）

☐ 耐震診断・耐震改修への支援が不十分
 ☐ 町外からの移住等を支援するための取組が不十分

☐ 空き家対策が不十分

☐ その他（ ）

問 20)「将来にわたり持続的な上・下水道事業の推進」について

町では、老朽化した下水道施設の改築修繕、下水道事業の健全経営などに取り組んでいます（上水道事業については、令和7年度からは奈良県水道企業団に参画し、事務を共同処理しています）。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額1,848百万円、住民1人当たり52.7千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ 非常に不満	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要
☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ 非常に不満	☐ あまり重要ではない ☐ 重要ではない ☐ 全く重要ではない	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを1つだけチェック）

☐ 水道施設や下水道施設の老朽化が不安 ☐ その他（ ）

☐ 災害時の応急給水体制が不安

☐ 上下水道料金が高いと思う

問 21)「道路・公共交通の充実」について

町では、身近な生活道路から幹線道路まで利用状況に応じた町道の適正な維持管理と改築整備、路線バスや鉄道の存続、コミュニティバス「広陵元気号」の利便性向上などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 494 百万円、住民 1 人当たり 14.1 千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|---|--|
| ☐ 他都市へ連絡する広域幹線道路が不十分 | ☐ 安全に通勤通学・散歩ができる自転車歩行者道が不十分 |
| ☐ 町内各所を結ぶ幹線道路が不十分 | ☐ 公共交通が利用しにくい |
| ☐ 身近な生活道路が狭く危険 | ☐ その他（ ） |



基本目標 3 次世代を担う子どもが輝けるまち

問 22)「子育て支援の充実」について

町では、子どもが健康に育つ環境づくり、子育て支援サービスの充実、子どもの交通安全・防犯対策、特別な支援を必要とする子どもへのきめ細かな支援などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 2,322 百万円、住民 1 人当たり 66.2 千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|--|---|
| ☐ 子育てに関する相談体制が不十分 | ☐ 子育て支援施設の数や規模が不十分 |
| ☐ 子育て支援サービスに関する情報提供が不十分 | ☐ 子育て支援サービスが利用しにくい |
| | ☐ その他（ ） |

問 23)「青少年の健全育成」について

町では、家庭や地域と一体となった青少年健全育成のネットワークづくり、家庭の教育力向上、豊かな体験・交流ができる機会の充実などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 3 百万円、住民 1 人当たり 0.1 千円

♡ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

☹ 4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|--|---|
| ☐ 悩みを抱える青少年や保護者に対する相談体制が不十分 | ☐ 豊かな体験や交流ができる機会が少ない |
| ☐ 有害環境から守る取組が不十分 | ☐ その他（ ） |
| ☐ 家庭の教育力向上の支援が不十分 | |

問 24)「学校教育の充実」について

町では、学校施設・設備の充実、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育むための教育活動、教職員の資質向上、家庭や地域の声を反映した学校運営などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 772 百万円、住民 1 人当たり 22 千円

♡ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

☹ 4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|---|--|
| ☐ 校舎や体育館が老朽化している | ☐ 心身の健康を育むための取組が不十分 |
| ☐ トイレの洋式化などの改修が不十分 | ☐ 保護者や子どもに対する相談体制が不十分 |
| ☐ 学力向上のための取組が不十分 | ☐ その他（ ） |



基本目標 4 誰もが安全・安心して暮らせる充実したまち

問 25) 「防災・減災体制の強化」について

町では、自主防災組織、防災士ネットワークとの連携による地域の防災力の向上、感震ブレーカー普及等火災予防の徹底、避難所整備・資機材充実、治水対策の推進、災害時避難行動要支援者の安全確保などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 925 百万円、住民 1 人当たり 26.4 千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき



4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|--|--|
| ☐ 住民の防災意識を高めるための啓発や説明が不十分 | ☐ 高齢者など災害弱者への対応が不十分 |
| ☐ 緊急時の情報連絡体制が不十分 | ☐ 避難所の運営体制が不安 |
| ☐ 地域での防災協力体制が不十分 | ☐ その他（ ） |

問 26) 「防犯・交通安全の充実」について

町では、住民の防犯意識や交通安全意識の高揚、こども 110 番や見守りボランティア等地域ぐるみの防犯体制の強化、防犯カメラの設置推進、交通安全施設の整備などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 12 百万円、住民 1 人当たり 0.3 千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき



4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|---|---|
| ☐ 住民の防犯・交通安全意識を高めるための啓発や説明が不十分 | ☐ 犯罪発生時の情報連絡体制が不十分 |
| ☐ 防犯カメラの設置など犯罪防止のための取組が不十分 | ☐ 歩道の設置や交差点の改良など、交通安全施設の整備が不十分 |
| ☐ 地域での防犯協力体制が不十分 | ☐ その他（ ） |

問 27) 「保健・医療の充実」について

町では、地域ぐるみの自主的な健康づくり活動への支援、母子から成人における健康診査や保健指導などの充実、感染症予防対策の推進、地域医療体制の充実などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 367 百万円、住民 1 人当たり 10.5 千円

♥ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…		
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ 非常に不満	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ あまり重要ではな ☐ 重要ではない ☐ 全く重要ではない	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

😞 4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

☐ 住民の自主的な健康づくりへの支援が不十分
☐ 休日・夜間の医療体制が不十分
☐ 保健・医療に関する情報提供が不十分

☐ 医療施設が少ない
☐ 在宅医療の支援体制が不十分
☐ その他（ ）

問 28) 「高齢者福祉の充実」について

町では、介護保険サービスの充実、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援サービスを一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築、多様な生活支援サービスの提供などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 4,046 百万円、住民 1 人当たり 115.3 千円

♥ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…		
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ 非常に不満	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ あまり重要ではな ☐ 重要ではない ☐ 全く重要ではない	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

😞 4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

☐ 介護サービスの提供が不十分
☐ 介護サービスに関する情報提供が不十分
☐ 介護予防や認知症対策が不十分

☐ 生きがいをづくりのための支援が不十分
☐ 支援が必要な高齢者やその家族に対する相談体制が不十分
☐ その他（ ）

問 29)「障がい者福祉の充実」について

町では、障がいのある方に対する住民の理解と協力の拡大、障がいのある方やその家族に対する相談体制の充実、障がいのある方が自立した生活を送るための支援などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額1,227百万円、住民1人当たり35千円

♥ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

☹ 4 不満な理由は？（主なものを1つだけチェック）

- | | |
|--|---|
| ☐ 障がいのある方に対する住民の理解を深めるための啓発が不十分 | ☐ 障がいのある方の社会参加を促すための取組が不十分 |
| ☐ 障がいのある方が自立した生活を送るための支援体制が不十分 | ☐ 障がいのある方への相談体制が不十分 |
| ☐ その他（ ） | |

問 30)「地域福祉の充実」について

町では、だれもが住み慣れた地域の中で、支え合い助け合う地域づくり、地域の福祉活動を支える多様な担い手の育成、公共施設のバリアフリー化などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額30百万円、住民1人当たり0.9千円

♥ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

☹ 4 不満な理由は？（主なものを1つだけチェック）

- | | |
|--|---|
| ☐ 地域での支え合い助け合いが少ない | ☐ ボランティア活動の支え手が少ない |
| ☐ 支え合い助け合う地域づくりに対する支援が不十分 | ☐ 公共施設のバリアフリー化が不十分 |
| ☐ その他（ ） | |

問 31)「社会保障の適正運用」について

町では、生活に困窮する住民の社会的・経済的な自立を支援するとともに、国民健康保険や後期高齢者医療制度の持続的かつ安定的な財政運営に取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 3,714 百万円、住民 1 人当たり 105.8 千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|--|--|
| ☐ 生活困窮者に対する日々の見守り等が不十分 | ☐ 生活困窮者に対する相談支援が不十分 |
| ☐ 生活困窮者に対する就労支援、自立支援等が不十分 | ☐ 子どもの貧困対策が不十分 |
| ☐ その他（ ） | |



基本目標 5 地域のきずなを深め、表現力豊かな力強いまち

問 32)「生涯学習の推進」について

町では、中央公民館や図書館など生涯学習施設の適正管理、生涯学習情報の提供、特色ある講座・教室の開催、住民主体の学習活動への支援などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 54 百万円、住民 1 人当たり 1.5 千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|--|--|
| ☐ 施設が老朽化しているなど維持管理が不足 | ☐ 学習で身につけた知識や技能を
活かせる場が少ない |
| ☐ 学習に関する情報提供が不十分 | ☐ 人材活用や団体との連携・支援が不足 |
| ☐ 参加したい講座・教室がないなど
学習機会の場が少ない | ☐ その他（ ） |

問 33)「地域コミュニティの育成」について

町では、住民の“自らの地域は自らでつくる”という意識の高揚や、コミュニティを活性化するための支援、コミュニティ活動の拠点である公民館や集会所の改修支援などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額 67 百万円、住民 1 人当たり 1.9 千円

♡ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき



4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|--|---|
| ☐ コミュニティの必要性がわかりにくい | ☐ 住民のコミュニティ意識を高めるための啓発が不十分 |
| ☐ コミュニティ活動の内容がわかりにくい | ☐ 区や自治会の未加入世帯への働きかけが不十分 |
| ☐ コミュニティを活性化するための支援が不十分 | ☐ その他（ ） |

問 34)「スポーツの振興」について

町では、スポーツ施設の適正管理、スポーツ団体・指導者の育成、多様なスポーツ活動の普及などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額 47 百万円、住民 1 人当たり 1.3 千円

♡ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき



4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

- | | |
|--|--|
| ☐ 施設が老朽化している | ☐ スポーツに関する情報提供が不十分 |
| ☐ 設備が不十分 | ☐ スポーツを指導してくれる人が少ない |
| ☐ 各種スポーツ教室・大会が少ない | ☐ その他（ ） |

問 35) 「文化芸術の振興と文化財の保存・活用」について

町では、文化芸術団体の育成、文化芸術活動の指導者の確保、住民が文化芸術にふれる機会の充実、文化財の保存・活用などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額49百万円、住民1人当たり1.4千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを1つだけチェック）

☐ 文化芸術に関する情報提供が不十分
☐ 文化芸術活動への参加方法がわからない
☐ 参加したい文化芸術活動や鑑賞の機会が少ない

☐ 文化財に関する情報提供が不十分
☐ 文化財にふれる機会が少ない
☐ その他（ ）

問 36) 「人権尊重、非核平和、男女共同参画、多文化共生の推進」について

町では、人権教育・啓発の推進、住民の非核・平和に関する意識の醸成、男女が性別にかかわらず、あらゆる分野の活動に参画できる男女共同参画社会の形成などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額4百万円、住民1人当たり0.1千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを1つだけチェック）

☐ 人権問題に関する相談体制が不十分
☐ 子どもたちが平和の尊さを学ぶ機会が不十分
☐ ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた支援が不十分

☐ 男女平等意識を浸透させるための取組が不十分
☐ その他（ ）



基本目標 6 地域が活性化するまち

問 37) 「農業の振興」について

町では、農道や用排水施設の整備・改修、農地や農業用水の保全、意欲のある農業者の育成・確保、地元農産物のブランド化、地産地消の推進などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 77 百万円、住民 1 人当たり 2.2 千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき
☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ 非常に不満	☐ あまり重要ではない ☐ 重要ではない ☐ 全く重要ではない	

4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

☐ 耕作されていない農地が多い	☐ 生産者との交流の場が少ない
☐ 意欲のある農業者が少ない	☐ 気軽に農業に親しめる場が少ない
☐ 地元農産物を購入できる場が少ない	☐ その他（ ）

問 38) 「地域経済の振興」について

町では、商工団体の活動支援、時代の変化に即した事業活動の振興、既存企業への支援、地場産業の育成、企業誘致の推進などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 141 百万円、住民 1 人当たり 4 千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき
☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ 非常に不満	☐ あまり重要ではない ☐ 重要ではない ☐ 全く重要ではない	

4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

☐ 入ってみたいくなるような店舗が少ない	☐ 地場産業に活力がない
☐ 閉店による空き店舗が増えている	☐ 町外から誘致された企業が少ない
☐ 新たに起業・創業した人・店舗が少ない	☐ その他（ ）

問 39)「観光・交流の振興」について

町では、地域特性を活かした観光・交流機能の強化、魅力ある祭り・イベントの開催、町のPR活動の強化、来町者にわかりやすい案内サインの整備などに取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額130百万円、住民1人当たり3.7千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを1つだけチェック）

- | | |
|--|--|
| ☐ 地域特性を活かした観光資源の発掘・活用が不十分 | ☐ 特色ある地場産品が少ない |
| ☐ 魅力ある祭り・イベントが少ない | ☐ 来町者にとってわかりやすい案内サインの整備が不十分 |
| ☐ 町外へのPR活動が不十分 | ☐ その他（ ） |



基本目標7 健全で効果的・効率的な行財政運営の推進

問 40)「効果的・効率的な行政運営の推進」について

町では、より効果的で効率的な事業実施のために行政評価体制の確立、組織体制の整備、人材の育成及びデジタル技術やマイナンバーカードの利活用に取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額168百万円、住民1人当たり4.8千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを1つだけチェック）

- | | |
|--|--|
| ☐ 業務改革の取組が不十分 | ☐ デジタル技術やマイナンバーカードの利活用に係る取組が不十分 |
| ☐ 業務改革のスピードが遅い | ☐ インターネット上で手続きできる行政サービスが少ない |
| ☐ 町役場の組織体制がわかりにくい | |
| ☐ 職員の資質向上の取組が不十分 | |
| ☐ その他（ ） | |

問 41) 「健全な財政運営の推進」について

町では、将来にわたって安定的な財政運営が可能となるよう、より多くの自主財源の確保に取り組むほか、より効果的・効率的な行政運営を推進できるよう、経常的な経費の抑制に取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 44 百万円、住民 1 人当たり 1.3 千円

♡ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…		
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ 非常に不満	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ あまり重要ではな ☐ 重要ではない ☐ 全く重要ではない	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

😞 4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

☐ 歳入を増やすための取組が不十分
 ☐ 徴収率の向上に係る取組が不十分
☐ 歳出を抑制するための取組が不十分
 ☐ その他（ ）

問 42) 「公共施設マネジメントの推進」について

町では、施設の長期的な保全や利活用等を目的とした総合的な管理手法である「公共施設マネジメント」を積極的に推進し、行政コストの節減・効率化と行政サービスの質向上に取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和 4～6 年度の平均：総額 56 百万円、住民 1 人当たり 1.6 千円

♡ 1 満足度	🔒 2 重要度	🚀 3 今後は…		
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ やや不満 ☐ 不満 ☐ 非常に不満	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ あまり重要ではな ☐ 重要ではない ☐ 全く重要ではない	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

😞 4 不満な理由は？（主なものを 1 つだけチェック）

☐ 損傷が目立つ施設がある
☐ 施設が多すぎる
☐ 施設が古く使いづらい
 ☐ 近隣自治体の施設が利用できない
☐ その他（ ）

問 43)「協働・連携によるまちづくりの推進」について

町では、自治基本条例のもと、住民、コミュニティ組織、事業者等の多様な主体がともに考え、ともに補完し合うまちづくりを推進するための諸制度の充実・活用促進や広報活動の充実に取り組んでいます。

【施策の実施に投じた事業費】令和4～6年度の平均：総額14百万円、住民1人当たり0.4千円

1 満足度	2 重要度	3 今後は…
☐ 非常に満足 ☐ 満足 ☐ やや満足 ☐ わからない	☐ 非常に重要 ☐ 重要である ☐ 少し重要	☐ より強化すべき ☐ 現状程度がよい ☐ より縮減すべき ☐ やめるべき

4 不満な理由は？（主なものを1つだけチェック）

- ☐ 広報こうりょうが読みにくい
 ☐ 住民が町政やまちづくりへ参加する機会が少ない
- ☐ 町公式 Facebook や LINE での情報提供が不十分
 ☐ 住民主体のまちづくり活動の支援が不十分
- ☐ ホームページによる情報提供が不十分
 ☐ その他（ ）
- ☐ 住民ニーズを把握するための広聴活動が不十分

問 44) 町では、今年度、総合計画の更新についての意見交換会を全 2 回程度実施予定です。ご出席いただける方は、ご自身の連絡先を記入いただきますようお願いいたします（ご出席いただくこととなった場合は、後日、日程調整させていただきます。）。

氏 名	
住 所	〒 6 3 5 — 広 陵 町
電話番号	
メールアドレス	

※意見交換会は、9月下旬以降の土日祝に町内公共施設での開催を予定しております。

最後に、今後のまちづくりに関する提案やアイデアなど、広陵町のまちづくり全般に関してご意見などがありましたら、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました
ご記入いただいたアンケート調査票は、返信用封筒（切手不要）に入れ、
9月5日（金）までに郵便ポストに投函してください。

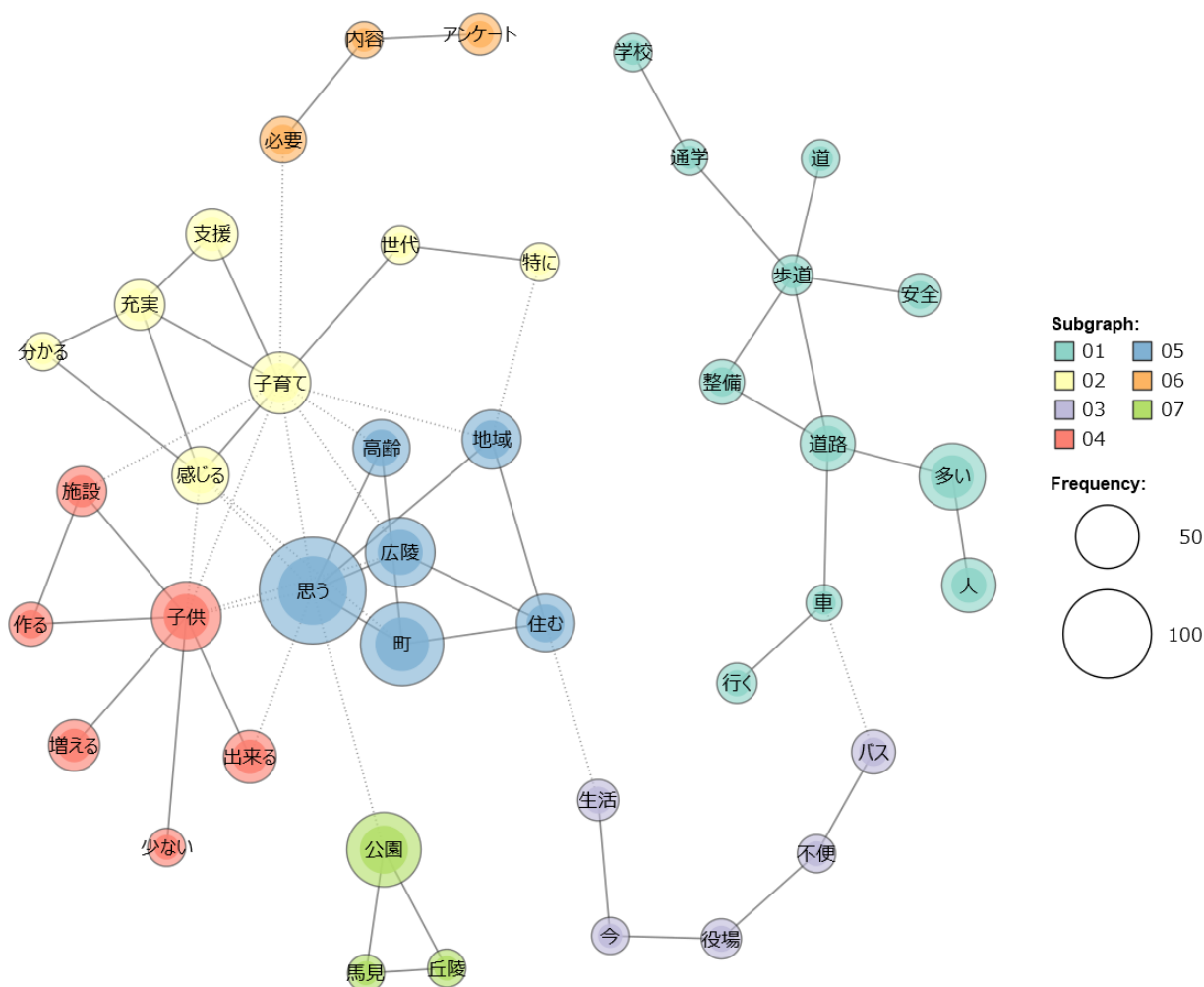
2 自由記入欄のテキストマイニング

今後のまちづくりに関する提案やアイデアなど、広陵町のまちづくり全般に関して意見に関する自由意見（244 件）をもとに、住民が抱える町に関する課題等を把握するためのテキストマイニングを行い、語と語の関連性を可視化した共起ネットワーク（注）を作成しました。

「広陵」「町」「住む」「地域」「高齢」「思う」が中心に配置され、頻繁に出現し、かつ他の語とのつながりが多いことから、本町では地域の高齢化の問題が主要な関心ごとの 1 つであると考えられます。

また、「子ども」「子育て」「公園」などが「思う」からつながっていることから、子ども・子育てに係る支援、また公園利活用などへの期待が表れていると思われます。

そのほか、道路の安全性や公共交通の利便性に関する関心などが伺えます。



注：共起ネットワーク

単語がどの語と一緒に語られやすいかを可視化し、キーワード間の関係性・文脈クラスターを把握できます。トピックの全体像や潜在的なテーマを短時間で発見できるのが特徴です。

以下に、自由意見として挙がった主な意見を整理して紹介します。

1. 高齢化について

- 高齢者の占める率はますます増える。信号設置等、交通事故防止対策については、力を入れて頂きたい
- 高齢者一人暮らしの専門相談窓口の設置、役所としての対応の充実
- 高齢者が免許証返納した後の支援が、もう少し向上すれば助かります
- 高齢化社会が進む中、全ての世代が安心して暮らせる町になるようにして欲しい

2. 子ども・子育てについて

- 子育てしている家庭の「食」を助け、暮らしやすい生活を整える
- なかなか希望する（送り迎えの範囲を考えたときに）保育園は定員がいっぱいというのが現実です。できるだけ希望する保育園に入れるような取り組みをしていただきたいです。
- 近隣市町村に比べて、子育てに対しての支援が少ないように思う
- 子育て支援施設や子供の室内遊び場をもっと充実させて欲しい

3. 公園の利活用について

- 馬見丘陵古墳群や百済寺等の歴史的遺産が広陵町には多くあります。これを活かした観光誘致はいかがでしょう
- 竹取公園にクールスポットとして利用者が利用できる施設を作る
- かぐや姫公園の広場の利用方法を考えてもらいたい
- 公園に子供が遊ぶものだけでなく、大人も運動できる器具を置いて欲しい
- 新しい住宅が建ち並び、ファミリー層の増加もあると思うので、町でのイベントを増やして欲しい

4. 道路、公共共通について

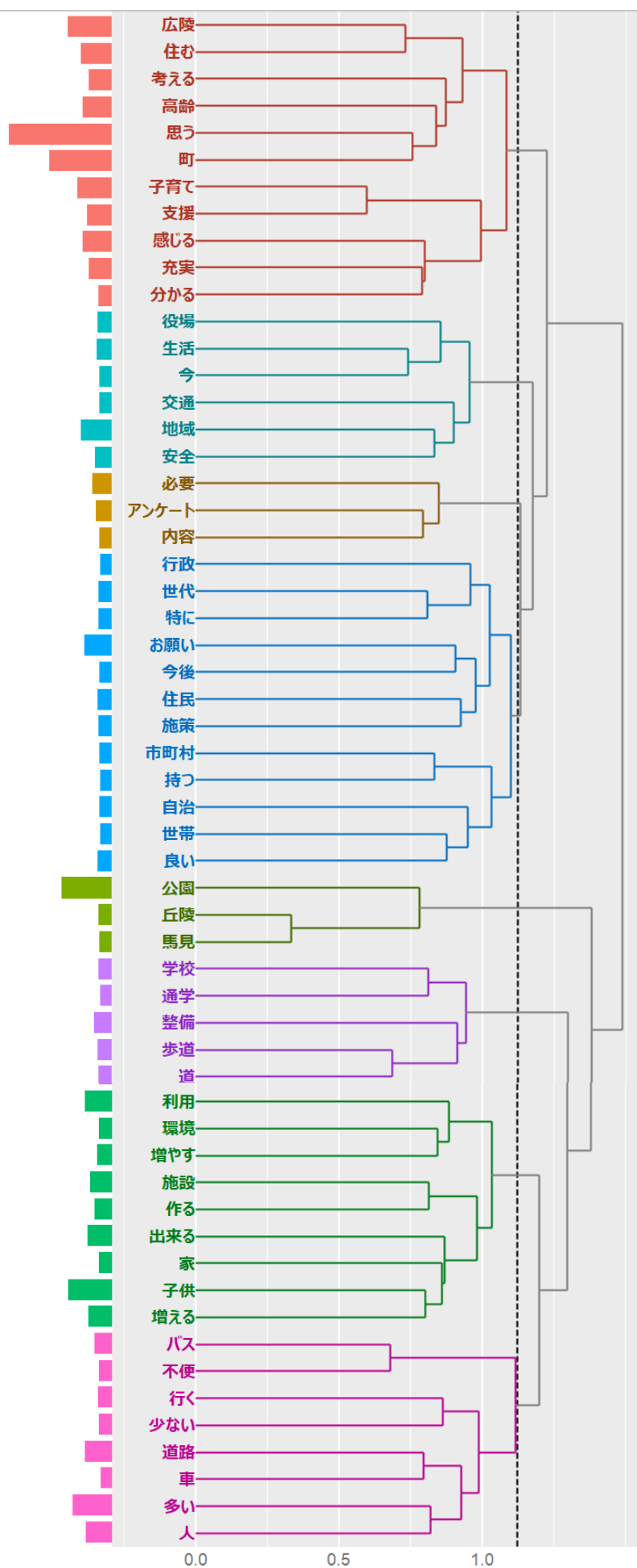
- 歩道がガタガタな場所が多いのでいつも転びそうになります。きれいな道になればと思う
- 道路の安全な通行のための施策は優先で取り組むべき。歩道の安全性向上のために、適切な手入れがなされていない街路樹や植込みを撤去して、歩道の拡幅を行うべき
- 今は自家用車があり大丈夫ですが、これから少し遠い所に出掛ける時不便。巡回バスがありますが不便
- コミュニティバスの本数やルートなどを高齢者に合わせて考えてもらいたい

5. その他のご提案について

- 地域の見守りの目をふやす「わんわんパトロール」の強化
- 防犯カメラの設置を増やして頂きたい
- 空き家対策、耕作放棄地対策が重要な施策
- 物価高で家計が厳しいのはどのご家庭もだと思いますので、水道代無料や、米のクーポン券の配布など、何か施策をしていただくと大変助かります
- 上下水道料金が高過ぎる
- もっと町を対外的（町外、県外）にPRして欲しい

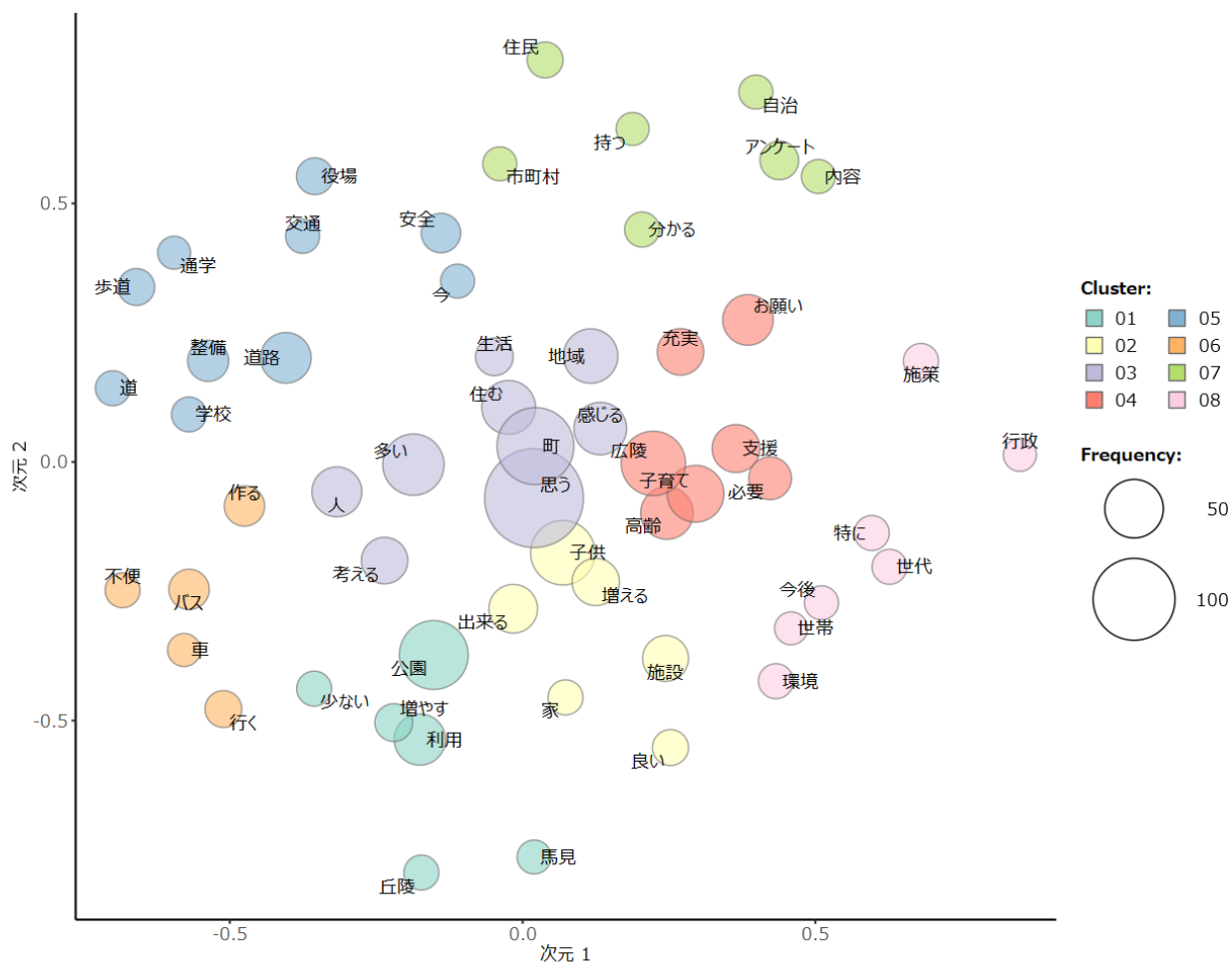
参考1 クラスター分析

デンドログラム（樹形図）の解釈と特徴語の確認が中心です。デンドログラムでクラスター間の距離やグループ分けを確認し、特徴語一覧で各クラスターがどのような内容を持つかを特定します。



参考2 多次元尺度法

表示されたマップ上で単語が互いにどの程度近い・遠いを見て、単語間の関係性やグループを視覚的に理解することです。特に**「距離」**が近い単語同士は関連が強く、遠い単語同士は関連が弱いと解釈します。



広陵町住民アンケート調査報告書

令和 7 年 10 月

編集・発行：広陵町企画総務部総合政策課

〒635－8515

奈良県北葛城郡広陵町大字南郷 583 番地 1

TEL 0745－55－1001（代表）